

Panamera

WKD 971 01 70 21



Panamera

Good to know - 取扱説明書

Porsche, Porsche Crest, Panamera, PCCB, PCM, PDK, PSM, PTM, Tequipment および他の名称は Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の登録商標です。

Printed in Germany.

本書の一部または全部の複製は、Dr. Ing. h.c. F.-Porsche AG の文書による許可がない限り禁止いたします。

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
ボルシェジャパン株式会社

Germany

車載マニュアル

車載マニュアルは常に車両に保管し、車両を売却する場合は新しいオーナーにお渡しください。

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。
連絡先:

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Vertrieb Customer Relations
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart
Germany

装備品

ボルシェでは絶えず車両やアプリケーションの開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書のイラストまたは記載内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品は、標準の同梱部品または国別の車両装備に必ずしも対応していません。追加装備品の詳細については、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

各国の法律等の基準の違いにより、この取扱説明書の記載内容がお客様の車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店がすべての装備

品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

警告およびシンボル

この説明書には様々な警告およびシンボルが使用されています。



危険

重傷または死亡に至る危険

「危険」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る危険があります。



警告

重傷または死亡に至る可能性

「警告」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る可能性があります。



注意

中程度のケガまたは軽傷を負う可能性

「注意」欄の警告を守らないと、中程度のケガまたは軽傷を負う可能性があります。

知識

車両が損傷する可能性

「知識」欄の警告を守らないと、車両が損傷する可能性があります。



インフォメーション

追加情報は「インフォメーション」という語を用いて記載されます。

- ✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件
- ▶ お守りいただく必要のある指示。
- 1. 指示が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

1. タッチディスプレイに関してお守りいただく必要のある指示です。

- ▶ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている参照先を示します。

エアバッグ警告ラベル



危険

助手席のチャイルドシート

チャイルドシートが助手席に取り付けられている場合、エアバッグが作動した際に重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ お子様にケガや死亡の危険があるため、フロントエアバッグが有効になっている状態で、後ろ向きチャイルドシートを助手席で絶対に使用しないでください。

- ▶ 「チャイルドシート」の章（153ページ）を参照してください。



マニュアルのレイアウト

取扱説明書 - デジタル

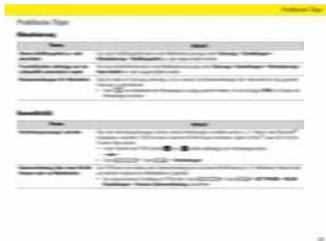


図 1 : App Store

取扱説明書は、車内の車載デジタル形式およびアプリ版が入手可能です。

▷ 3ページ

実用的なヒント



新機能についての補足情報をご覧ください。

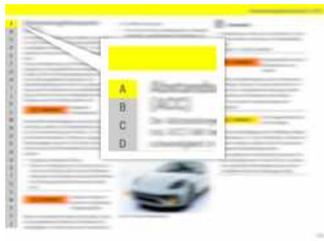
▷ 「実用的なヒント」の章（28ページ）を参照してください。

目次



概要を把握し、確認したいトピックを探ることができます。

50音順トピック



部品やコントロールの仕組み、およびそれら进行操作する方法をご覧ください。

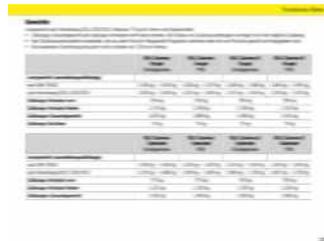
安全性とドライビング プレジャー



ドライビング プレジャーを安全に楽しむ方法をご覧ください。

▷ 5ページ以降

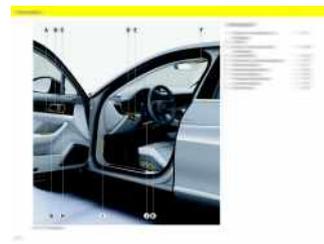
テクニカル データ



特定の図を検索してください。

▷ 289ページ以降

概要



部品やコントロールについて十分に理解してください。

▷ 25ページ以降

索引



確認したい情報をすぐに見つけることができます。

取扱説明書 – デジタル

お客様の車両に関する詳しい情報は **車載**の取扱説明書をご覧ください。

車載



取扱説明書はポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の下記で確認できます。

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 取扱説明書

Apple, the Apple logo, Apple CarPlay, iPhone, iPod, Siri and other designations of Apple are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

App Store is a service mark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

IOS® is a trademark or registered trademark of Cisco Technology, Inc. in the U.S. and other countries and is used under license by Apple. Google Play® and the Google Play logo are trademarks of Google LLC.

目次

ドライブングプレジャーはそのままに、 安全性を向上	5	エアサスペンションおよびレベルコントロール付きボ ルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	62	ナビゲーション	185
外観図		エンジンの始動および停止	70	ボルシェ コネクト	227
エンジンコンパートメント フィラー開口	25	オート スタート / ストップ機能	71	ラゲッジおよびトランスポート	
オーバーヘッド コンソール	22	クルーズコントロール	78	カップホルダー	73
コントロールパネル	21	スポーツ クロノ ストップウォッチ	119	スモーカーパッケージ	122
センサーおよびカメラ	26	トラフィックジャム アシスト (TJA)	165	トレーラー ヒッチ	172
ボルシェ アドバンスド コックピット	20	トランスミッション	167	ラゲッジコンパートメント	252
リヤコントロールパネル	24	ナイトビュー アシスト	183	ルーフトランスポート システム	266
後部座席	23	ハイブリッド車両	190	収納スペース	137
運転席	19	パークアシスト	200	電気ソケット	176
使用上のヒント		フロントワイパー	212	モビリティおよび故障修理	
実用的なヒント	28	ブレーキ	209	けん引	80
開閉操作とロック		ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	223	ウィンドウォッシャー	53
ウィンドウ	50	ボルシェ アクティブ セーフ (PAS)	224	エンジンオイル	66
キー	74	ライト	247	クーラント (冷却水)	76
セントラルロック	123	レーン キープアシスト	269	ジャッキおよびリフティング プラットフォーム ...	116
ボンネット	241	レーンチェンジアシスト (LCA)	273	ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動	117
リヤリッド	260	格納式リヤスポイラー	82	タイヤおよびホイール	145
ルーフシステム	263	走行プログラム	285	テスト スタンドでの点検	162
警報システム	108	インストールメント クラスタおよびPCM		バッテリー	194
エアコンおよび人間工学		インストールメント クラスタ	39	バンク	197
インテリアライト	49	ドライブング データの表示 (トリップ情報)	164	ヒューズ	206
エアコンシステム [2-/4-ゾーン エアコン]	54	ヘッドアップディスプレイ	217	ブレーキ液	211
エアバッグシステム	64	ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)	231	充電	140
シート	109	警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ	86	給油	83
シートベルト	114	車両設定	135	車両のお手入れ	130
ステアリング ホイール	118	エンターテインメントおよびコミュニケーション		テクニカル データ	
チャイルドシート	153	ボイスコントロール	218	テクニカル データ	289
パーソナル設定	203	メディア	245	無線装置 (EU の地域外)	301
ミラー	243	電話	177	索引	307
運転およびドライバー アシスタントシステム		ナビゲーションおよび接続			
HOLD 機能	280	Apple CarPlay	278		
OFFにする	281	デバイス マネージャー	163		
アダプティブ クルーズコントロール (ACC)	32				

ドライビング プレジャーはそのままだに、安全性を向上

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇ります。魅惑的な経験 - 間違いありません。更にはどのような状況でも安全性を提供します。そのためポルシェ社では、安全とは究極の品質であると考えます。

ここで、ポルシェ運転中の安全性を保証する自らの役割を知ることができます。

完璧なテクノロジー、安全性の前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができます。ポテンシャルを最大限に発揮するには、車両の点検およびお手入れが必要です。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

車両の損傷および正常な動作の点検



技術的な不具合のある車両は、不適正な作動などによって事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両は定期的に [少なくとも月に1度の頻度で、また長時間走行の前に] 点検し、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。
 - タイヤに損傷がなく、空気圧が適正で、トレッドの深さも十分ある

- ヘッドライト、ブレーキライト、および方向指示灯がすべて作動する
- エアロ パーツに損傷がない
- ワイパー ブレードに損傷がない
- ガラスのひび割れまたは損傷がなく、フロントウィンドウ / ウィンドウが妨げられていない
- ドア ミラーおよびルーフ ミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
- センサーおよびカメラにひび割れまたは損傷がない
- クーリング エア ダクト、センサー、およびカメラが妨げられていない (フィルム、ストーンガード、ライセンス プレート ホルダーなどで)
- ▶ 電話や無線装置は、外部アンテナに接続して車内でのみ使用し、車内の電磁波レベルが限界値を超えないようにしてください。

タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト (破裂) する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて、少なくとも月に1度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがいないかを確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店で

タイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。

- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤは、ポルシェ正規販売店で直ちに交換してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整



極端に低いまたは高いタイヤ空気圧は、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
 - ▷ 「テクニカル データ」の章 (289ページ) を参照してください。
- ▶ マルチファンクション ディスプレイのタイヤ空気圧モニタリング メニューにある設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください。
 - ▷ 「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定。」の章 (146ページ) を参照してください。
- ▶ 赤色のタイヤ空気圧警告がインストルメント パネルに表示される場合: 直ちに適切な場所に停車

し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。

- ▶ 「パンク」の章（197ページ）を参照してください。

ライトの点検



ライトが故障すると、車両前方が照射されず、視界不良時に前方が見づらくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。以下のライト類を点検してください。

- パーキングライト、ロービーム、ドライビングライト、ハイビーム、方向指示器
- ブレーキおよびリパースライト
- フォグライト
- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

エアロ パーツの点検



エアロ パーツ（スポイラーまたはアンダーボディ パネル）が損傷または紛失しているとハンドル操作が正常に行えなくなります。

- ▶ 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- ▶ 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。

ウィンドウおよびワイパー ブレードの清掃およびメンテナンス



フロント ウィンドウやウィンドウが汚れていたり、ワイパー ブレードが故障していたりすると、視界が悪くなって事故の危険が著しく増大します。

- ▶ 車両およびフロント ウィンドウ / ウィンドウは清潔な状態を保ってください。
- ▶ 凍結したワイパー ブレードは溶かし、フロント ウィンドウから動くようにします。
- ▶ Replace wiper blades regularly, or at the latest when they leave streaks on the windscreen.

- ▶ 「ワイパー ブレード」の章（215ページ）を参照してください。

点検および仕様変更は、必ずポルシェ正規販売店で行ってください。



車両の仕様を変更すると、悪影響が及んだり安全機能を無効にしたりする恐れがあります。認可されていない作業の実施は、保証期間内であっても請求が無効になることがあります。

- ▶ 車両のすべての点検および仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

故障診断用ソケット



故障診断用ソケットは、ポルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。

外部装置 (ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど) を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、イグニッションを OFF にしたときにバッテリーを消耗させたり損傷 (完全放電) させたりする恐れがあります。外部装置やケーブルはペダル周辺で邪魔になったり、ブレーキを踏んだ時や方向転換をした時にペダルに引っ掛かったりする恐れがあります。

- ▶ いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ いかなる装置やケーブルも運転席フットウェルに置かないでください。

ポルシェのスペア パーツ



- ▶ お客様の車両専用のポルシェ純正スペア パーツ、またはポルシェの仕様や製造要件に従って製造された同等品質のスペア パーツのみをご使用ください。

い。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。これらの部品はポルシェ正規販売店から入手できます。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ ポルシェ テクニップメント シリーズの、またはポルシェが検査および認定したアクセサリのみをご使用ください。ポルシェ テクニップメントについての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

i インフォメーション

他社製のスペア パーツまたはアクセサリを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ポルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペア パーツやアクセサリを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。ポルシェ社の承認していないスペア パーツまたはアクセサリを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

荷物、安全装備、車両にお子様を乗せるとき：ポルシェ ドライバーへの注意事項

ポルシェ車は 100 km/h を超えるまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。これほどのパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。

このため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

したがって、シートベルトの正しい使用が命を救います。



シートベルトは、適切に着用し、正常に機能している場合に限り、乗員を怪我から守ります。

i インフォメーション

シートベルトを着用しない場合、30 km/h という低速でも重症を負う場合があります。安全装備は、組み合わせさせて機能する場合にのみ、乗員を保護します。例えば、エアバッグはシートベルトも正しく着用している場合にのみ保護機能が正常に働きます。

- ▶ 短い距離の運転であっても、必ずシートベルトをしっかりと着用してください。
- ▶ 1つのシートベルトが固定するのは、乗員 1 人だけです。
- ▶ だぶついた衣服、冬物のコートなど厚手の衣服は脱いでください。
- ▶ 眼鏡やボールペンなど硬い物または壊れやすい物の上にシートベルトを締めないでください。
- ▶ シートベルトがねじれないようにしてください。
- ▶ 使用していないシートベルトは、必ず完全に格納してください。
- ▶ 妊娠中のドライバーまたは乗員は、腰部ベルトが腹部の十分に低い位置になるようにし、肩ベルトを胸部に密着させる必要があります。
- ▶ 摩耗または損傷しているベルト、ベルトバックルまたは取り付け部は、交換してください。

- ▶ 「シートベルト」の章（114ページ）を参照してください。

エアバッグ システム



エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用し正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮することができます。荷物や手荷物は必ず安全に収納してください。

- ▶ 乗員とエアバッグが膨らむ空間との間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ってください。例えば、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常にフットウェルに置いてください。ダッシュボードやシートクッションの上に足を乗せないでください。

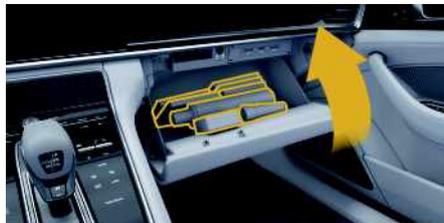
手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。作動しなかったり、予期しないタイミングで作動したりする恐れがあります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ シートカバーを装着しないでください。
- ▶ ステアリングホイールまたはエアバッグ付近にアクセサリーを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリー類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグの部品を取り外さないでください（例：

ステアリングホイール、フロントシート、天井の内張り）。

- ▶ エアバッグの配線や部品を改造しないでください。
- ▶ 「エアバッグシステム」の章（64ページ）を参照してください。

車内の荷物をすべて固定する



車室内の荷物を固定しなかったり、不適切な位置に載せたりすると、ブレーキ時、加速時、方向転換時、または事故の際に荷物が飛び出す恐れがあります。これは乗員を危険にさらし、ケガにつながる恐れがあります。

i インフォメーション

例えば、50 km/h (30 mph) で衝突した場合、固定していない荷物はその重量の最大 50 倍の力で前方に投げ出される可能性があります。例えば、1.5 L のペットボトルの水が室内を飛んだ場合、最大 75 kg の力がかかります。

- ▶ 荷物を運ぶ場合には必ず固定してください。
- ▶ 荷物は常にラゲッジコンパートメントやルーフトランスポートシステムなどに安全に収納してください。
- ▶ 小さな物は小物入れに収納し、小物入れをすべて

閉じてください。小物入れから荷物が決してはみ出ないようにしてください。

- ▶ ダッシュボードまたはラゲッジコンパートメントカバーの上に荷物を置かないでください。
- ▶ タイダウンベルトで荷物を固定してください（引き裂き強度は最低 700 kg）。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ また、乗員に安全対策についての情報を伝えてください。

正しくポルシェに荷物を積載し、収納するために：

- ▶ 「収納スペース」の章（137ページ）を参照してください。
- ▶ 「ラゲッジコンパートメント」の章（252ページ）を参照してください。

挟み込み防止



以下の車両部品の可動範囲に人や動物がいると、挟まれたり怪我をしたりする恐れがあります。以下の部品が挙げられます。

- 調整式シート
- ドア
- ウィンドウ
- トレーラーヒッチ
- フラップ、リッド、ルーフ、スポイラー
- 小物入れのリッド

- ▶ これらの車両部品を動かすときには可動範囲に人や動物がいらないことを確認してください。

お子様の行動を監視する



お子様は危険を正しく判断できないことが多く、危険な状況で不適切に行動する場合があります。

お子様は誤って自動設定（座席調整など）を作動させて怪我をする可能性があります。お子様は緊急時（車内の過熱状態など）に車両から脱出することができません。これは、特に小さなお子様にとって命に関わりません。

- ▶ 高温部品（排気タームパイプなど）や作動中の部品にお子様近づかないようにしてください。
- ▶ バンク修理剤やエンジン オイルなどの毒性のある物質は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

チャイルド シートの安全な使用



チャイルド シートは適切に装着した場合にのみ機能します。

- ▶ ポルシェによって承認されているチャイルド シートのみを使用してください。
- ▶ チャイルド シートを使用する前に：この取扱説明書に加え、チャイルド シートのメーカーの取扱説明書を読み、従ってください。
 - ▷ 「チャイルド シート」の章（153ページ）を参照してください。

安全で優れたドライビング：いつでも適切な判断力を発揮

ポルシェはオールラウンダーな車です。ローンチ コントロール機能から緊急ブレーキ機能まで、この車で走り出せば、すべてが可能になります。とはいえ、1日の終わりに車両を正常な状態に保っておくことは、ユーザーの責任です。

注意力の低下を防ぐ



運転中に PCM やその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 運転中にミラーやシート、ステアリング ホイールの調整は行わないでください。シートやステアリング ホイールが思った以上に動く場合があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。運転前にミラー、シート、ステアリング ホイールの位置調整を行ってください。
- ▶ マルチ ファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの運転中の使用は、交通状況が許す場合のみに行ってください。不

確かな場合は、安全に操作できるよう停車してください。

- ▶ 運転席からリヤのタッチ ディスプレイの操作を行わないでください。
- ▶ 運転中は携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリング ホイールのスポークの間に手を差し込まないでください。これらを遵守しない場合、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。

雨天や降雪時のブレーキの挙動についての把握



大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があり、ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキ ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキ ディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- ▶ 特に停車前には、ブレーキが暖いた状態になるようブレーキをかけてください。このようにすると腐食を防ぐことができます。
- ▶ ブレーキが腐食すると激しい振動が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキ システムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル



- ▶ 「タイヤおよびホイール」の章（145ページ）を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

タイヤや車両に損傷があると、走行中にハンドルをとられたり振動が発生したりすることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合原因がわからないときは、慎重に運転し不具合の修理を受けてください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態を維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の 200 km は、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

ウィンター タイヤでの走行

ウィンター タイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

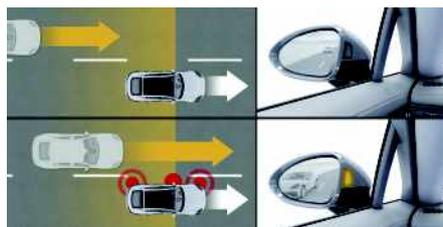
- ▶ 装着しているタイヤの最高許容速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。各国の法律を遵守してください。
- ▶ インストルメント パネルで最高許容速度を制限速度として設定します：
 - ▶ 「インストルメント クラスタ」の章（39 ページ）を参照してください。

サマー タイヤでの走行

外気温が 15 °C 未満のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温が 7 °C を下回る場合、ウィンター タイヤに交換してください。

アシスタント システムおよびその制限



車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンス システムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンス システムは、不適切な運

転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。

- ▶ アシスタンス システムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンス システムについて十分に理解してください。

アシスタンス システムについては次をご覧ください：

アダプティブクルーズコントロール (ACC)	▶ p. 32
アンチロック ブレーキ システム (ABS)	▶ p. 281
HOLD 機能	▶ p. 280
オートマチックヘッドライト、PDLS、PDLS プラス、ダイナミックハイビーム	▶ p. 247
ナイトビューアシスト	▶ p. 183
パークアシスト、リバースカメラ、サラウンドビュー	▶ p. 200
ボルシェ アクティブ サスペンションマネージメント (PASM)	▶ p. 223 ▶ p. 62
ボルシェ トラクション マネージメント (PTM)	-
ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)	▶ p. 281
ボルシェ トルク ベクトリング プラス (PTV Plus)	-
タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	▶ p. 145

レーン キープ アシスト ▶ p. 273

レーン チェンジ アシスト (LCA) ▶ p. 273

交通渋滞アシスト ▶ p. 165

クルーズ コントロール ▶ p. 78

緊急ブレーキ機能



通常のフットブレーキが故障している場合などは、電動パーキングブレーキを使用してフルブレーキをかけることができます。

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。そのために後続の車両が危険にさらされる可能性があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時のみ使用し、通常走行時の使用は避けてください。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を作動させるには、スイッチ (P) を引き続けてください。ブレーキを解除するには、ボタンを放してください。
 - ▷ 「ブレーキ」の章 (209ページ) を参照してください。

荷物積載時の運転



車両の操縦性は積載量によって変化します。ルーフトランスポート システムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ ルーフトランスポート システムを装着して荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 装着したルーフトランスポート システムに荷物を載せていないときは、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▶ ルーフトランスポート システムを装着して走行する前に、本書の以下のセクションをお読みください：
 - ▷ 「ルーフトランスポート システム」の章 (266ページ) を参照してください。

トレーラーを連結した運転



連結しているトレーラーや着脱可能アクセサリ (自転車ラックなど) は、車両の操作性に大きな影響を与えます。ドライバー アシスタンス システムが OFF になったり、異なる挙動を示したりする場合があります。

- ▶ 事故を防ぐため、状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ トレーラーを連結する前またはトレーラーを連結して運転する前には下記をご覧ください。
 - ▷ 「トレーラー ヒッチ」の章 (172ページ) を参照してください。

ローンチ コントロールを使用した発進



発進時にローンチ コントロール機能が作動していると、車両は急加速します。特定の状況では (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他の道路利用者に危険が及んだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ コントロールを使用してください。
- ▶ ローンチ コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。
 - ▷ 「トランスミッション」の章（167ページ）を参照してください。
- ▶ スポーツ エキゾースト システムを排気音最適化モードに切り替え、非常にスポーティーなドライビングスタイルをすると、騒音レベルが大幅に増加します。そのため、社会的な責任を考慮に入れ、近隣住民に配慮してください（特に夜間）。

警告音への適切な反応



センサーが故障した部品または不良部品を検知すると、警告灯の点灯またはメッセージでドライバーに警告します。車両の警告信号を無視すると、事故およびケガの恐れが高まります。

- ▶ 警告に適切に対応できるよう、運転の開始前に警告灯およびメッセージの意味を十分に理解してください。必要に応じて走行を停止してください。
 - ▷ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。
 - ▷ 「インストールメント クラスタ」の章（39ページ）を参照してください。

給油時の危険



燃料は非常に引火性が高く、激しく燃えたり爆発を起こしたりする可能性があります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 給油の際、火炎、裸火、喫煙は禁止されています。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
 - ▷ 「給油」の章（83ページ）を参照してください。

事故の際、車内に置いたスペアのキャニスターが損傷すると、燃料漏れが発生し、発火または爆発につながる恐れがあります。

- ▶ スペアのキャニスターは車内に携行しないようにしてください。

有害なフルード



9000_279

燃料だけでなく、エンジンおよびトランスミッションオイル、バッテリー液、クーラント、およびブレーキフルードも人体には有害です。

- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車

両の作業を行ってください。

- ▶ フルードのコンテナーには必ず適切なラベルを貼付し、子どもの手の届かないところに保管してください。
- ▶ 残ったフルードの廃棄は、規制に従って環境に影響が少ない方法で行ってください。

エンジン オイルは発火する可能性があります。エンジン オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジン オイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジン オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気の良い場所で保管してください。

有毒な排気ガス



排気ガスに含まれる無色無臭の一酸化炭素は、低濃度でも有毒です。

- ▶ 停車時はエンジンを切ってください。閉鎖された空間では、不必要にエンジンを作動したままの状態にしないでください。
- ▶ エンジンを作動した状態で作業は、屋外、または排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。

安全な駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。

車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- ▶ エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
- ▶ トランスミッション パーキング ロックを P ボタンを使用して作動します。インストルメント パネルで作動モード P が点滅している場合、パーキング ロックが正しくかかっていません。セクター レバーでもう一度 P ボタンを押すか、イグニッションを OFF にしてください。イグニッションが OFF になると、トランスミッション パーキング ロックが自動的にかかります。

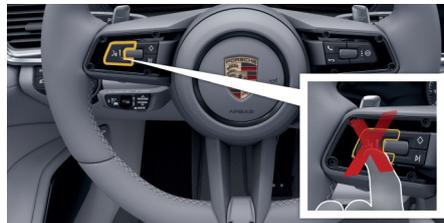
エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾースト システムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至ったりする恐れがあります。

- ▶ 可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温のエキゾースト システムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に立つときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- ▶ 子供がテールパイプの熱で火傷をしないように注意してください。

万が一の場合に備えて：故障および緊急時の安全確保

故障した場合は、安全を確保するために次の点に注意してください。

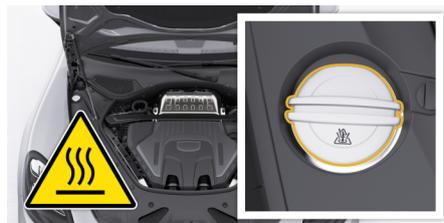
緊急時はボイスコントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時にボイス コントロールを使用しないでください。

車両で作業する際の注意事項



エンジンの作動中及び停止直後は、エンジン コンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。クーラント リザーバー タンクには圧力がかかっています。

ファンは自動的にいつでも運転を開始できます。

- ▶ エンジンを OFF にして、可能であれば冷やしてください。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、アクセサリなど

は、ファンやドライブ ベルトなどのすべての可動部品から遠ざけてください。

- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
- ▶ 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。エンジンが熱い場合、クーラント リザーバーを開けないでください。

車両で特定の作業を行う際は、保護装備 (切り傷を防止するための手袋など) を着用する必要があります。

- ▶ 車両の作業は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と純正部品、専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動



不適切なジャンパー ケーブルを使用して車両を始動したり、ジャンパー ケーブルによる始動を適切に行わなかった場合は、回路がショートし火災が発生する恐れがあります。ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガスがバッテリー周囲で発生することがあります。

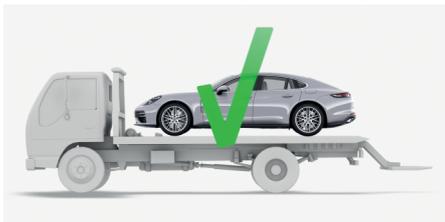
また、エンジン コンパートメント内の作業時にバッテリー液に接触したり、ラジエーター ファンなどの部品が自動的に作動したりするとケガをする恐れがあります。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を行う前に:

- ▶ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の

章（117ページ）を参照してください。

けん引



けん引開始、押し開始、またはけん引による重要な車両損傷の危険。

- ▶ 車両のけん引または押しを開始しないでください。
- ▶ 車両のけん引を試みないでください。
- ▶ けん引サービスまたは故障回収サービスを呼んでください。
- ▶ 回収車、自動車運送者、またはトレーラーで、両軸で車両をけん引してください。
- ▶ 車両をけん引するまたは車両がけん引される前に：
 - ▶ 「けん引」の章（80ページ）を参照してください。

パンクしたとき



損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

い。

- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
- ▶ 「パンク」の章（197ページ）を参照してください。

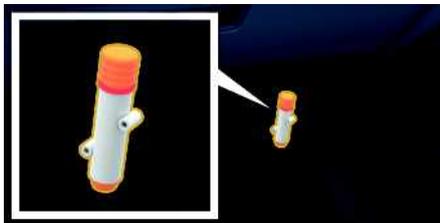
万一事故が起きたとき



事故の後は、シートベルトプリテンショナーやエアバッグなどの安全装備が作動しなくなる恐れがあります。その場合は、安全装備が乗員保護効果を発揮できなくなります。

- ▶ 安全装備が作動しなかった場合でも点検を受けてください。
- ▶ 作動した安全装備は交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

発炎筒



発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。



警告

火傷や火災につながる恐れがあります。

- ▶ 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。
- ▶ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けたり、近づけないでください。火傷をする恐れがあります。
- ▶ お子様がいかわらないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車を損傷する恐れがあります。



注意

トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります。

- ▶ トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザードランプを使用してください。

発炎筒の使い方

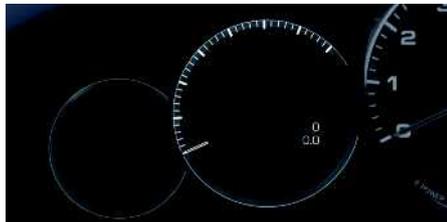
1. キャップを外します。本体をひねりながら、ケースから取り出します。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込みます。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り薬でこすると着火します。

知識

- ▶ 発炎筒の燃焼時間は約5分間です。
- ▶ 発炎筒には有効期限があります。表示してある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒に交換してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

お出かけの前に：ポルシェ車両に関する重要な情報

車両の慣らし運転



新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。新車の場合、走行距離が 3,000 km に達するまで慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転期間中は以下の点に注意して走行してください。

- ▶ なるべく長距離走行をする。可能な限り、冷えた状態での発進、短距離走行を繰り返さないようにする。
- ▶ モーターレースイベント、スポーツドライビングスクール、またはこれに類似したものに参加しない。
- ▶ エンジンを高回転域 (4,000 rpm を超える) まで回さない。エンジン冷間時は低回転域で運転する。

新しいブレーキパッドの慣らし



車両を数百マイル走行させると、新しいブレーキパッドおよびブレーキディスクの「慣らし」が終わり、最適な摩擦力に達します。

ブレーキ性能が若干減少している場合、ブレーキペダルを踏むときに普段より大きな力が必要になります。ブレーキパッドまたはブレーキディスクを交換した場合もこれと同じ状況になります。

E-Hybrid 車の特徴について



電気システム

高電圧車両電気システムの高電圧および高電圧バッテリーは非常に危険です。破損した高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワーエレクトロニクス、またはエアコンコンプレッサーに触れると致命的な感電を引き起こすことがあります。

ハイブリッドシステムのすべての構成部品は、警告ステッカーでマーキングされています。高電圧ケーブルはオレンジ色です。

- ▶ 高電圧車両電気システム、オレンジ色の高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワーエレクトロニクス、またはエアコンコンプレッサーの作業は実施しないでください。
- ▶ オレンジ色の高電圧ケーブルを、損傷したり、高電圧車両電気システムから取り外したり、切り離したりしないでください。
- ▶ 事故の後など、損傷したハイブリッドシステムの部品に触れないでください。
- ▶ 高電圧バッテリーを取り外さないでください。

認知されにくい状況

電動走行時は、内燃エンジン作動時より車両の走行音が大幅に減少します。交通静音化対策地域、後退または駐車時など特定の状況下では、他の通行者に車両の音が聞こえないことがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。

ハイブリッドシステムの緊急スイッチ OFF

i インフォメーション

事故後の迅速で安全なレスキュー措置または復旧を確実にするため、「E-hybrid」ロゴを取り外さないでください。

ハイブリッドシステムを危険な高電圧状態から保護するため、次のような状況では自動的にスイッチが OFF になります。

- シートベルトプリテンショナーまたはエアバッグが作動するような事故。
- ハイブリッドシステムに短絡が検出された場合。
- ハイブリッドシステムのコネクタが切り離された場合。

ハイブリッドシステムの緊急スイッチ OFF が作動すると車両を始動できません。

- ▶ ご自身では絶対にハイブリッドシステムを再起動しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

サーキット走行



公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。この点検および整備には、各サーキットでの走行後に点検を実施し、必要に応じて個別に構成部品を交換し、規定された期間後には部品全体をオーバーホールすることが含まれます。

- ▶ サーキットで走行する前に最新の規約について必ず確認してください。ポルシェ正規販売店にお尋ねください。

ブレーキシステム

ブレーキフルードは時間とともに空気から湿気を吸収します。この水分吸収が沸点を下げ、高温でのブレーキ効率を大幅に低下させる可能性があります。サーキット走行時、ブレーキパッドおよびブレーキディスクには非常に高い負荷がかかります。

- ▶ ブレーキフルードが12か月以上経過している場合、サーキット走行前にブレーキフルードを交換してください。
- ▶ サーキット走行の前後に、ブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗点検を行ってください。

タイヤ

サーキット走行時、タイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ サーキット走行の前後に、タイヤの摩耗点検を行ってください。
- ▶ レース用タイヤを装着しないでください。ポルシェはレース用タイヤを承認していません。

エンジンオイル

- ▶ レースサーキット走行の前にエンジンオイルを最大のマーク位置まで補充します。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、エンジンオイルレベルを確認します。
 - ▶ 「インストールメント クラスター」の章 (39ページ) を参照してください。
 - ▶ 「エンジンオイル」の章 (66ページ) を参照してください。

海外での走行の前に



ポルシェのすべてのモデルがすべての国で販売されているわけではありません。そのため、スペアパーツが利用できないかもしれず、ポルシェ正規販売店がすべての修理作業を実施できないかもしれません。海外で走行する前に、次の情報をご確認ください。

- 車両故障時に修理を受けることができますか?
- 車両は技術的調整を必要としていますか?
- 燃料のオクタン価レートは十分ですか?
- 左側 / 右側通行の違いに合わせてヘッドライトを切り替える必要がありますか?
- ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

車両のデータ処理



車両には電子コントロールユニットが取り付けられています。車両の安全上必要なものもあれば、走行時にアシストするもの (ドライバーアシスタンスシステム) もあります。さらに、車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

各車両には固有のシャーシ番号があります。この車両識別番号 (VIN) は、欧州連合内の地方自治体を通じて、車両の現在の所有者と以前の所有者までさかのぼることができます。車両登録番号の使用など、車両から収集されたデータをオーナーまたはドライバーまでさかのぼって追跡する他の方法もあります。

車両のテクニカルデータの保存

電子コントロールユニットには、車両ステータス、構成部品の負荷、サービス要件、イベントまたは故障に関する技術的な情報を一時的または恒久的に保存できるデータメモリーがあります。一般的に、この技術的な情報には、次に挙げる構成部品、モジュール、システムまたは環境のステータスが記録されています。

- システム構成部品の操作モード (例: 給油レベル)
- 車両および個々の構成部品 (例: ホイール回転数、速度、減速、横加速度) に関するステータスメッセージ
- 重要なシステム構成部品の作動不良や故障 (例: ライト、ブレーキ)
- 車両を損傷する可能性のあるイベントに関する情報
- 非常な走行状況での車両のレスポンス (例: エアバッグの展開、スタビリティコントロールシステムの作動)
- 環境要因 (例: 温度)

このデータは、コントロールユニットが実際に機能するために使用され、さらに故障の検出、修理、メーカーによる車両機能の最適化にも使用されます。このデータの大半は蓄積されることなく、車両内でのみ処理されます。データのわずかな一部分のみがイベントメモリーまたは故障メモリーに保存されます。さらに、車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

テクニカルデータの読み出し

必要に応じて、有償でワークショップなどの技術専門家の助けを借りて、車両にのみローカルで保存されたデータを読み出すことができます。このために法定規定が存在する個々のケースでは、州当局からの要求に応じてメーカーが保存したデータを必要な範囲で開示することが、メーカーとしてのボルシェに義務付けられます (例: 犯罪行為の場合の事実認定のため)。車両の整備時、サービス ネットワーク作業者 (例: ワークショップ、ロード サービス、メーカー) は、車両からこの技術な情報を読み出すこととなります。サービスには修理サービス、サービス プロセス、保証請求および品質保証基準が含まれます。データは、車両の OBD (オンボード診断) への、法的に規定された接続を使用して読み出されます。データは、該当するサービス ネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されます。また、製品監視義務に準拠

し、あるいは品質向上などのためボルシェに送信される場合があります。車両の故障メモリーおよびイベントメモリーは、修理またはサービス実施とともに修理ワークショップでリセットされる可能性があります。

車両の機能の利用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアおよび住所録データなどの情報、またはナビゲーション目的地およびその他の設定を車両のコンフォート機能およびインフォテインメント機能に入力できます。このデータは車両にローカル保存されるか、車両に接続しているデバイス (例: 携帯電話、USB スティック、MP3 プレイヤー) に保存されます。車両にこのデータが保存された場合、いつでも削除できます。このデータは特にオンライン サービス使用中、ユーザーが選択した設定にのみ基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。車両に必要な装備がある場合は、接続した携帯電話または他の携帯機器を車両に内蔵された制御装置を使用して制御することができます。携帯電話からの画像およびサウンドは、マルチメディア システムを介して出力できます。特定の情報はユーザーの携帯電話に転送することもできます。これは装備品のタイプにより異なりますが、一般的な車両情報または位置データなどを含みます。これにより、ナビゲーションシステムの使用やミュージック再生など、選択した携帯電話アプリを最適な方法で使用できます。携帯電話による車両データへの能動的なアクセスは行われません。携帯電話が受信したデータを処理する方法は、使用している該当アプリのプロバイダーが定めます。携帯電話のアプリやオペレーティング システムによって、設定を構成できるかどうか、構成できるのであればどの設定を構成できるかが異なります。

オンライン サービスの使用

車両にワイヤレス ネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステムとの間でデータ交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器 (携帯電話など) により、ワイヤレス ネットワークに接続可能です。このワイヤレス ネット

ワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これにはボルシェまたは他のプロバイダーによる、利用可能なオンライン サービスおよびアプリケーション / アプリが含まれます。

ボルシェ オンライン サービスでは、様々な機能が適切な場所 (例: ボルシェ コネクト ウェブサイト) にまとめられており、関連するデータ保護規定情報が提供されます。オンライン サービスの提供のため個人データが使用されることがあります。必要なデータ交換は保護された接続を経由して行われます。この目的でボルシェ IT システムなどが構築されています。サービス提供に必要なものを超えた個人データの収集、処理、使用は、法的な認可または承諾に基づいてのみ行われません。

通常、サービス (有料の場合が多い) や機能を、場合によっては車両のデータ接続全体を、有効または無効にできます。法律により定められた特定の機能およびサービスは除外されます。

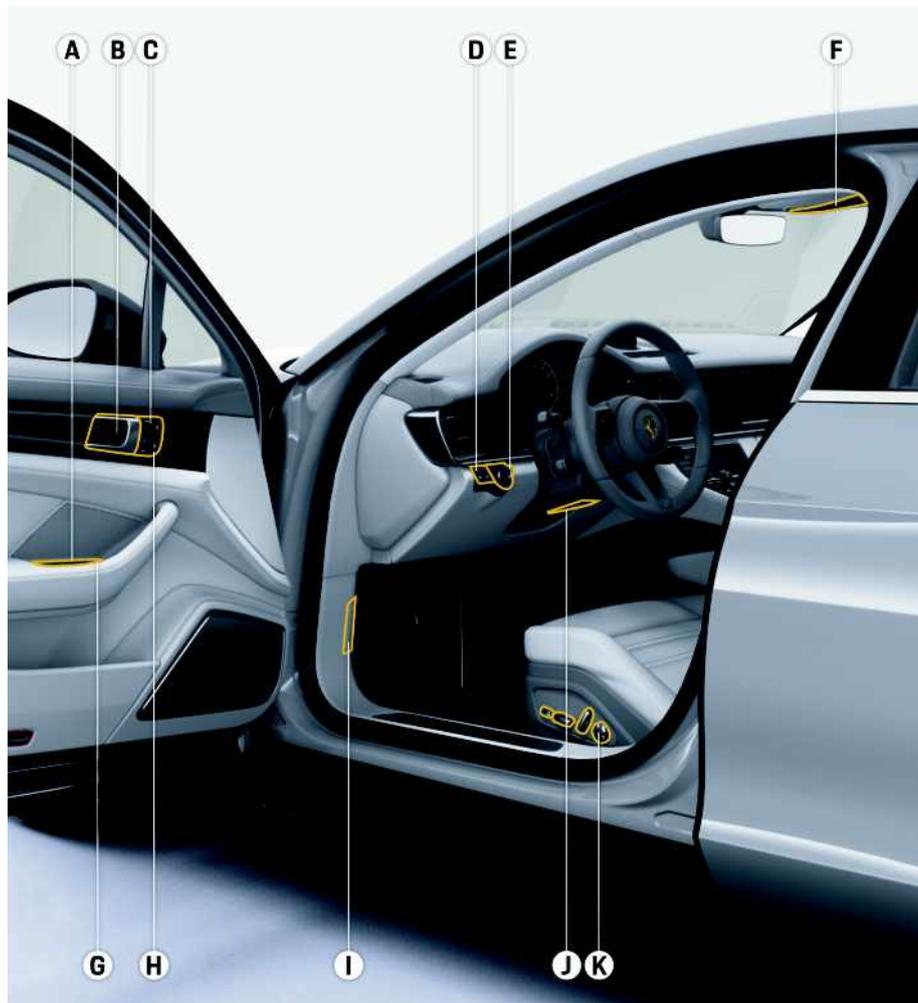
他のプロバイダーのオンライン サービスを使用するためにオプションが存在する場合、それらは該当するプロバイダーの責任であり、そのプロバイダーのデータ保護ポリシーおよび使用規約の対象です。この場合、ボルシェはデータ交換に何の干渉もしません。そのため、第三者サービスにおけるそうしたデータ収集や個人データの種類の種類、範囲および目的に関する情報は、該当するサービス プロバイダーから入手してください。

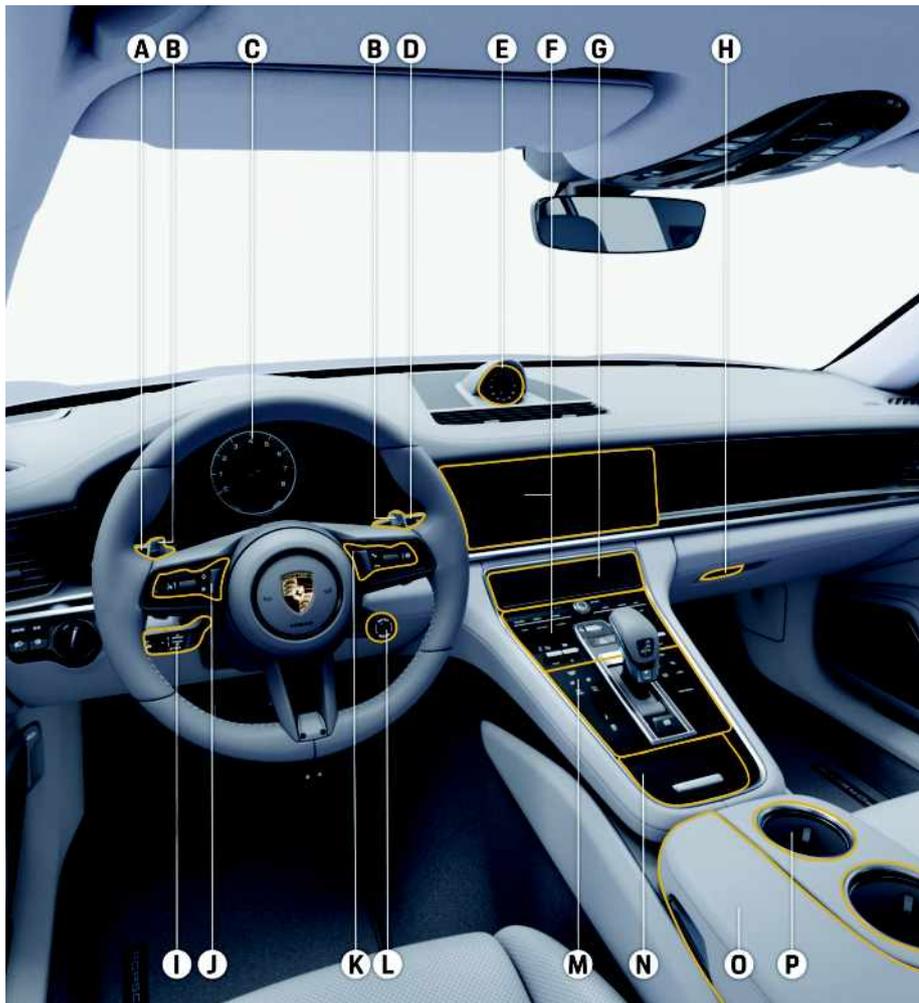
概観図

以下のページでは、車両のすべての部位の外観図が、簡単な説明文とともに表示されます。詳細な情報は関連ページでご確認いただけます。

運転席

- A パワー ウィンドウおよび
リヤ リッド ▶ p. 50
- B ドア オープナー
- C パーソナル設定用メモリー ボタン ▶ p. 203
- D ライト コントロール パネル ▶ p. 247
- E イグニッション ロック、ステアリング ロック ▶ p. 70
- F オーバーヘッド コンソール ▶ p. 22
- G ドア ミラーの調整 ▶ p. 243
- H セントラル ロック ▶ p. 123
- I ボンネット リリース ▶ p. 241
- J ステアリング ホイール調節 ▶ p. 118
- K シート調節 ▶ p. 109





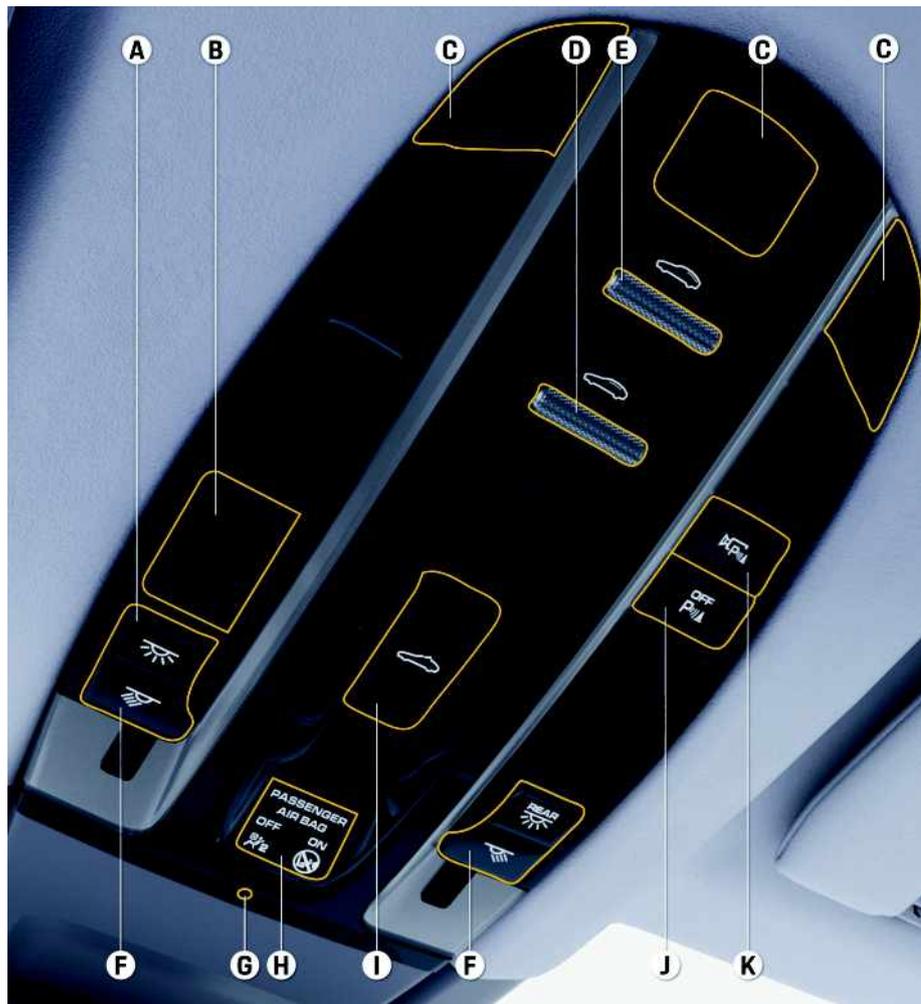
ポルシェ アドバンスド コックピット

- | | | | |
|---|------------------------------------|---|--------|
| A | 方向指示器およびハイビーム | ▷ | p. 247 |
| B | PDK シフト パドル | ▷ | p. 167 |
| C | インストルメント パネル | ▷ | p. 39 |
| D | フロント ウィンドウ ワイパー | ▷ | p. 212 |
| E | スポーツ クロノ ストップウォッチ | ▷ | p. 119 |
| F | ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) | ▷ | p. 231 |
| G | 電動エア ベント | ▷ | p. 57 |
| H | グローブ ボックス | ▷ | p. 137 |
| I | クルーズ コントロール | ▷ | p. 78 |
| J | アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) | ▷ | p. 32 |
| K | レーン キープ アシスト | ▷ | p. 269 |
| L | レーン チェンジ アシスト | ▷ | p. 273 |
| M | 交通渋滞アシスト | ▷ | p. 165 |
| N | ボイス コントロール、インフォテインメント、インストルメント パネル | ▷ | p. 44 |
| O | 電話コントロール、インフォテインメント、インストルメント パネル | ▷ | p. 44 |
| P | モード スイッチ | ▷ | p. 285 |
| Q | コントロール パネル | ▷ | p. 21 |
| R | 灰皿 | ▷ | p. 122 |
| S | アームレスト、小物入れ | ▷ | p. 137 |
| T | カップホルダー | ▷ | p. 73 |

コントロールパネル

- A エアコンシステム ▶ p. 54
- B ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) ▶ p. 231
- C シートヒーター、シートベンチレーター ▶ p. 111
- D ボリュームスイッチ、ミュート ▶ p. 231
- E ロータリー プッシュ ボタン (PCM の操作 用) ▶ p. 231
- F ハザード ライト ▶ p. 247
- G SPORT 走行プログラム ▶ p. 285
- H ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) ▶ p. 62
- I ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) ▶ p. 281
- J エレクトリック パーキング ブレーキ ▶ p. 209
- K INDIVIDUAL 走行プログラム ▶ p. 285



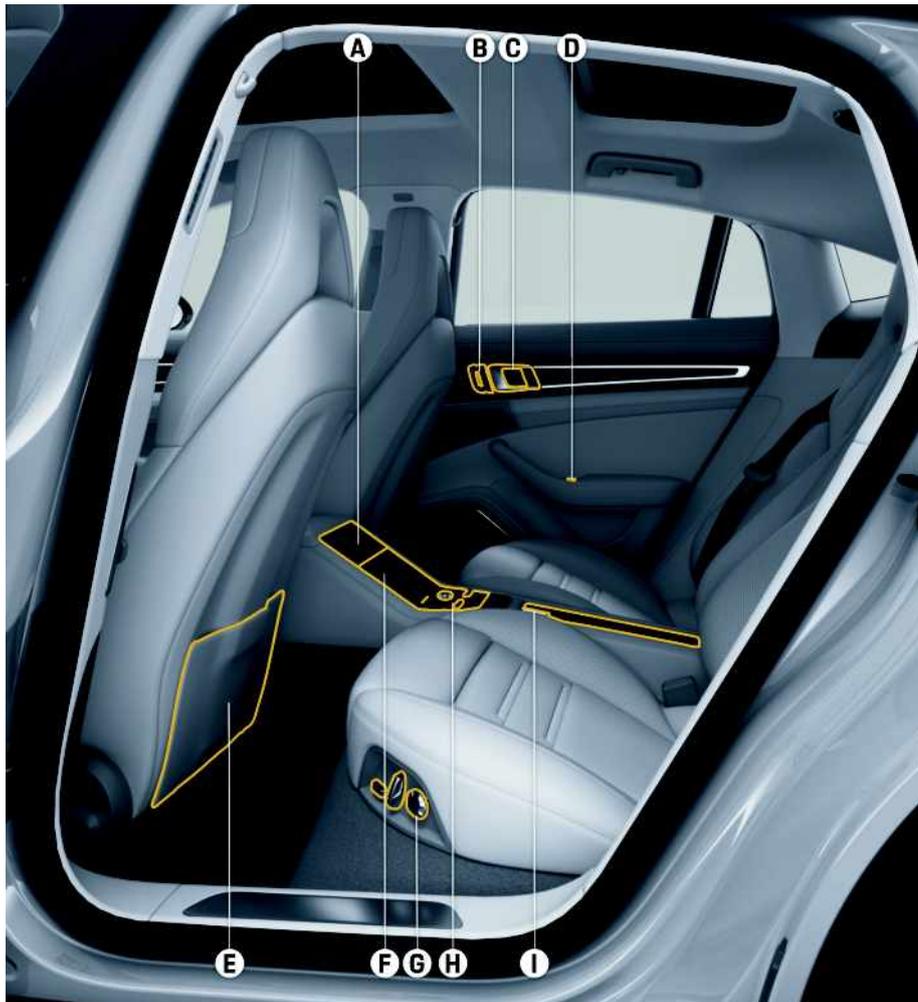


オーバーヘッドコンソール

- A インテリアライト ▶ p. 49
- B ハンズフリーマイク ▶ p. 108
- C 室内モニタリングシステムセンサー ▶ p. 51
- D フロントサンブラインド ▶ p. 51
- E リヤサンブラインド ▶ p. 51
- F 読書灯 ▶ p. 49
- G オリエンテーションライト ▶ p. 153
- H 助手席エアバッグ OFF/ON 警告灯 ▶ p. 263
- I パノラミックルーフシステム ▶ p. 200
- J パークアシスト OFF ボタン ▶ p. 202
- K サラウンドビュー作動 ▶ p. 202

後部座席

- | | | | |
|---|-----------------|---|--------|
| A | エアベント | ▷ | p. 57 |
| B | パーソナル設定用メモリーボタン | ▷ | p. 203 |
| C | ドアオープナー | | |
| D | パワーウィンドウ | ▷ | p. 50 |
| E | マップポケット | | |
| F | タッチディスプレイ | ▷ | p. 231 |
| G | シート調節 | ▷ | p. 109 |
| H | コントロールユニット | ▷ | p. 24 |
| I | 小物入れ | ▷ | p. 138 |



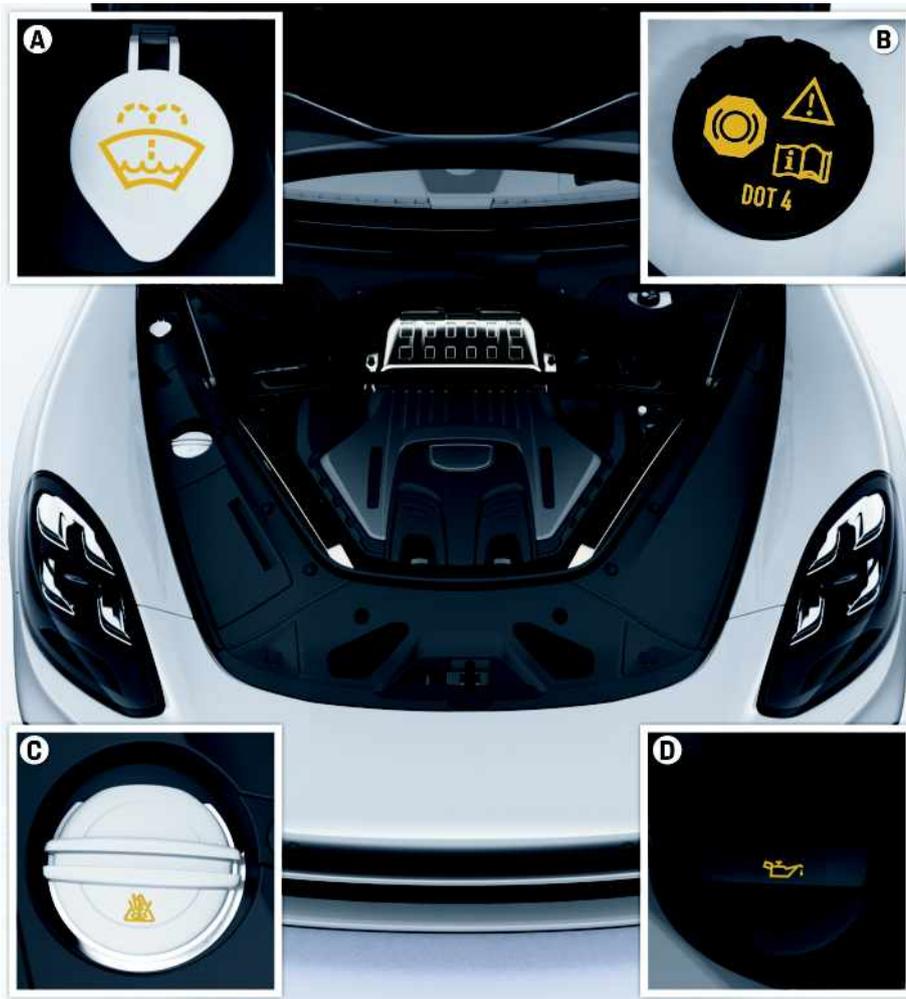


リヤコントロールパネル

- A エアコン システム ▶ p. 54
- B ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) p. 231
- C ロータリー プッシュ ボタン (PCM の操作 ▶ p. 231
用)
- D シート ヒーター、シート ベンチレーター ▶ p. 111
- E ロール アップ式 サンブラインド ▶ p. 51
- F リヤ ロール アップ ブラインド ▶ p. 52

エンジンコンパートメント フィラー 開口

- | | | | |
|---|-------------|---|--------|
| A | ウォッシャー液 | ▷ | p. 53 |
| B | ブレーキフルード | ▷ | p. 211 |
| C | クーラント (冷却水) | ▷ | p. 76 |
| D | エンジンオイル | ▷ | p. 66 |





センサーおよびカメラ¹

- | | | | |
|---|------------------------|---|--------|
| A | サラウンドビュー (RTV) | ▷ | p. 200 |
| B | レーンキープアシスト | ▷ | p. 269 |
| | ダイナミック ハイビーム | ▷ | p. 247 |
| C | パークアシスト | ▷ | p. 200 |
| D | アダプティブクルーズコントロール (ACC) | ▷ | p. 32 |
| E | ナイトビューアシスト | ▷ | p. 183 |
| F | レーンチェンジアシスト | ▷ | p. 273 |
| G | 足動作でリヤリッドを開く | ▷ | p. 260 |

1. 国と装備によって異なります

実用的なヒント

以降のページには、車両の各エリアに関する実用的なヒントが掲載されています。

実用的なヒント

一般的な操作 ポルシェ アドバンスド コックピット および ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)

項目	ヒント
アシスタントシステムの操作	アシスト システムは、アシスト  のダッシュボードのタッチディスプレイで ON/OFF を切り替えることができます。アシスト システムの事前設定は、アシスト  ▶ オプション  ▶ アシストシステム設定で行えます。
車両設定の作成	一般的な車両設定は、車両  ▶ 制御  ▶ 車両 (車両設定) または 車両  ▶ 制御  ▶ 結果表示 (PCM タッチディスプレイおよびインストルメント クラスタ設定) で行えます。
インストルメント クラスタの操作	インストルメント パネルの左右に統合されているディスプレイは、マルチファンクションステアリング ホイールの右側のロータリー プッシュ ボタンを回して押すと表示されます。 ▶ 「インストルメント クラスタ」の章 (39ページ) を参照してください。
マルチファンクションステアリングホイールの◇ボタンの使用	マルチファンクションステアリングホイールの◇ボタンに、様々な車両および情報機能 (ラジオ / メディア再生、ナビゲーションなど) を自由に割り当てることができます。 ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。
情報ウィジェットとホーム画面によるクイックアクセス	情報ウィジェットとホーム画面  を利用すると、最も重要な車両および情報機能にすばやくアクセスでき、しかも個別の設定ができます。
デバイス マネージャーを開く	接続はデバイス マネージャーを使用して一元管理できます (例: 電話または Bluetooth® オーディオ プレーヤに接続する)。 ▶ フッターの  または  を選択してください (接続状態により異なります)。

項目	ヒント
ボイスコントロールの作動	<p>ステアリング ホイール左側のレバーにある  ボタンを押すと、アプリケーションに応じて様々な機能が起動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 短く押す：PCMのボイスコントロールが有効になります。 - 長押し：Siri 音声認識が有効になります (Apple CarPlay と連動した場合のみ)。

接続した 2 台の携帯電話を切り替える	<p>携帯電話が PCM に既に接続されている場合は、もう 1 つの携帯電話を PCM に接続し、ユーザーが 2 台の携帯電話を切り替えることも可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ヘッダーの右上で、現在接続されている携帯電話を選択します。既に接続している 2 つのデバイスが表示されます。 ▶ 希望する携帯電話を選択します。
---------------------	---

ボトルホルダー

トピック	ヒント
ボトルの収納	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ボトルはドアの小物入れに収納してください。 ▶ 「カップホルダー」の章 (73 ページ) を参照してください。

エアコン システム

項目	ヒント
上部ベンチパネルのON/OFF	<p>上部ベンチレーション パネルは、ダッシュボードのタッチ ディスプレイで個別に ON/OFF を切り替えることができます。</p> <p>▶ エアコン  ▶ エア  ▶ ベンチパネル</p>
センター ベントの調整	<p>フロントまたはリア センター コンソールのセンター エア ベントは電動制御されており、下のタッチ ディスプレイから制御できます。</p> <p>▶ エアコン  ▶ ベント </p>
空気の質に基づき外気供給を調整	<p>上部ベンチレーション パネルは、ダッシュボードのタッチ ディスプレイで個別に ON/OFF を切り替えることができます。</p> <p>▶ エアコン  ▶ 快適  ▶ 自動内気循環</p>

シート

項目	ヒント
マッサージ機能の操作	<p>装置のバージョンに応じて、シートはマッサージ機能の特徴とし、それはシート コンソール上のボタンおよびタッチボード (ドライバおよび助手席) のタッチ ディスプレイを介して、または後部 (後部座席) の後部タッチ ディスプレイを介して操作することができます。</p> <p>▷ 「シート」の章 (109ページ) を参照してください。</p>

セントラル ロッキング

項目	ヒント
車両のロックを解除すると、1つのドアのみロックが解除されます。	<p>ドアのロックおよびロック解除の設定を変更します。設定内容に関係なく、すべてのドアをロック解除できます。</p> <p>▶ キーの  ボタンを5秒以内に2回押してください。</p> <p>この設定は、車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ロック で変更することができます。</p>
足動作でリヤ リッドを開く	<p>コンフォート アクセス装備車は、足動作でテールゲートを操作することができます。</p> <p>▷ 「リヤリッド」の章 (260ページ) を参照してください。</p>

トピック

以下のページでは各トピックが50音順で表示されています。

アダプティブクルーズコントロール (ACC)

一般的な安全に関する指示



警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは、システムが作動している場合でも安全な車間距離を保ち、適切な速度で走行するなどして安全運転に努めてください。このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ システムによる減速が不十分な場合には、フットブレーキを使用して直ちに車両を減速させます。
- ▶ 常に車両を自分でコントロールできるようにしてください。



警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況

現在の交通状況では前走車との安全な距離を保って走行できない場合や一定の車速で走行できない場合、このシステムを使用すると事故を起こす危険があります。

車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事のエリアを走行する場合、車両は設定速度まで加速できません。

- ▶ 道路工事が行われている交通量の多い場所、市街地、私道または野道、あるいは交通静音化対策地域では、システムを使用しないでください。
- ▶ 車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事が行われている地域では、システムを一時的にOFFにしてください。

レーダーセンサー



図2：レーダーセンサーの位置



インフォメーション

- ▶ レーダーセンサーの正常な機能を維持するため、センサーに付着した汚れ、氷、雪などはすぐに取り除いてください。



警告

路面状態や天候が悪い状況

雨、雪、氷、霧、緩い砂利、水しぶきなどでレーダーセンサーの視界が妨げられる場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

氷、豪雨、ガードレール、トンネルの入り口などの反射物は、レーダーセンサーの機能に悪影響を及ぼす可能性があります。インストルメントクラスターに、システムが使用できないことを示すメッセージが表示されます。

- ▶ このような状況ではシステムを使用しないでください。



警告

レーダーセンサーに対する損傷

駐車場の段差などで、バンパー、ホイールアーチ、アンダーボディに衝撃や損傷が発生すると、センサーが作動することがあります。これは、アダプティブクルーズコントロールの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

例外的な状況



警告

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のシステム制限

- ▶ Porsche InnoDrive を使用している場合でも、下記のACCの例外を考慮してください。
 - 安全のため、路面状態や天候が悪い状況 (雪に覆われている、または滑りやすい路面、霧、石はね、豪雨、またはハイドロプレーニングなど) ではACCを使用しないでください。
 - 車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事が行われている地域を走行する際には、ACCを一時的にOFFにしてください。これにより、このような状況で車両が設定速度まで加速するのを防ぎます。
 - 渋滞の最後尾など、停車車両に近づくと、ACCは限られた範囲でしか動作しません。
 - ACCは人、動物、横断物、接近する物には反応しません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

▲ 警告

アクセルペダルに足が置かれている

アクセルペダルに足が置かれている場合、システムが自動的にブレーキをかけることはありません。足をアクセルペダルに置くと、クルーズコントロールおよび車間距離制御が無効になることがあります。

▶ システムが作動している場合は、アクセルペダルから足を離してください。

▷ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の基本的な作動

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、アクセルペダルを踏まなくても、約

30~210 km/h (20~130 mph) の範囲で希望する速度と距離を維持したまま走行できます。

設定した速度よりも遅い車両を同一車線上に検出すると、ACC は既定の車間距離を自動的に維持します。アダプティブクルーズコントロールは、前走車との車間距離が短くなるとブレーキをかけ、車間距離が長くなると加速します。

また ACC は、前の車両が停止すると自車両を減速して停止させ、前の車両が 15 秒以内に再び動き始めると自動的に運転を再開します。それ以外の場合は、ドライバーが自動速度制御と車間距離制御を再開できます。

アクセルペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。保存した希望の速度と車間距離が保持され、アクセルペダルを離すと復元されます。車両の速度はブレーキをかけることでいつでも減速できます。これにより、システムは停止状態に切り替わりません。

各操作部



図 3 : Porsche InnoDrive の操作

R システムの ON/OFF を切り替えて、オプションメニューを開く

S オプションメニューを開く (システムが ON の場合)

1 設定速度を下げる

2 速度の設定 / 加速

3 キャンセル：制御を中断する

4 再開：制御を再開し、速度を設定する

ディスプレイの要素

アダプティブクルーズコントロールに関するすべての重要な情報、メッセージ、および警告は、インストールパネルの速度 & アシスト機能ディスプレイの ACC メインメニューに表示されます。

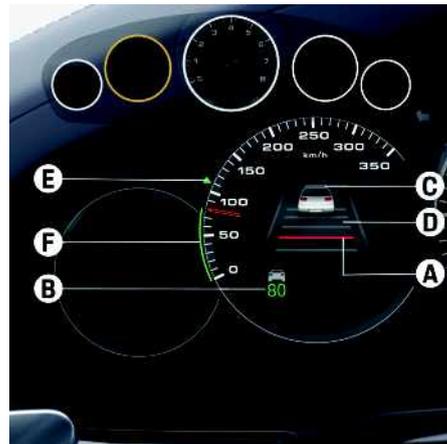


図 4 : 速度 & アシスト機能ディスプレイの ACC

A 前走車との設定車間距離

B ステータス表示と目標速度

C 検出された前走車

D 前走車との現在の車間距離

E 前走車の現在の速度

F 設定目標速度の表示

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を ON にすると、インストールパネルの速度 & アシスト機能ディスプレイにステータスディスプレイ B が表示されます。

アダプティブクルーズコントロールが作動すると、ステータスディスプレイ B が緑色になります。

アダプティブクルーズコントロールの作動を中断すると、ステータスディスプレイ B が灰色になります。



アダプティブクルーズコントロールが ON で目標速度が保存されていません。



目標速度が保存されており、前方の車両は検出されていません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



目標速度が保存されており、前方に車両が検出されています。

ACC の ON/OFF の切り替え

常に、前回選択されたシステムが ON になります。ON になった時点では、システムは停止中になっています。コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

ACC を ON にする

- ✓ ドライバー アシスタンス システムがまだ ON になっていない。
- 1. レバーの R ボタンを押します。
ドライバー アシスタンス システムのオプションメニューがインストルメントパネルに表示されます。
- 2. ACC をまだ選択していない場合は、ステアリングホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用して ACC を選択し、ボタンを押して確定します。
ACC が ON になり、停止します。

既に作動中のドライバー アシスタンス システムから ACC への切り替え

- 1. レバーの S ボタンを押します。
ドライバー アシスタンス システムのオプションメニューがインストルメントパネルに表示されます。
- 2. ステアリングホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用して ACC を選択し、ボタンを押して確定します。
ACC が ON になり、停止します。

i インフォメーション

作動したドライバー アシスタンス システムは、OFF にして作動待機が復元された後でも、再び作動します。

ACC を OFF にする

- ▶ レバーの R ボタンを押します。

設定速度目標が削除されます。
目標車間距離が保存されます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) ON 時の作動モード

アダプティブクルーズコントロール ON 時には、3 種類の作動モードがあります。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動

アダプティブクルーズコントロールが自動的に速度および前走車との車間距離を制御します。
ステータスディスプレイ B は緑色です。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のスタンバイ

ブレーキペダルを踏んだときや、レバーを下方 (3 の位置、キャンセル) に押しして中断したときは、クルーズコントロールおよび車間距離制御が解除されます。保存された希望速度や設定済みの希望車間距離は保持されます。ステータスディスプレイ B が灰色になります。アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の再開に関するインフォメーション:
▶ 「アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の中断と再開」の章 (36 ページ) を参照してください。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 停止中

アクセルペダルを踏むと、クルーズコントロールおよび車間距離制御は停止します。
インストルメントクラスターに ACC が停止中であることを示すメッセージが表示されます。
保存された希望速度や設定済みの希望車間距離は保持されます。
ステータスディスプレイ B が灰色になります。

アクセルペダルから足を放すと、アダプティブクルーズコントロールは再び作動します。

目標速度の設定および変更

- ✓ アダプティブクルーズコントロールは ON です。
- ✓ 前方に静止した物体は検出されていません。
例外: 静止物が車両として認識されています。

目標速度の設定

1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. ステアリングホイールのレバーを前方に素早く押します。
現在の速度が目標速度として保存され、自動的に維持されます (約 30~210 km/h の制御範囲内)。ステータスディスプレイ B に緑色で表示されます。
緑色のバー F は車両の設定目標速度を示します。
3. アクセルペダルから足を放してください。
アダプティブクルーズコントロールが作動しました。

i インフォメーション

前方に静止物が検出されていて、レバーを前方 (1 の位置) に押すと、インストルメントクラスターに「ACC cannot be activated (ACC 作動不可)」のメッセージが表示されます。

目標速度を上げる

- ✓ ACC が作動している。
- ▶ ステアリングホイールのレバーを前方 (1 の位置) に短く押す (1 km/h 単位) か、押し続けます (10 km/h 単位)。
ステータスディスプレイ B が新しく設定された目標速度を表示します。
緑色のバー F は車両の設定目標速度を示します。

目標速度を下げる

- ✓ ACC が作動している。
- ▶ ステアリングホイールのレバーをステアリングホイール方向 (2 の位置) に短く引く (1 km/h 単位) か、引き続けます (10 km/h 単位)。
ステータスディスプレイ B が新しく設定された目標速度を表示します。
緑色のバー F は車両の設定目標速度を示します。

目標車間距離の設定

前走車との車間距離は 5 段階に設定できます。段階 3 をお勧めします。車間距離は走行速度によって変わります。車両が減速すると車間距離は短くなり、加速すると長くなります。



図 5：目標車間距離の設定

i インフォメーション

システムディスプレイが作動していない場合、初めてロッカースイッチ Z を押すと、目標距離が変更されず、ドライバーアシスタンスシステムのメインメニューが表示されます。

目標車間距離を長くする

- ▶ ロッカースイッチ Z を上方向に押します。
前走車 C までの設定車間距離表示 A の該当距離セグメントが表示されます。

目標車間距離を短くする

- ▶ ロッカースイッチ Z を下方向に押します。
前走車 C までの目標車間距離表示 A の該当接近セグメントが表示されます。

前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、インストルメントパネルまたはステータスディスプレイ B に車両のシンボルマーク C が表示されます。

灰色のゾーン D が、前走車との現在の車間距離を示します (図 4)。

前走車 C までの距離が短ければ短いほど、ディスプレイに車両は大きく表示されます。前走車 C までの距離が長ければ長いほど、ディスプレイに車両は小さく表示されます。

シンボル	120 km/h での	走行に適した車間距離
	流れに乗った高速走行	約 33 m (± 約 1 秒)
	流れに乗った少し余裕のある走行	約 43 m (± 約 1.4 秒)
	「前走車との車間距離が 2 秒」相当	約 60 m (± 約 1.8 秒)
	郊外道路での走行	約 77 m (± 約 2.2 秒)
	交通量が少ない道路での走行	約 87 m (± 約 2.6 秒)

⚠ 警告 近すぎる車間距離

前方車両との車間距離が近すぎると、衝突する恐れがあります。

- ▶ 常に各国で規定されている距離を維持してください。

自動ブレーキで停車するまで

アダプティブクルーズコントロールが作動している場合、前走車が停止すると、制御範囲内で車両が減速して停車します。

インストルメントクラスターのインジケーターライト **HOLD** が点灯します。

車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。HOLD 機能に関するインフォメーション:

- ▶ 「HOLD 機能」の章 (280 ページ) を参照してください。

i インフォメーション

交通状況によっては (例えば、ゆっくりとした交通の流れの中では)、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

i インフォメーション

車間距離制御の作動中、または車両が停止状態に維持されているとき、ブレーキペダルの感触が変化したり、油圧作動音が聞こえたりすることがあります。これはシステムの正常な作動です。故障ではありません。

再発進

アダプティブクルーズコントロールの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動

- ▶ ステアリングホイールのレバーを上方 (4 の位置、再開) に押してください。
– または –
アクセルペダルを短く踏んでください。
車両が自動的に再発進します。
渋滞の場合、数秒以内に再自動発進します。

i インフォメーション

状況に応じて、アダプティブクルーズコントロールは渋滞の場合の再自動発進をサポートします。これは、低速走行する交通状況での快適な制御を可能にします。



警告

障害物がある場合の発進

少し進んでは止まる交通状況下では、自車と前走車との間に障害物がある場合でも、車両は再発進する可能性があります。その結果、衝突するおそれがあります。

- ▶ この場合はすぐにブレーキをかけてください。

i インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のスタンバイ

自動車速制御および自動車間距離制御は、車両が停止中または走行中、前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

- ▶ ステアリングホイールのクルーズコントロール操作レバーを上方 (4 の位置、RESUME) に押してください。
– または –

速度を設定してください。

アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の中断と再開

クルーズコントロールおよび車間距離制御の中断 - キャンセル

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
– または –
ステアリングホイールのレバーを下方に押します (3 の位置、キャンセル)。
アダプティブクルーズコントロールが停止します。
保存されている目標速度と目標車間距離が保持されます。
ステータスディスプレイ B が緑色から灰色になります。

i インフォメーション

車両が停止している場合にのみ、レバーを使用して速度制御および距離制御をキャンセルできます。ACCも車両が停止中の場合にのみ作動できます。

クルーズコントロールと車間距離制御の再開 - 再開

- ▶ ステアリングホイールのレバーを上方に押します (設定 4、再開)。
前走車が目標速度よりも遅く走行していることが検出される場合、および先行車両との車間距離があらかじめ設定した車間距離未満である場合を除き、車両は保存されている目標速度になるまで加速します。
ステータスディスプレイ B が灰色から緑色になります。

i インフォメーション

クルーズコントロール操作レバーを 3 の位置 [- CANCEL] に押して、自動車速制御および自動車間距離制御を中断した場合、発進後、前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

ACC 警告メッセージ

アダプティブクルーズコントロール作動中 (ACC active) のドライバーへの運転操作の要求

システムが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合は警告音が鳴り、インストルメントパネルに警告シンボルが表示されます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 警告メッセージに関するインフォメーション:

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86 ページ) を参照してください。



警告

システムによる自動ブレーキ中の制動力不足

この場合、アダプティブクルーズコントロールシステムのブレーキ制動力では衝突を回避するのに不十分です。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の例外

アダプティブクルーズコントロール (ACC) が OFF になっているため、使用できない

- イグニッションが OFF のとき
- PSM が OFF のとき
- 運転席ドアが開いており、運転席シートベルトを着用していない

- エレクトリック パーキング ブレーキが作動しているとき
- セレクター レバーが N、R、および P の位置にあるとき
- ゆるやかな上り坂や下り坂で停車したとき

車両を正しく検知できない交通状況

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダー センサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。



警告

検出されない車両または物体

レーダー センサーは、車両の前方の狭い円錐形の領域を検出します。その結果、以下の状況では、車両または物体が時間内に検出されないか、検出できない場合があります。

- 車線変更、または割り込みをする車両の場合
- 投影面積が小さな車両、または幅の狭い車両の場合
- コーナーへの進入および脱出時
- 停車中の車両の場合
- オーバーハングの長い車両の場合
- 歩行者、自転車、動物の場合
- 道路上に障害物がある場合
- 対向車および交差車両の場合
- ▶ 必要に応じて適切な運転をし、ブレーキをかけてください。
- ▶ 細心の注意を払って運転し、交通状況と車両の周囲に常に注意を払ってください。

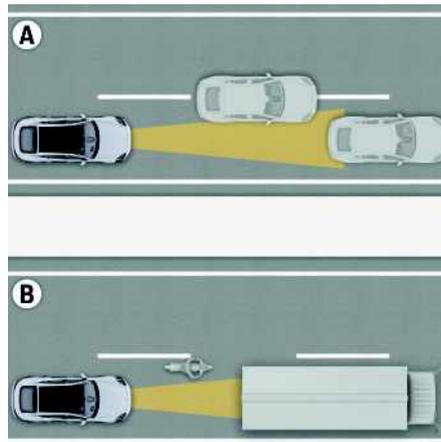


図 6：車線変更または割り込みをする車両、および幅の狭い車両

A - 前走車の車線変更 / 前方への割り込み

車線変更をする車両は、完全に同一走行車線に入りセンサーの検出範囲内に収まるまで検出されません。

B - 投影面積が小さな車両 / 幅の狭い車両

は検出できないか、検出のタイミングが遅れます。

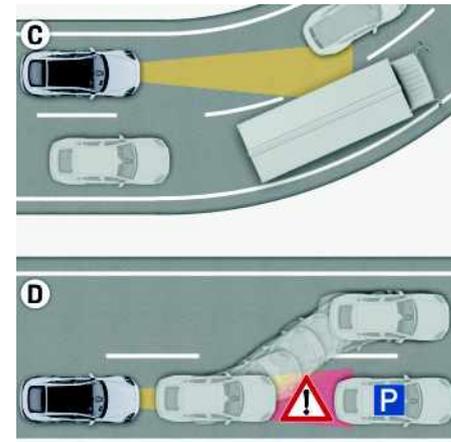


図 7：コーナリングおよび停車中の車両

C - コーナーへの進入 / 脱出

コーナーにさしかかったときやコーナーから出るときは、前走車を検出できなかったり、検出するタイミングがかなり遅くなったりする場合があります。また、システムが隣の車線を走行する車両に反応する場合があります。

D - 停車中の車両

前走車が車線変更した後や渋滞の終わりなど、レーダー センサーの監視範囲に突然現れる停車中の車両や障害物を、アダプティブクルーズコントロール (ACC) は限定的にしか検出できません。



警告

アダプティブクルーズコントロールの停車車両の不検出

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダー センサーは、停車中の車両を限定的にしか検出で

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

- きません。
- ▶ 十分注意して運転してください。
 - ▶ 必要に応じて減速します。

か



図8：オーバーハングの長い車両

E - オーバーハングの長い車両

オーバーハングの長い車両（木材運搬トラックなど）が前方にいる場合、レーダーセンサーはその車両の後部を検出できないか、正しく検出することができません。

は

▲ 警告 前走車の後部が正しく検出されない

ま

オーバーハングの長い車両が前方にいる場合、アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダーセンサーはその車両の後部を検出できないか、正しく検出することができません。

や

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速します。

ら

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

A-Z

インストルメント クラスタ



図9: インストルメント パネル

A - 速度 & アシスト機能ディスプレイ

外気温度、速度およびアシスト システムに関する情報は、チューブ 1 と 2 に表示されています。

速度 & アシスト機能ディスプレイの設定に関する情報:

- ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

B - タコメーター

タコメーター スケールのレッドゾーン開始地点は、エンジン許容最高回転数に対する視覚的な警告のためのものです。

C - デジタル スピード メーター / 出力 & 駆動ディスプレイ

速度、セレクター レバー位置、入っているギヤおよび起動中の走行プログラムに関する情報は、デジタルスピードメーターに表示されます。

D - 車両 & 情報ディスプレイ

車両ステータス、ドライバー アシスタンス、および日付と時刻に関する情報は、チューブ 4 と 5 に表示されています。

車両 & 情報ディスプレイの設定に関する情報:

- ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

E - パワー メーター

✓ E-Hybrid 車両

パワーメーターでは、現在の電気駆動力が 6 時方向の左側に表示され、現在の回生電力が 6 時方向の右側に表示されます。

F - クーラント温度計

車両の装備仕様により、クーラント温度が車両ディスプレイに表示される場合があります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

バーが左部分にあるとき - エンジン冷間時

- ▶ 高いエンジン回転数および重いエンジン負荷を避けます。

か

バーが中央部分にあるとき - 通常の作動温度

- ▶ 外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけた場合、バーがレッドゾーンに達することがあります。

さ

知識

クーラント温度が高すぎてエンジンが損傷する恐れがあります。

クーラント温度が異常に高くなる場合、クーラント温度計の指針が最高温度マークまで動きます。インストールメントパネルに警告メッセージが表示されます。警告灯  が点灯または点滅します。

- ▶ レッドゾーンに達した場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

ま

バーがレッドゾーンにあるとき - 作動温度が高すぎる

- ▶ クーラントレベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。車両が「通常」の状態に戻ったときに警告メッセージが消えない場合、クーラントレベルを点検してください。

わ

- ▶ 「クーラント（冷却水）」の章（76ページ）を参照してください。

F - バッテリーの充電状態

- ✓ E-Hybrid 車両

バッテリーの充電状態および電動走行可能距離を表示します。

A-Z

充電ポート リッド位置の表示



矢印は充電ポート リッドが付いている車両の側を示しています。

F - ブースト圧表示

車両の装備仕様により、ブースト圧が車両ディスプレイに表示される場合があります。

G - 燃料計

車体の傾きが変化する場合（上り坂や下り坂の走行など）、表示が少しずれることがあります。

燃料残量警告

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、残燃料低下警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
 - ▶ 「給油」の章（83ページ）を参照してください。

知識

燃料不足は、エミッションコントロールシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 燃料警告が表示された場合、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

フィルター フラップ位置の表示



矢印はフィルター フラップがある車両の側を示します。

警告灯およびインジケーター ライト

知識

不具合は警告灯によって表示されます。不具合の原因が解消した場合に限り、該当する警告灯が消灯します。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションをONにしたときに警告灯が短く点灯しないとき。
- エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅する。

ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告灯が表示されると、警告音も鳴ります。

特定のイベントが発生したとき、ドライバーにとって優先度が高いメッセージや、情報提供を目的としたメッセージがインストールメント クラスタに表示されます。このメッセージに了解すると、チューブメニューを開けるようになります。

- ▶ 「インストールメント パネルの操作」の章（44ページ）を参照してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

車両の装備に応じて、次の警告灯とインジケーター ライトが表示されます。



クーラント温度の警告灯

クーラント温度が高過ぎます。

- ▶ 運転を続けしないでください。適切な場所で安全に停車してください。
- ▶ 車両をOFFにして、冷却してください。
- ▶ ラジエーターおよび車両周辺のエア ガイ

ドが汚れていないか点検してください。
クーラント レベルを点検してください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
▷ 76ページの「クーラント (冷却水)」の章を参照してください。

エアバッグ警告灯

エアバッグシステムが故障している可能性があります。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
▷ 64ページの「エアバッグ システム」の章を参照してください。

シートベルト警告灯

シートベルトが着用されていないか、正しく着用されていません。
▶ シートベルトを正しく着用してください。
▷ 114ページの「シートベルト」の章を参照してください。

ブレーキ システム警告灯

警告灯が点灯している、または点滅している：ブレーキ システムが故障しています。ブレーキ フルード レベルが低すぎる可能性があります。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
▷ 209ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
▷ 211ページの「ブレーキ液」の章を参照してください。



エンジン制御システム警告灯

エンジン制御システムで重大な欠陥が検出されました。
▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
▶ 運転を続けしないでください。適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。
▶ ロードサイド アシスタンス サービスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。

ハイブリッド警告灯

ハイブリッドシステムまたは車両の高電圧バッテリーで重大な欠陥が検出されました。
▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
▶ 運転を続けしないでください。適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。
▶ ロードサイド アシスタンス サービスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。

ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) 警告灯

ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント機能が故障している可能性があります。道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
▷ 62ページの「エア サスペンションおよびレベルコントロール付きポルシェ アク



ティブ サスペンション マネージメント (PASM)」の章を参照してください。

中央の警報灯

少なくとも 1 つの警告メッセージが表示または保存されています。
▷ 86ページの「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章を参照してください。

ブレーキパッドの摩耗を示す警告灯

ブレーキパッドが摩耗しています。道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店でブレーキパッドを交換してください。¹
▷ 209ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

エレクトリックパーキングブレーキ警告灯

警告灯が点灯を続けている、または点滅している：エレクトリックパーキングブレーキが ON になっています。警告灯が点滅している：ブレーキシステムが故障しています。
▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。¹
▷ 209ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
▷ 281ページの「OFFにする」の章を参照してください。

アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯

アンチロックブレーキシステム (ABS) またはポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。ブレーキ



1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ブースターに不具合がある可能性があります。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

▶急ブレーキは可能な限り避けてください。制動距離が長くなることを考慮してください。

▶できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

▷ 281ページの「OFFにする」の章を参照してください。

ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) 警告灯

警告灯が点滅している：ボルシェ スタビリティ マネージメント ブレーキ プロセスが制御されています。

▷ 281ページの「OFFにする」の章を参照してください。

警告灯が点滅し続けている：ボルシェ スタビリティ マネージメントが故障しています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

▶ 過酷な走行条件下では急加速、急ブレーキ、急ハンドルを避けてください。

▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ボルシェ正規販売店で修理してください。¹

▷ 281ページの「OFFにする」の章を参照してください。

ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) OFF 警告灯

警告灯が点滅し続けている：ボルシェ ス

タビリティ マネージメントが故障しています。
道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

▶ 過酷な走行条件下では急加速、急ブレーキ、急ハンドルを避けてください。

▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ボルシェ正規販売店で修理してください。¹

▷ 281ページの「OFFにする」の章を参照してください。

ステアリング システム警告灯

ステアリング システムが故障している可能性があります。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。

▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

AWD システム警告灯

車両の AWD システムで不具合が検出されました。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。

▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹

タイヤ空気圧警告灯

ホイールまたはタイヤや新しく取り付けた空気圧センサーの登録プロセス中に、1つまたは複数のタイヤの圧力が低下した場合、またはタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障や一時的な不具合

が生じた場合、警告灯が点滅または点灯することがあります。

▶ 道路状況に合わせた速度と運転を心がけてください。急ブレーキや急ハンドルは避けてください。

▶ 適切な場所で安全に停車し、車両の電源を OFF にします。該当するタイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてシーラントを追加してください。次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。

▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、直ちにボルシェ正規販売店で修理してください。¹

アシスタンス システム警告灯

ドライバー アシスタンス システムが OFF になっています。

E-Sound 警告灯

E-Sound が OFF になっています。

▶ 電動モーターでの走行中、他の道路利用者があなたの車両の音に気付かない可能性があるため、細心の注意を払って走行してください。

▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。²

▷ 135ページの「車両設定」の章を参照してください。

距離警告灯

前方車両に接近しすぎているという危険を知らせます。

▷ 224ページの「ボルシェ アクティブセーフ (PAS)」の章を参照してください。



1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
2. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) 警告灯**

ボルシェ ダイナミック ライト システム プラスが故障しています。道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
- ▶ この故障が頻繁に発生するが継続している場合は、ボルシェ正規販売店で修理してください。¹

ライト警告灯

車両のライトが故障している可能性があります。道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

エンジン制御システム警告灯

エンジン制御システムで欠陥が検出されました。

- ▶ 道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。
- ▶ 道路状況に合わせた運転を心がけてください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。

ハイブリッド警告灯

ハイブリッドシステムまたは車両の高電圧バッテリーで欠陥が検出されました。

- ▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。

**レーンチェンジアシストのインジケーターステアリング**

レーンチェンジアシスト が作動しています。

- ▶ 273ページの「レーンチェンジアシスト (LCA)」の章を参照してください。
- ナイトビュー アシストのインジケーターステアリング**
- ナイトビュー アシストが作動しています。

▶ 183ページの「ナイトビュー アシスト」の章を参照してください。

HOLD 機能のインジケーターステアリング

HOLD 機能が作動しています。車両は、自動的に停止状態を保ちます。

- ▶ 280ページの「HOLD 機能」の章を参照してください。

ロービームインジケーターステアリング

ロービームヘッドライトが ON になっています。

ダイナミックハイビームインジケーターステアリング

ダイナミックハイビームが ON になっています。交通状況に応じて自動的にハイビームヘッドライトの ON と OFF が切り替わります。

- ▶ 247ページの「ライト」の章を参照してください。

ハイビームのインジケーターステアリング

ハイビームヘッドライトが ON になっています。

- ▶ 247ページの「ライト」の章を参照してください。

**フォグライトインジケーターステアリング**

フォグライトが ON になっています。

- ▶ 247ページの「ライト」の章を参照してください。
- リヤフォグライトのインジケーターステアリング**
- リヤフォグライトが ON になっています。

- ▶ 247ページの「ライト」の章を参照してください。

方向指示灯、左

左方向指示器が ON になっています。

方向指示灯、右

右方向指示器が ON になっています。

トレーラー方向指示器インジケーターステアリング

トレーラー方向指示器が ON になっています。

- ▶ 247ページの「ライト」の章を参照してください。

エミッションコントロール警告灯 (チェックエンジン)

汚染物質の排出量を増加させたり、損傷を引き起こす原因となったりする作動不良 (エンジンの不点火など) が生じた際に、警告灯が点滅または点灯する場合があります。

**エミッションコントロール (チェックエンジン) 警告灯が点滅または点灯する場合**

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。

- ▶ 必要な措置を講じて、エミッションコントロールシステムの不具合を解消してください。
 - ▷ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86ページ) を参照してください。

か

さ

インストールメント パネルの操作

警告

運転中のアプリの設定変更および操作

マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの設定と操作は、交通状況に対する注意が逸らされる危険があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合のみコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全を確保できない場合は、車列を離れ車両を停車してから詳細な操作や設定を行ってください。

な

は

インストールメント パネルは、イグニッションが ON の時のみ有効です。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

ま

や

ら

わ

A-Z

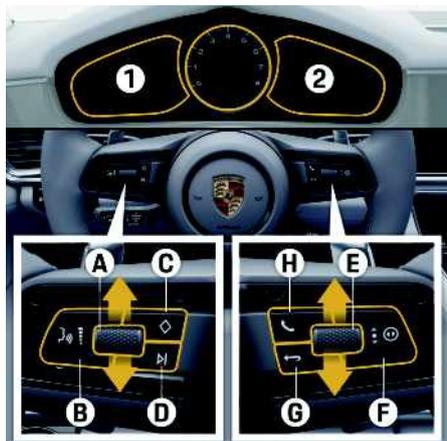


図 10 : マルチファンクション ステアリング ホイールによるインストールメント パネルの操作

- A - 音量の調節またはオーディオ ソースのミュート**
 - ▶ 音量調節：ロータリー ノブ A を上方向または下方向に回します。
 - ▶ ミュート：ロータリー ノブ A を押します。
- B - ボイス コントロールの呼び出し**
 - ▶ ボタン B を押してください。
- C - 保存した機能呼び出す**
 - ▶ ◇ ボタン C を押します。ボタンは個別に割り当てることができます。
 - ▷ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。
- D - 次 / 前回の放送局 / トラックを再生する**
 - ▶ ボタン D を押してください。

E - 速度 & アシスト機能 1 および車両 & 情報 2 ディスプレイでのメニューおよび機能のスクロールと選択

- ▶ スクロール：ロータリー ノブ E を上方向または下方向に回してください。
- ▶ 選択 / 入力：ロータリー ノブ E を押してください。

F - 速度 & アシスト機能 1 および車両 & 情報 2 ディスプレイの切り替え

- ▶ ボタン F を押してください。

G - ディスプレイでの 1 つ以上前の選択レベルへの移動

- ▶ [戻る] ボタン G を押してください。

H - 通話に応答する / 終了する / 拒否する

- ▶ 電話ボタン H を押してください。

i インフォメーション

長いリストでエントリーを探す際、選択した文字で始まる項目までスキップするには、ロータリー ノブを上方向または下方向に素早く回してください。

オプションの選択および機能の有効化

各オプションの項目名の前に付いているシンボルマークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つ選択してください



オプションが選択されています。



オプションが選択されていません。

機能の作動/停止



機能が作動しています。



機能が作動していません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

インストルメント パネルの表示項目

一部のディスプレイ表示は停車中のみ利用できます。
すべての機能に関する詳細がこの取扱説明書で説明されているわけではありません。例は機能を簡潔に説明し、メニュー構成を明確にするために記載されています。



図 11：インストルメント パネルの表示項目

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作場所
1	▶ 外気温度	外気温度を表示します。	-
2	▶ スピードメーター	スピードメーターを表示します。	-
2	▶ 走行距離および区間走行距離	<p>オドメーター (積算距離計) およびトリップメーターを表示します。トリップメーターは、9,999 km (6,213 マイル) を超えた後、「0」に戻ります。</p> <p>トリップメーターをリセットする</p> <p>▶ マルチファンクションステアリングホイールの左ロータリーノブ A (図 10) を押し続けてください。トリップメーターが点滅します。3 回点滅した後、「0」に戻ります。</p>	-
2	▶ アシスタンススクリーン	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) を調節および表示します。</p> <p>レーンチェンジアシスト (LCA) を表示します。</p> <p>レーンキープアシストを表示します。</p>	<p>▶ p. 32</p> <p>▶ p. 273</p> <p>▶ p. 269</p>

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作場所
		クルーズコントロールを表示します。	▷ p. 78
		交通渋滞アシストを表示します。	▷ p. 165
2	▶ ハイブリッド アシスタント	電気駆動力の現在の分配 (緑色部分) を表示します。内燃エンジンは、出力しきい値 E max に達すると始動します。	▷ p. 191
2	▶ 制限速度	速度警告を伴う速度制限のパーソナル設定を行い、表示します。	▷ p. 48
2	▶ ナビゲーション	ナビゲーション情報 (メッセージ OFF など) を表示します。	-
4	▶ 電話	接続した電話を使用します。	▷ p. 177
4	▶ 駆動配分	フロント アクスルとリア アクスル間の現在のトルク配分を棒グラフ形式で表示します。	-
4	▶ Sport Chrono	ストップウォッチで時間を測定します。	▷ p. 119
4	▶ ブーストアシスト	加速に使用される電気駆動力の現在の分配を表示します。	▷ p. 191
4	▶ エネルギーフロー	エネルギー フローを表示します。	▷ p. 191
4/5	▶ E燃費	車両走行やコンフォート機能 (エアコンなど) による電力消費量およびその構成比を表示します。	▷ p. 191
4/5	▶ 車両	車両設定および車両情報 (メッセージ、サービス インターバル、および充填レベル) を表示します。	▷ p. 48

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作場所
	4/5	▶ トリップ	走行データ (平均燃費、走行可能距離、走行時間など) を表示およびリセットします。	▷ p. 164
か	4/5	▶ G-Force	現在の最大縦加速度および最大横加速度を円グラフで表示します。	-
さ	4/5	▶ タイヤ空気圧	タイヤ空気圧モニタリングシステムを表示します。	▷ p. 145
た	4/5	▶ 地図	地図画面を表示および調整します。	-
な	4/5	▶ ナイトビューアシスト	熱画像検出機能付きのナイト ビューアシストを表示します。	▷ p. 183
は	5	▶ 時刻と日付	時刻と日付を表示します。	-

速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定

速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定を行い作動させると、その制限速度を超えたときに警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

この機能は、例えば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定し、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

1. 制限速度 ▶ 制限1: または 制限2:

2. 任意の速度を選択してください。

- **リセット:** 制限速度をリセットします。
- **現在:** 現在の速度を設定してください。
- **手動:** 任意の速度値を設定してください。
- **有効:** 制限速度を作動または解除します。



速度制限が作動しています。



速度制限が作動していません。

車両情報の表示

さまざまな車両情報の表示

▶ 車両 ▶ ビュー

希望の車両情報ビューを選択してください。

ユーザ定義のビューを設定するには、次のようにします。

- ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

メッセージの表示

▶ 車両 ▶ 通知

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。

下部エリアに表示される警告シンボルマークは、未解決の重要な警告の数を示しています。

サービス インターバルの表示

▶ 車両 ▶ 点検

任意のサービス インターバルを選択してください。

次のサービス時期が表示されます。

- ▶ 「エンジン オイル レベルの点検」の章 (66ページ) を参照してください。

インテリアライト

輝度調節

- ▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ 明るさ

インテリアライトのON/OFFの切り替え

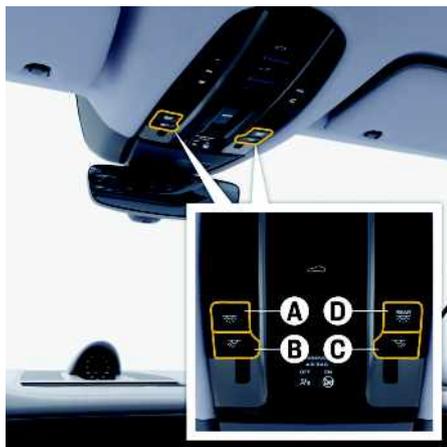


図 12: インテリアライトの操作

- A フロントインテリアライト用ボタン
 B 左フロントの読書灯用ボタン
 C 右フロントの読書灯用ボタン
 D リヤインテリアライト用ボタン (装備によって異なります)



図 13: 読書灯の操作

インテリアライトのON/OFFの切り替え

インテリアライト

- ▶ ボタン A または D を押してください。

読書灯のON/OFFの切り替え

フロント読書灯

- ▶ ボタン B または C を押します。

リヤ読書灯

- ▶ 関連するドアの上のボタン E を押します。

明るさの調節

- ▶ 該当するライトのボタンを希望の明るさになるまで少なくとも 1 秒間押し続けてください。

インテリアライトの自動的な点灯/消灯

- ▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ ドアを開いている間

暗くなると、以下の場合に、インテリアライトのスイッチがONになります:

- 車両のロックを解除するか、ドアを開けたとき
- イグニッションをOFFにし、運転席のシートベルトのバックルを外した後

インテリアライトは、次のような状況で再びOFFに切り替えられます:

- すべてのドアを閉じた後。
- イグニッションをONにした直後。
- 車両をロックした直後。
- ON になってから自動で約 10 分後。

インテリアライトOFFのディレイ時間を調整することができます。

- ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

アンビエントライトのON/OFF

アンビエントライトのON/OFF

1. 車両  ▶ 制御  ▶ アンビエントライト
2. ON を選択します。

アンビエントライトの色の設定

1. 車両  ▶ 制御  ▶ アンビエントライト
2. カラーを選択してください。
3. 希望のライトの色を設定してください。

アンビエントライトの明るさ調節

車内全体の明るさの設定

1. 車両  ▶ 制御  ▶ アンビエントライト
2. 明るさを選択してください。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

車内の各エリアの明るさの設定

1. 車両  ▶ 制御  ▶ アンビエントライト
2. ルーフ、ドア、センタコンソールまたはフットウェルを選択してください。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ウィンドウ

ウィンドウの開閉



警告

ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部分が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ作動で閉じるときは十分に注意してください。

- ▶ ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部分が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションをOFFにしてください。乗員がパワーウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- ▶ コンフォート アクセス装備車の場合、危険な時は、直ちにドアハンドルの近接センサーまたはキーのボタンを放してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



警告

サイドウィンドウを手動で閉じる

サイドウィンドウの動きが妨げられてワンタッチ作動が無効になっている場合、サイドウィンドウを手動で閉じるとこのウィンドウは最大力で閉じられます。そのため、動くサイドウィンドウと車両の固定部品間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ サイドウィンドウを閉じる際には、人が挟まれたり、押しつぶされたりしないよう注意してください。



インフォメーション

サイドウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイドウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。

サイドウィンドウの動作が約10秒以内にもう一度妨げられると、そのウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。サイドウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイドウィンドウを手動閉操作で一度完全に閉じてください。

パワーウィンドウボタンによるウィンドウの開閉

- ✓ イグニッションがONになっている。
- または -
- ✓ イグニッションをOFFにしてから10分以内。
- ✓ 運転席 / 助手席ドアをまだ開いていない。

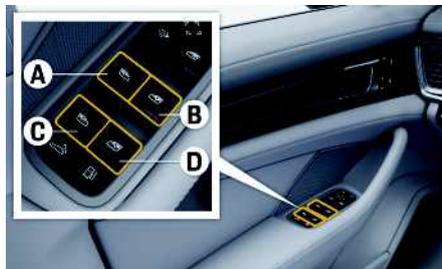


図14: 運転席ドアのパワーウィンドウスイッチ

- A パワーウィンドウ、フロント、運転席側
- B パワーウィンドウ、フロント、助手席側
- C パワーウィンドウ、リヤ、運転席側
- D パワーウィンドウ、リヤ、助手席側

ロッカースイッチには2段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

1 段階目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、ロッカースイッチを1段階目の位置まで押すか、引いてください。スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まりません。

2 段階目 - ワンタッチ操作

- ▶ ロッカースイッチを2段階目まで押すか、引いてください。ウィンドウは自動的にいっぱいまで開閉します。
- ▶ ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう一度スイッチを操作してください。

キーによるウィンドウの開閉



図15: キーによるウィンドウの開閉

- ✓ 機能が作動している。
 - ▶ 「車両設定」の章(135ページ)を参照してください。
- ▶ ウィンドウが希望の位置になるまでキーの車両ロック / ロック解除ボタンを押し続けてください。

すべてのウィンドウとルーフ システムが閉じる
と、ハザード ライトが点滅します。

i インフォメーション

リヤ サイド ウィンドウのロールアップ式サンブライ
ンドが上がっている場合、リヤ ウィンドウは開きませ
ん。

ドア ハンドルの近接センサーでウィンドウを閉 じる



図 16：ドアハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる

- ✓ ポルシェ コンフォート アクセス
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
- ✓ 機能が作動している。
 - ▷ 「車両設定」の章（135ページ）を参照してください。

- ▶ 車両をロックする時に、ウィンドウが希望の位置に達するまでドア ハンドルの近接センサーを押し続けてください。
すべてのウィンドウとルーフ システムが閉じると、ハザード ライトが点滅します。

ウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを切り離したり、再接続したりすると、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の手順を行ってください。

1. スイッチを 2 段階目まで引いて、1 回完全にウィンドウを閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じたら、ロッカー スイッチを再度短く 2 段階目まで引いてください。
3. スイッチを押して、1 回ウィンドウを完全に開いてください。

リヤでの操作を無効にする - チャイルド プロテクション



図 17：リヤでの操作を無効にする

運転席ドア コントロール パネルのセーフティ ボタンを押すと、リヤドアのパワー ウィンドウ スイッチ、リヤ センター コンソールのコントロール パネル、リヤ シートの電動コントロールが無効になります。

チャイルド プロテクションの ON/OFF の切り替え

- ▶ セーフティ ボタンを押します。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
リヤ コントロール パネルで行われたシート 設定は保持されます。
リヤ コントロール パネルの機能が停止します。
- ▶ ソフトクローズ装備車では、チャイルド ロックも作動します。
 - ▷ 「セントラル ロック」の章（123ページ）を参照してください。

リヤ サイド ウィンドウのロールアップ式サンブライ ンドの使用

i インフォメーション

リヤ サイド ウィンドウのロールアップ式サンブライ
ンドは、リヤ サイド ウィンドウが閉まっている場合に
のみ上げ下げできます。

ロールアップ式サンブラインドは自動的に正しい戻り
位置に移動します。

チャイルド プロテクション機能が作動しているときは、リヤ サイド ウィンドウのロールアップ式サンブ
ラインドを操作できるのは、運転席ドアのパワー ウィ
ンドウ ボタンを使用した場合のみです。



図 18：運転席ドアのパワー ウィンドウ / ロール アップ式サン
ブラインド用スイッチ

あ

リヤ サイド ウィンドウのロール アップ式サンブラインドを下げる

- ▶ 必要な位置に達するまで、該当するウィンドウのロッカー スイッチを引きます。
- または -
- ▶ リヤ ロール アップ ブラインドが格納されたら、サンブラインド用スイッチを押し続けます。
リヤ サイド ウィンドウのロール アップ式サンブラインドが展開します。

か

さ

た

な

は

リヤ サイド ウィンドウのロール アップ式サンブラインドの格納

- ▶ 希望する位置に達するまで、該当するウィンドウのロッカー スイッチを押します。
- または -
- ▶ リヤ ロール アップ ブラインドが下降したら、サンブラインド用スイッチを押し続けます。
リヤ サイド ウィンドウのロール アップ式サンブラインドが格納されます。

知識

180 km/h 超の速度でリヤ サイド ウィンドウを開けると、展開したロールアップ式サンブラインドが破損する恐れがあります。

- ▶ ロールアップ式サンブラインドの展開中には、180 km/h 超の速度でリヤ サイド ウィンドウを開けないでください。

ま

や

ら

リヤ ロール アップ ブラインドの使用

i インフォメーション

チャイルド プロテクションが有効になっている場合、リヤ ロールアップ サンシェードは、PCMのみを介して操作することができます。

わ

A-Z

フロントからのリヤ ロール アップ ブラインドの上昇 / 下降

- ✓ イグニッションが ON になっている。

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ リヤ ロール アップ ブラインド

リヤのリヤ ロール アップ ブラインドの上昇 / 下降

- ✓ イグニッションが ON になっている。



図 19 : リヤ ロール アップ ブラインドのスイッチ

- ▶ リヤのスイッチを短く押します。
リヤ ロール アップ ブラインドが上昇 / 下降します。
- ▶ リヤのスイッチを長押しします。
リヤ ロール アップ ブラインドおよびリヤ サイド ウィンドウのロールアップ式サンブラインドが上昇 / 下降します。

自動的に下降するリヤ ロール アップ ブラインド

- ✓ 機能が作動している。
 - ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。
- ✓ イグニッションが ON になっていて、リバースギヤに入っている。

ウィンドウォッシャー

- ▶ 「エンジン コンパートメント フィラー開口」の章（25ページ）を参照してください。

下記の点を必ず守ってください：

- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤（ウィンドウ クリーナー濃縮液、不凍液）を混ぜ合わせてください。正しい混合比を遵守し、使用する添加剤の容器に記載されている注意事項に従ってください。
- 夏季: 水とウィンドウ クリーナー濃縮液を入れてください。
- 冬季: 水、不凍液、およびウィンドウ クリーナー濃縮液を入れてください。

次の条件を満たしているウィンドウ クリーナーのみを使用してください：

- 濃度1:100
- 無リン
- プラスチック ヘッドライト レンズに適しているもの

ポルシェ社が推奨するウォッシャー液濃縮液については、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

ウォッシャー液が少ない場合、インストルメント クラスタに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

ウォッシャー液の追加

知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開けてください。
 2. ウォッシャー液を補充してください。
 3. キャップを慎重に閉じてください。
- ▶ 「テクニカル データ」の章（289ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エアコン システム (2-/4- ゾーン エアコン)

概要 - エアコン システム

フロントコントロールパネル

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

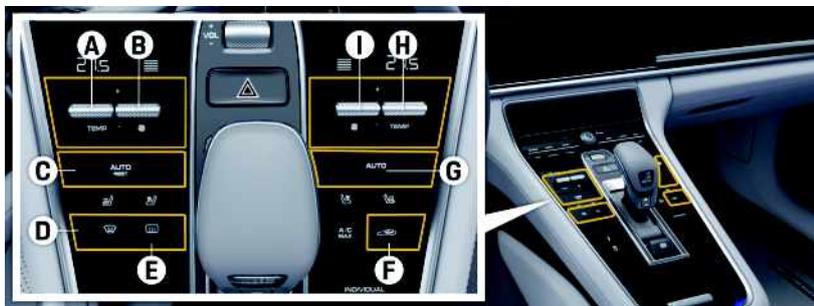


図 20 : 概要 - フロント エアコン

希望する操作	操作方法	操作場所
オート モードを ON にする	左側はボタン C、右側はボタン G を押します。	▷ p. 56
温度の設定	左側はボタン A、右側はボタン H を押します。	▷ p. 57
オート モードで風量を設定する	エアコン ▶ 快適 ▶ スタイル	▷ p. 58
足元の温度の設定 ¹	エアコン ▶ 快適 ▶ フットウェル	▷ p. 58
風量を設定する	左側はボタン B、右側はボタン I を押します。	▷ p. 57
送風口を調節する	エアコン ▶ エア	▷ p. 58

1. 必要条件 : 4 ゾーン オート エアコン

希望する操作	操作方法	操作場所
センター エア vents を調節する	エアコン  ▶ vents 	▷ p. 58
フロント ウィンドウ デフロスター	ボタン D を押してください。	▷ p. 60
リア ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターを ON にする	ボタン E を押してください。	▷ p. 60
手で内気循環モードを ON にする	ボタン F を押してください。	▷ p. 59

リアコントロールパネル(4ゾーンエアコン)

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 21 : 概要 - リアエアコン

希望する操作	操作方法	操作場所
オート モードを ON にする	左側はボタン C、右側はボタン D を押します。	▷ p. 56
温度の設定	左側はボタン A、右側はボタン E を押します。	▷ p. 57
オート モードで風量を設定する	CLIMATE ボタン ▶ 快適  ▶ スタイル ボタン	▷ p. 58
風量を設定する	左側はボタン B、右側はボタン F を押します。	▷ p. 57

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

希望する操作	操作方法	操作場所
送風口を調節する	CLIMATE ▶ エア  ボタン	▶ p. 58
センター エア イベントを調節する	CLIMATE ▶ ベント  ボタン	▶ p. 58

オートモードでは、車内温度、日射量、空気の状態など、様々な環境条件に応じて、エアコンシステムが送風口や送風量を完全に全自動で制御します。
イグニッションをONにすると、どのキーが使用されたかに関わりなく Last Mode (最後に選択した設定) のエアコンの設定が呼び出されます。

エアコンシステムの設定を手動で調整すると、オートモードが直ちに解除されます。

エアコンシステムは、センターコンソールのボタンおよびダッシュボードと後部のタッチディスプレイを介して操作することができます (装備により異なります)。

エアコンシステムは、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。

車内に熱がこもっている場合：
▶ ウィンドウを開けて車内を短時間換気します。
外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これはシステムにより異なり、故障ではありません。
バッテリー電圧が低すぎると、最初エアコン機能が制限され、その後OFFになります。

2 ゾーン オート エアコン

オートエアコンの温度、風速、送風口、およびタイプは、左および右の空調エリアに対して個別に設定できます。

4 ゾーン オート エアコン

オートエアコンの温度、風速、送風口、およびタイプは左前、右前、左後、および右後の空調エリアに対して個別に設定できます。

空調装置のON/OFFの切り替え

車両全体の空調装置のON/OFFの切り替え

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

▶ エアコン  ▶ エア  ▶ OFF

リヤ エアコン システムの ON/OFF

リヤのタッチディスプレイ：

▶ **CLIMATE** ボタン ▶ エア  ▶ OFF

リヤゾーンへの風量を少なくしたり、またはリヤエアコンシステムをOFFにすると、フロントゾーンの快適性が損なわれます。

オートモードのスイッチをONにする

前部と後部のクライメイトゾーンは、互いと無関係にオートモードに切り替えることができます。

- ▶ 前部または後部コントロールパネルの適切なクライメイトゾーンに対応するボタン **AUTO** を押します。
ボタン **AUTO** のインジケーターライトが点灯します。風速および送風口が自動的に制御されます。

必要であればオートモードの制御を手動調節できます。適切な機能ボタンが再び押されるまで、またはボタン **AUTO** が押されるまで、手動設定が保持されます。

冷房機能のON/OFF

冷房機能は空気を冷やしたり除湿します。オートモードでは、冷房機能が常にONになります。冷房出力は自動的に制御されます。

▶ エアコン  ▶ エア  ▶ A/C
冷房機能はONまたはOFFに切り替えることができます。

A/C MAX モード (最大冷房出力) の ON/OFF

A/C MAX モードでは、最大出力で車内が冷却されません。



図 22 : A/C MAX モードの起動と解除

最大冷房出力を ON にする

- ▶ ボタン  を押します。
ボタンのインジケーターライトが点灯します。

最大冷房出力を OFF にする

- ▶ ボタン **OFF** を押します。
ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

リアのタッチ ディスプレイで最大冷房出力の ON/OFF を切り替える

- ✓ エグゼクティブ車両

- ▶ ボタン **CLIMATE** ▶ エア **4** ▶ **A/C MAX**
最大出力で車内が冷却されます。ここでは、リアのエアコン設定に注目します。

温度の設定

温度は 16 °C ~ 29.5 °C の範囲に設定できます。推奨温度：22 °C。

温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内が設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。

i インフォメーション

E-Hybrid 車両：E-POWER 走行プログラムでは、電動走行可能距離向上のため外気温度の低い状態（約 0 °C 未満）でのヒーター出力が減少します。そのため、車内がなかなか温まらないなど、快適性に限界が生じる可能性があります。別の走行プログラムを選択することによって、最大ヒーター出力が可能です。

- ▶ 「モード スイッチでの走行プログラムの選択」の章（191ページ）を参照してください。



図 23：フロントの温度および風量の設定



図 24：リアの温度および風量の設定 (4 ゾーン エアコン)

温度を上げる、下げる

- ▶ 該当する空調エリアのボタン **TEMP** を上方向または下方向に押します。
選択した温度は、該当エアコン ゾーン用ボタンの上にあるディスプレイに表示されます。
ディスプレイに **LO** または **HI** が表示される場合は、エアコンの作動は最大の冷房 (**LO**) または暖房 (**HI**) になっています。このときオートモードは **OFF** になります。

1つの空調エリアが **LO** または **HI** に設定されている場合、車両のすべての空調エリアも **LO** または **HI** に切り替わります。

気流の設定

風速を上げる、下げる

- ▶ 該当する空調エリアのボタン **4** を上方向または下方向に押しください。
設定した風量はボタン **4** の上のバー ディスプレイに表示されます。バーの数が増えるほど、車内の風量が多いことを示します。

ボタン **AUTO** を押すと、オートモードに戻ります。
エアコンディスプレイに **OFF** と表示されるところまですべての空調エリアの風量を小さくすると、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムが **OFF** になります。

警告 送風設定 **OFF** による視界の低下

風量を **OFF** にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ 風量を多くしたい場合、ボタン **4** を上方向に押すか、またはオートモードを再度 **ON** にします。

風量調節

エアベントはダッシュボードおよびドア柱方向に向けられ、**手動**で開け閉めできます。送風方向も調節可能です。

前部と後部（設備に応じて）のセンターエアベントは、タッチディスプレイによって**電子的**のみ調整できます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

知識

エア イベントを損傷する恐れがあります

- ▶ エア イベントに物 (携帯電話クレードルや差し込み式のエア フレッシュナーなど) を挟まないでください。
 - ▶ 電動エア イベントは、タッチ ディスプレイでのみ調整できます。
 - ▶ エア イベントの電動調整を妨害しないでください (スラットの動きを妨げるなど)。
-
- ▷ 「センター エア イベントの調整」の章 (58 ページ) を参照してください。

エア イベントの開閉

- ▶ エア イベントにぎざぎざがついた車輪を回転させてください。

送風方向の調節

- ▶ ルーバー角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

外気の取り入れを可能にします

- ▶ ボンネットとフロント ウィンドウの間の外気導入口に雪、氷、木の葉などによる詰まりがないことを確認してください。

センター エア イベントの調整

センター エア イベントの ON/OFF 切り替え

1. エアコン  ▶ エア 
2. センター エア イベント  を選択します。

気流の事前セットを選択

2 つの事前定義プロファイルの集中および拡散を、気流の設定に利用できます。

1. エアコン  ▶ ベント 
2. 該当する空調エリアに対して事前設定の集中または拡散を選択します。

個別の気流方向の調整

1. エアコン  ▶ ベント 
2. 希望する気流方向を選択するために、タッチ ディスプレイ上の適切な空調エリアに対するスライダー  をドラッグ & ドロップで左 / 右 / 上 / 下に移動します。

センター エア イベントの開閉および気流の調整

1. エアコン  ▶ ベント 
2. 希望する気流を選択するために、タッチ ディスプレイ上の適切な空調エリアに対するスライダー  をドラッグ & ドロップで ON と OFF の間で連続的に動かす (フロント) か、オプション ON または OFF を選択します (リヤ)。

送風口の調節

フロントの送風口の調節

1. エアコン  ▶ エア 
2. 該当する空調エリアの送風口を選択してください。

-  フロント ウィンドウおよびサイド ウィンドウへの送風を開始します。
-  センター エア イベントおよびサイド ベントからの送風を開始します。
-  フットウェルへの送風を開始します。

リヤ送風口を手動で調整する

1. **CLIMATE** ▶ **AIR**  ボタン
2. 該当する空調エリアの送風口を選択してください。

-  センター エア イベントおよびドア ピラーのベントからの送風を開始します。
-  足元およびドア ピラーのベントからの送風を開始します。

アッパー ベンチレーション パネル



図 25 : アッパー ベンチレーション パネル

ダッシュボード上にあるベンチレーション パネルでも車内へ換気ができます。ベンチレーション パネルは、個別に ON/OFF を切り替えることができます。エアコンシステムは送風量を自動的に調整します。

1. エアコン  ▶ エア 
2. ベントパネル  を選択します。

クライメートコントロールタイプの設定

気流は、自動モードのそれぞれのクライメートコントロールゾーンの 3 つのステージで調整できます。

1. エアコン  ▶ 快適  ▶ スタイル

2. 適切なクライメートゾーンに、希望するタイプのクライメートコントロールを選んでください。

エコモードのON/OFFの切り替え

エコモードがONに設定されているときは、エアコンシステムはエネルギーを効率的に節電しながら作動します。低燃費で作動するために、車内の快適性が低下してしまうこともあるかもしれません(車内が暖まるまで、または冷えるまで少し時間がかかる場合もあります)。

ダッシュボードのタッチディスプレイ:

▶ エアコン  ▶ 快適  ▶ A/C ECO

足下の空間温度の設定

✓ 4ゾーンエアコン装備車

フロントゾーンの車内温度とは別に、足元の温度は個別に設定できます。

ダッシュボードのタッチディスプレイ:

1. エアコン  ▶ 快適  ▶ フットウェル

2. 該当する空調エリアでの希望する足元の温度を選択してください。

イオン化のON/OFFの切り替え

✓ イオナイザー装備車

大都市など空気が悪い地域では、イオナイザーを使用することで車内の空気を改善することができるかもしれません。

イオナイザーから出てくる空気自体は無臭です。

▶ エアコン  ▶ 快適  ▶ イオン

自動内気循環のON/OFFの切り替え

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。約5°C以下の外部温度で、内気循環モードは窓が曇るのを防ぐために自動的に解除されます。

ダッシュボードのタッチディスプレイ:

▶ エアコン  ▶ 快適  ▶ 自動内気循環

内気循環モードのON/OFFを手動で操作する



警告

手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間ONにすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。新鮮な空気が供給されないため、ドライバーが疲労を感じて注意力が低下する可能性があります。

▶ 手動内気循環モードは長時間ONにしないでください。



図 26: 内気循環モードをON/OFFにする

手動で内気循環モードをONにする

▶ ボタン  を押します。
ボタンのインジケータライトが点灯します。

インフォメーション

手動または自動で冷房機能をOFFにすると、約3分後に内気循環モードが停止します。

手動で内気循環モードをOFFにする

▶ ボタン  を押します。
— または —
ボタン **AUTO** を押します。
ボタンのインジケータライトが消灯します。

SYNCモード - 車両全体のエアコン設定を同期させる

ダッシュボードのタッチディスプレイでSYNCモードのON/OFFを切り替える

▶ エアコン  ▶ エア  ▶ SYNC

SYNCモードをONまたはOFFにします。SYNCモードが作動すると、他の空調エリアの表示値が運転席の値に変わります。

後部のタッチディスプレイでSYNCモードのON/OFFを切り替える

✓ エグゼクティブ車両

▶ **CLIMATE** ▶ エア  ▶ SYNC ボタン

SYNCモードをONまたはOFFにします。SYNCモードが作動すると、他の空調エリアの表示値が右リヤ空調エリアの値に変わります。

1名乗車時に推奨するエアコン設定

▶ ダッシュボードのタッチディスプレイでSYNCモードをONにすると、車内が最も快適な状態に維持されます。

4ゾーンクライメートコントロール リヤゾーンへの風量を少なくしたり、またはリヤエアコンシステムを

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

OFF にすると、フロント ゾーンの快適性が損なわれま
す。

後席に最適化されたエアコンの ON/ OFF

✓ エグゼクティブ車両

- ▶ **CLIMATE** ボタン ▶ エア  ▶ リヤ プラス
リヤのエアコン コンフォートが最適化されます。

前部から後部のクライメートゾーン を設定

4ゾーン空調の場合には、後部のクライメートゾーン
はダッシュボードのタッチディスプレイを使用して調
整できます。

1. エアコン  ▶ リア 
2. 必要に応じて設定を調整します。

グローブ ボックスの冷房



図 27：グローブ ボックスの開放空気口

- ▶ グローブ ボックスを冷やすには、エア ベントを矢
印の方向に開きます。
冷気は直接グローブ ボックスに送り込まれます。

フロント ウィンドウ デフロスター



図 28：フロント ウィンドウ デフロスター

デフロスト モードを ON にする

- ▶ ボタン  を押します。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
フロント ウィンドウおよびフロント サイド ウィン
ドウへの送風を開始します。
なるべく早くフロント ウィンドウの曇りまたは霜
を取ります。

デフロスター モードでは、リヤへのエアの供給が状態
に応じて制御されており、曇りを取り除く効果を最大
にします。

4 ゾーン エアコン：エアコン用リヤコントロールパ
ネルが無効になります。

デフロスト モードを OFF にする

- ▶ ボタン  を押します。
ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターの ON/OFF を切り 替える

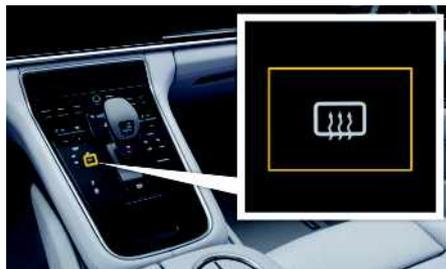


図 29：リヤ ウィンドウ / ドア ミラー ヒーターのボタン

リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒー ターを ON にする

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ ボタン  を押します。

ボタンのインジケータ ライトが点灯します。
外気温度によって、約 5~20 分後にリヤ ウィンドウ
ヒーター / ドア ミラー ヒーターのスイッチが自動的に
OFF になります。

リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターを OFF にする

- ▶ ボタン  を押します。
ボタンのインジケータ ライトが消灯します。

エンジンの余熱の利用 - REST モード



図 30 : REST モードの作動および停止

イグニッションを OFF にしてから最大で 20 分間、エンジンの余熱を利用して車内を暖めることができます。

- ✓ イグニッションが OFF になっている。
- ▶ フロント コントロール パネルのボタン **AUTO REST** を押します。
ボタンのインジケータ ライトが点灯します。
REST モードではエアコン システムの設定を変更できません。
- ▶ 機能を停止するには、フロント コントロール パネルのボタン **AUTO REST** をもう一度押します。
ボタンのインジケータ ライトが消灯します。

プレクール / ヒート タイマーおよび車内プレクーリング / ヒーティング (E-Hybrid) の使用

- ✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている (最低 10%)。
- ✓ 燃料タンクの残量が少なくない。

プレクール / ヒート タイマーの作動および停止

車両プラグが挿入されていない場合、車内温度はプレクール / ヒート タイマーを使用して選択した時間までに事前に調節できます (冷房/暖房)。
タイマーは 1 回 (シングルタイマー) または定期的 (反復タイマー) のいずれかに設定可能です。

1. エアコン  ▶ タイマー 
2. プレクール/ヒートを選択します。
3. 希望する出発時刻の曜日もしくは日付と時刻を設定し、タイマー入力  を有効にしてください。
車両停止時の設定に関係なく、風量、送風方向および温度設定を自動で調節することができます。
選択されたエアコン設定は、プログラムされた時間の最大 10 分後まで維持されます。イグニッションが ON の場合、風量、送風方向および温度を個別に調節することができます。

プレクール / ヒート タイマーの停止

1. エアコン  ▶ タイマー 
2. プレクール/ヒート を選択してください。
3.  オプションを選択解除してください。

車内プレクーリング / ヒーティングを ON にする

車内プレクーリング / ヒーティングは、内燃エンジンが作動していない状態でも、車内を暖めたり冷やしたりするのに使用することができます。

1. エアコン  ▶ タイマー 
2. プレクール/ヒート開始を選択します。
車内プレクーリング / ヒーティングを ON にすると、電動走行可能距離が減少します。
車両が走行可能状態で、停車している場合、車内プレクーリング / ヒーティングは 30 分後までに OFF になります。

インフォメーション

車内プレクーリング / ヒーティングは、イグニッションを OFF のままにして使用すると、最も効率的に動作します。

車内プレクーリング / ヒーティングを OFF にする

1. エアコン  ▶ タイマー 
2. プレクール/ヒート停止 を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エアサスペンションおよびレベルコントロール付きボルシェ アクティブサスペンション マネージメント (PASM)

切り替え可能エアサスペンションおよびレベルコントロール付き PASM は、ショック アブソーバーとサスペンションをアクティブに調整するシステムであり、車高バランス システムでもあります。アジャスタブルサスペンションシステムは、走行状態や走行条件に応じて各ホイールに適切なダンピング レベルを選択し、エアサスペンションのスプリング レートを切り替えます。レベルコントロールシステムは自動的に負荷変化のバランスを取り、一定の車高を維持します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。ボタンの操作で 3 種類のシャーシ モードから選択できます。

- 「ノーマル」
- 「スポーツ」
- 「スポーツ プラス」

ノーマル モードでは、車両はスポーティで快適な設定となります。「スポーツ」シャーシ設定では、非常にスポーティなスプリング / ショック アブソーバー調整になります。「スポーツ プラス」モードでは、スプリングコントロールとダンパーコントロールが、妥協のないスポーティな走行(例: レース サーキットでの走行)向けに最適化されます。車高も中レベルより約 18 mm 下降し、低レベルに設定されます(モデルによって異なります)。

マニュアル モードを選択することに加えて PASM も、スポーツ性能の大幅な向上や快適な走行を実現するために、スプリング レート設定とダンピング フォースの要件を走行状況に合わせて調整します。

i インフォメーション

- 車両に荷物が載っている場合、車両の高さは自動的に保持されます。エンジン作動中にのみ個別レベルが設定できます。
- レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、レベリングシステムが再び正常に機能するまでコンプレッサーを数分間冷やす必要があります。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

i インフォメーション

エアサスペンション装備車が数週間停止したままの場合、車高が低くなる場合があります。エンジンを始動すると自動的に正常な車高に再調整されます。作動モードによっては、調整に数分かかることがあります。このとき、地上高が減少します。

PASMモードをONにする



図 31 : センター コンソールの PASM ボタンを使ったシャーシ設定の選択

1. イグニッションをONにしてください。
2. PASM ボタンを繰り返し押してください。
ボタンのインジケーター:

- 「ノーマル」(デフォルト設定) を選択した場合、インジケーター ライトは点灯しません。
- 「PASM スポーツ」を選択すると、インジケーター ライトが 1 つ点灯します。
- 「PASM スポーツ プラス」を選択すると、インジケーター ライトが 2 つ点灯します。

更に、選択したシャーシ設定はインストールメント クラスタに短時間表示されます。

i インフォメーション

シャーシ モードは PCM でも設定できます:

- ▶ 車両  ▶ ドライブ  ▶ シャーシ

i インフォメーション

イグニッションを OFF にした後でも、最後に選択したシャーシ モードは保存された状態のままになります。

i インフォメーション

車両が停止している場合、車両重量のバランスを保つため車高が自動的に調整されることがあります。

エアスプリングの高さの設定

エアスプリングの高さは PCM で設定できます。イグニッションをオフにした後でも、そのとき選択しているシャーシ モードと車両レベルがメモリーに保存されます。

- ▶ 車両  ▶ ドライブ  ▶ シャーシ高

中間の高さ

中間の高さを、「ノーマル」と「スポーツ」シャーシ モードで標準として採用されています。「スポーツ プラス」

モードでは、PCMでドライブメニューから中間の高さを手動で選択できます。

ハイレベル

レベリングシステムを使用すると、クリーピング時に縁石や傾斜を乗り越えるために、車両を通常のレベルと比較して約20 mm上げることができます。ハイレベルは約30 km/h未満の速度のとき、手動でのみ選択できます。車速が約30 km/hを超えると、ハイレベルは自動的に解除されます。

i インフォメーション

- リフレクターの高さが法定取り付け位置を超えてしまうため、ハイレベルは一般道では使用しないでください。
- レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、レベリングシステムが再び正常に機能するまでコンプレッサーを数分間冷やす必要があります。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

ローレベル

「PASM スポーツ プラス」モードを選択すると、自動的にローレベルに切り替わります。ドライブメニューのPCMでローレベルを手動で選択できます。

i インフォメーション

- 「ノーマル」モードの状態でもローレベルを選択すると、車両は自動的に「PASM スポーツ」モードに切り替わります。
- ドアが開いていると、車高レベルは変更されません。ドアを閉じてからレベルの設定を行ってください。

レベリングシステムをOFFにしてください。



警告

タイヤ交換時のレベリングシステムの作動

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。身体の一部が挟まれたり、怪我をしたりする恐れがあります。

リフティングプラットフォームまたはジャッキによるリフトアップを行う前に：

- ▶ 中間の高さを手動で設定します。
- ▶ レベルシステムをOFFにします。

車両をリフトで持ち上げたり、ジャッキを使用して持ち上げたりする場合、オートレベルコントロールは必ずOFFにしてください(車両ジャッキモード)。

車両のリフトアップに関するインフォメーション：
▷ 「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章(116ページ)を参照してください。

✓ 車両は停止している。

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ シャシー ▶ 車両ジャッキモード

これで車両をジャッキアップできます。

i インフォメーション

車速が約7 km/hを超えると、レベリングシステムは自動的にONになります。

警告メッセージへの対応

PASMの故障がインストルメントクラスターに表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章(86ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エアバッグ システム



危険

正しくないシート位置または正しく収納されていない荷物

エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用し正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- ▶ シートベルトを必ず着用します。
- ▶ ドライバーや乗員とエアバッグが展開するエリアとの間に、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ ステアリングホイールは必ずステアリングホイールリムを握るようにしてください。
- ▶ 効果的に保護できるようにするには、ドライバーや乗員からエアバッグまで一定の距離が必要です。エアバッグに必要以上に近づきすぎないようにシート位置を選択します。
- ▶ ドアの内側（エアバッグが膨らむエリア）にもたれかからないでください。
- ▶ ドアの小物入れから荷物が決してはみ出ないようにしてください。
- ▶ シート上またはシートの前に重い荷物を載せて走行しないでください。
- ▶ ダッシュボードの上には物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを収納しておいてください。
- ▶ 走行中、足は常にフットウェルに置いてください。ダッシュボードやシートクッションの上には足を乗せないでください。
- ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

エアバッグ システムの機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。

フロントエアバッグは、運転席側はステアリングホイールパッド内、助手席側はダッシュボードの中、さらに運転席と助手席の膝の高さに取り付けられています。

フロントシートのサイドエアバッグはバックレストの側面に取り付けられています。リヤシートのサイドエアバッグ（車両装備による）はシートバックレストの側面に取り付けられています。

ヘッドエアバッグは左右のサイドルーフフレームに取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度および衝撃の大きさに応じて作動します。



危険

作動済みのエアバッグを作動させることはできません。

エアバッグは1回しか作動できません。

- ▶ 作動済みのエアバッグは直ちに取替える必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



危険

エアバッグの改造による不具合

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。作動しなかったり、予期しないタイミングで作動したりする恐れがあります。予期しないタイミングでエア

バッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ エアバッグの配線や部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグの部品を取り外さないでください。

故障の認識

エアバッグシステムが故障した場合、インストルメントクラスターの赤いエアバッグ警告灯によって表示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しない
または
- イグニッションをONにしたときに警告灯が消灯しない
または
- 走行中に警告灯が点灯する

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグを OFF にする



危険

助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、助手席エアバッグを ON に戻してください。



危険

助手席エアバッグの故障
または作動不良

イグニッションを ON にして、助手席エアバッグを OFF にしたときに **PASSENGER AIR BAG OFF** インジケーターが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
 - ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
-
- ▶ 「チャイルドシート」の章（153ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エンジンオイル

エンジンオイルレベルの点検

オイルレベル警告に対応する

オイルレベルが低過ぎる場合、インストルメントクラスターにシンボルが表示され、直ちにエンジンにオイルを補充する必要があることを知らせます。

エンジンオイルレベルの測定と表示

知識

オイルレベルが下限マークを下回っている場合、エンジンオイルが不足しており、エンジンが十分に潤滑化されません。エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ オイルレベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。

i インフォメーション

状況により、オイルレベルが測定されないことがあります。例えば、以下のような状況が考えられます。

- エンジン冷間時。
- フルスロットル走行後のエンジン回転数が高い状態で車両を停車させた場合。
- エンジン油温が高過ぎる場合。

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分間以上停止している。

▶ 車両 ▶ オイルレベル

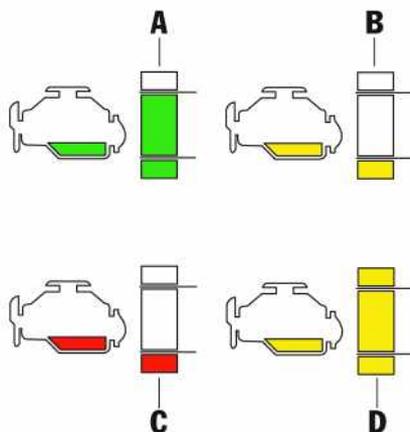


図 32 : オイルレベルインジケーター

- A オイルレベルは十分 - 上限に達している
 B オイルレベルが下限に達している
 C オイルレベルが下限を下回っている
 D オイルレベルが上限を超えている

表示が緑色 A の場合、オイルレベルは最高水準にあり、十分であることを示します。

最下部のセグメントが黄色 B で表示されている場合、オイルレベルが下限マークまで低下していることを示しています。

- ▶ 次の機会に、インストルメントパネルに表示されているエンジンオイルの量を補充します。表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。

最下部のセグメントが赤色 C で表示されている場合、オイルレベルが下限マークを下回っていることを示しています。

1. 適切な場所に停車してください。
2. インストルメントパネルに表示されている量のエンジンオイルを直ちに補充します。表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。

最上部 D まで黄色で表示されている場合、エンジンオイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷するおそれがあります。

次の機会にオイルレベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジンオイル - 国別の割り当て

グループ I

アンドラ、オーストラリア、アルバニア、アルゼンチン、ベルギー、ボスニアヘルツェゴビナ、ブラジル、ブルガリア、中国、ドイツ、デンマーク、エストニア、フェロー諸島、フランス領ギアナ、フィンランド、フランス、ギリシャ、英国、グリーンランド、グアドループ、香港、アイスランド、アイスランド、イスラエル、イタリア、インド、日本、カナダ、クロアチア、ラトビア、リトアニア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、マルタ、マケドニア、マルティニーク (フランス領アンティル)、メキシコ、モナコ、モンテネグロ、オランダ、ノルウェー、オーストリア、ポーランド、ポルトガル、レユニオン、ルーマニア、ロシア、サンマリノ、スイス、スウェーデン、セルビア、スロバキア、スロベニア、スペイン、韓国、台湾、トルコ、チェコ共和国、米国、ハンガリー、パチカン、キプロス

グループ II

アブダビ、アルジェリア、アルメニア、バハマ、ブルネイ、コスタリカ、キュラソー、チリ、ドミニカ共和国、ドバイ、エクアドル、フランス領ポリネシア、グアテマラ、ガーナ、ホンジュラス、インドネシア、イラク、イラン、カタール、ケイマン諸島、ケニア、クウェート、コロンビア、ラオス、レバノン、モーリシャス、マカオ、モロッコ、モンゴル、ミャンマー、

ニューカレドニア、オマーン、パキスタン、パナマ、パラグアイ、ペルー、プエルトリコ、フィリピン、サウジアラビア、シンガポール、スリランカ、スワジランド、シリア、タンザニア、トリニダードトバゴ、ウルグアイ、ベトナム、イエメン、ヨルダン、ジャマイカ

エンジンオイルの選択と補充



警告

エンジンコンパートメントブロワーまたはエンジン付近の他の可動部品

エンジンコンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪などがエンジンコンパートメントブロワーやドライブベルトなどのエンジンコンパートメントの可動部品に絡まる恐れがあります。エンジンコンパートメントブロワーはボンネット下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、エンジンコンパートメント内の温度が監視され続けます。この間は、エンジンコンパートメントブロワーが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーターファン、エンジンコンパートメントブロワー、ドライブベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。



警告

エンジンオイルの発火

エンジンオイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。エンジンオイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然

- 発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。
- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。
 - ▶ エンジンオイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気の良い場所で保管してください。
 - ▶ エンジンオイルを補充する前にエンジンを冷却してください。



警告

高温のエンジン部品

エンジン稼働中はエンジン、周辺部品、およびエキゾーストシステムが高温になります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジンコンパートメントで作業する際は十分に注意します。
- ▶ エンジンオイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

知識

エンジンオイルは少なすぎても多すぎても、エンジンを損傷する恐れがあります。エンジンオイルが多すぎるとブルースモークが発生し、長期的にはエミッションコントロールシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- ▶ エンジンオイルを追加する際は、上限マークのところまでしてください。オイルリザーバーが溢れた時は、できるだけ早く調整してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確か

な整備をお約束します。

下記の点を必ず守ってください：

- ポルシェ社が認証したオイルのみを使用してください。定期点検時期(サービスインターバル)を遵守してください。
- ポルシェ社が承認したオイルは、互いに混ぜ合わせることはできません。
- オイル添加剤を混ぜないでください。
- エンジンオイルの漏れが疑われる場合、エンジンを早急に点検してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジンオイルの選択

ポルシェは、**Mobil 1** を推奨します。

認定されたエンジンオイルの名称を示すラベルがエンジンコンパートメントにある場合、このマニュアルに記載された情報よりもラベルの情報を優先してください。

ご不明な点や、現在の認定オイルを確認するには、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

あ

認定品	Porsche A40	Porsche C40	Porsche C30	Porsche C20
	VW 502 00/505 00	VW 511 00	VW 504 00/507 00	VW 508 00/509 00

か

SAE 粘度等級	0W-40 または 5W-40/5W-50	0W-40/5W-40	5W-30/0W-30	0W-20
----------	-----------------------	-------------	-------------	-------

さ

エンジン	粒子フィルター	Porsche A40	Porsche C40	Porsche C30	Porsche C20
------	---------	-------------	-------------	-------------	-------------

グループ I

た

2.9 リットル V6 ツインターボエンジン	可	-	-	X	-
------------------------	---	---	---	---	---

な

2.9 リットル V6 ツインターボエンジン	不可	-	-	X	-
------------------------	----	---	---	---	---

は

4.0 リットル V8 ツインターボエンジン	可	-	X	-	-
------------------------	---	---	---	---	---

ま

4.0 リットル V8 ツインターボエンジン	不可	-	X	-	-
------------------------	----	---	---	---	---

エンジン	粒子フィルター	Porsche A40	Porsche C40	Porsche C30	Porsche C20
------	---------	-------------	-------------	-------------	-------------

グループ II

や

2.9 リットル V6 ツインターボエンジン	可	-	-	X	-
------------------------	---	---	---	---	---

ら

2.9 リットル V6 ツインターボエンジン	不可	X	-	-	-
------------------------	----	---	---	---	---

わ

4.0 リットル V8 ツインターボエンジン	可	-	X	-	X
------------------------	---	---	---	---	---

A-Z

4.0 リットル V8 ツインターボエンジン	不可	-	X	-	-
------------------------	----	---	---	---	---

ボルシェ正規販売店から適切なエンジン オイルに関する情報を入手してください。エンジン オイルを補充する必要がある場合は、指定されているエンジン オイルを使用してください。

エンジン オイルの補充

▷ 「エンジン コンパートメント フィラー開口」の章（25ページ）を参照してください。

1. インストルメント クラスターのエンジン オイル レベルを確認してください。
2. オイル フィラー キャップを緩めて取り外してください。
3. インストルメント クラスターに表示されている量のエンジン オイルを追加してください。表示されたエンジン オイルの量を超えて補充しないでください。
4. オイル フィラー キャップを慎重に取り付けてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エンジンの始動および停止

イグニッション ロック

キーはイグニッション ロック内のコントロールユニットに変更されました。必要なのはキーを携帯していることだけです。



図 33：イグニッション ロック / コントロールユニット

- 0 基本設定
 1 イグニッション ON
 2 エンジン始動 / 作動準備の確立 (E-Hybrid 車両)

0 - イグニッション OFF (初期位置)

イグニッション ロックが位置 0 のとき、エンジンとイグニッションは OFF になっています。

1 - イグニッション ON

ほとんどの電装品が作動可能になります。インストール パネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

i インフォメーション

イグニッションを ON にしてから 10 分以上電装品を ON にしなかった場合、再度イグニッションを ON にする必要があります。最初にコントロールユニットをイグニッション ロック位置 0 (初期位置) に回す必要があります。

2 - エンジン始動

コントロールユニットは、E-Hybrid 車両でエンジンが始動、または作動準備が確立すると、自動的に位置 2 から位置 1 にリセットされます。

ステアリング ホイールのロックおよびロック解除

- ▶ 「ステアリング コラムのロック解除およびロック」の章 (108ページ) を参照してください。

エンジンの始動

E-Hybrid 車両の始動に関するインフォメーション:

- ▶ 「ハイブリッド車両」の章 (190ページ) を参照してください。

1. ブレーキ ペダルを踏み込んでください。
2. セレクター レバーの P ボタンを押すか、作動モードの N を選択してください。
3. アクセル ペダルは踏まないでください。
4. コントロールユニットをイグニッション ロック位置 2 に一時的に回してください。

イグニッション ロック位置 2 にすると、クランクイグニッション (エンジン始動) が自動的に始まり、エンジンが始動します。

- ▶ エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。最初に制御装置をイグニッション ロックの位置 0 (最初の位置) に戻します。停車したままエンジンを暖機しないでください。直ちに発進してください。エンジンが動作温度に達するまで、高いエンジン スピードやフル スロットルを避けます。

車両を始動できない場合:

- ▶ 「キーの電池が切れた状態または電波干渉がある状態での車両の始動」の章 (75ページ) を参照してください。

エンジンの停止



警告

車両が動き出す危険

車両を適切に駐車しなかった場合、車両が不意に動き出して人や物に危害を与える恐れがあります。

- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリック パーキング ブレーキをかけ、セレクター レバーの P ボタンを押してください。



警告

停止中のパワー ステアリングおよびブレーキ ブースター

パワー ステアリングおよびブレーキ ブースターは、エンジンが作動している状態でのみ操作可能です。エンジンが OFF になっている場合、ステアリングホイールまたはブレーキを回すために普段より大きな力が必要になります。

- ▶ イグニッションは、車両が停止している場合のみ、OFF にしてください。

1. 停車してください。
 2. 制御装置をイグニッション ロック位置 0 に向けま
- ▶ 車両から離れる前に、セレクター レバーの P ボタンを押し、電気的な駐車ブレーキを起動してください。



インフォメーション

制御装置は取り外せません。

オートスタート/ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するすべての条件が満たされるとオートスタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより燃料の消費を節約します。

エンジンが自動停止した後もイグニッションがONの状態が維持され、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

エンジンを自動停止するための条件

- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
- ✓ ボンネットが閉まっている。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている
- ✓ PDK 作動モード **D**、**M**、**N**、または **P** が選択されている。
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している。
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した。
- ✓ 運転席シートベルトを着用している、または運転席ドアが閉まっている。

エンジンの自動停止および自動始動

エンジンの停止

1. ブレーキペダルを踏んで停車してください。
2. ブレーキペダルを踏み続けてください。
 - または –
 - ▶ 車両が停車中にセレクターレバーの **P** ボタンを押してください。

i インフォメーション

停車中にブレーキペダルをいっぱいまで踏み込むと、**HOLD** 機能が作動します。この機能は、ブレーキペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。エンジンはアクセルペダルを踏む、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

i インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール(ACC)がONの場合、前走車が停車したら車両は走行を停止し、エンジンを自動的に停止します。
車両は **HOLD** 機能によって停止状態に維持されます。

エンジンの始動

- ✓ 作動モード **D**、**M**、**N**、または **P** が選択されている。
- ▶ フットブレーキを放してください(作動モードが **P** の位置にない場合)。
 - または –
 - ▶ アクセルペダルを踏み込んでください。
 - または –
 - ▶ ステアリングホイールを動かしてください。
 - または –
 - ▶ 作動モード **R** を選択してください。

エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

エアコンで車内を快適にするためなど特定の条件下で、エンジンが自動的に始動する場合もあります。場合により、ブレーキペダルを踏み込むことを促すメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

i インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール(ACC)の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

降車時の作動

エンジンの自動停止時に降車する(運転席シートベルトを着用しておらず、運転席のドアが開いており、ブレーキペダルを踏んでいない場合)と、エンジンは**自動的に始動しません**。さらに、作動モード **D**、**R**、または **M** になっている場合:

- エレクトリックパーキングブレーキがかかります。
- トランスミッションパーキングロック **P** に入れます。
- ▶ 「ブレーキ」の章(209ページ)を参照してください。
- ▶ 「トランスミッション」の章(167ページ)を参照してください。

運転席ドアが開き、運転席シートベルトが外れた状態でも、エレクトリックパーキングブレーキを手動で解除すると車両を移動させることができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、トランスミッションレンジは選択された位置のままになります。作動モード **D**、**R**、または **M** でパーキングブレーキを解除した場合、またはブレーキペダルを踏んだ状態で作動モード **D**、**R**、**M** が選択されている場合には、エンジンが再始動します。

降車後30秒以内に以下の条件のうちの1つが検出された場合、オートスタート/ストップ機能が再開します。

- ブレーキペダルを踏み、さらに運転席ドアを閉じるか、運転席シートベルトを着用した場合。
 - または –
 - 運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用した場合。
 - または –

あ

運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用したうえで、アクセルペダルを踏んだ場合。

車両を離れてから30秒以内にオートスタート/ストップ機能をOFFにした場合、運転席ドアを閉めてシートベルトを着用してからでなければ、エンジンは始動しません。上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて30秒後にエンジンを手動で始動する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。
- ▶ 「エンジンの始動および停止」の章（70ページ）を参照してください。
- ▶ 「シートベルト」の章（114ページ）を参照してください。

オートスタート/ストップ機能の例外

次のような状況では、オートスタート/ストップ機能は使用できません。例：

- SPORT および SPORT PLUS 走行プログラムが有効
- PSM スイッチがOFFまたはSPORTモードのとき
- 操作中。
- エアコンの「最大冷房出力」が有効です。
- 「フロントウィンドウデフロスター」機能が有効。
- 高地
- シャーシレベルの調整中
- トレーラー検出（自転車のキャリアコネクターまたはトレーラーコネクターが差し込まれている）他のメーカーのトレーラーヒッチが車両に取り付けられている場合は、オートスタート/ストップ機能を必ず手動でオフにしてください。

例えば次のような状況では、オートスタート/ストップ機能が制限されます。

- 高い設定のエアコンまたは車内ヒーティング
- バッテリー充電が少ない
- 上り坂または下り坂
- オートエンジンチェック機能など車両が初期点検を実行しているとき
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高いとき

インフォメーション

オートストップ後に次のような状況に陥ったときは、エンジンが自動的に再始動します。

オートスタート/ストップ機能のON/OFFを切り替える

OFFにする



エンジンのオートスタート/ストップ機能が停止します。

ONにする



停車すると、エンジンが自動的に停止します。

オートスタート/ストップ機能の表示

エンジンの自動停止および再始動の準備

オートスタート/ストップ機能でエンジンが自動停止

した場合、インストルメントクラスターのインジケーターライトが緑色に点灯します。

エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない

オートスタート/ストップ機能が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動しない場合は、停車中にインストルメントクラスターのインジケーターライトが黄色に点灯します。

オートスタート/ストップシステムは、次の状態を検出します：

- エンジンを自動停止するための条件の少なくとも1つが満たされていない。
 - または -
- オートスタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも1つ以上満たされている。
- ▶ 「エンジンを自動停止するための条件」の章（71ページ）を参照してください。
- ▶ 「オートスタート/ストップ機能の例外」の章（72ページ）を参照してください。

警告メッセージへの対応

故障したときは、オートスタート/ストップ機能が解除されたことを示すメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

カップホルダー

▲ 注意

熱い飲み物がこぼれた場合

熱い飲み物がこぼれた場合、乗員がやけどを負う恐れがあります。

- ▶ カップホルダーに合う、蓋がされた容器のみをご使用ください。
- ▶ 容器に飲物や液体がいっぱいに入っている状態ではカップホルダーを使用しないでください。
- ▶ 熱い飲み物を置かないでください。
- ▶ カップホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。

知識

飲み物がこぼれて損傷する恐れがあります。

- ▶ カップホルダーに合う、蓋がされた容器のみをご使用ください。
- ▶ 容器に飲物や液体がいっぱいに入っている状態ではカップホルダーを使用しないでください。

装備によって異なりますが、リヤおよびフロント センター コンソールにカップホルダーが2個から6個装着してあります。さらにリヤ アームレストにもカップホルダーがあります。

フロント カップホルダーの使用



図 34：フロント カップホルダー

リヤ カップホルダーの使用



図 35：リヤのカップホルダー

- ▶ センター コンソールを左または右に押します。

ボトルの収納

- ▶ ボトルはドアの小物入れに収納してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

キー

キーを使用する場合

i インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っている時だけにしてください。

キーが作動すると、キーのボルシェ クレストが点灯します。また走行中には、キーが作動していなくてもキーのクレストが点灯する場合があります。

走行中に、サービスおよびメンテナンスに関連するデータがキーに保存されます。キーのボルシェ クレストは、ボタンを押さなくても点灯することがあります。キーへのデータ保存やキーからのデータ読み取りに関する詳細情報については、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

以下の理由でリモコンが機能しない場合があります。

- 電磁波が送信に干渉している (ボルシェ コンフォート アクセスの場合、キーと車両間の無線通信を含む)。キーが、作動中の電子機器 (携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど) と一緒に保管されている場合。必要に応じて、キーを別の場所に保管してください。
- 故障のためにリモコンに不具合が発生している場合。
- キーのバッテリーが消耗している場合。

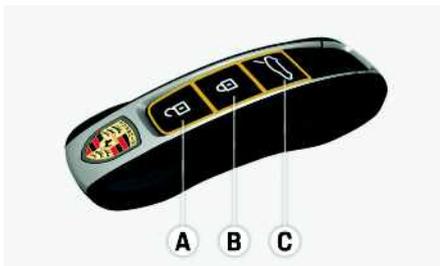


図 36 : キー

- A 車両のロック解除
- B 車両のロック
- C リヤリッドを開き、車両のロックを解除する

すべてのキーにエマージェンシー キーが内蔵されています。キーは、車両のすべてのロックを操作するのに使用できます。

- ▶ キーの取り扱いに注意し、特別の場合を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

エマージェンシー キーの使用

エマージェンシー キーの取り外し



図 37 : エマージェンシー キーの取り外し

- ▶ エマージェンシー キーを押し上げ、キーから取り出してください。

エマージェンシー キーの挿入

- ▶ しっかりとほまるまで、エマージェンシー キーをキーに挿入します。

キーのバッテリー交換



警告

リチウム ボタンセルを飲み込むことによる体内での化学火傷または死亡

キーにはリチウム ボタンセル (バッテリー) が含まれています。

バッテリーを飲み込むと、2 時間以内に体内で化学火傷を起こし、死亡する可能性があります。

- ▶ 取り外したバッテリーまたは新品のバッテリーに子どもが触れないよう注意してください。
- ▶ キーに子供を近づけないでください。子供がキーを開いてバッテリーを取り外す場合があります。
- ▶ バッテリーを飲み込んだり、身体の開口部に挿入したりした場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

i インフォメーション

- ▶ バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

キーのバッテリーを交換する必要があるときに、メッセージがインストルメント クラスタに表示されません。キーを使用したときに、キーのボルシェ クレストが点灯しなくなります。



図 38 : バッテリーの交換

バッテリー (CR 2032、3 V) を交換する

1. エマージェンシー キーを取り出してください。
2. キーハウジングの 2 箇所クリップを左右に外します。
3. バッテリーカバーを反時計回りに回して開き、取り外します。
4. バッテリーを交換します (電極の向きに注意してください)。
5. バッテリーカバーを元に戻して、時計回りに回して閉じます。
エマージェンシー キーを元の位置まで押し込めることを確認してください。
6. キーハウジングを下から押し上げて、所定の位置にはめ込みます。
7. エマージェンシー キーを挿入します。

キーの電池が切れた状態または電波干渉がある状態での車両の始動

車両とキー間の無線通信の誤動作、またはキーのバッテリー切れにより、ボルシェ コンフォート エントリー機能が無効になることがあります。

この状況で車両を始動するには下記に従います。

1. センターコンソール内の小物入れのフロント左側にキーを上に向けて配置します。
2. コントロールユニットをイグニッションロック位置 2 まで回し、その後位置 0 に戻します。
3. コントロールユニットを再度イグニッションロック位置 2 まで回します。
▶ 「エンジンの始動および停止」の章 (70 ページ) を参照してください。



図 39 : 小物入れ内のキー

スペアキーの注文と、安全な場所への保管

車両のスペアキーは、ボルシェ正規販売店でのみお求めいただくことができます。注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合があります。

- ▶ いつでもスペアキーが使えるようにあらかじめご用意ください。
- ▶ スペアキーは安全な場所に保管し、決して車内や車両の近くには置かないでください。

車両用の新しいドライバーキーについて知るために：

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両に属するすべてのドライバーキーについて再度学んでください。

i インフォメーション

合計 8 個のドライバーキーについて学ぶことができます。

i インフォメーション

- ▶ ドライバーキーが紛失したり盗まれたりした場合は、ボルシェのパートナーに依頼し、車両のドライバーキーを無効にし、必要に応じて機械的なロックを変更してください。
- ▶ ドライバーキーの紛失や盗難保険会社に通知し、追加やスペアキーの製作を依頼してください。

クーラント (冷却水)

▲ 警告

エンジン コンパートメント ブロワーまたはエンジン付近の他の可動部品

エンジン コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪などがエンジン コンパートメント ブロワーやドライブベルトなどのエンジン コンパートメントの可動部品に絡まる恐れがあります。エンジン コンパートメント ブロワーはボンネット下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、エンジン コンパートメント内の温度が監視され続けます。この間は、エンジン コンパートメント ブロワーが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーター ファン、エンジン コンパートメント ブロワー、ドライブベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

▲ 警告

高温のエンジン部品およびクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント タンクには圧力がかかっています。クーラント タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然

吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン コンパートメントで作業する際は十分に注意します。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラント リザーバーのキャップを **開かない** でください。水温計の表示が 60 °C を下回るまで待ってください。

知識

警告シンボルが表示された後でも車両が動き続ける場合は、エンジン損傷の恐れがあります。

- ▶ エンジンを OFF にして冷やします。
- ▶ クーラント レベルが適正であるにもかかわらず警告が継続する場合は、運転を続けしないでください。
- ▶ 故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86ページ) を参照してください。エンジンクーラントには年間を通じた腐食防止と、-37°C までの凍結防止の働きがあります。クーラント レベルの定期的な点検はメンテナンスの一部です。
- ▶ ポルシェが認定した不凍液のみを使用します。

ポルシェでは、Glysantin® G40® (または G12++/VW TL 774 G に準拠した不凍液) の使用を推奨しています。

E-ハイブリッド車の特徴について

E-ハイブリッド車には、手が届かないクーラント リザーバー タンクがついた 2 番目の冷却回路が存在します。そのクーラント レベルは点検する必要はありません。故障はインストルメント クラスタに表示されません。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86ページ) を参照してください。

この 2 番目の冷却システムが故障した場合:

- ▶ 決してクーラントを補充しようとししないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

クーラント レベルの点検と補充

- ▶ 「エンジン コンパートメント フィラー開口」の章 (25ページ) を参照してください。



図 40 : クーラントリザーバー

- ▶ 「インストルメント クラスタ」の章 (39ページ) を参照してください。
 - ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
 - ✓ エンジンが冷えていて、水温計が 60 °C 以下である。
1. クーラントレベルを読み取ってください。クーラントレベルは必ず **min** マークと **max** マークの間でなければなりません。
 2. クーラントレベルが **min** マーク未満の場合は、クーラントを補充します。
 3. 慎重にクーラントリザーバータンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
 4. 次にキャップを完全に取り外します。
 5. クーラントを充填してください。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。**max** マークを超えないようにしてください。
 6. クーラントリザーバーのキャップがしっかりとまるまで、回して閉めてください。
 7. クーラントの減少が著しい場合、クーリングシステムに漏れがあると考えられます。クーリングシステムを点検し、直ちにクーラント減少の原因を

解消してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。クーラントの減りが著しい場合は、クーリングシステムに漏れが発生しています。

- ▶ 早急に修理してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

クルーズコントロール

クルーズコントロールを使用すると、約30~240 km/hの範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

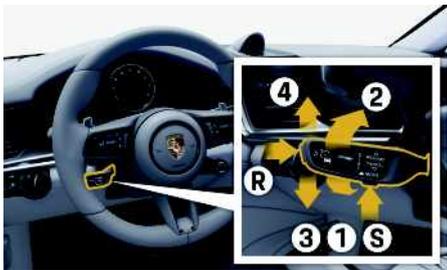


図 41 : クルーズコントロールの使用

R クルーズコントロールのON/OFF

1 速度の設定 / 加速

2 設定速度を下げる

3 クルーズコントロールの中断 (OFF)

4 クルーズコントロールの再開 (RESUME)

S オプションメニューを開く (ドライバーアシスタンスシステムがONになっている場合)

i インフォメーション

アクティブダウンシフト機能とアクティブブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。

⚠ 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

現在の交通状況で前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合は、クルーズコントロールを使用すると事故を起こす

危険があります。

- ▶ 激しい渋滞、カーブの多い道、悪い路面状態 (冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など) ではクルーズコントロールを使用しないでください。

クルーズコントロールON (スタンバイ)

- ▶ クルーズコントロール操作レバーのボタン R を押してください。

アダプティブクルーズコントロールがONで、なおかつ停止中になります。

ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。速度は保存されていません。

- または -

- ✓ ドライバーアシスタンスシステムがまだONになっていません。

1. クルーズコントロール操作レバーのボタン R を押してください。

ドライバーアシスタンスシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。

2. ステアリングホイールのロータリーノブを使用してクルーズコントロールを選択し、ノブを押して確定します。

アダプティブクルーズコントロールがONで、なおかつ停止中になります。

ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。速度は保存されていません。

すでに有効化されたドライバーアシスタンスシステムからACCへの切り替え

1. コントロールレバーのボタン S を押してください。

ドライバーアシスタンスシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。

2. ステアリングホイールのロータリーノブを使用してクルーズコントロールを選択し、ノブを押して確定します。

アダプティブクルーズコントロールがONで、なおかつ停止中になります。

ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。速度は保存されていません。



クルーズコントロールON

インストルメントクラスターのグレーのアイコンは使用可能状態を示します。

速度の設定 (維持)

- ▶ アクセルペダルの操作で希望する速度まで加減速してください。
- ▶ ステアリングホイールのレバーを前方に押しします (図 41) 1。



設定速度

現在の設定速度は赤いクルーズコントロールアイコンの下に表示され、自動的に維持されます。

速度の変更

- ▶ 速度を上げる場合は、ステアリングホイールのレバーを前方に押しします 1。
短く押す = 1 km/h、押し続ける = 10 km/h。
- ▶ 速度を落とす場合は、ステアリングホイール側にレバーを引きます 2。

短く引く = 1 km/h、引き続ける = 10 km/h

新しく設定した速度がインストルメントクラスターに表示されます。

i インフォメーション

アクセルペダルを使用して加速することができます。これによって保存された値は変更されません。アクセルペダルから足を離すと、保存された値はリセットされます。

クルーズコントロールの中止 - キャンセル

中断前に保存された走行速度はメモリーに保存され、レバーを押して再開することができます。

- ▶ レバーを下に押してください 3。
 - または -
- ▶ ブレーキペダルを踏む
 - または -
- ▶ セレクターレバーを作動モード N にしてください。
 - または -
- ▶ レバーの R ボタンを押します。

次のような状況では、クルーズコントロールは自動的に中断されます:

- 車両が設定速度以上または未満の速度で一定時間走行している。
- ボルシェスタビリティ マネージメント (PSM) が有効。

クルーズコントロールの再開 (RESUME)

- ▶ レバーを上を押してください 4。
クルーズコントロールは設定速度に加減速します。

クルーズコントロールOFF

- ▶ レバーの R ボタンを押します。

設定速度が消去され、シンボルマークが消灯します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

けん引

i インフォメーション

- ▶ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ▶ けん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引についての通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- ▶ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリックパーキングブレーキやステアリングコラムロックを解除するために外部電源の接続が必要ことがあります。

車両のけん引または押しがけによる始動

知識

けん引または押しがけによる始動は車両とトランスミッションに重大な損傷を与える危険があります。

- ▶ けん引または押しがけによる始動はしないでください。
- ▶ 車両をけん引しようとししないでください。
- ▶ ロードサイドアシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- ▶ 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーで前輪と後輪の両方を使用して車両を輸送してください。
- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイールでのみ固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、まずバッテリーを交

換するか、ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

- ▶ 「バッテリー」の章（194ページ）を参照してください。
- ▶ 「ジャンパーケーブルによるエンジンの始動」の章（117ページ）を参照してください。

車両のけん引



図 42：けん引許可



図 43：けん引不可

- ▶ 「鉄道、船舶および積載車での車両輸送」の章（81ページ）を参照してください。

けん引ロープまたはけん引バーの使用

⚠ 警告

パワーアシスト機能を使用しないため、ステアリングを回す力およびブレーキを踏む力を強くする必要があります

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリングアシスト機能およびブレーキアシスト機能を利用することはできません。ブレーキおよびステアリング操作に、より力を入れる必要があります。

- ▶ 車両のけん引時には、十分に注意してください。

- ▶ けん引ロープ/けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- ▶ 必ずけん引ロープまたはけん引バーの定格荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ▶ 車両をけん引する場合、この車両より車両重量の大きい車両はけん引しないでください。
- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ けん引するときは、最初にけん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープまたはけん引バーをけん引フックに取り付けてください。
 - ▶ 「けん引フックの使用」の章（81ページ）を参照してください。

けん引ロープを使用する

- ▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

けん引バーを使用する

- ▶ けん引バーを斜め方向に取り付けけないでください。

けん引フックの使用



図 44：けん引フック

けん引フックの取り付け

けん引フックは車載工具に収納されています。

- ▶ 「ラゲッジコンパートメント」の章（252ページ）を参照してください。
1. プラスチックカバーの下端部をバンパー内に押し込んで取り外すか、または適切なツール（例：スクリュードライバー）で慎重にプラスチックカバーを取り外してください。
 2. プラスチックカバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
 3. けん引フック **A** を反時計方向いっぱいめにねじ込み（逆ねじ）、手で締め付けてください。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック **A** を外してください（時計回りに回転、逆ねじ）。
2. 開口部の下端にプラスチックカバーを差し込んでください。
3. プラスチックカバーを折り曲げ、バンパーにはまるまで上端を押ししてください。
4. けん引フックを車載工具に収納してください。

鉄道、船舶および積載車での車両輸送

1. ロープ等で車両を固定するときは、ホイールのみで固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。
 2. 室内モニタリングシステムと傾斜センサーを解除してください。
- ▶ 「警報システム」の章（108ページ）を参照してください。

格納式リヤ スポイラー

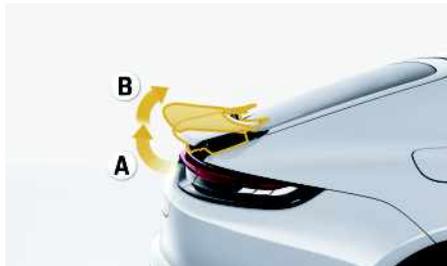


図 45：格納式リヤ スポイラー

リヤ スポイラーは、高速走行時では走行安定性を向上させ、低速走行時では燃料消費を低減します。

Panamera Turbo には追加フラップが取り付けられているため、空気力学的に優れており、より大きく効果的な形状の改良型リヤ スポイラーが装備されています。

オートマチック モード

リヤ スポイラーの自動上昇および格納には様々な条件が関係します。

リヤ スポイラーの自動上昇：

- 約 90 km/h で A 位置に移動
- 約 200 km/h で B 位置に移動。

リヤ スポイラーの自動下降：

- 約 180 km/h で B 位置から A 位置に移動
- 約 60 km/h で A 位置から最終位置に移動

自動コントロール システムが故障した場合、インストール クラスタにリヤ スポイラーの故障に関する警告メッセージが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

⚠ 警告

エアロダイナミクスの変化

リヤ スポイラーの故障に関するインストールメント パネルの警告メッセージは、高速走行時にリヤ アクスルが浮き気味になるため走行安定性が損なわれることを示します。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ 修理工場で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

マニュアル モード

イグニッションが ON の場合、ダッシュボードのタッチディスプレイでリヤ スポイラーを手動で伸縮させることができます。マニュアルモードでは、リヤ スポイラーを自動で完全に格納することはできません。

手動で展開

1. 車両 ▶ ドライブ ▶ スポイラーを選択します。
現在のスポイラー位置は、車両モデルに表示されます。

i インフォメーション

選択したスポイラー位置は、個別モードに保存できます。

手動で格納

1. 車両 ▶ ドライブ ▶ スポイラーを選択します。
2. 現在のスピードが 15 km/h 未満の場合：リヤ スポイラーが完全に格納されるまでスポイラー ボタンを長押しします。
– または –
現在のスピードが 15 km/h を超えている場合：スポイラー ボタンを短く押します。
リヤ スポイラーはオート モードに切り替わりま

⚠ 注意

リヤ スポイラーの展開および格納

停車中にリヤ スポイラーを手動で展開または格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ リヤ スポイラーが可動する範囲に人がいないことを確認してください。

知識

リヤ スポイラーを損傷する危険があります。

- ▶ リヤ スポイラーを持って車両を押さないでください。

給油

一般情報



警告

給油時の火災の危険

燃料は非常に引火性が高く、激しく燃えたり爆発を起こしたりする可能性があります。

- ▶ 燃料を取り扱う際、火災、裸火、および喫煙は禁止されています。



警告

燃料蒸発ガスの吸引および燃料の皮膚への付着。

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

i インフォメーション

燃料によって硫黄含有量が高いものがあります。そのため、特定の運転状況下において、エンジン内の燃焼が不快な匂い(いわゆる「腐った卵の匂い」)を引き起こすことがあります。この特性に関してボルシェ社は責任を負いかねます。また、これは車両の不具合ではありません。

イグニッションを ON にすると、インストルメントパネルに燃料の残量が表示されます。

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章(86ページ)を参照してください。
- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 「テクニカルデータ」の章(289ページ)を参照してください。

燃料不足 경고등 점등시 즉시 주유를 하십시오. 연료 부족 경고등 점등 상태에서 주행할 경우 시동이 꺼질 수 있습니다.

適切な燃料の選択

知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、およびエキゾーストシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 下記で要求されている燃料のみを使用してください。
- ▶ エタノール含有燃料を使用しないでください。

i インフォメーション

燃料品質についての情報は、通常フューエルポンプに表示されています。ガソリンスタンドの従業員も情報を提供することができます。

エンジンは金属系添加物を含まない無鉛プレミアムガソリンを使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

モデル	推奨燃料	代替燃料
Panamera、Panamera 4	少なくとも 95 RON / 85 MON	
その他全てのガソリンエンジン車	少なくとも 98 RON / 88 MON	少なくとも 95 RON / 85 MON

この車両のエンジンはエタノール含有量10%以下の燃

料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。



i インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価が91 RON/82.5 MONの金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価が91 RON/82.5 MON以上の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用してください。
- ▶ オクタン価が91 RON/82.5 MONの無鉛ガソリンを使用した場合は、フルスロットルで走行しないでください。

低品質な燃料と添加剤の使用

知識

ボルシェ社が承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾーストシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ボルシェ社が承認した添加剤のみを使用してください。
- ▶ 給油前に添加剤を投入してください。

地域によっては、燃料の析出挙動がボルシェ社の基準を満たしていないことがあります。ボルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤

を混ぜ合わせてください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ポルシェ部品番号：000 043 209 02

- ▶ 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。
- ▶ 定期点検時期（サービスインターバル）、特にオイル交換時期を遵守してください。

燃料の給油

知識

E ハイブリッド車両：

燃料不足によってエンジンが停止した場合、車両が燃料残量を新たに検出するには、タンクに最低限の量の燃料を補充する必要があります。そうしない場合、エンジンを再始動できません。

- ▶ 燃料を 15 リットルまで再充填します。

知識

デコラティブ フィルムに燃料が付着すると、退色の原因になります。

- ▶ フィルムに付着した燃料はすぐに拭き取ってください。

i インフォメーション

E-ハイブリッド車両：

燃料タンクのガソリン ガスが原因で、特定の内部の圧力が発生する恐れがあるため、フィルター フラップを開く前に逃がしてください。この状況でのタンクの排気には時間がかかる場合があります。フィルター フラップは解除されないため、燃料タンク ベンチレーションが完了するまで開くことが可能です。



図 46：ボタン A：燃料タンク ベンチレーションの開始およびフィルター フラップの解除



図 47：フィルター フラップを開く

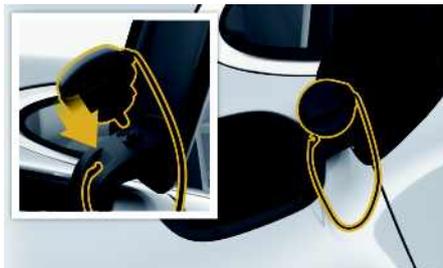


図 48：タンクのキャップを開く

- ✓ エンジンが停止している。
- ✓ イグニッションを OFF にする。
- ✓ 車両のロックが解除されている。

- ▶ **E-Hybrid 車両：**燃料タンク ベンチレーションを開始するために、運転席ドアのボタン A を押してください。

燃料タンク ベンチレーション ステータスがインストルメント クラスターに表示されます。燃料タンク ベンチレーションが完了すると終了音が鳴り、フィルター フラップが解除されます。燃料タンク ベンチレーションが正常に完了されない場合、燃料タンク ベンチレーションを再び開始するために、ボタン A を再度押すことができます。

1. E-Hybrid 車両：解除されたフィルター フラップを完全に開いてください。

E-Hybrid ドライブ非装備車：フィルター フラップの後部を押して、フィルター フラップを開いてください。

この車両に使用できる燃料の種類については、フィルター フラップの裏のステッカーに明示されています。

2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
3. 取り外したタンク キャップはホルダー にかけてください。
4. 給油ノズルは確実にフィルターの奥まで差し込み、注入時はノズルを下に向けて給油してください。
5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けないでください。無理に給油すると、燃料が温まったときに、タンクの燃料が吹き返したり、あふれ出したりすることがあります。
6. 給油後は直ちにキャップを取り付け、ロック音と手ごたえを感じるまで、しっかりと閉じてください。
7. フィラー フラップを閉じてフィルター フラップの後部（矢印）を押し、しっかりと閉じてください。

i インフォメーション

タンクのキャップを紛失した場合は、必ず純正部品と交換してください。

フィルター フラップの緊急解除



図 49 : 緊急時のフィルター フラップのロック解除

装備仕様に応じて、いろいろなロック解除オプションが利用できます。フィルター フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手動でフィルター フラップを開くことができます。

✓ E-Hybrid 車両以外

1. 右ラゲッジコンパートメントトリムの赤色の緊急解除ストラップを**矢印の方向**に慎重に引きます。フィルター フラップのロックが機械的に解除されます。
2. フィルター フラップの後部を押すと、フラップが開きます。

✓ E-Hybrid 車両

1. 車両右側のラゲッジコンパートメントトリムパネルを取り外します。緊急解除ストラップは、12Vバッテリーの左側にあります。
2. 右ラゲッジコンパートメントトリムの赤色の緊急解除ストラップを**矢印の方向**に慎重に引きます。フィルター フラップが開きます。緊急解除後にタンクキャップをゆるめる際、燃料気化ガスが漏れ出す恐れがあります。



警告

燃料蒸発ガスの吸引および燃料の皮膚への付着。

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ

警告メッセージが表示された場合は、必ずこのマニュアルの該当する章をお読みください。

警告灯が表示されると、警告音も鳴ります。

すべての測定条件が揃っている場合にのみ、警告メッセージが表示されます - そのため、定期的にすべてのフルード レベルを確認してください。

セキュリティ

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	エアバッグ システム故障 要整備	エアバッグ システムが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	エアバッグ システムエラー 走行可能 要修理	エアバッグ システムが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ドア挟み込み防止 故障	リヤドア用チャイルド ロックが故障しています。 ▶ チャイルド ロックを OFF にしてから再度 ON にしてください。 ▶ エラーが継続する場合、ポルシェ正規販売店にご連絡ください。*
	ステアリングロックを 動かしてください	ステアリング ロックに大きな負荷がかかっています。 継続走行可能です。 ▶ ステアリング ホイールを左右に回して、ステアリング ロックを解除してください。
	ステアリングが ロックされています 要整備	ステアリング ロックが作動しています。 ▶ ステアリング ホイールのロックを解除するには、車両のロックを解除してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ステアリング アシスト故障 操舵力 増大 継続走行可	パワー ステアリングは、故障した / 機能が制限された / 不具合がある状態です。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	① 点灯 ブレーキ液面	ブレーキ液面が低過ぎます。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	低下 安全な場所に 停車してください	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 ブレーキ ブースター故障	<p>パワー ステアリングは故障したか不具合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 制動力配分 故障 安全な場所に 停車してください	<p>制動力配分が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 ABS/PSM故障 慎重に走行 してください	<p>ABS またはポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) に故障があります。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 ブレーキパッド 摩耗 ブレーキパッドを交換 してください 走行可能	<p>ブレーキパッドが摩耗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 パーキング ブレーキ 故障 走行可能	<p>パーキング ブレーキが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 電動パーキングブレーキ サービスモード	<p>パーキング ブレーキがサービス モードになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 P位置使用不可 車両が動き出す恐れ あり。	<p>トランスミッション パーキング ロック P 位置は使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 作動モード P を選択してください。 ▶ 「トランスミッション」の章 (167ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		 レイン/ライト センサー故障 要整備	レイン/ライト センサーが故障しています。 ▶ フロントワイパーおよびライトを手動で ON にしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ	 点滅	 左/右スタティック コーナリングライト故障 要修理	表示されたコーナリングライトが故障しています。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
た	 点灯	 ドライビングライト 制御故障 ステータス：一時 走行可能	ドライビングライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な			
は	 点滅	 ヘッドライト コントロール 故障 要修理	ヘッドライト コントロールが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま		例：  左リヤウィンカー 故障 ウィンカー 要点検	表示されたライトが故障しています。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や			
ら		 ハイビームアシスト 使用不可 走行可能 ハイビームを手動で 作動させてください	ハイビームアシストは一時的に使用できません。 ▶ ハイビームを手動で点灯してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ		 ハイビームアシスト 使用不可 カメラビューなし 必要に応じて フロントガラスを清掃	カメラの故障により、ハイビームアシストは一時的に使用できません。 ▶ フロントウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
A-Z			

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>PDLS プラス使用制限中のため、 カメラ視野無 必要に応じて清掃</p>	<p>カメラの故障により、ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS +) は一時的に使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>ヘッドライトビーム 調整故障 走行可能 要修理</p>	<p>ヘッドライト レベリングが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた速度で運転してください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>ワイパー故障 要整備</p>	<p>フロント ワイパーが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 <p>タイヤを点検 してください</p>	<p>1つまたは複数のタイヤの空気圧が著しく低下しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「パンク」の章（197ページ）を参照してください。 ▷ 「タイヤおよびホイール」の章（145ページ）を参照してください。
 点灯	 <p>空気を充填してください</p>	<p>1つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 「パンク」の章（197ページ）を参照してください。
 点滅または点灯	 <p>TPMSエラー 要整備</p>	<p>タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) が故障しています。タイヤ空気圧は監視されていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅または点灯	 <p>システムは短時間 利用できません ステータス：一時 走行可能</p>	<p>タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) に一時的なエラーがあります。タイヤ空気圧は監視されていません。</p> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点滅または点灯	 <p>TPMS無効</p> <p>システム学習には xx km/h を超える速度が必要</p>	<p>タイヤ空気圧モニタリング (TPM) がタイヤの登録を完了するまでは、表示された速度で走行する必要があります。</p> <p>このプロセスを実行している間は、現在のタイヤ空気圧は表示されません。</p> <p>▶ 後ほどタイヤ空気圧監視モニタリングを再実行してください。</p>
 点滅または点灯	 <p>タイヤ交換が 検出されました</p> <p>アップデート選択</p>	<p>ホイールを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。</p> <p>▶ タイヤ設定を更新してください。</p> <p>▷ 「PCMでのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定。」の章 (146ページ) を参照してください。</p>
 点灯	 <p>コンフォート プレッシュャー 減速してください</p>	<p>設定したコンフォート プレッシュャーの最高速度を超過しています。</p> <p>▶ 減速してください。</p>
	 <p>歩行者警告 使用不可 要整備</p>	<p>歩行者警告は一時的に使用できません。</p> <p>エラーが継続する場合：</p> <p>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
	 <p>歩行者保護 フードを閉じてください 要整備</p>	<p>歩行者保護が起動しました。</p> <p>▶ ボンネットを閉じます。</p> <p>▷ 「ボンネット」の章 (241ページ) を参照してください。</p> <p>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
	 <p>歩行者保護 システムエラー 走行可能 要修理</p>	<p>歩行者保護システムが故障しています。</p> <p>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p data-bbox="571 274 743 381"> オイルレベル限界 限界 xx リットルの オイルを直ちに補充 </p>	<p data-bbox="850 191 1169 212">オイルレベルが最低値を下回りました。</p> <ul data-bbox="850 221 1490 462" style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。 ▶ インストルメント パネルのオイル測定を呼び出してください。 <ul data-bbox="874 330 1490 377" style="list-style-type: none"> ▷ 「インストルメント クラスタ」の章（39ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン オイルを補充してください。 <ul data-bbox="874 412 1409 436" style="list-style-type: none"> ▷ 「エンジン オイル」の章（66ページ）を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p data-bbox="579 491 735 598"> オイルレベル超過 レベル超過 走行可能 要整備 </p>	<p data-bbox="850 491 1230 512">エンジン オイル レベルが上限を上回りました。</p> <ul data-bbox="850 520 1286 542" style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p data-bbox="619 625 695 732"> 油圧測定 エラー 走行可能 要整備 </p>	<p data-bbox="850 625 1150 646">オイルレベル測定に故障があります。</p> <ul data-bbox="850 655 1286 676" style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p data-bbox="547 759 767 866"> オイルレベル低下 エンジン オイル xx リットルの補充が必要 </p>	<p data-bbox="850 759 1150 780">オイルレベルの下限に達しています。</p> <ul data-bbox="850 789 1409 836" style="list-style-type: none"> ▶ エンジン オイルを補充してください。 <ul data-bbox="874 818 1409 839" style="list-style-type: none"> ▷ 「エンジン オイル」の章（66ページ）を参照してください。
	 <p data-bbox="579 965 735 1047"> 油圧低下 安全な場所に 停車してください </p>	<p data-bbox="850 894 1070 916">エンジン油圧が低過ぎます。</p> <ul data-bbox="850 924 1490 1112" style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 ▶ インストルメント パネルのオイル測定を呼び出してください。 <ul data-bbox="874 1036 1490 1083" style="list-style-type: none"> ▷ 「インストルメント クラスタ」の章（39ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン オイルを補充してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か			<ul style="list-style-type: none"> ▷ 「エンジン オイル」の章（66ページ）を参照してください。 ▶ オイルレベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示される場合は、運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ		油圧測定 エラー 走行可能 要整備	油圧測定が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
た			
な		エンジン油温 超過 要負荷軽減	エンジン油温が高過ぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷却してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ インstrument パネルのオイル測定を呼び出してください。 ▷ 「Instrument クラスタ」の章（39ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン オイル」の章（66ページ）を参照してください。
は			
ま		油温表示 故障 走行可能 要整備	エンジン油温計が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や			
ら		クーラントレベル	クーラント レベルが低過ぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷却してください。 ▶ クーラント レベルを点検してください。 ▷ 「クーラント (冷却水)」の章（76ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。
わ	クーラントの温度表示が最高マーク	安全な場所に 停車してください	エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
A-Z			
		水温計 エラー	水温計にエラーがあります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
			

表示	メッセージ	意味および必要な措置
クーラントまたはエンジン オイルの温度表示が最高 マーク	 <p style="text-align: center;">走行可能 要整備</p> <p style="text-align: center;">エンジン温度 超過 エンジン冷却のため 停車してください</p>	<p>クーラント温度またはエンジン油温が高過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷却してください。 ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。 ▶ クーラントおよびエンジン オイルのレベルを点検してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「エンジン オイル」の章（66ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「クーラント (冷却水)」の章（76ページ）を参照してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p style="text-align: center;">クーラントポンプ 故障</p>	<p>クーラント ポンプが故障しています。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<p style="text-align: center;">冷却エア フラップ 故障 エンジン全負荷回避 ポルシェ正規販売店に相談してくだ さい</p>	<p>冷却フラップが故障しています。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 全負荷を回避してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 <p>点滅または点 灯</p>	 <p style="text-align: center;">エンジン出力低下</p> <p style="text-align: center;">走行可能 要整備</p>	<p>エンジン出力が減少します。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 <p>点滅または点 灯</p>	 <p style="text-align: center;">エンジン制御 故障 安全な場所に 停車してください</p>	<p>エンジン制御システムが故障しています。</p> <p>適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。</p> <p>運転を続けしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		エンジン制御 故障 走行可能 要整備	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両

	表示	メッセージ	意味および必要な措置
な		車両電気システム故障 安全な場所に 停車してください	車両電気システムが故障しています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は		電気利用のため 要エンジン作動 車両電気システムエラー 安全な場所に停車	車両電気システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま		車両電気システム故障 または バッテリー低下 要整備	車両電気システムが故障しているか、バッテリーが低下していません。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や		スタート/ストップ 故障	現在スタート / ストップ機能が利用できません。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら		トランスミッション 故障 安全な場所に	トランスミッションが故障しています。 走行可能なのは、次に停車するまでです。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	停車してください	<p>運転を続けしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「けん引」の章（80ページ）を参照してください。
	 <p>トランスミッション 加熱 トランスミッション 冷却の為安全な 場所に停車してください</p>	<p>トランスミッション温度が高過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車して、トランスミッションを冷却してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>トランスミッション 故障 リバースギヤが 使用できない</p>	<p>トランスミッションが故障しています。</p> <p>リバース ギヤが機能しない可能性があります。</p> <p>スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>トランスミッション 温度超過 要負荷軽減</p>	<p>トランスミッション温度が高過ぎます。</p> <p>継続走行可能です。車両発進時に「異常を知らせる不自然な動き」が感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ エンジンにかかる負荷を軽減してください。 ▶ アクセルペダルの操作で車両を制御するのではなく、ブレーキを使用してください。 ▶ 警告が消えるまで作動モードを P または N の位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。
	 <p>整備通知 トランスミッション</p>	<p>トランスミッションの追加のメンテナンスが必要です。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>xx 日以内に点検 が必要</p>	<p>サービス インジケーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 表示されている距離 / 期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。なお、「整備手帳」に掲載されているサービス インターバルを優先してください。
	 <p>エンジン出力低下</p>	<p>燃料タンクが空です。</p>

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		すぐに 確認し、至急ガソリン	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 最寄りの給油所で給油してください。 ▷ 「給油」の章（83ページ）を参照してください。
さ	 点灯	 タンクキャップが 開いています タンクキャップを閉めてください	<p>タンク キャップが完全に閉じていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 燃料キャップを正しく取り付け、確実にロックするまで回します。 ▷ 「給油」の章（83ページ）を参照してください。
た		 ドア開 または トランクリッド開	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 表示されたドアまたはテールゲートを閉じてください。
な		キーがないか 故障しています 印のエリアに対して エリアに対してキーを	<p>キーの電池が消耗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両を始動するには、左フロントのセンター コンソールの小物入れにキーを置きます。 ▶ 電池を交換してください。 ▷ 「キー」の章（74ページ）を参照してください。 <p>または</p>
は		または	キーが故障 / 見つからない / 認識できません。
ま		または キーの位置を	<p>キーの位置が正しくありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 干渉源となっている可能性のあるもののスイッチを OFF にしてください。 ▶ この操作を行うときは、キーを携帯している必要があります。 – または – ▶ 車内でキーの位置を変更してください。
や		スポイラー故障 減速してください	<p>走行安定性が損なわれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら			
わ			
A-Z			

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 または 	スポイラー故障 または スポイラー制御 故障 慎重に走行 してください	走行安定性が損なわれます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 エンジンを再始動させた後も、エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング システム

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	シャーシシステム 故障 慎重に走行してください 取扱説明書をご確認ください	シャーシが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	シャーシシステム 故障 要整備 慎重に走行 してください	シャーシが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障シャーシ システム 安全な場所に 停車してください	シャーシが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車高が 低すぎます 発進せず、運転可能に	車両レベルが低過ぎます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
		なるまで待機	
か		車高が高すぎます 慎重に走行してください	車高レベルが高過ぎます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ			
た	 点灯	PSM 故障 安全な場所に停車してください	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な	 点灯	PSM故障 要整備 慎重に走行してください	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は	 点灯	ABS/PSM故障 慎重に走行してください	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま	 点灯	PSM自動 作動	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が自動的に ON になりました。
や		PSMスポーツ 車両安定システム 制限中	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) スポーツが有効である場合、車両安定システムは制限された範囲でのみ利用可能です。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
ら		PDCC 故障 PSM ON 状況の変化に応じた運転は 可能	状況の変化に合わせて慎重に運転してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ			
A-Z			

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>駆動力分配 システムエラー 慎重に走行 してください</p>	<p>ポルシェ トラクション マネージメント (PTM) が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>駆動力分配 システム故障 または 駆動力分配 システム過負荷 後輪のみ駆動 慎重に走行 してください</p>	<p>ポルシェ トラクション マネージメント (PTM) に一時的なエラーがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>駆動力分配 システム温度限界 要負荷軽減</p>	<p>ポルシェ トラクション マネージメント (PTM) の負荷が過大です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>リヤデフロック 過負荷 慎重に走行 してください</p>	<p>ポルシェ トルク ベクトリング プラス (PTV プラス) の負荷が過大です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>リヤデフロック 故障 または リヤデフロック 故障 慎重に走行 してください</p>	<p>ポルシェ トルク ベクトリング プラス (PTV プラス) が故障したか不具合があります。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>リヤアクスル ステアリング故障</p>	<p>リヤ アクスル ステアリングが故障したか、不具合がある状態です。</p> <p>継続走行可能です。</p>

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		または リヤアクスル ステアリング故障 慎重に走行 してください	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ			
た		ローンコントロール 作動	ローンチ コントロールが有効です。 停車状態から最大加速度で発進することができます。 ▶ 「トランスミッション」の章（167ページ）を参照してください。
な		カメラシステム 故障 要整備	車両カメラが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は		カメラシステム 使用不可 ステータス：一時 走行可能	アシスト システムまたは車両カメラが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま			
や		カメラシステム 制限 カメラビューなし 必要に応じて フロントガラスを清掃	アシスタンス システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら		システム故障 走行可能 要修理	1つまたは複数の電気系統システムが故障している可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ			
A-Z		パークアシスト 警告音故障 または メーターパネル 警告音 故障 走行可能	警告音および距離信号（パークアシストなど）が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

表示	メッセージ	意味および必要な措置	
		要修理	
		<p>フロントパークアシスト故障 または リヤパークアシスト故障 走行可能 要修理</p>	<p>パークアシストを使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		<p>パークアシスト故障</p>	<p>パークアシストが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		<p>ACC/PAS 使用不可 センサーが汚れて います。清掃してください</p>	<p>車両前部のセンサーの汚れまたは天候によってアダプティブクルーズコントロール (ACC) が悪影響を受けている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 必要であればセンサーを清掃してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		<p>ACC/PAS 使用不可 要整備</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		<p>ACC 不可 ドライバーの運転操作 が必要です</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) を使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両のコントロールを行ってください。
		<p>ACC 不可 または ACC+渋滞</p>	<p>ABS または PSM 介入時、アダプティブクルーズコントロール (ACC) または交通渋滞アシストは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		<p>アシスト使用不可 ABS/PSM介入</p>	
さ		<p>ACC 使用不可 または ACC + 渋滞アシスト使用不可 走行可能</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) または交通渋滞アシスト システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
な		<p>ACC+渋滞 アシスト使用不可 D またはMに 入れてください</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) は D または M 作動モードを選択しているときのみ使用可能です。 ▶ 作動モード (トランスミッション レンジ) D または M を選択してください。</p>
は		<p>ACC+渋滞 アシスト使用不可 センサーが汚れて います。清掃してください</p>	<p>天候状態やセンサーの汚れにより、アダプティブクルーズコントロール (ACC) または交通渋滞アシストが一時的に使用できません。 ▶ センサーを清掃してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
や		<p>ACC+渋滞 アシスト無効 ドライバーの運転操作 が必要です</p>	<p>長時間のハンズオフ走行 (ステアリング ホイールが操作されていない) が検出されたため、アダプティブクルーズコントロール (ACC) および交通渋滞アシストが無効になりました。 ▶ ご自分でステアリング操作を行い、交通渋滞アシストと ACC を起動し ACC を再度有効にしてください。 ドライバー引継ぎが検出されないと、ブレーキがかかり車両が停止します。</p>
わ		<p>渋滞アシスト 使用不可 走行可能 要整備</p>	<p>センサーが故障しているため、交通渋滞アシストを使用できません。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
A-Z			

表示	メッセージ	意味および必要な措置	
	速度制限表示 現在制限中 カメラビューなし 必要に応じて フロントガラスを清掃	悪天候またはフロント ウィンドウの汚れにより、制限速度表示が一時的に利用できなくなっています。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
	速度制限表示 使用不可 ステータス：一時 走行可能 または サービスエリアの サービス エリア または 利用可能なナビゲーション データなし	ナビゲーション データを一時的に受信できません。 継続走行可能です。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
		LCA 不可 走行可能	レーンチェンジアシスト (LCA) が天候状態により一時的に利用できなくなっています。 ▶ ボタンを押してレーンチェンジアシスト (LCA) を作動させてください。 ▶ 「レーンチェンジアシスト (LCA)」の章 (273ページ) を参照してください。
		LCA 不可 センサーが汚れています。清掃してください	レーンチェンジアシスト (LCA) センサーがバイクラック、ステッカー、汚れまたは氷結などにより覆われています。 ▶ センサーの故障を修理してください。 ▶ ボタンを押してレーンチェンジアシスト (LCA) を作動させてください。 ▶ 「レーンチェンジアシスト (LCA)」の章 (273ページ) を参照してください。
		LCA 不可 トレーラけん引時 レーンチェンジアシスト	トレーラーをけん引しているときは、レーンチェンジアシスト (LCA) を使用できません。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		レーンキープアシスト無効 ドライバーの運転操作が必要です	ステアリング ホイールが操作されていないため、レーン キープ アシストは無効になっています。 ▶ ご自分でステアリング操作を行い、レーン キープ アシストを起動してください。
た		レーンキープアシスト使用不可 要整備	レーン キープ アシストを使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な		レーンキープアシスト制限 カメラビューなし 必要に応じて フロントガラスを清掃	レーン キープ アシストは、天候状態やフロント ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま		レーンキープアシスト制限 ステータス：一時 走行可能	レーン キープ アシストは一時的に使用できません。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や		ナイトビューアシスト 使用不可	ナイト ビュー アシストを使用できません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら		ナイトビューアシスト エラー 走行可能	ナイト ビュー アシストを使用できません。 走行可能 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
わ		ナイトビュー 歩行者検知 使用不可	歩行者検知を使用できません。 歩行者および大きい野生動物は検出されません。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
A-Z			

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>トレーラーヒッチ 故障 停車して、 トレーラーヒッチを</p>	<p>電動格納式トレーラー ヒッチのボールヒッチが停止位置にありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ ボールヒッチが所定の位置に来るまでボタンを押してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「トレーラーヒッチ」の章（172ページ）を参照してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

E-Hybrid 車両

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>ハイブリッド機能 使用不可 電気システム 加熱 走行を継続しないでください</p>	<p>ハイブリッド機能を使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>ハイブリッド システム故障 安全な場所に 停車して車両を</p>	<p>ハイブリッド システムを使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>ハイブリッド システム故障 走行可能 要整備</p>	<p>ハイブリッド システムが故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <p>ハイブリッド冷却水 液面低下 安全な場所に 停車して車両を</p>	<p>クーラント レベルが下限未満です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		車両電気リカル システム故障 再始動不可	車両電気リカル システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ		長期間エンジンを作動させる必要が あります 取扱説明書をお読みください	燃料がエンジン オイル内に溜まっています。このため、内燃エンジンをより長時間作動させる必要があります。 ▶ E-CHARGE モードを作動させます。 ▷ 「E 充電モード」の章（192ページ）を参照してください。 ▶ メッセージが消えるまで中程度のエンジン回転数で運転してください。エンジン回転数を上げすぎないように、スロットル操作を控えめにしてください。該当する制限速度を遵守してください。
た			エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な			
は		Eサウンド エラー 走行可能 要整備	E サウンドが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま		eローンチ不可	e-Launch を使用できません。 車両の温度が高過ぎます。 ▶ エンジンを OFF にして冷却してください。 または 高電圧バッテリーが十分に充電されていません。 ▶ 高電圧バッテリーを充電してください。
や			
ら		バッテリー放電 保護有効 充電状態： xx %	高電圧バッテリー放電保護が有効です。 ▶ 高電圧バッテリーを充電してください。 長時間のアイドリング： ▷ 「車両のお手入れ」の章（130ページ）を参照してください。
わ			

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p data-bbox="596 142 715 165">燃料システム</p> <p data-bbox="619 201 692 248">走行可能 要整備</p>	<p data-bbox="849 142 1278 165">タンク システムの電動ロック解除が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="849 171 1289 195">▶ フィラー フラップの緊急解除を実施してください。 <li data-bbox="874 201 1315 224">▷ 「給油」の章（83ページ）を参照してください。 <li data-bbox="849 230 1289 254">▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します：

- ドア、リヤリッド、およびボンネットの警報接点
- 室内モニタリングシステム：車両をロックした後
の車内での動き（例えばウィンドウを壊して車内に
侵入しようとしたとき）
- 傾斜センサー：車両の傾き（例えば車両をけん引し
て盗難しようとしたとき）
- 故障診断用ソケット
- トレーラーヒッチソケット

これらの警報接点のいずれか1つでも作動すると、アラームホーンが約25秒間鳴り、ハザードライトが約300秒間点滅します。

その後、5秒間警報が中断され、再度警告音が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なる）。

警報システムのON/OFFを切り替える

- ▶ 車両をロックすると、警報システムが約30秒後に作動します。
- ▶ 車両をロック解除すると、警報システムが解除されます。

i インフォメーション

ドアロックにエマージェンシーキーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

作動した警報システムをOFFにする

- ▶ ドアロックを解除します。
- または -
- ▶ イグニッションをONにしてください。

室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーをOFFにする

- ▶ 「セントラルロック」の章（123ページ）を参照してください。

警報システム機能表示

車両のロック状態は、ドアのインジケーターライトの点滅速度で示されます。

警報システムを起動させたとき

車両をロックしたときにインジケーターライトが素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警報システムを起動させたとき（室内モニタリングシステムと傾斜センサー*がOFFのとき）

車両をロックしたときにインジケーターライトが素早く点滅し、28秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

セントラルロックシステムと警報システムの故障

車両をロックしたときにインジケーターライトが素早く点滅し、28秒間連続して点灯し、その後は通常の速さで点滅します。

盗難を防止するために

- 車両を離れる前に、常に：
 - ▶ ウィンドウやパノラミックルーフシステムを閉じ

ます。これはまた、内部監視システムにより誤警報を防止します。

- ▶ パーキングロックPとエレクトリックパーキングブレーキを起動します。
- ▶ イグニッションをOFFにしてください。
- ▶ グローブボックスを閉じてください。
- ▶ すべての小物入れを閉じてください。
- ▶ 車両に貴重品、車両書類、電話、家の鍵を置き忘れないようにしてください。
- ▶ ドアとリヤリッドを閉じてください。
- ▶ ボンネットを閉じてください。
- ▶ 車両をロックしてください。

イモビライザー

すべてのドライバーキーには格納されたコードとトランスポンダ（電子部品）が含まれています。イモビライザーを無効にしエンジンを始動するために、認識されるドライバーキーが必要とされます。

ステアリングコラムのロック解除およびロック¹

自動ステアリングコラムの解除

- ▶ 車両に乗り込み、運転席ドアを開めてください（キーは車内に置いてください）。
- または -
- ▶ イグニッションをONにしてください。

自動ステアリングコラムのロック解除

- ▶ 運転席のドアを開けます（イグニッションOFFで）。
- または -
- ▶ 車両をロックしてください。

1. 国によって異なります

シート

正しいシート位置の選択

正しいシート位置は、安全で疲れにくい運転に重要な要素です。ドライバーにフィットするよう運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. 頭上の空間に十分余裕があり、周囲がよく見える高さにシートの高さを調節してください。
2. ペダルをいっばいに踏んだ時に足が伸び切らないように、かつ靴の裏がペダルの表面全体に接触するように、シートの前後位置を調節してください。
3. ステアリング ホイールの上部を握ってください。バックレストの角度とステアリング ホイールの位置は、肘が少し曲がる程度に調節してください。ただし、肩はバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要であればシートの前後位置を調節します。

⚠ 警告

走行中のシート調節

走行中にシートを調節すると、シートが予期した以上に移動する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行中にはシートを調節しないでください。

電動シートの調節機能は走行中は制限されます。

⚠ 注意

シート調節

シートの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まる恐れがあります。

- ▶ 誰にも危険がないようにシートを調節してください。

知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

フロント シートの調節

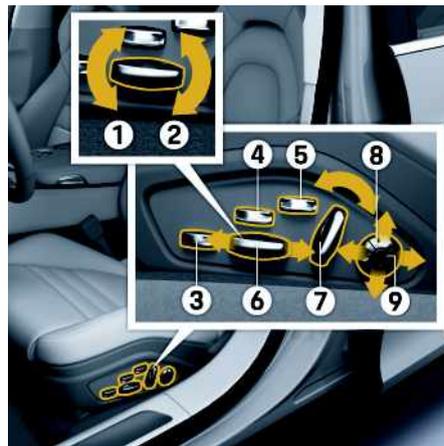


図 50：フロント シートの電動調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 サイ サポートの調節
- 4 シート クッションのサイド ボルスターの調節
- 5 シート バックレストのサイド ボルスターの調節
- 6 シートの前後調節
- 7 バックレストの角度調節
- 8 ランバー サポートの調節
- 9 マッサージ機能の ON/OFF の切り替え

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置または停止位置まで調節してください。

リヤ シートの調節



図 51：リヤシートの調節

- A サイ サポートの調節
- B バックレストの角度調節
- C ランバー サポートの調節

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または停止位置まで調節してください。

中央のリヤ シートのヘッドレスト調節

✓ リヤシート 3 席装備車

- ▶ ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
- ▶ ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。

中央のリヤ シートのヘッドレストは、高さ調節が可能です。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

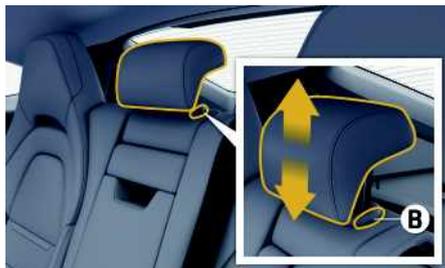


図 52：中央のリヤシートのヘッドレストの高さ調節

ヘッドレストを上げる

- ▶ ご希望の設定になるまでヘッドレストを持ち上げてください。

ヘッドレストを下げる

- ▶ ボタン B を押しながらご希望の設定になるまでヘッドレストを押し下げてください。

後方視界を確保するために、中央のリヤシートのヘッドレストの位置を格納位置まで通常より下げることができます。



警告

中央のリヤシートのヘッドレスト格納位置

ヘッドレストが正しく調節されていないと、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ 中央のリヤシートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを格納位置から上部に動かして調節してください。
- ▶ ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
- ▶ ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。

リヤシート バックレストを前方に倒して垂直位置に戻す

リヤシート バックレストは、ラゲッジコンパートメントをより広く使用するため、個別に前方に倒すことができます。

知識

リヤシートの荷物により損傷する危険があります。

- ▶ バックレストを前方に倒す場合はシートに荷物を置かないでください。

リヤシート バックレストを前方に倒す

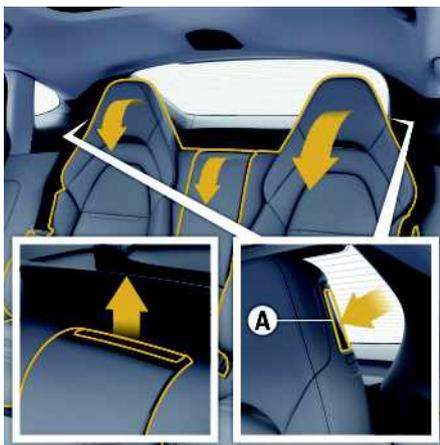


図 53：リヤシート バックレストを前方に倒す

4ゾーン エアコン装備車の場合：

- ▶ 運転席ドアのアームレストにあるセーフティ ボタンを押してから、シート バックレストを前方に倒してください。

- ▶ 「リヤでの操作を無効にする - チャイルドロック テクニション」の章（51ページ）を参照してください。

ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

リヤ センター コンソールのコントロール パネルおよびリヤ ドアのパワー ウィンドウ スイッチの機能は無効です。

1. フロント シートを前方に動かしてください。
2. リリース ボタン A を引き上げながらバックレストを前方に倒してください。

装備によりリヤシート間のオープニング部分も前方に倒すことができます。

中央のリヤシート バックレストを前方に折りたたむ

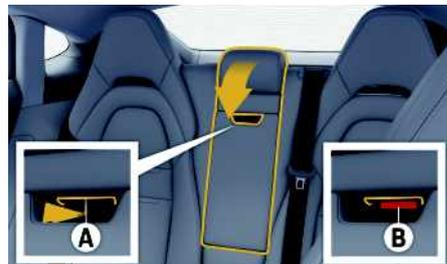


図 54：リヤシート 3 席装備車で中央のリヤシートのバックレストを前方に折りたたむ

- ✓ リヤシート 3 席装備車
- ▶ 解除レバー A を矢印の方向に操作しながらバックレストを前方に倒してください。

リヤシート バックレストをラゲッジ コンパートメントから前方に倒す

- ✓ Sport Turismo 車両



図 55：リヤシートバックレストをラゲッジコンパートメントから前方に倒す

装備により、リヤシートはラゲッジコンパートメントから前方に倒すことができます。

- ▶ 運転席ドアのアームレストにあるセーフティボタンを押してから、シートバックレストを前方に倒してください。
- ▶ 「リヤでの操作を無効にする - チャイルドプロテクション」の章（51ページ）を参照してください。

ボタンのインジケータライトが点灯します。リヤセンターコンソールのコントロールパネルおよびリヤドアのパワーウィンドウスイッチの機能は無効です。

1. フロントシートを前方に動かしてください。
2. ボタン A を左または右に引いてください。該当するシートバックレストが前方へ倒れます。

リヤシートバックレストを垂直位置に戻す

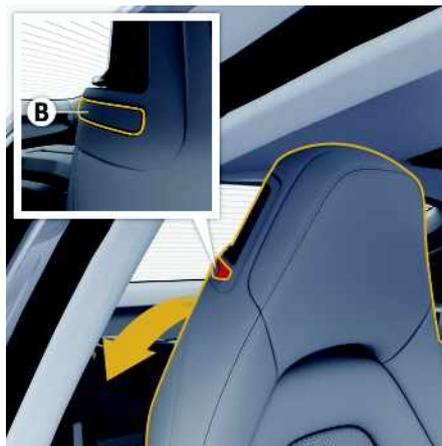


図 56：リヤシートバックレストを垂直位置に戻す



警告

シートバックレストが正しく固定されていない

リヤシートバックレストが正しくラッチされていない場合、走行中に意図せずに前に倒れてしまう場合があります。

赤いマーク B がまだ見える場合、シートバックレストは正しく固定されていません。

- ▶ シートバックレストを起こした後、赤いマーク B が見えなくなったことを確認してください。
 - ▶ 必要に応じて、再度シートバックレストを倒してもう一度固定してください。
-
- ▶ カチッと音がするまでバックレストを起こしてください。シートベルトを挟み込まないように注意してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション：

- ▶ 「パーソナル設定」の章（203ページ）を参照してください。

シートヒーター / シートベンチレーターの使用

シートヒーター / シートベンチレーターを ON / OFF にする



図 57：フロントシートヒーター / フロントシートベンチレーターの ON/OFF の切り替え

シートヒーター / シートベンチレーターを ON にする

✓ エンジンが作動している。

- ▶ 必要に応じてボタン A (シートヒーター) またはボタン B (シートベンチレーター) を繰り返し押しします。選択した設定に応じた数のインジケータライトが点灯します。

シートヒーター / シートベンチレーターを OFF にする

- ▶ インジケータライトがすべて消えるまで、必要に応じてボタン A (シートヒーター) またはボタン B (シートベンチレーター) を繰り返し押しします。

i インフォメーション

車内の温度が高いときはシート ヒーターを使用できません。
室内の温度が低いときは、シート ベンチレーターを使用できません。
バッテリー電圧が低すぎると、シートヒーター / シートベンチレーターの作動が制限され、その後 OFF になります。

シート ヒーター/シート ベンチレーターの設定

シートヒーターとシートベンチレーターについて、シートクッションとバックレストのバランスを設定することができます。

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

1. 車両 ▶ 制御 ▶ 車両 ▶ シート設定 ▶ 運転席シートヒーター バランス / 助手席シートヒーター バランス / 運転席シートベンチレーター バランス / 助手席シートベンチレーター バランス

2. バランスを設定します。

リヤのタッチディスプレイ：

1. ボタン **SEAT** ▶ コンフォート ▶ ヒーター バランス / ベンチレーター バランス
2. バランスを設定します。

フロント マッサージ機能の使用

フロント マッサージ機能の ON/OFF

✓ イグニッションが ON になっている。

1. 該当するシートのボタン 9 (図 50) を押してください。

マッサージ機能の ON と OFF が切り替わります。

2. 希望のプログラムを選択してください。
3. 希望の強さを選択してください。

マッサージ機能は 10 分後に自動的に OFF になります。

フロント マッサージ プログラムの調節

マッサージシステムは運転席と助手席で別々に調節できます。

1. 車両 ▶ 制御 ▶ プログラム
2. 希望のマッサージ プログラムを選択してください。

フロント マッサージの強さの調節

マッサージの強さは運転席と助手席で別々に調節できます。

1. 車両 ▶ 制御 ▶ 強さ
2. 希望のマッサージの強さを選択してください。

リア マッサージ機能の使用

リア マッサージ機能の選択およびマッサージ機能の ON/OFF

マッサージ プログラムは左右のリヤ シートで別々に調節できます。

1. **SEAT** ボタン ▶ マッサージ ▶ プログラム
2. 希望のマッサージ プログラムを選択してください。

マッサージ機能は 10 分後に自動的に OFF になります。

リヤ シートのマッサージの強さの設定

マッサージの強さは左右のリヤ シートで別々に調節できます。

1. **SEAT** ボタン ▶ マッサージ ▶ 強さ
2. 希望のマッサージの強さを選択してください。

イージー エントリー機能の使用

イージー エントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。



運転席シート自動調節

運転席の後ろにいる人は、運転席が後ろに向かって自動的に調整された結果、座席に挟まれる可能性があります。

- ▶ 運転席の後ろに人がいる場合は、イージー エントリー機能を OFF にしてください。

知識

リヤ シートが前に倒れていると、設定が呼び出された場合に破損する危険があります。

シートが後退して破損する可能性があります。

- ▶ リヤ シートが前に倒れている場合は、イージー エントリー機能を OFF にしてください。

降車するとき

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

機能の作動

- ▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 車両 ▶ ロック ▶ イージー エントリー

✓ 機能が作動している

- ▶ イグニッションを OFF にし、さらに運転席ドアを開いてください。
ステアリング ホイールは上方向に動きます。
運転席は後方へ動きます。

乗車するとき

ダッシュボードのタッチ ディスプレイ:

機能の作動

- ▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ロック ▶ イージーエントリー

- ✓ 機能が作動している
- ✓ 運転席およびステアリング ホイールは、イージーエントリー ポジションにあります。
- ▶ 運転席ドアを閉じ、イグニッションを ON にします。
運転席およびステアリング ホイールは、保存された位置に移動します。

i インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリング ホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

i インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、乗車時補助機能が中断します。

- ▶ ドライビング ポジションを手動で調節してください。

運転席シートからの助手席シートの調節

ダッシュボードのタッチ ディスプレイ:

1. 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ シート調節 ▶ 助手席シート位置 ▶ 助手席シートを調整する
2. 運転席のコントロールを使って助手席シート位置を設定します (図 50)。

調節を終える:

- ▶ シート調整を完了する。

リヤからの助手席シートの調節

- ✓ 機能が作動している

リヤのタッチディスプレイ:

1. **SEAT** ボタン ▶ コンフォート ▶ 助手席
2. 後ろに倒す、前に倒す、後方に移動、および前方に移動の機能を使って、助手席シートを調整します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

シートベルト

⚠ 危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用するよう義務付けられています。
- ▶ 1本のシートベルトを同時に2人で使うことは絶対に避けてください。
- ▶ だぶついた衣服やかさばる衣服（ジャケットなど）は、シートベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物（メガネ、ボールペン、携帯電話など）の上からシートベルトを締めないでください。
衝突の際に怪我をする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトがねじれていないか、またはゆるんでいないかを確認してください。
- ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

⚠ 危険

損傷したシートベルト

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルトプリテンショナーシステムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルトバックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうかを

確認してください。

- ▶ シートベルトバックルは汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- ▶ 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルトプリテンショナーシステムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
さらに、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルトプリテンショナーは以下の状況で作動する場合があります：

- 車両の前方および後方からの衝突時
- 車両の側面からの衝突時
- 車両が横転した場合

i インフォメーション

シートベルトプリテンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

シートベルト警告灯および警告メッセージの確認

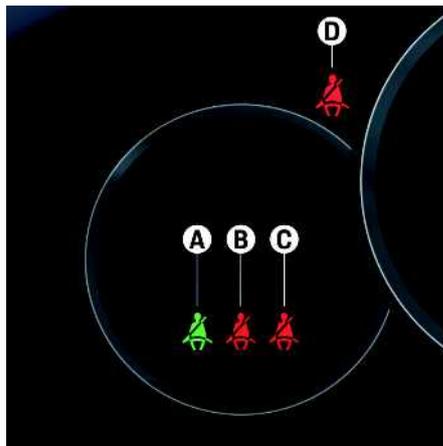


図 58：インストルメントパネルのシートベルトステータス表示

- A 左リヤシートのシートベルトステータス表示
- B センターリヤシートのシートベルトステータス表示（装備により異なる）
- C 右リヤシートのシートベルトステータス表示
- D 警告シンボル：運転席または助手席のシートベルトが着用されていない

フロントシート

イグニッションを ON にすると、インストルメントパネルに赤色の警告シンボル  D が点灯し、運転席および助手席側（乗員が座っている場合）のシートベルトが着用されるまで点灯し続けます。

さらに、インストルメントパネルに警告シンボルが表示されます。

速度が約 24 km/h を超えると、運転席側および助手席側（乗員が座っている場合）のシートベルトが着用され

ていない場合、インストルメントパネルに赤色の警告シンボル  D が点滅し、警告音が鳴ります。

リヤシート

イグニッションを ON にすると、リヤシートのベルトステータスインジケータがインストルメントパネルに表示されます。

ベルトステータスインジケータは、発進後約 60 秒で消灯します (図 58)。

緑色のシンボル  は、そのシートに座った人がシートベルトを着用していることを示します。

赤色の警告シンボル  は、そのシートに座っている人がシートベルトを着用していないか、誰もそのシートに座っていないことを示します。シートベルトが着用されてないシートがあると、約 24 km/h の速度から警告音が鳴り、赤色の警告シンボル  が約 60 秒間インストルメントパネルで点滅します。

シートベルトの調節

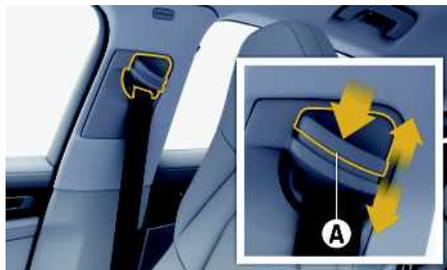


図 59：ベルトの高さ調節

フロントシートのベルトアウトレットは、高さ調節が可能です。

▶ ベルトが首ではなく、肩の中央を横切るようにベルトアウトレットの高さを調節します。

- a. 上げる - ベルトアウトレットを上方向に押しします。

- b. 下げる - ロックボタン A を押し、ベルトアウトレットを動かします。

シートベルトの着用



図 60：シートベルトの着用

1. 適切な位置に着座します。
 - ▶ 「シート」の章 (109ページ) を参照してください。
2. シートベルトが常に上半身に当たり肩の中央を横切るように、バックレストを調整します。
3. シートベルトのラッチをつかみ、ゆっくり連続した動きでベルトを引き出し、胸とひざに回します。
4. シートベルトのラッチを、シートの内側の適切なシートベルトバックルにカチッと音がするまで確実に差し込みます。
5. シートベルトが狭み込まれたり、ねじれたりしていないこと、鋭利な角などにこすり付けられていないことを確認します。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置 (骨盤) にぴったりとかかっていることを確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上につ引っ張ってください。
妊娠中の方の場合：腰ベルトをできる限り低い位

置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けてください。

7. 走行中は肩ベルトを定期的に取り上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

i インフォメーション

次のような状況では、シートベルトがブロックされる場合があります：

- 車両が傾いている。
- シートベルトが突然引き出される。
- コーナリング、または上り坂で、加速または減速する時。

シートベルトの取り外し

1. シートベルトのラッチを手で持ってください。
2. シートベルトバックルの赤色のボタンを押してください。
3. シートベルトのラッチをシートベルト引き出し口に持って行きます。

ジャッキおよびリフティング プラットフォーム



図 61：フロント側のリフティング プラットフォームおよびジャッキのジャッキアップポイント



図 62：リヤ側のリフティング プラットフォームおよびジャッキのジャッキアップポイント



警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や

損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップしている時は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- ▶ エンジンをかけたまま作業する場合は、エレクトリック パーキング ブレーキをかけ、かつトランスミッション パーキング ロック P を有効にします。

- ▶ 「タイヤおよびホイール」の章（145ページ）を参照してください。



警告

レベリングシステムのコントロール作動

レベリングシステムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 手動でノーマル レベルに設定し、車両のリフトアップを行う前にレベリングシステムを OFF にします。

- ▶ 「車両設定」の章（135ページ）を参照してください。



インフォメーション

タイヤ交換に必要な工具は車両に標準装備されておりません。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

バッテリーが上がったときは、ジャンパー ケーブルで他の車両のバッテリーを外部電源として使用してエンジンを始動することができます。両方のバッテリーの公称電圧が 12 V でなければなりません。支援車側のバッテリーの容量 (Ah) が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べて小さすぎないように確認してください。上がったバッテリーを車両の電気系統に正しく接続する必要があります。

▶ 「バッテリー」の章 (194ページ) を参照してください。

通常の作動状態でジャンパー ケーブルによる始動を繰り返し行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。



警告

不適切なジャンパー ケーブルおよび誤った手順

不適切なジャンパー ケーブルを使用したり、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動方法が正しくなかったりすると、短絡が発生する場合があります。回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- ▶ 十分な太さがあり、ターミナルクランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパー ケーブルのみを使用してください。ジャンパー ケーブルメーカーの注意事項を遵守します。
- ▶ 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- ▶ 導電性のアクセサリ (指輪、チェーン、時計ストラップなど) が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ▶ ジャンパー ケーブルをバッテリーまたは他の電子部品に決して直接に接続しないでください。ジャンパー ケーブルを接続するのはジャンパー ケーブル始動端子のみにしてください。



警告

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動は、爆発および化学熱傷を引き起こす危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動は、実施しないでください。



注意

腐食性電解液

鉛蓄電池には、触れると皮膚や衣服を損傷させる原因となる腐食性の高いバッテリー液 (電解液) が含まれています。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏れを防ぐため、バッテリーを傾けないでください。
- ▶ バッテリー液が目や皮膚に触れた場合：冷たい水で数分間洗い流してください。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

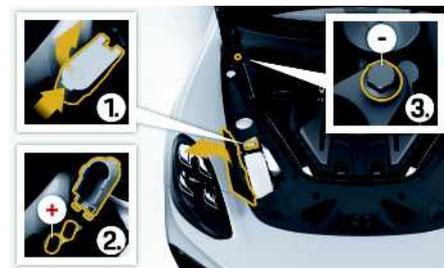


図 63：ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動の実施

1. ボンネットを開いてください。
2. プラスチック カバーを取り外してください。
3. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子カバーを開いてください。
4. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子に赤色のプラス ケーブルを接続してください。
5. 赤色のプラス ケーブルを支援車バッテリーのプラス端子に接続してください。
6. 黒色のマイナス ケーブルを支援車バッテリーのマイナス端子に接続してください。
7. 黒色のマイナス ケーブルをアース ポイント - に接続してください。
8. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げてください。
9. エンジンを始動してください。ジャンパー ケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを15秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1分以上待ってから再試行してください。
10. エンジンが作動状態のまま、黒色のマイナス ケーブルを、まずアース ポイント B から外し、次に支援車バッテリーのマイナス端子から外してください。
11. エンジンが作動状態のまま、赤色のプラス ケーブルを、まず支援車バッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパー ケーブル始動用のプラス (+) 端子から外してください。
12. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子カバーを閉じてください。
13. プラスチック カバーを元の位置に取り付けてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ステアリング ホイール

ステアリング ホイールの調節



警告

走行中のステアリングホイールの調節

走行中にステアリングホイールを調節すると、ステアリングホイールが必要以上に移動する可能性があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行中にステアリングホイールを調節しないでください。

ステアリングホイールの手動調節



図 64 : ステアリングホイールの手動調節用レバー

1. ドライバーから離して、レバーを下方に回転させてください。
2. ステアリングホイールを垂直および平行に動かし、ステアリングホイールの位置をバックレストの傾斜や着座位置に合わせます。
3. ステアリングホイールが確実に固定されるまで、レバーをドライバーに向かって元の位置まで戻してください。

ステアリングホイールの電動調節



注意

メモリー設定の予期せぬ呼び出し

ステアリングホイールの調節中に可動範囲に人や動物がいたら、身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



図 65 : ステアリングホイール調節用スイッチ

- ▶ ステアリングコラム下に取り付けられているスイッチを前後上下に動かして、ステアリングホイールを希望の位置に調節してください。

ステアリングホイール設定の保存

ステアリングホイール設定の保存と呼び出しに関する詳細なインフォメーション:

- ▶ 「パーソナル設定」の章 (203ページ) を参照してください。

マルチファンクションハンドル付きのインストルメントクラスタの操作

インストルメントクラスタの操作に関する詳細なインフォメーション:

- ▶ 「インストルメントパネルの操作」の章 (44ページ) を参照してください。

ステアリングホイールヒーターのON/OFF



図 66 : ステアリングホイールヒーターボタン

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ インストルメントクラスタにメッセージが表示されるまで、センターステアリングホイールスポークのボタン (図 66) を押します。

スポーツ クロノ ストップウォッチ ウォッチ

スポーツ クロノ ストップウォッチを使用することで、あらゆる場面で時間を計測できます。

ダッシュボード、ダッシュボードのタッチディスプレイ、インストルメント クラスタにあるストップウォッチでラップタイムを表示することができます。以下の情報を保存および評価することができます。

- ラップ回数。
- 完了したラップ距離。
- ラップタイム。
- オプション：その他の各種データ（車両位置や速度など）。

記録中、以下の項目を表示することができます。

- 現在のラップ回数。
- 現在のラップタイムと最速ラップタイムとの比較。
- 基準ラップに関して走行した距離の割合
- 現在のラップタイムが最新のラップタイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラーレート
- 燃料の残量および現在タンクに残っている燃料で完了できるラップ回数。
- 残りの記録時間。
- オプション：現在のラップおよび基準ラップに関するトラック進捗。

ダッシュボードのストップウォッチ



図 67：スポーツ クロノ ストップウォッチ

アナログ ポインターは秒を表示します。デジタル表示は 1/100 秒まで正確に示します。

デジタル ディスプレイおよびダッシュボードとインストルメント パネルのタッチ ディスプレイのディスプレイは、99 時間 59 分 59.99 秒まで表示できます。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示およびライトの設定

- ▷ 「車両設定」の章（135ページ）を参照してください。

PCM のストップウォッチ



図 68：PCM のストップウォッチ

- A 記録情報（例：現在の燃費の残量で走行可能な残りの距離およびラップ回数）。
- B 走行距離またはラップ カウンター付きサークルダイアグラム：基準ラップと比較した走行距離。現在のラップタイムが基準ラップより速い（緑色）、同一（黄色）、または遅い（赤色）のいずれであるかを示すカラー レート。

計時の開始

- ▷ 車両 ▷ CHRONO ▷ 開始

データの記録が開始されます。基準ラップが読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

- ▷ 「基準ラップの読み込み」の章（120ページ）を参照してください。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されました。

- ▷ 車両 ▷ CHRONO ▷ 停止

計時の継続

- ✓ 計時が停止している。

- ▷ 車両 ▷ CHRONO ▷ 続ける

ラップの停止 / 新しいラップの開始

1 回のセッションで最大 99 ラップを保存することができます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

✓ 計時が開始されました。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ 新しいラップ
ラップカウンターの値が1ずつ増えます。走行した最速ラップのタイムは、距離の差が許容範囲に収まっていると、最速ラップタイムとして記録されます。

▶ 「Sport Chrono の設定」の章 (120ページ) を参照してください。

中間ラップの保存

✓ 計時が開始されました。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ スプリット
中間ラップタイムは短時間表示され、保存されません。計時はバックグラウンドで続きます。

ストップウォッチ タイムのリセット

✓ 計時が停止している。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ リセット
すべてのストップタイム表示は0にリセットされ、走行記録は停止されます。

基準ラップの読み込み

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ ラップ読み込み

基準ラップの保存

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 分析 ▶ 希望の記録を選択 ▶ ゴーストラップとして保存

基準ラップのリセット

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ 基準ラップをリセット

記録の表示と編集および統計の記録

1回のセッションで最大99ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めのラップが基準ラップとして使用されます。最大で10時間の記録が可能です。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 表示 ▶ Sport Chrono 評価

記録および基準ラップの名前変更、削除、インポートおよびエクスポート

- ✓ オプション  ▶ Sport Chrono 評価が選択されています。
- ✓ SDカードが挿入されているか、USBデータバンクが接続されている。データキャリアのデータが [SportChrono] フォルダに保存されている。
 - ▶ 「インターフェース」の章 (238ページ) を参照してください。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション 

Sport Chrono の設定

追加データの記録オプションの起動およびトラック進捗の表示

ラップの長さおよびラップタイムとは別に、他の走行データ (速度など) を1秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 追加データの記録

許容距離差の設定

基準ラップの長さとして任意のラップの長さがどのくらい異なるかを示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 許容距離差

評価用の最大タイムの逸脱の設定

記録時に速度が同一 (黄色マーク) と評価されたラップ間の最大のタイム差を示します。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 評価の最大タイム差

最速ラップ (ゴースト カー) の車両位置の表示

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 基準ラップを表示

インストルメント パネルのストップウォッチ

ストップウォッチが「車両 & 情報」ディスプレイに表示されます。



図 69 : インstrument パネルのストップウォッチ

- A 最終ラップタイム
- B 最速ラップタイム
- C ラップ カウンター
- D 現在のラップタイム / 一時中間ラップ
- E 基準ラップタイムまたは最速ラップタイム
- F オプションおよびコントロールコマンド (スタート、ストップなど)
- G サークルダイアグラム: 基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示します。現在のラップタイムが基準ラップより速い (緑色)、同一 (黄色)、または遅い (赤色) のいずれであるかを示すカラー レート。

計時の開始

▶ Sport Chrono ▶ 開始

データの記録が開始されます。基準ラップが読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

- ▶ 「基準ラップの読み込み」の章 (120 ページ) を参照してください。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されている。

▶ Sport Chrono ▶ 停止

計時の継続

- ✓ 計時が停止している。

▶ Sport Chrono ▶ 続ける

ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチ タイムはラップタイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。1 回の記録で最大 99 ラップを保存することができます。

- ✓ 計時が開始されている。

▶ Sport Chrono ▶ ラップ

ラップ カウンター C が 1 ラップずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップタイム B として保存されます。

中間タイムの保存

- ✓ 計時が開始されている。

▶ Sport Chrono ▶ 中間タイム

中間タイム D は短時間表示され、保存されません。計時はバックグラウンドで続きます。サークルダイアグラム G の数字は設定された中間タイムを示します。

ストップウォッチ タイムのリセット

- ✓ 計時が停止している。

▶ Sport Chrono ▶ リセット

すべてのストップウォッチ タイム表示は 0 にリセットされます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

スモーカーパッケージ

灰皿の使用



警告

可燃性物質による火災警告

灰皿に可燃性物質が入っていると発火する可能性があります。

- ▶ 可燃性物質を灰皿に入れないでください。

フロントの灰皿の使用



図 70：フロントの灰皿の使用

灰皿を開く

- ▶ 灰皿のリッドを素早く押してください。リッドが自動的に開きます。

灰皿を空にする

1. 灰皿のインサートを引き上げて取り外します。
2. 灰皿を掃除した後は、元に戻してカチッと音がするまで所定の位置に押し込んでください。

リヤの灰皿の使用

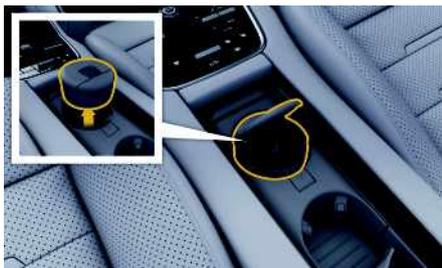


図 71：リヤの灰皿の使用



インフォメーション

- ▶ リヤのドリンクホルダーの灰皿のみ使用します。
- ▶ 走行中はリヤセンターコンソールを閉じてください。

灰皿を開く

1. リヤセンターコンソールを開きます。
2. ハンドルの取っ手部分の灰皿のリッドを開いてください。

灰皿を空にする

1. 灰皿インサートのリッド部分を持って、取り外してください。
2. 灰皿を空にしたら、灰皿のインサートを挿入します。

セントラルロック

概要 – 車外からの開閉操作とロック

この概要説明は「セントラル ロッキング」に記載されている詳しい情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 72 : キー

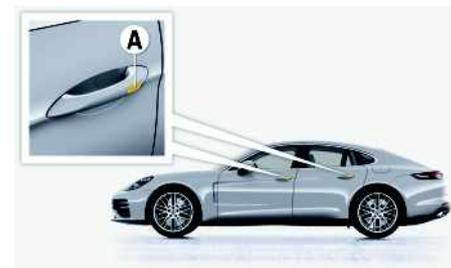


図 73 : ポルシェ イージー エントリー

希望する操作	その操作方法は？	その結果は？	参照先
ロック解除	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを押してください。 ポルシェ コンフォートアクセスによる <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドアハンドルをしっかりと握ってください。 	ハザード ライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。	▶ p. 125
ロック	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを押してください。 ポルシェ コンフォートアクセスによる <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドアハンドルのボタン A を押してください。 	ハザード ライトが2回点滅します。ドアおよびリッドはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。 室内モニタリング システム 装備車の場合：インナー ドアハンドルを引いて車内からドアを開くことができません（セーフロック）。	▶ p. 126

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

希望する操作	その操作方法は？	その結果は？	参照先
<p>人 / 動物を車両に残してロックする (室内モニタリング システム装備車の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> - セーフロックの作動を無効にする および - 室内モニタリング システムを OFF にする: 	<p>キーを使用する:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの 🔑 ボタンを (約 2 秒以内に) 2 回押してください。 <p>ボルシェ コンフォートアクセスによる</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドアハンドルのボタン A を 2 回 (約 2 秒以内) 押してください。 	<p>ハザード ライトがゆっくり1回点滅します。</p> <p>すべてのドアとリヤ リッドがロックされます。</p> <p>一方で、車内からは、インナー ドア ハンドルを引くことにより開くことができます。</p>	▶ p. 126
<p>アラーム システムのアラーム音を OFF にする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの 🔑 ボタンを押してください。 - または - イグニッションをONにしてください。 	<p>アラーム音がOFFになります。</p>	▶ p. 108

セントラル ロッキング システムの使用

i インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っている時だけにしてください。

車両装備によっては、ドライバー キーを使用して、またはボルシェ コンフォート アクセス装備車ではキーを使用せずに、ドアのロックおよびロック解除ができます。

車両のロックを解除する際、運転席ドアとフィラー フラップのみを解除するか、または車両全体のロックを解除するかを選択できます。

- ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

設定内容に関わりなく、すべてのドアをロック解除できます:

- ▶ キーのボタン **🔑** を 5 秒以内に 2 回押してください。

i インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されています。

ボルシェ コンフォート アクセス¹

ボルシェ コンフォート アクセス装備車は、キーを使用せずにロックおよびロック解除ができます。しかし、常に、ズボンのポケットなどに入れて、キーを携帯する必要があります。

第三者の不正なロック解除および車両の始動を防ぐため、車両キーを使用してボルシェ コンフォート アクセス機能を一時的に解除することができます。

ドアハンドルの汚れがひどい場合、ボルシェ エントリー & ドライブの機能が障害される場合があります。

- ▶ 「車両のお手入れ」の章 (130ページ) を参照してください。

キーを使用したコンフォート アクセスの解除

- ▶ ボタン **🔑** とボタン **🔑** を同時に押し、キーのインジケーター ライトが連続点灯するまで両方のボタンを押し続けます。
- 車両キーのインジケーター ライトの点灯により、車両キーで解除されたことを知らせます。
- キーのボタンを押すとまたはコンフォート アクセス機能は自動的に起動します。
- ▶ キーを強い電磁波にさらさないでください。ボルシェ コンフォート アクセスに悪影響を与える場合があります。

1. コンフォート アクセス システムは最先端技術です。しかし、無線キーのキー コードが盗聴されて、車両のロック解除や盗難に使用される可能性を完全に排除できるわけではありません。

ドアロックの解除

i インフォメーション

車両のロックを解除し、ドアまたはリヤリッドを45秒以内に開けなかった場合には、車両が自動的に再ロックされます。

i インフォメーション

事故が発生してエアバッグが作動した場合、救助者が車両に入れるようにするために、車両全体が自動的にロック解除されます。ハザードライトも自動的に作動します。

キーによるドアのロック解除

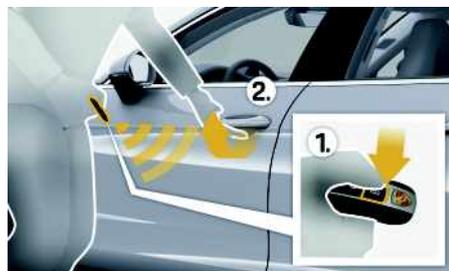


図74：キーによるドアのロック解除

1. ボタンを押してください。
ハザードライトが1回点滅します。
設定によっては、車両のロックが解除されます。
2. ドアハンドルを引いてください。

ドアハンドルの近接センサーによるドアのロック解除

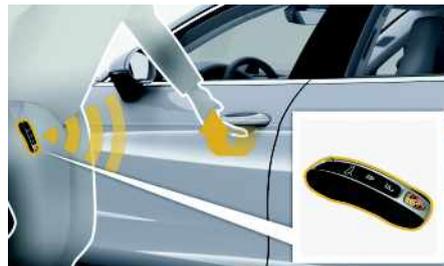


図75：ボルシェ イージー エントリーによるドアのロック解除

- ✓ ボルシェ コンフォート アクセス
 - ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
 - ✓ キーを携行して運転席または助手席側のドアに近づくと、ドアロックを解除することができる。
1. ドアハンドルをしっかり握ってください。作動中にドアハンドル前部の近接センサーに触れないでください。
ハザードライトが1回点滅します。
設定によっては、車両のロックが解除されます。
 2. ドアハンドルを引いてください。

i インフォメーション

バッテリーを節約するために、不要なコンフォート機能は次第にOFFになります。その後、キーを使用して車両のロックを解除できます。

車内からのドアのロック解除

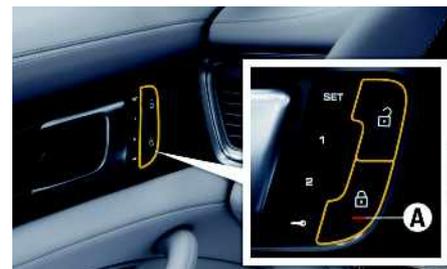


図76：ドアパネルのセントラルロックボタン

- ▶ ドアパネルの ボタンを押してください。
—または—
インナー ドアハンドルを引いてください。
すべてのドアとリヤリッドのロックが解除されます。
インジケーター ライト A が消灯します。

i インフォメーション

セーフロック作動で車両をロックした場合、またはエマージェンシー キーを使用して車両をロックした場合には、車内からドアを開くことはできません。

車両の自動ロック解除

ドアが開いている場合、またはドアパネルのセントラル ロッキング ボタンを押した場合には、車両が自動的にロック解除されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ドアのロック

セーフロックの使用



警告

車外からのドアロック

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります(セーフロック)。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ドアをロックすると、緊急時に救助者が車内に入ることが非常に難しくなります。

- ▶ ドアをロックする際、人や動物が車内にいないことを確認してください。

セーフロック(国によって異なります)を使用すると、車両をロックしたときにインナー ドア ハンドルとセントラル ロッキング ボタンが無効になり、車両に侵入することが一層難しくなります。

室内モニタリング 装備車(セーフロック)では、インナー ドア ハンドルを引いて車内からドアを開くことができません。

室内モニタリング システム非装備車の場合：ドアおよびリヤリッドはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

人や動物を車内に残してロックする場合、車両のセーフロックを解除してください。

キーによるドアのロック

- ✓ 作動モード P を選択している。
- ✓ すべてのドアが閉まっている。
- ▶  ボタンを 1 回押してください。
ハザード ライトが 2 回点滅します。

ロックされた車両のセーフロックの解除

- ▶  ボタンを 2 秒以内に 2 回押します。
ハザード ライトがゆっくり 1 回点滅します。

ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

- ▶ ドアを開くと警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。



インフォメーション

ドア、ボンネット、またはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザード ライトの点滅が終了します。



インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、車両は 4 回点滅します。ドアまたはリヤリッドを約 45 秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされません。スベア キーを使用しないとロック解除できなくなります。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にいないことを確認してください。

ドア ハンドルの近接センサーによるドアのロック

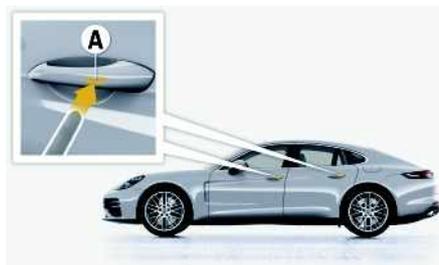


図 77 : ポルシェ コンフォート アクセスによるドアのロック

- ✓ ポルシェ コンフォート アクセス

- ✓ 作動モード P を選択している。
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
- ✓ すべてのドアが閉まっている。
- ▶ ドア ハンドルのボタン A を押してください。

ハザード ライトが 2 回点滅します。

一時的にドア ハンドルでドアを開けられなくなります。車両がロックされたかどうかを確認するには、ドア ハンドルを引いてください。

ロックされた車両のセーフロックの解除

- ▶ ドア ハンドルのボタン A を 2 秒以内に 2 回押してください。

ハザード ライトがゆっくり 1 回点滅します。

ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

- ▶ ドアを開くと警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。



インフォメーション

- ドア、ボンネット、またはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザード ライトの点滅が終了します。
- ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。ドアまたはリヤリッドを約 45 秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされません。スベア キーを使用しないとロック解除できなくなります。

車内からのドアロック

- ✓ ドアが閉まっている。
- ▶ ドア トリム パネルの  ボタンを押します。
すべてのドアとリヤリッドがロックされます。
フィルラ フラップはロックされません。

インジケーターライト A (図 76) が点灯します。
 インナー ドア ハンドルを引くことによるのみ、車内側からドアを開くことができます。

自動ロック (オートロック)

- ✓ 機能が作動している。
 速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。
- ▷ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

チャイルド ロック機能の作動 / 解除

リヤドアは、車内から開けられないようにロックできます。
 チャイルド ロックは、リヤドアのロック部分に設置されています。

ソフト クローズ非装備車のチャイルド ロック機能の作動 / 解除



図 78 : 右リヤ ドアのチャイルド ロック

作動

- ▶ エマージェンシー キーを使用して、右リヤ ドアのチャイルド ロックを約 45 度反時計回りに回してください。左リヤ ドアのチャイルド ロックは約 45 度時計回りに回してください。

チャイルド ロックが作動すると、スロットが縦位置になります。
 リヤ ドアを内側から開くことはできません。

解除

- ▶ エマージェンシー キーを使用して、右リヤ ドアのチャイルド ロックを約 45 度反時計回りに回してください。左リヤ ドアのチャイルド ロックは約 45 度時計回りに回してください。
 - ▷ 「キー」の章 (74ページ) を参照してください。
- リヤ ドアを内側から開くことができます。

ソフト クローズ装備車のチャイルド ロック機能の作動 / 解除

チャイルド ロックはチャイルド プロテクションと連動して作動します。

- ▷ 「リヤでの操作を無効にする - チャイルド プロテクション」の章 (51ページ) を参照してください。

チャイルド ロックが故障した場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86ページ) を参照してください。

ドアを閉じる (ソフト クローズ機能装備車)

ソフト クローズ機能装備車には、4つすべてのドアにパワー クロー징ング メカニズムが装備されています。

▲ 注意

パワー クロー징ング メカニズム

ドアが押されるかまたはロックに少し引かれる場合、ドアは自動的にロックされるまで完全に引かれます。

- ▶ ドアと車両固定部間に指を挟まないように注意してください。
 - ▶ パワー クロー징ング メカニズムの可動部品 (ロックのロータリー ラッチ) の近くに物を置いたり、手足を近づけたりしないでください。
 - ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
-
- ▶ ドアを軽く押す、または引いてロックしてください。ドアが自動的に引かれて閉まります。

緊急時の閉作動の中断

- ▶ インナー ドア ハンドルを引いてください
 - または -
 アウター ドア ハンドルを引いてください

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ドアの緊急ロック解除および緊急ロック

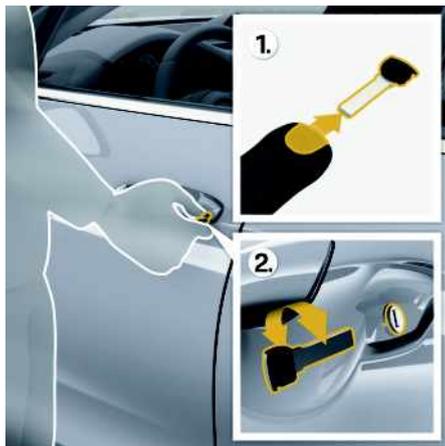


図 79：緊急ロック解除 / 緊急ロック

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアのロック解除およびロックができます。

緊急ドアロック解除の実行

▶ リヤウィンドウの右上にキーを置き、同時に  ボタンを押します。

車両のロックがまだ解除できない場合：

1. エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
 - ▶ 「キー」の章（74ページ）を参照してください。
2. ドアハンドルを引いたままにしてください。
3. ワイドハンドルの端部がドアロックの方向に向く

ようにして、エマージェンシー キーを挿入してください。

4. エマージェンシー キーを、最初に抵抗を感じるところまで反時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. 警報システムの作動を回避するため、15 秒以内にイグニッションを ON にしてください。

i インフォメーション

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

緊急ドアロックの実行

1. エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
 - ▶ 「キー」の章（74ページ）を参照してください。
2. ドアハンドルを引いたままにしてください。
3. ワイドハンドルの端部がドアロックの方向に向くようにして、エマージェンシー キーを挿入してください。
4. ドアを開けた状態で、エマージェンシー キーを最初に抵抗を感じるところまで時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. ドアを閉じてください。
7. 車両がロックされているか確認してください。

i インフォメーション

セントラルロックが故障した場合、セントラルロックシステムすべてのファンクションロックは運転席ドアのロックからロックすることができます。

- ▶ セントラルロックシステムの故障を修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ エントリー & ドライブ

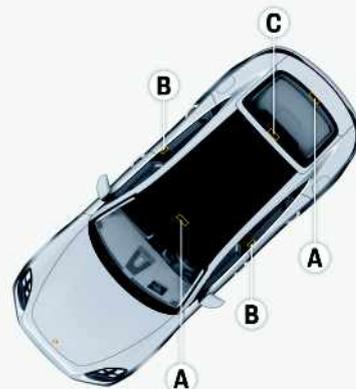


図 80：車両アンテナ

ポルシェ エントリー & ドライブのアンテナの取り付け位置

ポルシェ エントリー & ドライブ装備車は、リモートコントロール付きキーと車両のアンテナが電波で通信

することで、ドアやトランク リッドをロック / ロック解除できます。

植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を装着されているお客様へ

警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室内アンテナ A および車室外アンテナ B から約 22cm 以内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を近づけないでください。

- ▶ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室内アンテナ A および車室外アンテナ B から約 22cm 以内の範囲に近づかないでください。アンテナからは電波が出ており、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える恐れがあります。
- ▶ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、医師や医療用電気機器製造業者などに電波の影響の有無について事前に確認してください。電波により医療用電気機器の作動に影響を与える恐れがあります。

セントラル ロッキング システムが故障した場合のドアの緊急ロックの実行

1. 助手席ドアを開いてください。

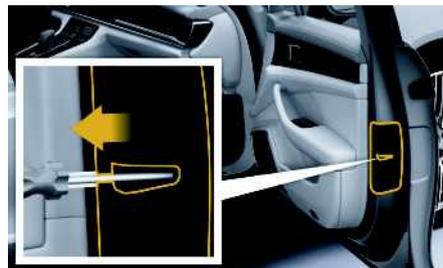


図 81 : 緊急ロック解除 / 緊急ロック

2. クリップを外し、カバーを取り外してください。



図 82 : 助手席ドアの緊急ロックの実行

3. エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
4. エマージェンシー キーを使用して、キー スイッチを車両の外側方向に回してください。
5. リヤドアについても同じ手順を行ってください。
6. カバーを再度取り付けてください。

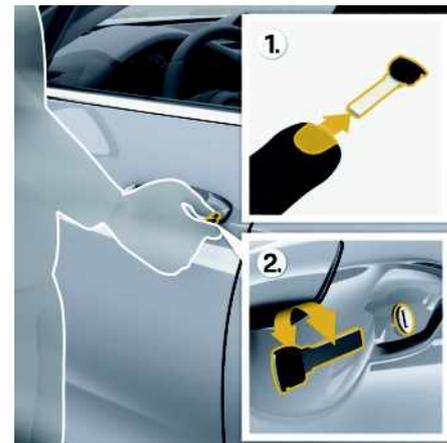


図 83 : 緊急ロック解除 / 緊急ロック

7. ドア ハンドルを引いたままにしてください。
8. エマージェンシー キーをドア ロックに挿入し、時計回りに 90 度しっかりと回し、再度キーを元の方向に回してから抜き取ってください。
9. すべてのドアがロックしているか確認してください。
ドアはインナー ドア ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

車両のお手入れ

一般的なお手入れの諸注意



警告

ブレーキディスクの水膜

大雨の中で水たまりや浅瀬を走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ そのため、前走車との車間距離を十分に確保しながら、断続的にブレーキをかけてブレーキを「乾燥」させます。後続の車両に影響を与えないように注意してください。

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。

ポルシェ社は Porsche Equipment 製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

- ▶ カーケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
- ▶ これらの製品は、お子様の手が届かない安全な場所に保管してください。
- ▶ 不要になった製品は、法規に従って適切な方法で廃棄してください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店は状態報告書を用意し、車両のお手入れ水準を保証します。

知識

高圧洗浄機およびスチームクリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります：

- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、デコラティブフィルム

- 塗装面
- オルタネーター
- エンジンコンパートメント内の電装部品とコネクタ
- パーキングアシスタントセンサー
- アダプティブクルーズコントロール (ACC) の (レーダー) センサーおよび他のアシスタントシステム
- リパースカメラ
- ワイパーブレード
- ▶ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ デコラティブフィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 清掃するときは、ノズルから 50cm 以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせ使用しないでください。高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせ使用すると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェットノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェットノズルを直接向けしないでください。
- ▶ エンジンルーム内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは、絶対に開口部 (スパークプラグシャフト、エアクリーナーハウジング、エアフィルターなど) に向けしないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してくださ

い。解氷剤 (塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください：

- ▶ 車両下部は汚れが激しいため、遅くとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
- ▶ ばい煙、油脂類、オイル、および重金属などが適切に処理できる洗車場でのみ洗車を行ってください。
- ▶ 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。
- ▶ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カーシャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
- ▶ 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷり水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

洗車機での洗車

知識

自動洗車機によっては、ボディ表面から突き出ているオプションの追加部品やパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください。

危険	以下の点をご確認ください。
洗車機で洗車中、フロントワイパーが不意に作動し始め、損傷する恐れがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ フロントワイパーをOFFにしてください。 ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライトウォッシャーを操作しないでください。
外装部品への損傷。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ドアミラーを格納してください。 ▶ ルーフトランスポートシステムを完全に取り外してください。
ホイールへの損傷。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗車機のガイドレールに十分な寸法があるか確認してください。タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。
ハイグロスまたはサテングロスホイールの傷。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

塗装面のお手入れ

知識

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭きとらないでください。

知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

塗装面の保護

塗装面は経年変化により光沢が失われていくため、洗車後は塗装保護剤等で定期的に保護する必要があります。この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

塗装面の艶出し

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。

汚れ、染みの除去

タール、グリース、昆虫の死骸などは適切な洗剤で速やかに除去した後、丁寧に水で洗い流してください。長時間放置すると、塗装の色褪せの原因となります。

小さな傷の補修

亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

フロントウィンドウワイパーの手入れ

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパーブレードが不可欠です。

- ▶ ウィンドウクリーナーを使用してフロントガラスを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
- ▶ 汚れがひどい場合（虫の残骸などによって）、スポンジまたは布を使用してフロントガラスを清掃してください。

ウィンドウの清掃

フロント側のウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ 定期的にウィンドウクリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。
- ▶ ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。防錆剤の残留物により視界が悪くなる危険があります。
- ▶ 昆虫の死骸は、ポルシェ推奨のインセクトリムーバーで取り除いてください。

アンダーコーティングの補修



警告

エキゾーストシステム付近の可燃物

エキゾーストシステムのエア内の追加の防錆剤またはアンダーコーティングは、運転時に過熱して発火す

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

可能性があります。

- ▶ エキゾースト マニホールド、エキゾースト パイプ、触媒コンバーター、またはヒートシールドの近くに、追加のアンダーコーティングや防錆を施さないでください。

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ポルシェ正規販売店で車両底部を定期点検し、必要に応じて保護コーティングを修復してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

デコラティブ フィルムの清掃

知識

洗浄時にデコラティブ フィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホットワックスを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品と表面、センサーとカメラの清掃

知識

洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗剤を使用すると

プラスチック製の表面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック部品に直接水や室内用ウィンドウ クリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品とその表面、アダプティブ クルーズ コントロール用センサー、および車両カメラの清掃には、きれいな水と、少量の食器用洗剤または室内用ウィンドウ クリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ ヘッドライトは磨かないでください。
- ▶ タッチ センシティブ ボタンを有するセンターコンソールの洗浄には、マイクロファイバー布のみを使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

マイクロファイバー クロスの購入：
▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ホイールのお手入れ

▲ 警告 ブレーキ ディスクの洗浄剤の膜

洗浄剤（ホイール洗浄剤など）がブレーキ ディスクにかかるると、ブレーキ ディスクに膜が形成されてブレーキ性能が低下する恐れがあります。

- ▶ 洗浄剤がブレーキ ディスクにかからないように注意してください。
- ▶ 洗浄剤がブレーキ ディスクにかかった場合は、強力なウォーター ジェットでブレーキ ディスクをしっかりと清掃してください
- ▶ 後方の交通に注意しながら、ブレーキをかけてブレーキ ディスクを乾燥させます。

軽合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキ ダストに含まれる黄銅や銅など）は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

塗装の被膜を破壊するような光沢剤やpH値が不適切なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは使用しないでください。

- ▶ 腐食性がない軽合金製ホイール クリーナー（pH 値 4 から 10 の間）をご使用ください。pH 値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。
- ▶ 「車両の洗浄」の章（130ページ）を参照してください。

ドア、ルーフ、リッドとウィンドウシールの清掃

知識

インナー ドア シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ 防錆剤を使用しないでください。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ シールの汚れ（傷、汚れ、凍結防止剤、砂塵など）は、温かい石鹸水で定期的に洗浄してください。
- ▶ 凍結する恐れがある場合は、適切なカーケア用品でアウター ドア シール、リッドやフラップのシールを保護してください。

革製品のお手入れ

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行ったりすると革製品が傷む場合があります。

- ▶ 腐食性のある洗浄剤または固い清掃具を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 水滴は革製品から直ちに除去してください。

適切な車両の清掃と整備のために、次の点を順守してください：

- ▶ 湿らせた柔らかくて白い毛織布、または市販のマイクロファイバークロスを使用して、すべての種類の革製品を定期的に清掃し、細かなほこりを取り除いてください。
- ▶ 頑固な汚れ（水性のしみではない）は、革用洗浄剤で取り除きます。容器に記載されている取扱説明をお読みください。ポルシェ社では、ポルシェ テクニクイップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。
- ▶ 清掃した革製品は、皮革ケア製品でのみ取り扱うようにしてください。

シート ベンチレーター付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

水染みおよび湿気による染みを取り除く

- ✓ シート ヒーターおよびシート ベンチレーターが OFF
 - ✓ 直射日光が当たらないように注意する
1. 清潔で、目の細かいスポンジと蒸留水を使用して、シートおよびバックレストの表面全体を軽くたたいてください。表面に小さな穴を開けたメッ

シュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。

2. シート カバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シート ヒーターおよびシート ベンチレーターを ON にしないでください。
3. 乾いた後、シート カバーを乾燥した不織布で拭いてください。

カーペット、フロアマットの清掃

⚠ 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マットや正しく固定されていないフロア マットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキペダル操作の妨げとなったりする場合があります。これにより、予期しない加速が起こったり、ブレーキ操作が難しくなったりすることがあります。

- ▶ 車両に適切なフロア マットのみを使用してください。
- ▶ フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ いくつものフロア マットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロア マットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
- ▶ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。ポルシェ社は Porsche Tequipment 製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

フロア カーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア マットをカーア クセサリーとして用意しています。

エアバッグ カバーのクリーニング

⚠ 危険

不適切な清掃

不適切な洗浄剤やケア剤を使用すると、エアバッグシステムに侵入する場合があります。正しく取り扱わないと、エアバッグシステムが損傷する恐れがあります。事故の際にエアバッグが作動しなくなる恐れがあります。

- ▶ 個々の部品（ステアリング ホイール カバー、ダッシュボード、フロントシート、ドアパネル、天井パネルなど）にいかなる調整も加えないでください。
- ▶ エアバッグのエリアには、クリーナーや他の液体を使用しないでください。

ファブリック ライニングの清掃

ピラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリック ライニングは、素材に適した洗剤やドライフォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

Alcantara® のお手入れ

Alcantara® 製マイクロファイバー カバーの清掃には皮革ケア製品を使用しないでください。普段のお手入れには、柔らかいブラシでカバーを清掃するだけで十分です。清掃する際に強く擦りすぎると、表面に永久的な変化を与えてしまいます。

- ▶ 軽い汚れの場合、柔らかい布を水または中性石鹸水で湿らせて、汚れをふき取ります。
- ▶ ひどい汚れの場合、柔らかい布をぬるま湯または水で薄めた揮発油で湿らせて、外側から内側に軽くたたいて汚れを取り除きます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

マイクロファイバー カバー付きステアリングホイールは、皮膚との恒久的な接触が原因でひどく汚れる可能性があります。

- ▶ 軽い汚れの場合、柔らかい布を中性石鹸水で濡らし、これでアウターステアリングホイールリムをふき取ります。
- ▶ ひどい汚れの場合、フォームメーカーの指示に従って、柔らかい布と市販の内張りフォームクリーナーでアウターステアリングホイールリムを軽くこする/たたくことで清掃できます。

シートベルトの清掃

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ シートベルトの汚れには中性洗剤を使用してください。
- ▶ シートベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染色および脱色しないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

高電圧バッテリーのお手入れ

お手入れの諸注意

高電圧バッテリーの物理的性質のため、ライフサイクル中にバッテリー容量が減少し、その結果、使用可能な最大電動可走距離も短くなります。

以下の対策により、ライフサイクル中に減少するバッテリー容量にプラスの効果を与えることができます：

- ▶ 充電タイマー機能を使用して高電圧バッテリーを充電します。
- ▶ 可能な限り、直射日光の下など高温になる場所に車両を駐車しないでください。

車両を長期保管する場合の注意点

1ヶ月以上使用しない場合：

- ▶ 放電した高電圧バッテリーは放置せず、充電/トリクル充電用の主電源に常時接続しておいてください。

電源に常時接続することができない場合：

- ▶ 車両を保管する前に、高電圧バッテリーを完全に充電（100%充電状態）してください。
- ▶ 3か月に1度は充電状態を確認し、必要に応じて充電してください。
- ▶ タイマー制御されるパーキングプレエアコンを解除してください。
- ▶ ブレクール/ヒートタイマーを停止してください。
- ▶ スマートフォンアプリを使用しないでください。アプリと車両の接続が確立すると、高電圧システムが作動して高電圧バッテリーが放電します。

スクリーンおよびタッチディスプレイの洗浄

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行うとスクリーンおよびタッチディスプレイを痛めることがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類（エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール）などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ スクリーンおよびタッチディスプレイに直接クリーナーや他の液体を吹きつけないでください。水が入ると、電子部品は修理不能になることがあります。液体を吹き付けるのではなく、布にしみこませて注意深くスクリーンを拭いてください。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ スクリーンおよびタッチディスプレイは傷が付きやすくなっています。時々、清潔で柔らかい乾いた布（マイクロファイバークロス）やクリーニング用ブラシで慎重にスクリーンおよびタッチディスプレイを清掃してください。清掃の際、表面に強い力を加えないでください。
- ▶ 指紋は少し湿らせた布や刺激性の少ない洗浄剤で取り除いてください。

車両の長期保管

車両を長期保管する場合、ボルシェ正規販売店にご相談ください。腐食保護対策、お手入れとメンテナンス、および保管に関する情報およびアドバイスを提供いたします。

- ▶ 「「けん引」の章（80ページ）を参照してください。

バッテリーを切り離れた状態で車両をロックする場合のインフォメーション：

- ▶ 「セントラルロック」の章（123ページ）を参照してください。

車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両機能を調整できます。ここに記載されている車両機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

車両設定は、イグニッションがOFFの場合でも保存されます。メモリーパッケージ装備車では、この設定をキーや運転席ドアのメモリー ボタンに保存することができます。

▶ 「パーソナル設定」の章（203ページ）を参照してください。

希望する操作	何を選択するべきですか？	参照先
ロック/ロック解除オプションを設定する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ロック	-
ライト、フロントワイパーおよびドアミラーを調整する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ライトと視界	-
シートヒーター、シートベンチレーターおよびシート位置を調節する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ シート設定	-
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) を設定する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング	▶ p. 146
マルチファンクションステアリングホイールの◇ボタンを割り当てる	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ステアリングホイールボタン	-
ジャッキおよびスノーチェーンモードを設定する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ シャシー	-
車両とアプリケーション間の通信の停止	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ Porsche Car Connectアプリ	▶ p. 227
疑似エンジン音を出力する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ Eサウンド	-
サービス履歴を表示する (サービスの電子記録)	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ サービス履歴 実施されたサービスおよびサービス範囲が表示され ます。	-
PCM表示を調整する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 結果表示 ▶ PCMを表示	-

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	希望する操作	何を選択するべきですか？	参照先
か	インストルメント クラスタ ディスプレイを調整する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 結果表示 ▶ インストルメントクラスタの表示	-
さ	インストルメント クラスタのカスタマイズ表示を調整する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 結果表示 ▶ インストルメントクラスタの表示 ▶ 内容 ▶ カスタマイズ表示 車両情報の数多くの項目を、ドラッグ & ドロップで4つのデータ フィールドに割り当てることができます。車両情報の1つの項目を複数のフィールドに同時に割り当ててはできません。	-
た	日付と時刻を設定する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ 日付と時刻	-
な	単位を設定する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ 単位	-
は	ボイス コントロール システムを設定する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ ボイスコントロール	-
ま	言語の設定	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ 言語 (Language)	-
や	警告シグナルおよびパークアシストの音量を調整する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ 警告シグナル	-
ら	工場設定にリセットする	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ 工場設定 すべての設定は解除され納車時の状態にリセットされます。	-

収納スペース

荷物の収納



警告

荷物が固定されていない、または設置位置が正しくない場合

固定されていない荷物、あるいは積載位置が正しくない荷物は、急ブレーキ、進路変更、または事故の際に、位置がずれたり飛び出したりして乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ この指示で説明されている収納オプションのみを使用してください。
- ▶ 可能な場合は必ず荷物をロック可能な小物入れに入れて輸送してください。
- ▶ 前述の状況で荷物が滑ったり動いたりしないように収納します。
- ▶ 荷物が小物入れやラゲッジ ネットからはみ出していないことを必ず確認してください。
- ▶ 小物入れやトレイを開けた状態で、重い、尖った、鋭利または壊れやすい荷物を輸送しないでください。
- ▶ 走行中はロック可能な小物入れを閉じてください。

知識

収納ネットを損傷する危険があります。

- ▶ 収納ネットの中に重量物やかさばる物を置かないでください。

車両装備によっては、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- グローブボックス
- フロントおよびリヤドリンクホルダー
- フロントシートバックレスト後ろのマップポケット

- リヤグラブハンドルの衣類フック
- ラゲッジコンパートメントフロア下の小物入れ
- フロントおよびリヤアームレストの小物入れ
- フロントおよびリヤドアパネルの小物入れとボトルホルダー
- フロントおよびリヤセンターコンソールの小物入れ
- フロントシート下の小物入れ

グローブボックスの開閉

グローブボックスを開く

- ▶ ハンドルを引っ張ります。
グローブボックスが自動的に開きます。

グローブボックスを閉じる

- ▶ 上から押してカバーを閉じてください。
グローブボックスは、エマージェンシーキーを用いてロックやロックの解除ができます。
- ▶ 「キー」の章（74ページ）を参照してください。
グローブボックスのクーラー機能に関するインフォメーション：
▶ 「エアコンシステム（2-/4-ゾーンエアコン）」の章（54ページ）を参照してください。

アームレストの小物入れを開く

フロントアームレストの小物入れを開く



図84：フロントアームレストの小物入れを開く

- ▶ アームレストの運転席側のボタンを押してください。
リッドが自動的に開きます。

リヤアームレストの小物入れを開く

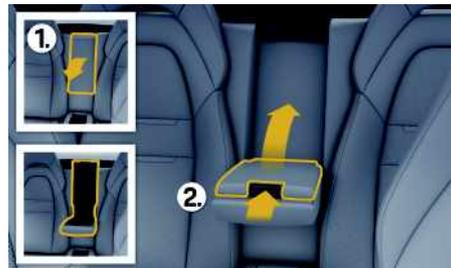


図85：リヤアームレストの小物入れを開く

1. アームレストをたたみます。
2. ボタンを押してリッドを持ち上げます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リヤセンター コンソールの小物入れを開く



図 86：リヤセンター コンソールの小物入れを開く

- ▶ リッドを左右どちらかにハンドル リセスでスライドさせてください。
リッドが自動的に開きます。

格納式テーブルの使用

- ✓ エグゼクティブ車両



警告

怪我をする危険

格納式テーブルは、ブレーキを踏んだとき、進路変更をしたときや、事故が発生したときに、負傷の原因となる恐れがあります。走行中に、テーブル上の物やテーブルの一部が車内に飛び出してしまうことがあります。

- ▶ 走行中に格納式テーブルを開いたり、使用したりしないでください。



注意

火傷、挟み込み、締め付けの危険性

格納式テーブルの上の荷物が重すぎると、テーブルが折れて、身体の一部が挟まれる、または締め付けられる恐れがあります。熱い飲み物がこぼれると火傷をす

る場合があります。

- ▶ 5 kg を超える物を格納式テーブルに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物を格納式テーブルに置かないでください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ 中身がいっぱいになった容器を格納式テーブルに置かないでください。

知識

シートを前方に倒すことによる損傷の恐れがあります。

- ▶ バックレストを前方に倒す前に、格納式テーブルを折りたたみます。



インフォメーション

格納式テーブルに載せられるのは、最大 5 kg です。負荷がかかりすぎる場合、格納式テーブルは下に折れますが、また閉じることができます。オーバーロードプロテクションが 25 回作動したら、格納式テーブルを交換する必要があります。

格納式テーブルを開く



図 87：格納式テーブルを開く

1. ボタンを押し、リヤセンター コンソールを開きます。
2. 格納式テーブルを掴み、固定されるまで進行方向に向かって広げます。

格納式テーブルの調整



図 88 : 格納式テーブルの調整

1. テーブルトップを開きます。開く際に、テーブルトップを傷付けないようにしてください。
2. 必要に応じて、リヤセンターコンソールを閉じます。
 - ▶ テーブルトップは縦横に動かすことができます。

格納式テーブルをしまう

- ▶ 格納式テーブルをしまうには、上記と逆の手順を実行します。しまう際に、格納式テーブルを下まで押してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

充電

高電圧バッテリーの充電

最大電動走行周波数:

- ▶ 車両を夜間駐車するときなどは、高電圧バッテリーを充電してください。



危険

不適切な充電

間違った充電プロセス、一般的に適用可能な安全上の注意事項の非順守、高電圧バッテリーの不適切な取り扱い、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- ▶ 車両を始動する前に、車両充電ケーブルを外し、カバーおよび充電ポート リッドを閉じ、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
- ▶ 高電圧バッテリーの充電時は、必ず規定の順序を遵守してください。充電プロセス中は、電気ソケットから車両充電ケーブルを外さないでください。充電が終了した後に電気ソケットから車両充電ケーブルを切り離してください。
- ▶ ポルシェ充電装置の取扱説明書の安全に関する指示を参照してください。
- ▶ 充電プロセス中は車内または車両の作業を実施しないでください。



危険

不適合または損傷した電気ソケットおよび車両充電ケーブル

不適合なまたは損傷した電気ソケットと車両充電ケーブルの使用、および高電圧バッテリーの不適切な取り扱い、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- ▶ プラグイン ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、メーカーにより点検され承認された車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ▶ 車両充電ケーブルを接続する電気ソケットの取り

付けは、必ず専門家が行ってください。

- ▶ 損傷した、または汚れた電気ソケットに、車両充電ケーブルを接続しないでください。
- ▶ 損傷した車両充電ケーブルを使用しないでください。
- ▶ 延長ケーブル、ケーブルリール、電源タップ、またはトラベル アダプターを使用しないでください。
- ▶ すべての電子部品に対し、改造や修理を行わないでください。
- ▶ 電気ソケットおよびプラグ接続は、水、湿気およびその他のフルードや液体を避けてください。
- ▶ 充電ソケットの汚れや氷、雪を、鋭いものまたは先が尖ったもので取り除かないでください。



警告

固定されていない車両充電ケーブル

固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない車両充電ケーブルは、ブレーキの際、進路変更時、または事故発生時に位置がずれて乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ いかなる場合も固定されていない状態で車両充電ケーブルを車両で輸送することはせず、常にラゲッジ コンパートメント内の充電バッグに保管します。
- ▶ 車両充電ケーブルは常にラゲッジ コンパートメントに入れて輸送してください。車室(座席の上または前など)には絶対に置かないでください。



警告

エンジン コンパートメント ブロワまたはエンジン付近の他の可動部品

作業中、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪などがエンジン コンパートメント ブロワやドライブ ベルトなどのエンジン コンパートメントの可動部品に絡まる恐れがあります。エンジン コンパートメント プ

ロワはフードに取り付けられています。充電プロセスの間、高電圧バッテリーとオンボード充電器を冷却するために、エンジン コンパートメント ブロワが作動する場合があります。

- ▶ この付近での作業は、エンジンが OFF になっていて、充電が機能していない時に限ってください。作業中、身体の一部、衣服の一部、または装飾品がラジエーター ファン、エンジン コンパートメント ブロワ、ドライブ ベルト、その他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

知識

電源の過電圧により、充電装置および車両が損傷する恐れがあります。

- ▶ 雷雨のときは、車両充電ポートを使用して高電圧バッテリーを充電しないでください。
- ▶ 雷雨発生時には、可能なら充電装置を主電源装置から切り離します。

高電圧バッテリーの充電に関する指示

- プラグイン ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、点検および承認済みの車両充電ケーブルのみを使用してください (IEC 62196-2、SAE J1772 または GB/T 20234-2 に準拠して標準化された車両プラグおよび IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 2 および 3) に準拠した充電プロセス)。また、法規に適合した車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ポルシェでは、ポルシェ ユニバーサル チャージャー (AC) を充電ドックまたはベーシック ウォール マウントと共に使用することを推奨していません。ポルシェ充電装置に付属の注意事項および使用する車両充電ケーブルの注意事項をよくお読みください。

- 保護なし車両充電ケーブル (IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 1) に準拠して標準化された) には対応していません。
- 充電プロセス中の車両の温度は、約 -20 °C から +40 °C の間でなければなりません。

重要な注意事項：

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器 (ICD) を使用されている方は、充電中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合があるため、以下を必ずお守りください。

- 充電器に近づかない。
- 充電器を使用する場合は、操作を他の人に依頼する。

その他の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響がないかご確認ください。

車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する



図 89：充電ポート リッドを開く

- ✓ トランスミッションパーキングロック P が作動し

ている。

- ✓ イグニッションが OFF になっている / コントロールユニットがイグニッションロック位置 2 にな
 - ✓ 車両のロックが解除されている。
 - ✓ 主電源装置に車両の充電ケーブルが接続されている。
1. ポルシェの充電機器および使用する車両充電ケーブルの別冊の説明書を参照してください。
 2. ドアの後部を押して充電ポート リッドを開けてください。

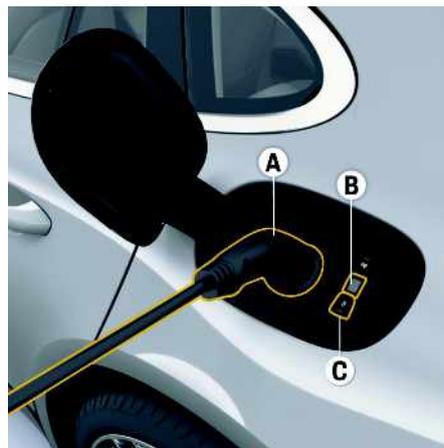


図 90：挿入された車両プラグ

3. 車両プラグ A を充電ポートの奥まで差し込みます。車両プラグがロックされ、充電プロセスが開始されます。インジケータライト B とボタン C のインジケータライトは、高電圧バッテリーの充電状態と車両プラグのロック状態を示します。
- ▷ 「車両充電ポートの充電表示およびロックステータス表示」の章 (138ページ) を参照してください。

i インフォメーション

- 車両をロックする際に車両プラグが差し込まれている場合、車両プラグは引き続きロックされます。
- 充電開始後、イグニッションはオンにできません。
- 充電プロセス中にコントロールユニットをイグニッションロック位置 2 に回すと、充電プロセスが中断されます。車両プラグを取り外さない場合、約 20 秒後に充電が再開します。
- 充電タイマー機能を作動すると、充電プロセスの開始時間が制御され、車両プラグを差し込みロックされた後すぐに充電プロセスが開始しないようにすることも可能です。

充電プロセスの終了および車両プラグの車両充電ポートからの取り外し

1. ドアをロック解除してください。
2. 車両充電ポートのボタン C を押してください。車両プラグのロックが解除されます。充電プロセスが開始していた場合でも、停止します。
3. 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。
4. 電源から車両充電ケーブルを切り離し、安全な場所に保管してください。
5. 充電ポートのドアを閉じてください。

i インフォメーション

- 高電圧バッテリー充電のための規定順序を遵守してください。
- 充電プロセスが終了したら、電気ソケットから車両充電ケーブルを切り離してください。
- 高電圧バッテリーの充電に関する安全指示を守ってください。

車両充電ポートの充電表示およびロックステータス表示

インジケータライト **B** は高電圧バッテリーの充電状態を示し、ボタン **C** のインジケータライトは車両プラグのロックステータスを示します。

B	C	意味
OFF	OFF	車両プラグが差し込まれていないか、主電源への接続が確立されていません。 または 車両プラグ挿入中：車両はアイドル状態です。現在のロックおよび充電ステータスを検出するには、キーの  ボタンまたは  ボタンを押します。
OFF	点滅	車両プラグ挿入中でロックされていません(車両プラグの電圧が正しくない場合など)
 点灯	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされています。主電源への接続が確立されています(タイマー充電など)。
 点滅	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされています。高電圧バッテリーは充電中です。点灯時間は現在の高電圧バッテリーの充電状態に応じます。

B	C	意味
 点灯	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされています。充電プロセスが終了しました。
 点灯	点灯	高電圧バッテリー充電中にエラーが発生しました。

充電プロセスが開始されていない場合：

- ▶ 車両プラグが正しく差し込まれていることを確認してください。
- ▶ ポルシェ充電装置に付属の注意事項および使用する車両充電ケーブルの注意事項をよくお読みください。
- ▶ 車両プラグを取り外して、再度差し込んでください。

充電タイマー機能の使用

出発タイマー機能が作動しているとき、プログラミングされた出発時刻に高電圧バッテリーは完全に充電されます。事前にエアコンを作動させて、車内を適切な温度に調節しておく事ができます。

高電圧バッテリーの現在の充電状態が車両のマルチファンクションディスプレイとインストールメントパネルのバッテリー充電状態表示に表示されます。充電タイマーが作動中でも、このモードの場合、高圧バッテリーは常に約 10% の状態に充電されます。

出発タイマーの作動 / 解除

出発タイマーのプログラミングと作動は PCM によって行われます。

各出発タイマーは 1 回開始(シングルタイマー)するように設定することも、定期的を開始(反復タイマー)するように設定することもできます。さらに、**追加プレクール/ヒート オプション**を選択すると、車室を出発時刻までに適切な温度に調節しておくことができます(プレクーリング/ヒーティング)。

- ✓ 出発時刻が未来。
 - ✓ 車両プラグが挿入されている。
 - ✓ プレクール/ヒート タイマー：燃料タンクの残量に余裕がある。
- 一部の公共充電ステーションでは、出発タイマーをプログラミングしても充電プロセスを開始できません。

1. HYBRID ▶ タイマー

- 希望する**出発タイマー**を選択します。
- 希望する出発時刻の日数または日付と時刻を設定します。**追加のプレクール/ヒート オプション**を使い、必要に応じてプレクール/ヒートタイマー(車内のプレクール/ヒート)を有効または無効にします。入力データを**タイマ オプション**で有効にします。

インフォメーション

車内プレクーリング/ヒーティングは、イグニッションを OFF のままにして使用すると、最も効率的に動作します。充電タイマーの場合、プレクール/ヒートは車両プラグが挿入されている場合のみ作動します。

出発タイマーの停止

1. HYBRID ▶ タイマー

- 希望する**出発タイマー**を選択します。
- タイマ オプション**を無効にします。



図 91：充電タイマー機能

充電タイマーによる充電の開始

- ✓ 出発タイマーのプログラミングと作動がPCMで行われている。
- ✓ 主電源への接続が確立されている。
- ✓ 車両プラグが挿入されており、ロックされている。
- ✓ プレクール/ヒートタイマー：燃料タンクの残量に余裕がある。

ボタン A のインジケータライトが点灯します。充電タイマー機能により、充電プロセスを開始する時間が決定されます。高電圧バッテリーはプログラムされた出発時刻の前に充電されます。プレクール/ヒートタイマーがプログラムされていると、高電圧バッテリーは完全に充電されていない場合があります。

出発タイマーがプログラミングされていない場合、ボタンを押すと A ボタンのインジケータライトが 3 回点滅して、消灯します。

充電タイマーによる充電の終了

- ✓ 車両プラグが挿入されている。
- ✓ 充電タイマー機能が作動している。
- ▶ ボタン A を押してください。
ボタン A のインジケータライトが消えます。
高電圧バッテリーの充電が直ちに開始されます。
高電圧バッテリーが充電されるまでの残り時間がインストルメントパネルに表示されます。

充電時間

充電プロセスに必要な時間は、以下の要因によって異なります。

- 使用電気ソケット (家庭用電気コンセントまたは工業用電気コンセント)。
- 国別主電源電圧および電流。
- コントロールユニットの充電電流制限の設定
- 主電源電圧のバラつき。
- 車両および充電装置の周囲温度。
- 高電圧バッテリーおよびコントロールユニットの温度。
- 車内温度プレクーリング/ヒーターが作動。
- 車両プラグの通電容量。

物理的な充電ロスにより、主電源供給からのエネルギー量は高電圧バッテリーの充電中に蓄えられるエネルギー量を上回ります。

充電ポートドアの緊急解除の実施



図 92：充電ポートリッド緊急解除の実施

電動ロック解除機構が故障したときは、手動で充電ポートドアを開くことができます。

知識

ラゲッジコンパートメントトリムパネルを損傷する恐れがあります。

- ▶ 緊急解除ストラップを引くときは、ラゲッジコンパートメントトリムパネルを回り止めます。

1. 左ラゲッジコンパートメントトリムの白い緊急解除ストラップを矢印の方向に慎重に引きます。充電ポートリッドのロックが機械的に解除されます。
2. 充電ポートのドアの後部を押してドアを開けてください。

充電ポートドアのロック解除機構を確認するために:

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なト

レーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両プラグの緊急解除の実施

故障などにより車両プラグが解除できない場合は、緊急解除を実行する必要があります。

1. コントロールユニットをイグニッション ロック位置 2 に回してください。

車両プラグが自動的に解除され、充電が約 20 秒間中断されます。

2. 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。

約 20 秒後、車両プラグが再度ロックされ、充電プロセスが再開されます。

タイヤおよびホイール

タイヤの寿命は、空気圧やホイール アライメント以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温が高いときや悪路での走行も、タイヤのトレッド面の摩耗を早める原因です。

積載荷重および速度の要件を満たす

- ▶ 適切な速度で運転してください。
- ▶ 過積載を避け、ルーフに積載する場合は注意してください。
- ▶ 「テクニカル データ」の章（289ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧の点検

知識

- 不十分なタイヤ空気圧が原因でタイヤがオーバーヒートし、目に見えない損傷が生じることがあります。
- ▶ タイヤ空気圧を補正しても目に見えないタイヤの損傷は除去されません。
 - ▶ 温かいタイヤから空気を決して抜かないください。タイヤが温かい場合、タイヤ空気圧が上昇します。これにより、タイヤ空気圧が規定値下に低下する原因となる場合があります。



図 93：タイヤ空気圧プレート

規定の空気圧を維持してください。これらの値は、タイヤが冷えているとき（20 °C）の値です。

- ▶ タイヤ空気圧プレートを確認します（図 93）。
- ▶ タイヤが冷えているときに、最低 2 週間ごとにタイヤ空気圧を点検します。
- ▶ 「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定。」の章（146ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

警告

欠陥のあるタイヤ

欠陥のあるタイヤで走行すると、重大な事故につながる可能性があります。

- ▶ 赤色のタイヤ空気圧警告がインストルメントパネルに表示される場合：直ちに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じて、パンク修理剤で損傷箇所の修理を行

うか、スペア ホイールを装着してください。

- ▶ 損傷したタイヤを装着したまま運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。不安な場合は、ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告

コンフォート プレッシュャーでの高速走行

コンフォート プレッシュャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ インストルメント パネルに表示された最大速度まで減速してください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

タイヤ空気圧モニタリングには、次の機能があります。

- タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧 (実際の空気圧) の表示。
- 2 段階のタイヤ空気圧警告 (黄色と赤色の警告)。
- 停車時：規定空気圧との空気圧差の表示。

タイヤ空気圧警告灯  およびインストルメント パネルの関連するメッセージは、空気圧が不足している場合、2 段階 (空気圧低下の程度に応じて、黄色および赤色のタイヤ空気圧警告) で警告を表示します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

タイヤ空気圧警告灯が消灯するのは、タイヤ空気圧が正された場合だけです。

黄色のタイヤ空気圧警告は、車両を停止してイグニッションを OFF にした場合、またはイグニッションを再度 ON にした場合に、約 10 秒間表示されます。イグニッションを ON にすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。赤色の空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

- ▶ タイヤ空気圧が適正であるにもかかわらず、タイヤ空気圧警告灯が点灯し、タイヤ空気圧警告が表示される場合、ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングは、自然に発生する圧力低下や異物による緩やかな圧力低下を警告します。タイヤ空気圧モニタリングは、突然生じるタイヤの損傷については警告しません（予期しない外部効果によるパンクなど）。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障

次のような場合、TPM は正常に機能しません。

- タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリングシステム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤ設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換後、タイヤ設定を更新しなかった場合
- タイヤ温度が高すぎる場合
- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

- ▶ 「警告灯およびインジケーター ライト」の章（40ページ）を参照してください。

インストルメント パネルのタイヤ空気圧を確認する

個々のタイヤ空気圧は、約 25 km/h の速度を超えた場合、またはタイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合にのみ表示されます。車両が約 10 分以上停止した後イグニッションを ON にした場合、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ記号 (-) が表示されます。

▶ タイヤ空気圧 ▶ 現在

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

圧力差を表示する



図 94：圧力差の例

- ✓ 停車している。

▶ タイヤ空気圧 ▶ 空気圧偏差

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。

例：

右リヤホイールに対して「-0.1 bar」と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充してください。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される圧力差を必ず使用してください。

タイヤ設定

タイヤのタイプとタイヤのサイズ、負荷およびコンフォート / 標準空気圧の設定はダッシュボードのタッチディスプレイで行えます：

- ▶ 「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定。」の章（146ページ）を参照してください。

PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定。



警告

不適切な設定

極端に低いまたは高いタイヤ空気圧は、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングを使用している場合でも、タイヤ空気圧を適切に維持し、車両を適切に設定することはドライバーの責務です。不完全な、または不適切な設定は、警告とメッセージ表示に悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリングメニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください（特にホイール交換後または車両積載の変更後）。
- ▶ 新しく装着したホイールのタイヤ空気圧が以前の設定と一致しているとしても、タイヤ空気圧モニタリングメニューでタイヤの種類とタイヤのサイズを再度選択してください。

圧力差を表示する

✓ 停車している。

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ タイヤ空気圧

該当するホイールの規定空気圧と規定空気圧との差、および積載量、タイヤの種類、タイヤのサイズに関する設定が表示されます。

例：右リヤ ホイールに対して -0.1 bar (-1.5 psi) と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar (1.5 psi) の空気を補充してください。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の空気圧偏差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

タイヤの種類とサイズの設定

インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルやタイヤの種類により異なります。このため本書で説明しているオプションの中には、利用できないものが含まれている場合があります。

- ▶ タイヤ空気圧モニタリングメニューで選択できないサイズのタイヤとホイールを装着するときは、装着の前に不足している情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが認定したタイヤとホイールのみを使用してください。

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ タイヤ選択

全積載または部分積載の選択

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 全負荷

全負荷
全積載が選択されます。

全負荷
部分積載が選択されます。

▶ 選択した荷重タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。

インフォメーション

全負荷が表示されない場合は、荷重タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

コンフォートまたは標準プレッシャーの選択

タイヤ空気圧は乗り心地を向上させるために減圧することができま。

「コンフォート プレッシャー」を選択した場合、タイヤ空気圧モニタリングシステムはタイヤ空気圧をモニターして自動的に低い空気圧の値を使用します。

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ コンフォートプレッシャー

コンフォートプレッシャー
コンフォート プレッシャーが選択されます。

コンフォートプレッシャー
標準プレッシャーが選択されます。

▶ コンフォート プレッシャーまたは標準プレッシャーにタイヤ空気圧を合わせてください。

タイヤ空気圧モニタリングシステムに登録する

タイヤ/ホイールを交換、ホイールトランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤの登録を開始しま

す。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

このプロセス中、PCM に冷間時 ($20 \text{ }^\circ\text{C}$) の規定タイヤ空気圧が表示され、インストールメント クラスタにメッセージが表示されます。

すべてのタイヤの登録が完了するまで、インストールメント クラスタのタイヤ空気圧警告灯  は点灯したままです。

▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86ページ) を参照してください。

タイヤ空気圧の充填

 注意

高温の充填ホース

充填中に、コンプレッサー充填ホースが高温になり、やけどの原因となる場合があります。

▶ 作業用手袋を着用してください。

空気圧計付きコンプレッサーは進行方向から見て左側の荷室フロア下のラゲッジコンパートメント、または右側のトリム パネルのカバーの裏側に収納されています。

▶ コンプレッサーに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ホースをタイヤバルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサー プラグを車両のソケットに接続してください。
3. コンプレッサーをONにしてください。タイヤに空気が充填されます。
4. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- あ
- タイヤ空気圧を調整してください。もう1回タイヤ空気圧を点検してください。
- か
5. コンプレッサーをOFFにしてください。
 6. コンプレッサーの充填ホースをタイヤバルブから取り外してください。

さ

タイヤ表記の読み取り

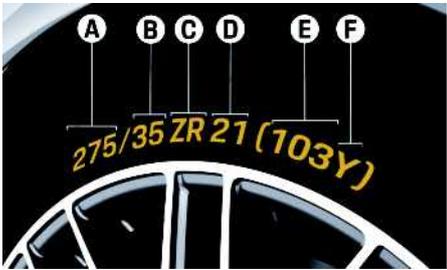


図 95 : タイヤ表記

- A 公称タイヤ幅 (mm)
 B 扁平率 (%)
 C タイヤ構造記号
 D リム径 (インチ)
 E ロードインデックス
 F 速度記号

速度記号 F は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H	210 km/h まで
V	240 km/h まで
W	270 km/h まで

Y 300 km/h まで

(Y) 300 km/h まで (Y 記号タイヤの場合) タイヤのロードインデックス (最大積載容量) の 85% までを搭載した状態の場合、300 km/h 以上の速度で走行することが可能です (300 km/h 以上で走行する場合はタイヤメーカーの確認が必要です)。

タイヤの損傷の検出

警告 見えないタイヤ損傷とリムフランジの損傷

目に見えないタイヤの損傷によりタイヤがバーストする恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 定期的なタイヤの状態 (側面も含めて) を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがなければ確認してください。
- 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体 (石など) に強くぶつかったり乗り上げたりしないように注意してください。
- ホイールを損傷した可能性があるとき (特に内側) は、専門家による点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください:

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかった可能性があるとき

タイヤおよびリムの交換

- ▶ タイヤを交換する場合は、イグニッションを OFF にします。

警告 グリップの低下

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ このため最初の 200 km は、控えめな速度で走行してください。これによりタイヤ寿命が伸び、性能を最大限に引き出すことができます。
- ▶ 同一型式の同一仕様番号 (「N0」、「N1」など) のタイヤのみを装着してください。
- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の承認状況についてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ ポルシェがテストを行い承認したタイヤのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスルのトレッド溝の深さの差が 30 % を超えないようにしてください。
- ▶ 中古タイヤは、履歴が判明している場合のみ使用してください。
- ▶ プロファイルの深さの違いによって車両のハンドリング特性に不要な影響が出ないように、必ず 1 つのアクスルの両側のタイヤを同時に交換してください。
- ▶ タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で行ってください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。

- す。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
 - ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用のタイヤ空気圧センサー付きタイヤのみを使用してください。
 - ▶ ホイールが車両の TPM システムと互換性があることを確認してください。適切なホイールや車両の TPM システムの詳細は、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
 - ▶ タイヤを交換する場合、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を確認します。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
 - ▶ 車両の公式登録書類またはこのマニュアルの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

i インフォメーション

新しいタイヤを 1 つのアクスルのみに取り付ける場合、前後のアクスルのトレッド溝の深さの相違により、以前の慣れた運転挙動が大きく変化する可能性があります。新しいタイヤをリアアクスルに取り付ける場合は特にそうです。とはいえ、タイヤの走行距離が長くなるにつれ、影響は減少していきます。

バルブおよびバルブ キャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用のボルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情

報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブ キャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブ インサートの汚れを防ぐため、必ずバルブ キャップをしっかりと閉めてください。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブ キャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブ キャップのみを使用してください。

ウインター タイヤを使用する



警告

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバーストする恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ▶ タイヤの側面に「M+S」の表示、または雪の結晶のマークがあるタイヤに限り (国により異なる)、最高許容速度がこの車両の最高速度に満たないウインター タイヤであっても装着できます。各国の法律を遵守してください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。各国の法律を遵守してください。
- ▶ 許容最高速度を制限速度として設定します。

- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウインター タイヤを装着してください。
- ▶ ボルシェがテストを行い、承認したタイヤのみを使用してください。
- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、タイヤの最新承認状況についてボルシェ正規販売店にお尋ねください。

i インフォメーション

このようなタイヤを気温が低いときに使用し続けると、ドライ / ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中に振動に伴うノイズが発生することがあります。

サマー タイヤの走行性能は、気温が 7 °C を下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ボルシェ社では気温が 7 °C を下回る時期にはウインター タイヤの使用を推奨しています。

さらに外気温度が -15 °C を下回り極端に低くなると、サマー タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウインタータイヤは、トレッド溝の深さが 4 mm 以下になると使用に適さない状態になります。

スノー チェーンを使用する

スノー チェーンはリアタイヤのみに装着してください。また「テクニカル データ」のリストに掲載されている、スノー チェーンの装着に適したタイヤ / ホイールの組み合わせを使用しなければなりません。

- ▶ スノー チェーンとホイールハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ボルシェが認定したスノー チェーンのみを使用してください。
- ▶ リア アクセル ステアリング 装備車のスノー チェーンモードを起動します。
 - ▷ 「車両設定」の章 (135 ページ) を参照してください。
- ▶ スノー チェーンを装着する前に、ホイールハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

タイヤトレッドの点検

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に調べてください。
- ▶ 多くのタイヤはトレッド中央分にウェアインジケータを備えています。ウェアインジケータは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の1.6mmになると現れます。安全のため、ウェアインジケータが現れる前にタイヤを交換してください。ウインタータイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッド溝ゲージまたはキャリパーをタイヤトレッドに挿入し、タイヤトレッドの深さを測定してください。

i インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの保管

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温度 -15℃未満の場所にサマータイヤを保管したり、サマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。

管したり、サマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。

- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。
- ▶ 製造から6年以上が経過したタイヤは**使用しない**でください。年数が経過すると、ゴムに伸縮性を与えるために添加している化学薬品の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。例えば、最後の4つの数字が3016の場合、そのタイヤは2016年の30番目の週に製造されたことを示します。

ホイールのバランス調整

安全のために、サマータイヤは春に、M+Sタイヤは冬に入る前に、認証を受けたポルシェ正規販売店でホイールバランスの調整を受けてください。

- ▶ 有資格者がいるワークショップにご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイール交換



警告

車両の下側の作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ ジャッキアップやホイール交換時に、車内に人がいないことを確認してください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面（上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など）に駐車されている場合は絶対にジャッキアップしないでください。
- ▶ ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず堅固なサポートスタンドで車体を支えてください。

i インフォメーション

ホイール交換に必要な工具（ジャッキ、ホイールボルトレンチ、取付補助工具など）は車両の標準装備ではありません。

- ▶ 必要な工具についての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

i インフォメーション

前輪と後輪のタイヤとホイールのサイズは異なります。ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、これらのマーキングに従って取り付けを行います。

- ▶ 認可されたサイズの前輪 / 後輪用ホイール / タイヤを必ず使用してください。
- ▶ 車両の公式登録書類またはこのマニュアルの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

ホイール取り付け面のお手入れ

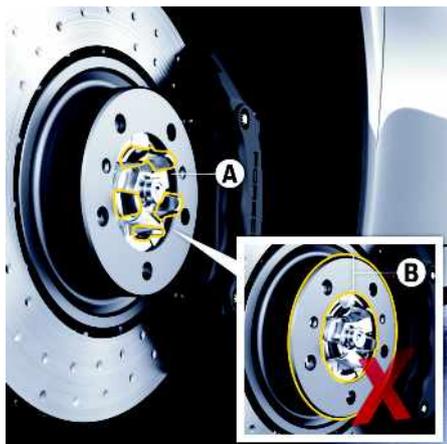


図 96 : ホイール取り付け面

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキ ディスクのホイール取り付け面 B およびホイール ハブ自体にグリースを絶対に塗布しないでください。
- ▶ A の領域にのみグリースを塗布します。これらの領域にグリースの Optimoly® TA を非常に薄く塗ります。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。他のグリースやペストを使用しないでください。

ホイール ボルトのお手入れ

- ▶ ホイール ボルトは取り付けの前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイール ボルトには油脂類を塗布しないでください。
- ▶ 損傷したホイール ボルトは交換してください。この車両専用のポルシェ純正ホイール ボルト、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ ホイール ボルトは 160 Nm の締め付けトルクで締め付けてください。
- ▶ インパクト ドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。

盗難防止ホイール ボルトの使用



図 97 : 盗難防止ホイール ボルト アダプター

盗難防止ホイール ボルトのアダプターは、ツール キットにあります。

- ▶ 盗難防止ホイール ボルトを脱着するときは、この

アダプターをホイール ボルトとホイール ボルト レンチの間に入れて使用してください。

- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイール ボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

ホイール交換

車両の準備

1. トランスミッション パーキング ロックを P ボタンを使用して作動します。
2. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
3. イグニッションを OFF にしてください。
4. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
5. 交換するホイールのホイール ボルトまたはホイール ナットをわずかにゆるめます。

警告

レベリング システムのコントロール作動

レベリング システムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 手でノーマル レベルに設定し、車両のリフトアップを行う前にレベリング システムを OFF にします。

- ▶ 「車両設定」の章 (135 ページ) を参照してください。

6. 車両のリフト アップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。

- ▶ 「ジャッキおよびリフティング プラット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

フォーム」の章（116ページ）を参照してください。

7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

ホイール交換



図 98：PCCB 非装備車には、組み付け補助工具を 1 つねじ込みます



図 99：PCCB 装備車には、組み付け補助工具を 2 つねじ込みます

1. PCCB 非装備車：ホイールのボルトを 1 本取り外し、組み付け補助工具にねじ込みます。
- または -
1. PCCB 装備車：ホイール ボルトを 2 本取り外し、組み付け補助工具を 2 つねじ込みます。

知識

ホイール交換を正しく行わないと、特に ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ 装備車の場合、ブレーキ ディスクを損傷する恐れがあります。

- ▶ タイヤを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

2. 残りのホイール ボルトを取り外してください。
 - ▶ 「ホイール ボルトのお手入れ」の章（151 ページ）を参照してください。
3. ホイールを取り外します。
 - ▶ 「ホイール取り付け面のお手入れ」の章（151 ページ）を参照してください。
4. 新しいホイールを取り付けます。
5. ホイール ボルトを挿入し、対角線方向の順に少しだけ締め付けてください。
6. 組み付け補助工具を外し、残りのホイール ボルトを仮締めしてください。すべてのホイール ボルトを対角線方向の順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。インパクト ドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。
10. ホイール ボルトを締め付けたら、直ちにトルクレンチを使用してホイール ボルトを 160 Nm の締め付けトルクで増し締めしてください。
11. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定は更新されました。
 - ▶ 「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定。」の章（146 ページ）を参照してください。

チャイルドシート

⚠ 危険

チャイルドシート装置の誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

車種に適さないチャイルドシートを使用した場合、またはチャイルドシートを車両に正しく取り付けしていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ チャイルドシートは道路交通法に従って使用してください。
- ▶ ポルシェ社が推奨するチャイルドシートのみを使用してください。これらのチャイルドシートシステムは、ポルシェ車両の内部および適正なお子様の重量分類に適合するように、検査および調整されます。他のシステムは検査されていないため、傷害の危険性を高める可能性があります。
- ▶ チャイルドシートシステムが助手席に設置される場合、助手席のエアバッグのスイッチを切りま

ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション:

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

⚠ 危険

チャイルドシートの助手席での使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または体格が小柄な乗員が助手席に乗車している場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷またはいた命傷を負う危険があります。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ 助手席シートとチャイルドシートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節すること。

- ▶ 「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章（155ページ）を参照してください。
- ▶ 「助手席エアバッグをOFFにする」の章（65ページ）を参照してください。
- ▶ チャイルドシートを取り付けるときは、常にシートヒーターのスイッチをOFFにしてください。
- ▶ 前向きに着座するチャイルドシートを取り付ける前には、中央のヘッドレストを可能な限り高い位置に調節してください。
リヤシートのヘッドレストを最も高い位置に調節してもチャイルドシートが取り付けられない場合は、ヘッドレストを取り外す必要があります。チャイルドシートを取り外した後は、必ずヘッドレストを取り付けてください。
- ▶ 「中央のリヤシートのヘッドレスト調節」の章（109ページ）を参照してください。



図 100 : エアバッグ警告ラベル

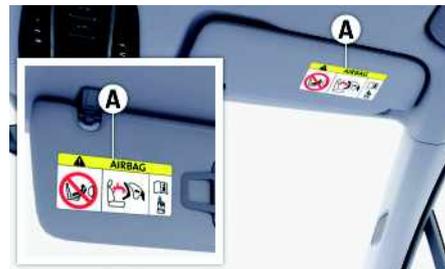


図 101 : サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

- ▶ エアバッグの警告ステッカーまたは危険信号を、取り外したり、傷つけたり、(A) 不明瞭な表現に変更したりしないでください。

チャイルドシートの体重グループによる分類

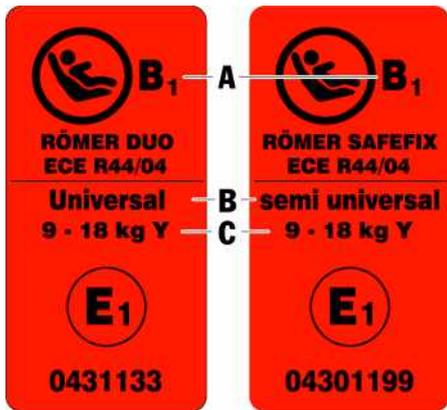


図 102 : チャイルドシートの ECE ラベルの例

- A サイズ分類
- B 「汎用(ユニバーサル)」または「準汎用(セミユニバーサル)」マーク
- C 体重グループ

グループ 0 および 0+ のお子様 : 13 kg まで

この体重グループのお子様は、後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限り、リヤシートに取り付けてください。

グループ I のお子様 : 9~18 kg

この体重グループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプの特別なチャイルドシートを使用することもできます。このタイプのチャイルドシ

トは、可能な限り、リヤシートに取り付けてください。

グループ II のお子様 : 15~25 kg

この体重グループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限り、リヤシートに取り付けてください。

グループ III のお子様 : 22~36 kg

この体重グループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限り、リヤシートに取り付けてください。

チャイルドシートのサイズグループによる分類

- A ISO/F3: 前向き、フルサイズチャイルドシート
- B ISO/F2: 前向き、小型サイズチャイルドシート
- B1 ISO/F2X: 前向き、小型サイズチャイルドシート
- C ISO/R3: 後ろ向き、フルサイズチャイルドシート
- D ISO/R2: 後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
- E ISO/R1: 後ろ向き、乳幼児用チャイルドシート
- F ISO/L1: 左向きチャイルドシート(ベビーキャリア)
- G ISO/L2: 右向きチャイルドシート(ベビーキャリア)

バックレスト装備または非装備のブースターシート

ISO/B2: 前向きチャイルドシート(バックレスト装備または非装備のブースターシート)、減少幅 440 mm

ISO/B3: 前向きチャイルドシート(バックレスト装備または非装備のブースターシート)、全幅 520 mm

- ▶ チャイルドシートの適用範囲、および使用するチャイルドシートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

体重グループ	サイズ分類	チャイルドシート
グループ 0: 0 から 10 kg	F	ISO/L1
	G	ISO/L2
グループ 0+: 0 から 13 kg	E	ISO/R1
	C	ISO/R3
	D	ISO/R2
グループ I: 9 から 18 kg	E	ISO/R1
	A	ISO/F3
	B	ISO/F2
	B1	ISO/F2X
	C	ISO/R3
	D	ISO/R2

チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底

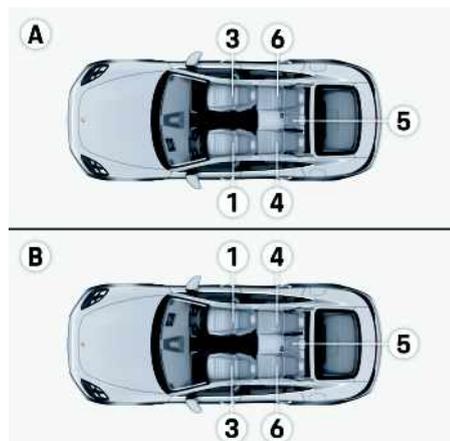


図 103：リヤシート 3 席装備車にチャイルドシートを取り付けるためのシート番号

A リヤシート 3 席装備の左ハンドル車

B リヤシート 3 席装備の右ハンドル車

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ

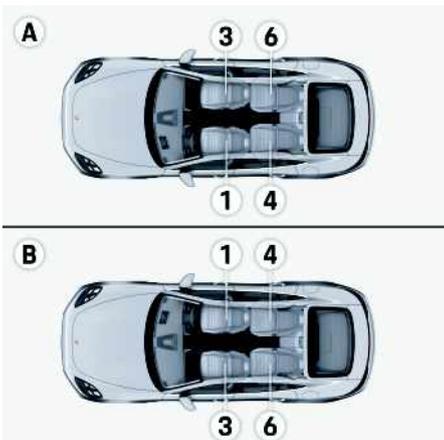


図 104 : リヤシート 2 席装備車にチャイルドシートを取り付けるためのシート番号

- A リヤシート 2 席装備の左ハンドル車
- B リヤシート 2 席装備の右ハンドル車

下表は、ECE-R16 規格に従ってチャイルドシートを使用する方法の概要です。

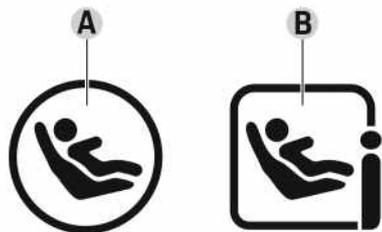


図 105 : ISOFIX および i-Size のシンボル

- A ISOFIX チャイルドシートのアタッチメントのシンボル (国によって異なります)
- B i-Size チャイルドシートのアタッチメントのシンボル (国によって異なります)

A-Z

i-Size および ISOFIX はチャイルドシート固定用の標準化されたリテーニングラグです。使用できるかどうかは国によって異なります。ECE-R 129 および ECE-R 44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルドシートおよび i-Size チャイルドシートは、i-Size のリテーニングラグに取り付けられます。

「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミユニバーサル)」のマークは、チャイルドシートの ECE ラベル (オレンジ色) に表示されています (図 102)。

- ▶ チャイルドシートシステムに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ 「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章（155ページ）を参照してください。

	i-Size システムによる固定	シートベルトによる固定			ISOFIX システムによる固定
シート番号に応じて許容される取り付け位置	なし	3, 4, 5 ¹ および 6			4 および 6
チャイルドシート取り付けのためのシート番号	1	3 ²	4 ³	5 ⁴	6 ³
シートベルトによる固定	不可	可	可	可	可
ISOFIX の取り付け位置	不可	可 ⁵	可	不可	可
i-Size の取り付け位置	不可	不可	不可	不可	不可
横向きのチャイルドシート	不可	不可	不可	不可	不可
適切な後ろ向きチャイルドシートで最大のもの	不可	R2X	R2/R3	R2 ⁶	R2/R3
適切な前向きチャイルドシートで最大のもの	不可	F2X	F3	F2 ⁶	F3
適切なチャイルドシートで最大のもの (バックレスト装備または非装備のブースターシート) (B2/B3)	無	B3	B3	B3	B3

不可: シートはこのグループのチャイルドシートの取り付けには適していません。

- ▶ 「チャイルドシートの取り付け」の章（158ページ）を参照してください。

助手席へのチャイルドシートの取り付けの概要

汎用 (U)、または準汎用 (L) 認定カテゴリーのチャイルドシートを助手席に取り付ける場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを確認してください。

1. シート 5 は、リヤシート 3 席装備車でのみ使用可能で、車両のシートベルトで固定されるチャイルドシートの取り付けのみに適しています。
2. 助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを必ず確認します。
3. この取り付け位置は、サポートレッグ付きチャイルドシートの取り付けに適しています。
4. この取り付け位置は、サポートレッグ付きチャイルドシートの取り付けに適していません。
5. ISOFIX マウントブラケットによる固定 (国別仕様および装備による)
6. シートベルトによる固定

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

認定カテゴリーの詳細については、チャイルドシートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください。

X: シートは、このグループのチャイルドシートには適していません。

U / L: このグループへの使用が認可され、大人用のシートベルトで固定されている、「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミ ユニバーサル)」認定カテゴリーの前向きタイプのチャイルドシートが適しています。

グループ	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ OFF
グループ 0: 0 から 10 kg	X	U / L
グループ 0+: 0 から 13 kg	X	U / L
グループ I: 9 から 18 kg	X	U / L
グループ I: 9 から 18 kg	U / L	U / L
グループ II: 15 から 25 kg	U / L	U / L
グループ III: 22 から 36 kg	U / L	U / L

チャイルドシートの取り付け

ベビー キャリア

サイズカテゴリー F および G の左向きまたは右向きタイプのチャイルドシート (ベビー キャリアなど) は、どのシートにも使用できません。

▶ 「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章 (155 ページ) を参照してください。

ボルシェ社では、ボルシェ テクニップメント製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします (例: Porsche Babyseat ISOFIX GO+)。

助手席エアバッグの ON / OFF



助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、助手席エアバッグを ON に戻してください。



図 106：助手席エアバッグを OFF にする

- ✓ イグニッションが OFF になっている。
- 1. グローブボックスを開いてください。
- 2. エマージェンシーキーをキーから取り外してください。
 - ▷ 「キー」の章（74ページ）を参照してください。

知識

キースイッチおよびエアバッグシステムが損傷する危険があります。

- ▶ エマージェンシーキーは必ず、キースイッチにいっぱいまで押し込んでから回してください。キースイッチはさほど大きな力をかけなくても回せるはずです。
- ▶ 助手席エアバッグは、イグニッションが OFF のときのみ、ON または OFF に切り替えてください。

3. エマージェンシーキーをキースイッチにいっぱいまで押し込んでください。
4. エマージェンシーキーを回し、助手席エアバッグをオフ（スイッチ位置OFF）またはオン（スイッチ位置ON）にしてください。

危険

助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キースイッチにエマージェンシーキーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシーキーが不意に回転し、エアバッグが作動する恐れがあります。

- ▶ エマージェンシーキーを助手席エアバッグスイッチに挿入したまま走行しないでください。

5. エマージェンシーキーをキースイッチから抜き取ってください。
6. グローブボックスを閉じます。

PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケーター
 助手席エアバッグ OFF/ON インジケーターはオーバーヘッドコンソールにあります。

OFF 点灯 ライト作動点検

イグニッションを ON にすると、ライト作動点検のために PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケーターが約 5 秒点灯します。

OFF 点灯 助手席エアバッグ OFF

助手席側のエアバッグを OFF にすると、イグニッションスイッチが ON のときやエンジンが作動しているときは PASSENGER AIR BAG OFF インジケーターが継続的に点灯します。

ON 点灯 助手席エアバッグ ON

助手席エアバッグを ON にすると、イグニッションスイッチが ON のときは PASSENGER AIR BAG ON インジケーターが点灯し、約 1 分後に消灯します

危険

助手席エアバッグの故障または作動不良

イグニッションを ON にして、助手席エアバッグを OFF にしたときに PASSENGER AIR BAG OFF インジケーターが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ISOFIX チャイルドシートの取り付け

- ▷ 「チャイルドシートの体重グループによる分類」の章（154ページ）を参照してください。
- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

助手席へのチャイルドシートの取り付け

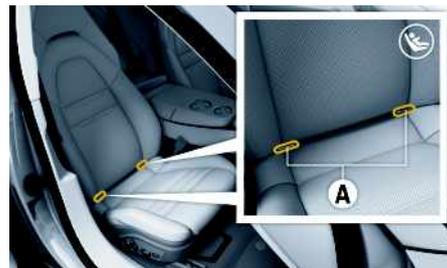


図 107：助手席シートの ISOFIX リテーニングラグ（装備により異なります）

ISOFIX チャイルドシートを固定するリテーニングラグ A の位置を示すマークは、リヤシートのバックレストおよび助手席のシート面の間にあります（装備によって異なります）。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

1. エマージェンシーキーを使用して、助手席エアバッグをOFFにしてください。
オーバーヘッドコンソールのPASSENGER AIR BAG OFF警告灯が点灯します。
2. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグAに固定してください。
3. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。

リヤシートへのチャイルドシートの取り付け

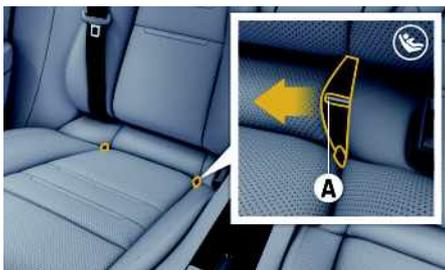


図 108 : リヤシートの ISOFIX リテーニング ラグ

ISOFIX チャイルドシートを固定するリテーニングラグ A の位置を示すマークは、シート面にあります。

1. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグ A に固定してください。
2. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。

ISOFIX トップテザー付きチャイルドシートの取り付け



図 109 : リヤシート 2 席装備車 : ISOFIX アンカーポイント (トップテザー) の固定位置



図 110 : リヤシート 3 席装備車 : ISOFIX アンカーポイント (トップテザー) の固定位置

- ▶ ISOFIX トップテザー付きチャイルドシートを使用する場合は、トップテザーをリヤシート後部の固定位置に装着してください。

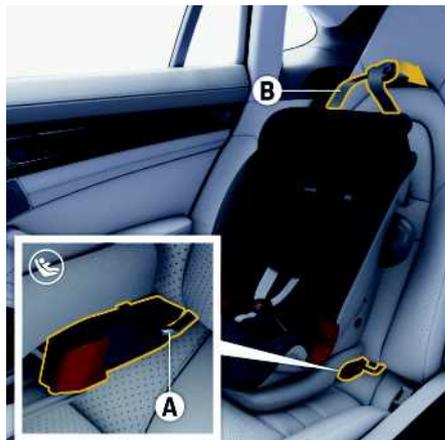


図 111 : ISOFIX リテーニングラグ (トップテザー) 付きチャイルドシートの取り付け



図 112 : ISOFIX トップテザーの取り付け

1. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグ A に固定してください。
2. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニ

- ング ラグに確実に固定されているか点検してください。
3. ISOFIX トップテザー **B** をヘッドレストに通してください。
 4. ISOFIX トップテザー **B** をバックレスト後方の固定箇所に取り付け、トップテザーを締め付けてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

テスト スタンドでの点検

テスト スタンドでの点検



警告

有毒な排気ガスの吸い込み

有毒な排気ガスの吸い込みにより重傷または致命傷を負う危険があります。

排気ガスに含まれる無色無臭の一酸化炭素は、低濃度でも有毒です。

- ▶ エンジンを作動した状態での作業は、屋外、または排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。



警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。この場合、車両ジャッキは適していません。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

パフォーマンス テスト

ボルシエ社ではローラー タイプ テスト スタンドでのパフォーマンス テストを承認していません。

ブレーキ テストの実施

- ▶ ブレーキテストには、ローラータイプテスト スタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください。

- 測定速度: 7.5km/h 以下
- 測定時間: 20 秒以内

エレクトリック パーキング ブレーキのテスト

- ▶ ブレーキ テスト スタンドでエレクトリック パーキング ブレーキをテストするときは、**イグニッションのみを ON にし、セレクトアー レバーをニュートラル (トランスミッション ロック作動) にしなければなりません。**

車両が自動的にブレーキ テスト モードに切り替わり、エレクトリック パーキング ブレーキのテストが可能になります。 インストルメント クラスタにメッセージが表示されます。

デバイス マネージャー

デバイス マネージャーを開く

デバイス マネージャーを開くと、使用可能な機器や各機器の接続ステータスの概要を確認できます。

- ▶ フッターの  または  (接続ステータスに応じて異なります) を選択してください。

接続ステータスの表示

シンボルの色と意味

- 緑色のシンボル：データ接続が有効
- 白色のシンボル：接続は可能だが、有効になっていない
- シンボルがない：接続不可能

選択できる機能

-  **電話**：Bluetooth® 経由で接続された携帯電話。177ページの「電話」の章を参照してください。
-  **ミュージック**：Bluetooth® 経由で接続された外部 Bluetooth® メディア ソース。245ページの「メディア」の章を参照してください。
-  **データ**：内蔵 SIM カード、外部 SIM カード、または外部 WiFi ホットスポット経由で確立されたデータ接続。227ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。
-  **App**：WiFi 経由で接続されたポルシェ コネクト アプリ。229ページの「アプリ」の章を参照してください。ポルシェ コネクト アプリに関する詳細：www.porsche.com/connect。
-  **リンク**：Apple CarPlay へのアクセスが許可された USB ポート経由で接続された iPhone。278ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。

- ▶ 接続マネージャーは、デバイスまたはメディア ソースを接続する際に役立ちます。ヘッダーの  または  (接続状況によって異なる) ▶ **接続マネージャー** を選択します

新しいデバイスを Bluetooth® 経由でペアリングする

1. ヘッダーの  または  を選択します (接続ステータスにより異なります) ▶ **新しいデバイスの検索**。
2. リストからデバイスを選択してください。6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM とデバイスに表示されます。
3. PCM とデバイスの Bluetooth® コード。
4. PCM とデバイスの Bluetooth® コードが一致する場合、確定します。携帯電話が正常に接続されたら、デバイス概要に表示されます。

Porsche Communication Management (PCM) の操作に関するインフォメーション：
▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (231ページ) を参照してください。

デバイス マネージャーの設定

- ▶ ヘッダーの  または  (接続ステータスにより異なる) ▶ オプション  を選択します。
- **電話**：177ページの「電話」の章を参照してください。
- **Bluetooth**：
 - **Bluetooth** を ON または OFF にします。
 - **SIMカードへアクセス**することを許可します。

- PCM の名前の変更。
- **WiFi**：
 - **WiFi** を ON または OFF にします。
 - **PCMのWiFiホットスポットを設定**：PCM の WiFi アクセス データを表示および設定します。このデータは、デバイス (携帯電話など) を WiFi 経由で PCM に接続したり、WiFi ホットスポットを使用したりするために必要です。
 - **接続されたデバイス**：登録済みのすべての WiFi デバイスのリスト。
 - **WiFiホットスポットの検出**：新しい WiFi ホットスポットを検索し、外部 WiFi ホットスポット用のアクセス データ (ユーザー名およびパスワード) を入力します。データ入力時は、大文字 / 小文字に注意してください。
- **モバイル データ**：
 - **モバイル データ** を ON または OFF にします。
 - **ローミング**：他のネットワークのデータ接続を許可します / 許可しません。
 - **オンライン データの使用**：転送されたデータ量の表示。
 - **オンライン データの使用をリセット**：すべてのオンライン データの使用がリセットされます。
- **車両ホットスポット**：PCM の WiFi アクセス データを表示します。
- **ペアリングされたデバイスを削除**

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ドライビングデータの表示 (トリップ情報)

走行時間、走行距離、平均速度、平均燃費など、各種のトリップ情報をタッチディスプレイのトリップメニューとインストルメント クラスター に表示できます。

タッチスクリーンと計器クラスターの動作の詳細については：

- ▷ 「インストルメントパネルの操作」の章 (44ページ) を参照してください。
- ▷ 「タッチディスプレイの操作」の章 (236ページ) を参照してください。

インストルメント クラスターのドライビングデータ表示

「車両&情報」内の運転データの表示

1. トリップメニューを選択します。
2. リストから表示項目を選択します。

ドライビングデータをリセットする

1. トリップ▶リセット
2. リストから表示項目を選択します。

ダッシュボードのタッチディスプレイのドライビングデータ表示

ドライビングデータを表示する

1. 車両  ▶ トリップ 
2. 必要なデータをスクロールします。

個人設定走行

1. 車両  ▶ トリップ  ▶ オプション  ▶ 走行をカスタマイズする
2. 多種多様な運転データをドラッグ&ドロップを用いて4つのフィールドに割り当てることができます。特定の運転データを複数の項目に割り当てることはできません。

ドライビングデータをリセットする

1. 車両  ▶ トリップ  ▶ オプション  ▶ トリップデータをリセットする
2. リストから表示項目を選択します。

リヤタッチディスプレイのトリップ情報の表示

ドライビングデータを表示する

1. **NAV** ボタン▶トリップ
2. 必要なディスプレイにスクロールします。

ドライビングデータをリセットする

1. **NAV** ボタン▶トリップ▶オプション  ▶ トリップデータをリセットする
2. リストから表示項目を選択します。

トラフィックジャム アシスト (TJA)

交通渋滞アシストは、交通渋滞時や約 65 km/h 未満の速度で低速走行する交通状況で、ドライバーの運転をサポートします。

トラフィック ジャム アシストは、システムが計算した車線を車両が維持できるようにします。ACC が ON である場合は、システムの制限内で、システムが車両のハンドル操作を自動で行います。

トラフィック ジャム アシストはアシスタンス システムであるため、ドライバーはいつでも車両のハンドル操作ができるように、常にステアリング ホイールを握ってなければなりません。ドライバーはいつでも思い通りにステアリングを操作して、アシスタンス システムを解除することができます。

このシステムは、高速道路やよく整備された郊外道路での運転向けに設計されています。市街地では、トラフィック ジャム アシストを決して使用しないでください。

各操作部



図 113 : 交通渋滞アシストの使用

R システムの ON/OFF を切り替えて、オプションメニューを開く

S オプションメニューを開く (システムが ON の場合)

トラフィックジャム アシスト ON/OFF を切り替える

トラフィックジャム アシストは PCM で ON/OFF を切り替えることができます。

▶ アシスト ▶ 交通渋滞アシスト

- または -

1. コントロールレバーの R ボタンを押します。
ドライバー アシスタンス システムが ON になります。
2. レバーの S ボタンを押します。
ドライバー アシスタンス システムの状況がインストルメント パネルに表示されます。
3. ステアリング ホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用してレーン キープ アシストを選択し、ボタンを押して確定します。

ACC が作動している場合、インストルメントパネルにトラフィック ジャム アシストのステータス ディスプレイが表示されます。

▶ 「各操作部」の章 (33ページ) を参照してください。

トラフィックジャム アシストのステータス表示

表示	意味
	トラフィックジャム アシストのスイッチは ON ですが無効です。横方向の制御は発生しません。
	トラフィックジャム アシストのスイッチは ON であり有効です。車両が前方に検出され、その他すべての条件も満たされました。車両はコントロール介入を実行します。
	ドライバーの操作がないと、交通渋滞アシストは車両が停止するまで車両にブレーキをかけます。

インフォメーション

レーン キープ アシストも同時に作動している場合は、交通渋滞アシストのマーク  の代わりにレーン キープ アシストのマーク  が表示される場合があります。これは、最後の作動状態のシステムまたは PCM で最後に作動したシステムがインストルメントパネルに表示されるためです。

交通渋滞アシストが有効になっている間、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリングが操作されない場合、短時間でインストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

システムはドライバーに、警告音とインストルメントクラスターのテキストメッセージによって積極的にステアリング操作を行うように促します。

一定時間内にドライバーが反応しない場合、トラフィック ジャム アシストは停止中に切り替わります (ステータス ディスプレイ / システム状態を参照)。こ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ の状況で、システムは車両を減速させ停止させることができます。減速中は警告音が鳴り、インストルメントクラスターには警告が表示されます。

か **▲ 警告** 注意の欠如および環境要因の変化

さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

トラフィック ジャム アシストは、高速道路やよく整備された郊外道路でのみ使用することを想定して設計されています。トラフィック ジャム アシストのおかげで運転は非常に快適になりますが、無謀な運転は避けてください。車線を守ることおよび交通状況を常に正しく判断することは、ドライバー本人の責任です。

- ▶ 常にステアリング ホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。
- ▶ 常にドライバー本人が運転操作 (加速または減速) を引き継げる状態でいてください。インストルメント クラスターに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 以下の状況では、トラフィック ジャム アシストを決して使用しないでください:
 - 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合。
 - 雪、氷、または豪雨など悪天候のとき。
 - オフロードまたは未舗装および滑りやすい路面。
 - カーブの多い道、道路工事区間や市街地。
 - 狭い車線。
 - 分岐点や料金所などの不安定な交通状況。
- ▶ アダプティブクルーズコントロール (ACC) とレーンキープアシストの制限や情報について:
 - ▷ 「レーンキープアシスト」の章 (269ページ) を参照してください。
 - ▷ 「アダプティブクルーズコントロール (ACC)」の章 (32ページ) を参照してください。

知識

システムは必ずしも車両を車線の中央や列の最後尾の車両の真後ろに誘導するとは限りません。トラフィックジャム アシストは、道路上の障害物を避けて運転することを想定していません。トラフィックジャム アシストは、人、動物、同一車線上の対向車、前方を斜め方向に横切る車両などには対応できません。それらはセンサーで障害物として検出されません。

i インフォメーション

- ▶ この章の記載どおりにシステムの故障または交通渋滞アシストが機能しない場合は、交通渋滞アシストを使用しないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告メッセージへの対応

トラフィックジャム アシストの警告およびインフォメーションメッセージに関するインフォメーション:

- ▷ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86ページ) を参照してください。

トランスミッション

Porsche Doppelkupplung (PDK) による走行

Porsche Doppelkupplung (PDK) はオートマチックモードとマニュアルシフトモードを備えた8段変速トランスミッションです。

オートマチックシフトモード(作動モードD)ではギヤが自動的にシフトされます。ステアリングホイールのシフトパドルを操作することにより、一時的にオートマチックシフトモードからマニュアルシフトモードに切り替えることができます。

マニュアルシフトモード(作動モードM)では、セレクターレバーまたはステアリングホイール上にあるシフトパドルの操作でギヤを変更できます。

DモードとMモードは、走行中も必要に応じて切り替えられます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのシフトモードでも、ステアリングホイールのギヤシフトパドルを誤って操作しないように注意してください。思わぬタイミングでギヤシフトが発生してしまいます。

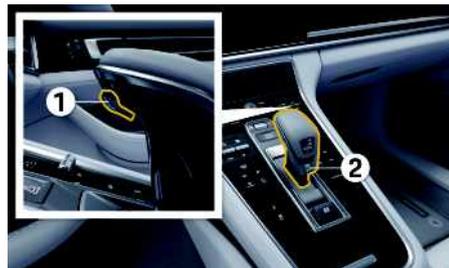


図 114 : 作動モードの変更

- 1 リリースボタン
- 2 トランスミッションパーキングロック(Pボタン)

作動モードの変更

イグニッションがOFFの場合、作動モードPが有効となり、セレクターレバーはシフトゲート内で自由に動かせます。

作動モードはセレクターレバーのリリースボタン(1)を押した場合のみ変更できます。作動モードPまたはNから切り替える時には、リリースボタンに加え、ブレーキペダルを踏んでください。作動モードDから作動モードMにのみ切り替えが可能です。作動モードPに切り替えるには、セレクターレバーのPボタン(2)を押すか、イグニッションをOFFにします。各操作の後、セレクターレバーは元の中央位置に戻り、選択されている作動モードがインストルメントパネルに表示されます。

- ▶ 「作動モードと締結ギヤのインジケータを読む」の章(168ページ)を参照してください。

リリースボタン

セレクターレバー上のリリースボタン(1)は、誤ってギヤが変更されないようにするための機構です。モード変更の前には必ずこのボタンを押します。

Pボタン

セレクターレバーのPボタン(2)は、トランスミッションパーキングロックを作動させます。イグニッションがOFFのとき、D、MまたはR作動モードでトランスミッションパーキングロックが自動的にかかります。

i インフォメーション

車両から離れる(運転席シートベルトが着用されていない、運転席のドアが開いている、ブレーキペダルを踏んでいない)ときは、D、MまたはR作動モードでもトランスミッションパーキングロックがかかりません。

運転席ドアが開いており、運転席シートベルトが着用されていない状態でも、エレクトリックパーキングブレーキを手動で解除し、必要に応じて任意の作動モードD、MまたはRに切り替えると、車両を移動させることができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、任意の作動モードD、MまたはRが選択された状態のままになり、トランスミッションパーキングロックは自動的に作動しません。

- ▶ 「エンジンの停止」の章(70ページ)を参照してください。

エンジンの始動

エンジンは、ブレーキペダルが踏まれており、モードPまたはNが作動中の場合に限り始動できます。

E-Hybrid 車両の始動に関する情報:

- ▶ 「車両の始動」の章(190ページ)を参照してください。

i インフォメーション

E-Hybrid 車両: 車両を電気のみ(例: バッテリー電圧、温度)で走行する条件が満たされたとき、内燃エンジンは始動せず作動スタンバイ状態になります。

車両の発進

- ▶ 発進するために希望する走行作動モード(D、MまたはR)は、エンジンがアイドリング状態で、P

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

レーキペダルを踏んでいるときにのみ選択してください。

- ▶ ギヤが入ると車両はゆっくりと動き出すため、発進の準備が整うまでブレーキペダルから足を放さないでください。

坂道での発進

- ▶ 「HOLD 機能」の章（280ページ）を参照してください。

車両の停止

- ▶ 信号待ちなど短時間の停車時は、セクターレバーを作動モード **D** のままにし、ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ 上り坂ではアクセルペダルを踏んで停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキペダルを踏むか、エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリックパーキングブレーキをかけ、作動モード **P** を有効にしてください。

駐車

- ▶ アクセルペダルは控えめに使ってください!
- ▶ 狭い場所での駐車時や操舵時は、フットブレーキを慎重に使用し速度をコントロールしてください。

作動モードと締結ギヤのインジケータを読み取る

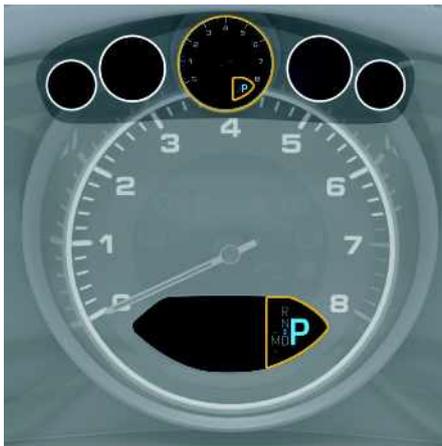


図 115：インストルメントパネルのモードと締結ギヤインジケータ

- エンジン作動中に、作動モードと締結ギヤが表示されます。
- ブレーキを踏んでいない状態で不意にセクターレバーが **P** または **N** 位置から異なるモードに動いてしまった場合、希望する作動モードは作動しません。インストルメントクラスターにメッセージが表示されません。
- ▶ 発進するには、ブレーキをかけ、セクターレバーを再び **P** または **N** から希望のモードに動かしてください。

インストルメントパネル内での作動モード **R** または **D** の点滅

駆動力が伝達されません。

原因：

最高許容速度以上で、または進行方向と反対にセクターレバーを **R** または **D** にシフトした。

対策：

- ▶ フットブレーキを踏んでから、再び作動モードを **N** から希望するモードに切り替えます。

作動モード

P – パーキング ロック

- ▶ 車両が停止してからのみ、P ボタンを使ってパーキングロックをかけてください。作動モード **P** が点滅している場合、パーキングロックがかかっています。車両が不意に動き出す恐れがあります。もう一度 P ボタンを押すか、イグニッションを OFF にしてください。

R – リバース ギヤ

- ▶ セクターレバーの選択は、車両が停止しブレーキをかけてからにしてください。

N – ニュートラル

たとえば、洗車機を使用するときなどは、作動モード **N** を必ず選択してください。

- ▶ 発進するために希望する走行作動モード (**D**、**M** または **R**) は、エンジンがアイドル状態、ブレーキペダルを踏んでいるときにのみ選択してください。

D – オートマチック シフト モード

- ▶ 「通常」の走行時には、作動モード **D** を使用してください。アクセルペダルの踏み込み方と車速により、ギヤが自動的に切り替わります。

i インフォメーション

ステアリング ホイールのギヤシフト操作により、一時的にオートマチックシフトモード **D** からマニュアルシフトモード **M** に切り替えることができます。

例：

- カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき
 - 下り坂でエンジンブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
 - 急加速のためにシフトダウンしたいとき
- マニュアルセレクションモードが維持されます：
- オーバーラン時
 - 車両が交差点などで停車したとき
- マニュアルシフトモードが再び終了します：
- オーバーラン時以外は、自動的に約6秒後

M - マニュアルシフトモード



図 116：セレクターレバーのマニュアル選択モード

ステアリングホイールのギヤシフトパドルまたはセレクターレバーの操作により、ドライバーは8速前進ギヤを快適かつ安全に選択することができます。

- ▶ セレクターレバーを **D** から **M** の位置に押ししてください。

現在のギヤは、**D** から **M** にシフトしてもそのまま維持されます。

M から **D** にシフトする場合は、現在のドライビングスタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。



図 117：シフトパドル付きステアリングホイール

セレクターレバーまたは右「+」シフトパドルでのシフトアップ

- ▶ セレクターレバーまたは右側シフトパドルを手前に引いてください。

セレクターレバーまたは左「-」シフトパドルでのシフトダウン

- ▶ セレクターレバーを前方に押ししてください。または左側シフトパドルを手前に引いてください。

シフトパドルを使用したクラッチの解除

- ✓ ACC またはクルーズコントロールが作動していない
- ▶ 両方のシフトパドルを同時に引いて、すぐに放してください。

トランスミッションがクラッチを開きます。その後、エンジンが切り離されてアイドル回転数になった状態で車両は走行し、エンジンブレーキの効果は得られません。最後に作動した作動モードが **D** または **M** の場合、ギヤシフトインジケータの数字が点滅します。ギヤシフトパドルのいずれかを引くかセレクターレバーを操作すると、再びクラッチが閉じます。

i インフォメーション

特定の速度限界値を下回ると、クラッチは再び閉じません。その後、ブレーキペダルを踏みながら、**N** 位置から再び希望する作動モードに入れる必要があります。

低燃費走行のためのシフトアッププロンプト

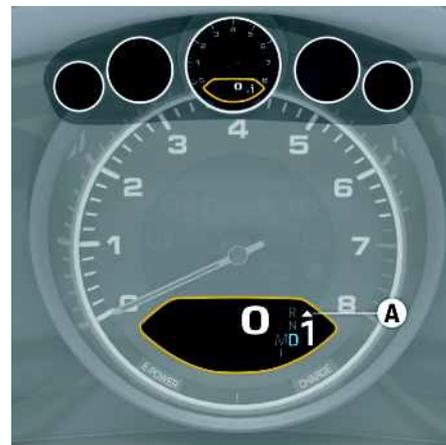


図 118：シフトアップインジケータ A

燃費重視の運転を促すシフトアップインジケータ **A** は、ドライバーが経済的な運転をできるように支援します。選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込み方に応じて、シフトアップインジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能はモード **D** で作動します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▶ 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセルペダルを素早くいっぱい踏み込んで〔キックダウン〕ください。

車速とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

惰性走行モードで走行する

- ✓ Panamera, Panamera S, Panamera GTS, Panamera Turbo S

惰性走行モードでは、締結しているギヤが自動的に解除され、それによってエンジンのブレーキ効果が回避されます。車両はアイドル回転数で走行します。ドライバーは、手動の惰性走行モードを開始できます。

ドライバーは自動惰性走行モードを要求することができます。このモードはシステムによって自動的に開始されます。

自動惰性走行モードの要求

- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
- ✓ 通常走行モードが選択されている。
- ✓ 作動モード **D** が選択されている。
- ✓ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が有効になっている。
- ✓ クルーズコントロールが作動していない。
- ✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) が無効になっている。
- ✓ Porsche InnoDrive (PID) が無効になっている。
- ✓ 車両が作動温度に達している。
- ✓ ゆるやかな上り / 下り勾配。
- ✓ 市街地外での走行。
- ✓ 他のアシスタンス システムからのデータにより、惰性走行モードが可能 (国によって異なる。例: 前方の車両までの距離、マップデータに基づく今後の道路ルート)。
- ▶ アクセルペダルからゆっくりと足を離します。

システムは走行データを評価し、適切な走行状況で自動的に惰性走行モードを開始します。

手動の惰性走行モードの開始

- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
 - ✓ 通常走行モードが選択されている。
 - ✓ 作動モード **D** が選択されている。
 - ✓ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が有効になっている。
 - ✓ クルーズコントロールが作動していない。
 - ✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) が無効になっている。
 - ✓ Porsche InnoDrive (PID) が無効になっている。
 - ✓ ゆるやかな上り / 下り勾配。
1. アクセルペダルから足を完全に離してください。
 2. ギヤシフトパドルまたはセレクターレバーを使用して、可能な限り高いギヤに手動でシフトアップします。惰性走行モードが開始されます。

惰性走行モードの終了

- ▶ アクセルペダルを踏みます。
 - または -
- ▶ シフトパドルまたはセレクターレバーを使用してギヤを切り替えます。エンジンが締結され、惰性走行モードが終了します。

ローンチコントロールを使用した発進

ローンチコントロール機能は停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。



警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況では (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他の道路利用

者に危険が及んだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限りローンチコントロールを使用してください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。

i インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速度での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

- ✓ 作動温度の車両。
- ✓ 道路の勾配が低い。
- ✓ SPORT PLUS 走行プログラム作動中。
- ✓ ステアリングホイールは直進位置。

1. 左足でブレーキペダルを踏みます。
2. 素早くアクセルペダルをいっぱい踏み込んで、そのまま保持してください。

エンジン回転数は自動的に横ばい状態になります。ローンチコントロールが作動していることを示すメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

3. 数秒以内にブレーキを解除します。

E ローンチを使用した発進

- ✓ E-Hybrid 車両
- e-Launch 機能で、停車状態から電気のみを使用して最大加速度で発進することができます。
- ✓ 高電圧バッテリーは十分に充電され、作動温度になっています。
 - ✓ 作動温度の車両。
 - ✓ 道路の勾配が低い。
 - ✓ ステアリングホイールは直進位置。

1. E-POWER 走行プログラムを作動させます。
2. 左足でブレーキペダルを踏みます。
3. ローンチコントロールが作動していることを示すメッセージがインストルメントクラスターに表示されるまでアクセルペダルを踏み込み、そのポイントで停止します。
4. 数秒以内にブレーキを解除します。

i インフォメーション

E-POWER 走行プログラムでは、アクセルペダルにハイブリッド特有のエンドポイントがあります。このエンドポイントを超えると、内燃エンジンが始動します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

トレーラーヒッチ

- ▶ トレーラーヒッチを改造および修理しないでください。
 - ▷ トレーラー車両の取扱説明書をよくお読みください。

重要な定義

- **けん引重量** (トレーラーの総重量) は、トレーラーそのものの重量と積載荷物の重量の合計です。
- **垂直カップリング荷重**とは、車両のトレーラーヒッチのトレーラーけん引棒にかかる重量のことです。
- **リア軸荷重**とは、リア軸にかかる車両重量と、積載荷物の重量と、トレーラーの垂直カップリング荷重を加えたものです。
- **車両トレーラーの総重量**とは、けん引車両とトレーラーの総重量の合計です。
 - ▷ 「テクニカルデータ」の章 (289ページ) を参照してください。

i インフォメーション

- トレーラーヒッチを使用しないときは、トレーラーヒッチが取り付けられているまたは展開した状態の車両を操作しないでください。
- ▶ トレーラーヒッチを使用しないときは格納してください。

トレーラーヒッチの後付け

トレーラーヒッチの後付けは、ボルシェ正規販売店でのみ行ってください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

電気接続の使用

この車両には、トレーラー車両の電気系統を接続するために13ピンのプラグが用意されています。

- ▶ トレーラー車両のプラグが7ピンの場合、適切なアダプターを使用してください。

車両がトレーラーを検出できるようにする

車両がけん引されたトレーラーを検出すると、オートスタート/ストップ機能が無効になるなど、車両および車両のシステム動作に影響が出ます。インストールメントクラスタのインジケータライトは、車両がトレーラーを検出しているかどうかを示します。方向指示器を出すとき、インジケータライトが点滅する必要があります。

- ▷ 「インストールメントクラスタ」の章 (39ページ) を参照してください。

トレーラーモードの準備

- ▶ けん引重量、垂直連結荷重およびリア軸荷重の許容仕様を必ず遵守してください。
 - ▷ 「テクニカルデータ」の章 (289ページ) を参照してください。
- ▶ トレーラーを連結する際には、必ずけん引車両の後ろに水平に連結してください。必要に応じ、調整可能ドロワー付きのトレーラーを使用してください。

荷重の分散

- ▶ 重い物は可能な限り軸付近になるように、トレーラーにかかる荷重を配分してください。
- ▶ 積載物は、いずれもしっかり固定して滑らないよう保護してください。
- ▶ トレーラーに荷物を載せる際には、トレーラーヒッチの定格垂直連結荷重を超えないようにしてください。

正しいタイヤ空気圧の徹底

- ▶ けん引車両のために、全負荷の場合に適切な車両タイヤ空気圧を選択してください。

- ▷ 「タイヤおよびホイール」の章 (145ページ) を参照してください。
- ▶ メーカーの取扱説明書に従い、トレーラーのタイヤ空気圧を調整してください。

ドアミラーの視野確認

- ▶ トレーラーの横溝がミラーに映り込み、トレーラー後方の交通確認の妨げとなる場合には、追加のドアミラーを装着してください。

ヘッドライトやその他ライトの確認

- ▶ トレーラーのプラグがけん引車両に差し込まれていることを確認してください。
- ▶ すべてのライトの点灯することを確認してください。

電動格納式トレーラーヒッチの使用

⚠ 警告 トレーラーヒッチの展開 / 格納

トレーラーヒッチの展開 / 格納の際に、動くトレーラーヒッチと車両の固定パーツの間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ トレーラーヒッチの作動を緊急停止するときは、ボタン **A** または **B** を再度押してください。作動の途中位置でトレーラーヒッチを使用しないでください。
- ▶ トレーラーヒッチの可動範囲に人や動物がいないか、物がいないか確認してください。

⚠ 注意 リヤリッドの不用意の作動

後方のセンサーが人、動き、または物を検出し、有効なキーが車両後方にある場合、リヤリッドは自動的に開閉するため、負傷または車両への損傷を引き起こす

恐れがあります。

リヤリッドの不用意な作動を防ぐには：

- ▶ PCM で機能を解除します。
- または -
 - ▶ ボルシェ コンフォート アクセスを解除します。
-
- ▶ 「セントラル ロッキング システムの使用」の章 (124ページ) を参照してください。

知識

トレーラー ヒッチの展開や格納時に車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ トレーラー ヒッチを格納する前に必ずアダプターを取り外してください。
- ▶ トレーラー車両をけん引しているときや、バイクラックなどがトレーラー ヒッチに取り付けられている場合、またはトレーラー ヒッチにより支えられている場合は、トレーラー ヒッチを回転させないでください。
- ▶ トレーラー ヒッチは完全に展開した状態で使用してください。
- ▶ 補助具や工具などを使用してトレーラー ヒッチの作動を妨げないでください。ロック機構が損傷します。この場合、トレーラー ヒッチの安全性が保証できません。
- ▶ 毎回運転する前にトレーラー ヒッチが正しくロックされていることを確認してください。



図 119：トレーラー ヒッチの展開 / 格納

電動式トレーラー ヒッチのボタン A または B の該当するインジケータ ライトが ON になっていれば、該当する機能が作動します。

トレーラー ヒッチの展開

- ✓ 車両は停止している。
- ✓ リヤリッドが開いている。
- ▶ ボタン B を押してください。
ボール ヒッチが自動的に展開して、作動位置になります。
ヒッチの回転中は、ボタンのインジケータ ライトが点滅します。
作動位置になると、ボタンのインジケータ ライトが点灯します。

トレーラー ヒッチの格納

- ✓ 車両は停止している。
- ✓ プラグ (および、すべてのアダプター) がソケットから切り離されている。

- ✓ ボール ヒッチに取り付けられているアクセサリ (保護キャップ、バイク ラックなど) は取り外されている。
- ✓ けん引されていないトレーラー。
- ✓ リヤリッドが開いている。
- ▶ ボタン A を押してください。
ボール ヒッチが自動的に格納します。
ヒッチの回転中は、ボタンのインジケータ ライトが点滅します。
ヒッチが完全に格納されると、ボタンのインジケータ ライトが点灯します。

i インフォメーション

- トレーラー ヒッチが格納されると、トレーラー ヒッチのロックは自動的に解除されます。格納中に音が発生する場合がありますが、これは正常で故障ではありません。
 - トレーラー ヒッチを使用しないときは格納してください。
 - トレーラー ヒッチに故障がある場合、インストール クラスタに警告シンボルが表示されます。
-
- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86ページ) を参照してください。

トレーラー ソケット

ソケットは、展開されたボール ヒッチの左側にあります。

オーバーロード プロテクションを考慮に入れる

動きを妨げる抵抗を検知するとボール ヒッチの作動が中断されます。

オーバーロード プロテクションの一時的な停止

- ▶ ボール ヒッチが作動位置または格納位置になると、ボタン A または B を押し続けてください。

トレーラーヒッチの固定位置の保存

バッテリーの接続を切り離れたときや故障の後では、電子回路に保存されているトレーラーヒッチの固定位置が消えてしまっている場合があります。この場合は、ボタンAおよびBのインジケータライトが同時に点滅します。

固定位置の保存方法：

- ▶ ボールヒッチが一度作動位置になり、次に完全に格納されるまで、ボタンAまたはBを押し続けてください。

固定位置が保存されます。

故障の修理

取り扱い中に問題があった、異常に気づいた、あるいは故障した場合：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

トレーラーを連結した運転



警告

トレーラーけん引時の車両操縦性の変化

けん引されているトレーラーは車両操作性に大きな影響を与えます

- ▶ トレーラーを連結した運転用の法定速度を遵守します。
- ▶ 車両とトレーラーを組み合わせた場合の操縦性およびブレーキ動作について、慎重かつ段階的に慣れるようにします。
- ▶ ブレーキをかけたり、駐車したり、カーブを曲がったり、追い越したりするなどの状況で、変化した車両操作性および寸法を念頭に置くようにし

てください。

- ▶ 急な走行やブレーキ操作は避けず。
- ▶ けん引車両は空で、トレーラーに荷物をたくさん積んだ状態にして、運転しないでください。この好ましくない状況がどうしても避けられない場合は、特にスピードを落として運転してください。
- ▶ 状況の変化に合わせて慎重に運転してください。



警告

速度超過

スピードが速すぎると、トレーラー連結車両を制御できなくなる恐れがあります。

- ▶ 車両とトレーラーを組み合わせた走行安定性は、速度が上昇するにつれて悪化します。下り坂コース、悪い路面状態および悪天候（強風など）では特にスピードを落として走行します。
- ▶ エンジンブレーキ効果を利用するために、下り坂コースでは適切な低いギヤで走行します。
- ▶ けん引車両は空で、トレーラーに荷物をたくさん積んだ状態にして、運転しないでください。この好ましくない状況がどうしても避けられない場合は、特にスピードを落として運転してください。
- ▶ トレーラーが揺れ始めた場合はすぐに減速します。カウンターステアで走行姿勢を保たないでください。必要に応じてブレーキをかけます。加速することによって車両とトレーラーの組み合わせをまっすぐにしようとししないでください。



警告

後退時に距離警告が利用できないことによる事故

トレーラーの接続を検出すると、リアパークアシストが自動的に解除されます。

- ▶ 十分注意して運転してください。



警告

車線変更時に警告が利用できないことによる事故

トレーラーの接続を検出すると、レーンチェンジアシストが自動的に解除されます。

- ▶ 十分注意して運転してください。



警告

動いている車両

トレーラーとけん引車両の間に身体の一部が入って、挟まれたり怪我をしたりする恐れがあります。

- ▶ 車両が動いている間は、トレーラーとけん引車両の間のスペースに、人、動物、または物が決して入らないようにしてください。



インフォメーション

トレーラーを連結すると、車両に大きな負荷がかかります。ポルシェ正規販売店で定期的に車両を点検してください。

トレーラーの連結と切り離し

トレーラーの連結



図 120：締め付けラグのボールヒッチへの取り付け

1. トレーラーを連結する前に、警報システムを OFF にします。警報システムが不意に作動する恐れがあります。
 - ▶ 「警報システム」の章（108ページ）を参照してください。
2. トレーラーを連結します。
3. トレーラー ブ레이크アウェイ ケーブルをファスニング ラグに締結します。
4. 電源プラグを接続します。
5. トレーラーの連結後、警報システムを再度 ON にします。

トレーラーの切り離し

1. トレーラーを切り離す前に、警報システムを OFF にします。警報システムが不意に作動する恐れがあります。
2. トレーラーにオーバーラン ブレーキがある場合、そのブレーキがまだ作動しているときにトレーラーを切り離さないでください。
3. 電源プラグを切り離します。
4. トレーラー ブ레이크アウェイ ケーブルをファスニング ラグから取り外します。
5. トレーラーを切り離します。
6. トレーラーの切り離し後、警報システムを再度 ON にします。

アタッチメントおよびアクセサリーの使用

▲ 警告

不適切な追加部品およびアクセサリーを使用するとトレーラー ヒッチが破損する恐れがあります。

- ▶ 使用するアタッチメントおよびアクセサリーが、ボルシェ車両用として適切な認定品であることを確認してください。

- アタッチメントおよびアクセサリー（バイク ラック システムなど）の使用時には、以下を確認してください。
- バイク ラックは最大3台まで積載できるもののみが許可されています。
 - 総重量は（積載荷物を含む搬送システムで）最大 75 kg です。ただし、ボールヒッチ 1 から積載荷物の重心までの距離が長くなると、最大総重量は減少します（図 121）。
 - アクセサリー / アタッチメントからボールヒッチ 1（図 121）までの最大距離は 700 mm 以下でなければなりません。
 - ▶ 「テクニカルデータ」の章（289ページ）を参照してください。



図 121：アタッチメントおよびアクセサリーの荷重配分模式図

重心までの距離	許容総重量
A : 300 mm	75 kg
B : 600 mm	35 kg

ボルシェ コンフォート アクセス装備車両

▲ 注意

リヤリッドの不用意の作動

後方のセンサーが人、動き、または物を検出し、有効なキーが車両後方にある場合、リヤリッドは自動的に開閉するため、負傷または車両への損傷を引き起こす恐れがあります。

リヤリッドの不用意な作動を防ぐには：

- ▶ PCM で機能を解除します。
 - または -
- ▶ ボルシェ コンフォート アクセスを解除します。

- ▶ 「セントラル ロッキング システムの使用」の章（124ページ）を参照してください。

電気ソケット

⚠ 危険

感電、ショート、または火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。

ソケットの不適切な使用は、回路をショートさせる場合があります。回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ 液体がソケットに入らないようにしてください。ソケットに液体が入った場合は、使用する前にソケット内が完全に乾燥し、液体が残っていないことを確認してください。
- ▶ アダプターまたは延長ケーブルを使用しないでください。アダプターまたは延長ケーブルを使用すると、100V ソケットのチャイルド プロテクション機能が無効になり、通電されます。

知識

接続した機器が損傷する恐れがあります。

- ▶ 100V ソケット用に設計された機器のみを接続してください。
- ▶ ソケットに接続した機器の消費電力が150Wを超えないようにしてください。
- ▶ 蛍光灯を含むライト類を接続しないでください。

i インフォメーション

接続した機器が加熱する恐れがあります。これにより過電流保護回路が起動することが妨害される場合があります。

- ▶ 機器の電源を外し、約10秒後に再度接続してください。

車両の装備仕様により、次のいずれかの位置にソケットが取り付けられています：

- リヤおよびフロント センター コンソール内の 12V ソケット
- リアセンター コンソール内の 100V ソケット

100V ソケットには、JIS規格プラグ付きの機器が接続可能です。プラグが挿入されているときは、ソケットのインジケーター ライトが緑色に点灯します。過電流または過熱が発生すると、ソケットへの電源供給が OFF になり、インジケーター ライトが赤色に点灯します。ソケットへの電源供給は、温度が下がるともう一度 ON になります。

充電アダプターの接続

知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプターのみを使用してください。不適切な充電アダプターにより、プラグソケットが損傷を受ける可能性があります。

i インフォメーション

- ソケットはイグニッションが OFF の状態でも使えます。アクセサリが ON になっていると、バッテリーは放電します。車両のバッテリーを保護するため、30 分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションは再度 ON にしてください。
- プラグソケットの最大電流値は、20 A です。複数の電装品を同時に使用する場合は、プラグソケット 1 つ当たりの電流値が 10 A を超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、電波干渉や車両電装品の誤動作の原因となることがあります。

A



B



図 122：12 ボルト プラグ ソケット用充電アダプター

A: 使用可能な充電アダプターは、グラウンド端子部から充電アダプター上端までの距離 X が約 16 mm 未満です。

B: 使用不可能な充電アダプターは、グラウンド端子部から充電アダプター上端までの距離 X が約 16 mm 以上です。

電話

概要説明 - 電話

この概要説明は包括的な記述に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (231 ページ) を参照してください。



図 123 : 電話番号を入力する (キーボード)

希望する操作	操作方法	参照先
携帯電話を Bluetooth® 経由で接続する (携帯電話の準備)	▶ 電話 ▶ 新しい電話を 検索、または既知の電話を選択します。	▶ p. 178
接続された 2 つの携帯電話を切り替える	▶ ヘッドラインの左上で現在接続されている携帯電話を選択してください。すでに接続している 2 つのデバイスが表示されます ▶ 希望する携帯電話を選択します。	▶ p. 179
PCM と外付け SIM カードを使用してデータ接続を確立する	▶ グローブ ボックスまたはアームレストを開きます ▶ SIM カードを SIM カード スロットに挿入します (切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にする) ▶ 必要に応じて PIN を入力する ▶ データ接続を確認します。	▶ p. 179
ポルシェ コンシェルジュを開始する	▶ 電話 ▶ キーボード (A を参照) ▶ ポルシェ コンシェルジュ を選択します。	▶ p. 187
番号をダイヤル	▶ 電話 ▶ キーボード (A を参照) ▶ を選択する (G を参照)。	-

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

希望する操作	操作方法	参照先
連絡先をお気に入りに登録する	▶ 電話  ▶ お気に入り  (B を参照) ▶ お気に入りを追加 ▶ 希望する連絡先をリストから選択します ▶  を選択します。	▶ p. 180
通話履歴を表示する	▶ 電話  ▶ 通話  (C を参照)。	-
連絡先を表示する	▶ 電話  ▶ 連絡先  (D を参照)。	-
メッセージを表示する	▶ 電話  ▶ メッセージ  (E を参照) ▶ 任意のフォルダー (例: テキストメッセージ) を選択します。	▶ p. 180
ボイスメールを聞く	▶ 電話  ▶ キーパッド  (F 参照) ▶ しばらくの間、ボタン 1 を押し続ける。	-
着信に応答する / 拒否する	▶ OK  または拒否  を選択してください。	-
通話を終了する	▶ フッターまたは電話メニューで  を選択します。	-

モデル、国別仕様、および装備仕様に依りて、いろいろなオプションが利用できます。ここに説明されている機能は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。



警告

携帯電話を使用することによる事故の危険

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。



警告

怪我をする危険

ガソリンスタンド、燃料貯蔵所、化学工場、または爆破作業を行っている近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は機器設備と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

Bluetooth® 経由で携帯電話を接続する

新しい携帯電話を接続する

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が有効で、他の機器から探索可能な状態になっている
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能が有効になっている
- ▶ 「デバイス マネージャー」の章 (163 ページ) を参照してください。

1. 電話  ▶ 新しい電話を検索

2. デバイス リストから携帯電話を選択します。

6桁のBluetooth®コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。

3. PCMと携帯電話に表示されたBluetooth®コードを比較してください。

4. 携帯電話のBluetooth®コードが一致していれば確定してください。
電話の接続に成功すると、数字入力(キヤパッド  メニュー)がPCMに表示されます。

1 インフォメーション

- 携帯電話のBluetooth®の性能によっては、電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができません。携帯電話がサポートしている場合には、車両を停車した後に通話を携帯電話に転送し、車両の外で通話を継続することもできます。
- 対応している携帯電話の概要は、ご利用の国のポルシェウェブサイトからご覧いただけます：モデル ▶ お客様の所有モデル(例：911 Carrera) ▶ 取扱説明書のダウンロード ▶ Bluetooth® 経由。

携帯電話の接続(Windows®およびiOS®オペレーティングシステム)

Windows®およびiOS®オペレーティングシステムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

1. 携帯電話のBluetooth®メニューから利用可能な機器を検索してください。PCMを探索可能な状態にするには、ヘッダーの  または  を押します(接続状況により異なります)。
2. 利用可能な機器リストからPCMを選択してください。PCMのBluetooth®デバイス名は、オプション  ▶ Bluetooth ▶ 名前: を選択することによってデバイスマネージャーに表示できます。

登録済みの携帯電話に接続する

- ✓ 携帯電話のBluetooth®機能が有効になっている。
- ✓ PCMのBluetooth®機能が有効になっている
- ▶ 「デバイスマネージャー」の章(163ページ)を参照してください。

1. ヘッダーの  または  を選択してください(接続状態により異なります)。登録されている携帯電話のリストが最大20件表示されます。
2. リストから携帯電話を選択してください。携帯電話がBluetooth®経由で接続されます。

別の携帯電話の接続と使用

- ✓ 携帯電話がPCMに既に接続されている。

1. ヘッダーの  または  を選択してください(接続ステータスによって異なります)。
2. リストから携帯電話を選択するか、新しい携帯電話を接続してください。
 - ▶ 「新しい携帯電話を接続する」の章(178ページ)を参照してください。
 接続された携帯電話は両方とも受信可能ですが、有効な携帯電話のみ発信を行うことができます。
3. 接続された2つの携帯電話を切り替えるために、現在接続しているデバイスをヘッドラインの右上で選択します。既に接続している2つのデバイスが表示されます。
 - または -
 - 電話  ▶  電話を選択 ▶ ご希望のデバイスを選択してください。

PCMでのSIMカードの使用

SIMカードはデータ接続を確立する目的でのみ使用されます。データ接続に関する情報

- ▶ 「ポルシェコネクト」の章(227ページ)を参照してください。

外付けSIMカードの挿入および取り出し

知識

SIMカードアダプターを使用すると、振動によりSIMカードがアダプターから外れ、カードの構成部品がドライブに詰まる恐れがあります。

- ▶ SIMカードアダプターは使用しないでください。



図 124：外付けSIMカードの挿入および取り出し

- ✓ PCM電話がONになっている。(設定  ▶ 電話設定 ▶ 電話 ▶ 内蔵電話モジュールの音声およびデータ接続の有効にする)

1. 外付けSIMカードA(ミニSIM、寸法：0.98 x 0.59インチ[25 x 15mm])を挿入します。切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください。
2. PIN付きSIMカード：
 - a. 外付けSIMカードのPINを入力し、OKで確定します。
 - b. PINを保存を選択します。
3. データ接続を確立するかどうかのプロンプトを確定します。

データ接続が確立されます。

4. 外付け SIM カードを取り出すには、挿入されたカードを押して抜き出します。

接続ステータスの表示

モデル、国および装備によっては、以下のようにヘッダーに表示されることがあります：

-  電話が接続されていません。
-  データ接続が利用できません (考えられる原因: 接続なし、ネットワーク品質不良、音声接続中のデータ接続の中断)。
-  LTE 携帯電話ネットワークを介したデータ接続。
-  UMTS/HSPA 携帯電話ネットワーク (3G) を介したデータ接続。
-  EDGE 携帯電話ネットワーク (GSM) を介したデータ接続。
-  電話機能用の携帯電話ネットワークの受信電界強度。
-  外部 WiFi ホットスポットによるデータ接続。

お気に入りの保存および編集

お気に入りの保存

1. 電話  ▶ お気に入り 
2. 最近の連絡先エリアから希望する連絡先を選択して、その連絡先をドラッグ & ドロップでお気に入りエリアに移動します。

お気に入りを整理する

1. 電話  ▶ お気に入り 
2. 希望する連絡先を選択して、ドラッグ & ドロップで希望する場所に移動します。

お気に入りの削除

1. 電話  ▶ お気に入り 
2. 希望する連絡先を選択して、お気に入りディスプレイからドラッグ & ドロップで上に移動します。
– または –
利用可能な場合には、 アイコンを選択します。

通話中の各種機能

- ✓ 電話  ▶ キーパッド  が選択されています。

マイクのミュート

- ✓ 通話中である
- ▶  を選択して、マイクをミュートします。

通話の保留

- ✓ 通話中である
- ▶  を選択してください。
- ▶ 通話を再開するには、 を選択します。

電話会議を開始する

- ✓ 通話中である
- 1.  ▶ 新しい通話の追加 (電話番号の入力または連絡先の選択) ▶ 
- 2. 電話会議を開始するには、 を選択します。
- 3. 電話会議を停止するには、 を選択します。

2つの通話間の切り替え (スワッピング)

- ✓ 1つ目の通話で通話している。
- ✓ 2つ目の通話が保留になっている。

- ▶  を選択すると、保留中の通話が有効になり、それまで有効だった通話が保留にされます。

インストール クラスタでの電話情報の表示

- ▶ インストール クラスタの「車両 & 情報」ディスプレイで使用したい機能を選択します。
 - ▶ 「D - 車両 & 情報ディスプレイ」の章 (39 ページ) を参照してください。
- 着信: ステアリングホイールの電話ボタンを使用して、着信を応答または拒否します。
- 前回の通話: ステアリングホイールの電話ボタンとロータリー ノブを使用して、最近かけた番号のリストを表示します。
- 会議: ステアリングホイールのロータリー ノブや電話ボタンを使用して、通話中に別の電話をかけたリ電話会議の参加者を追加したりできます。

インストール クラスタの操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「インストール パネルの操作」の章 (44 ページ) を参照してください。

メッセージの表示および編集

携帯電話でこの機能がサポートされていれば、SMS や E メールを読んだり、音声で読み上げさせたり、メッセージに書かれている電話番号に電話をかけたりすることができます。携帯電話はテキストメッセージ機能に対応していても、E メール機能には対応していないことがあります。この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。

i インフォメーション

- 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されている SMS しか表示できない場合、車両で受信した SMS は携帯電話メッセージ リストには表示されません。受信した SMS は SIM カードに保存されません。
- PCM はマルチメディア メッセージング サービス (MMS) に対応していません。

テキスト メッセージや Eメールの作成

1. 電話  ▶ メッセージ  ▶ テキストメッセージ / Eメール
2.  を選択してください。
3. (電話番号を入力または連絡先を選択することにより) 受信者を追加します。
4. 入力フィールドにメッセージを入力し、OKで確定してください。
5. 送信 を選択してください。

テキスト メッセージ / Eメールの返信または転送

1. 電話  ▶ メッセージ  ▶ テキストメッセージ / Eメール
2. 返信 / 転送したいテキストメッセージ / Eメールを選択します。
3.  ▶ 返信 / 転送を選択します。

1. 国によって異なります
2. 一部の国で利用可能

携帯電話の収納¹

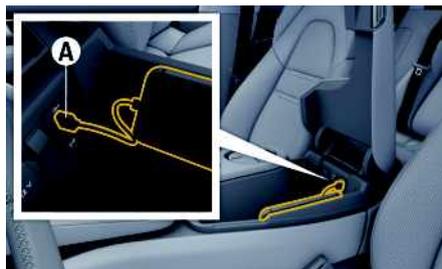


図 125: アームレストの小物入れのスマートフォントレイ

アームレストまたはリヤセンター アームレスト (- Executive 車両) の小物入れには、携帯電話の充電および PCM への接続用 USB コネクターが装備されています。

- ✓ 携帯電話のキーパッド / コード ロックが有効になっている。
- ▶ **アームレストの小物入れ**: ディスプレイを助手席の方向に向けて携帯電話をサイド ブラケットに置きます。ブラケットと携帯電話の間に何も物を置かないでください。
- ▶ **リヤセンター アームレストの小物入れ (- Executive 車両)**: ディスプレイを上方向中央に向けて携帯電話をスマートフォントレイの電話マーク上に置き、滑らないように固定します。トレイと携帯電話の間に何も物を置かないでください。

電話設定の変更

一般設定

- ▶ 電話  ▶ オプション  ▶ 電話設定 ▶ 希望の設定を選択します。

連絡先の管理

- ▶ 電話  ▶ 連絡先  ▶ オプション  ▶ 任意の設定を選択します:
- **連絡先メモリー**: 使用している連絡先メモリーを表示します。
- **連絡先表示**: 連絡先を姓または名で並び替えます。
- **連絡先を転送する**: Bluetooth® 経由で接続されている携帯電話の連絡先、または SIM カードの連絡先を PCM に手動で移動することができます。
- **お気に入りリストに追加**: 選択された連絡先をお気に入りに保存します

テキスト メッセージ / Eメールの編集

- ▶ 電話  ▶ メッセージ  ▶ SMS / Eメールフォルダ ▶ オプション  ▶ 任意の設定を選択します:
- **メッセージを読み上げ**
- **詳細**: メッセージの内容を使用します (メッセージに含まれる数字など)
- **消去**: 選択したメッセージを削除します。
- **新しいメッセージ**
- **フォルダ概要**: フォルダ概要 (受信トレイなど) を選択します。
- **削除モードを有効にする**: 削除するメッセージを選択します。

携帯電話のワイヤレス充電²

ワイヤレス充電機能はセントラル ディスプレイで有効または無効に切り替えることができます。

▲ 注意

スマートフォントレイの金属の障害物

携帯電話のワイヤレス充電中は、電話と充電パッドの間に金属体があると非常に高温になり、身体損傷や所有物の損傷を引き起こす場合があります。

- ▶ 携帯電話と充電パッドの間に、障害物を置かないでください。

▲ 注意

ワイヤレス充電中の熱の発生

ワイヤレス充電中、携帯電話が非常に熱くなる場合があります。

- ▶ 携帯電話を取り外すときは、温度に注意してください。

- ✓ 機能が作動している (電話  ▶ オプション  ▶ 電話設定 ▶ ワイヤレス充電)。

- ✓ 携帯電話でサポートされる Qi 規格に準拠したワイヤレス充電。

- ▶ 携帯電話の背面がサイドウォール側になるように、携帯電話をスマートフォンホルダーに入れてください。

 シンボルが、セントラルディスプレイのステータスエリアに表示されます。

充電パフォーマンスは、携帯電話によって異なります。

**インフォメーション**

ワイヤレス充電には、交番磁界が使用されます。感覚器官の炎症や有効なインプラント (ペースメーカー、注入ポンプ、神経刺激装置など) または停止インプラント (人工ジョイントなど) との干渉などの反応が生じる可能性があります。

- ▶ 充電パッドから常に 10 cm 以上離してください。ICNIRP1998 に基づく継続的な露出制限は、この距離で満たされます。
- ▶ インプラントを使用されている方は、質問がある場合は専門医にお問い合わせください。

i インフォメーション

携帯電話または車両が高温になると、携帯電話の充電機能が制限されたり、機能が実行されなくなったりする場合があります。使用されている携帯電話のケースと作動中のアプリが充電機能に影響を与える可能性があります。

ナイト ビュー アシスト



図 126：ナイト ビューアシスト サーマルイメージ

ポルシェ ナイト ビュー アシストには、次の機能が搭載されています。

- サーマルイメージの表示
- 歩行者および動物警告

車両フロントのナイト ビュー アシストのサーマルイメージング カメラは周囲のサーマルイメージを提供し、インストルメント パネルの車両 & 情報ディスプレイに表示することができます。システムはヘッドライトにより照らされたエリアを超えて人および動物を検知し、カメラ画像内で対象物をハイライトします。サーマルイメージング カメラは、熱放射の帯域のみを感知します。そのため、このカメラの画像は人間の目に知覚できる映像とはかなり異なる場合があります。ナイト ビュー アシストは、周囲がかなり暗く、温度が 28 °C 未満の場合に人と動物を検出します。

衝突が起こりそうになる場合、または通行人に近づく危険な運転をする場合、システムの限界内で警告が発せられます。この場合、システムはドライバーに、視

覚と音により警告します。カメラ画像は人を赤色で表示します。ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス装備車では、危険にさらされた人が危険を認識できるよう、点滅による警告が行われます。

市街地の外で野生動物と衝突が起こりそうになる前にも、システムの限界内で警告が発せられます。この場合、システムはドライバーに、視覚と音により警告します。動物を赤色で示したカメラ画像も、危険位置を察知できるようドライバーをサポートするために表示されます。

警告

集中力の低下およびナイト ビュー アシストにより障害物が検出されない

ナイト ビュー アシストはサポート システムであり、あらゆる状況下で衝突が差し迫っている状況を警告するものではありません。事故を起こす恐れがあります。適時ブレーキをかけることおよび状況に適した車両のライトの点灯は、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

注意

ナイト ビュー アシストの制限または使用不可

例えば、駐車場の段差などでバンパーへの衝撃や損傷があると、カメラが作動することがあります。これは、システムの性能を損なう可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

歩行者警告



図 127：インストルメント パネルの歩行者警告。

歩行者と衝突する危険性をシステムが検出した場合、車両の速度が最大 250 km/h の範囲内であれば、警告音、インストルメント パネルでの表示によりドライバーに警告が行われます。歩行者が走行車線内で立ち止まっている、または走行車線に移動している場合、歩行者警告が発令されます。ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス装備車では、危険にさらされた人が危険を認識できるよう、点滅による警告が行われます。この警告が作動した段階でも、ドライバーが歩行者を回避するか、急ブレーキをかけることで衝突を防げる可能性があります。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが違ってきます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

動物警告



図 128：インストルメントパネルの動物警告

動物警告は、野生動物による危険を警告します。例えば、市街地から離れた場所でシカが走行レーンにいる場合、または接近して危険な場合、動物警告が行われます。市街地では、つながれた犬などによる警告の誤報を防ぐため、動物警告が自動的に停止します。

ナイトアシストのON/OFFの切り替え

▶ アシスト  ▶ ナイトビューアシスト

衝突警告および画像調整の設定

衝突警告のタイミングおよびナイトビューアシストのイメージパラメーターはPCMで設定できます。

▶ アシスト  ▶  ▶ アシストシステム設定 ▶ ナイトビューアシスト

ナイトアシスト状態の表示

シンボル	インストールメントクラスター	意味
	速度とアシストの表示	ナイトアシストは、バックグラウンドで起動されます。
	車両および情報ディスプレイ	カメラ画像が表示される場合、周囲の全体的な条件(外気温度と明るさ)のために、システムが人や動物を確実に検出できないことを示します。この警告機能は、現在使用できません。

ナイトビューアシストカメラの清掃

- ✓ ロー/ハイビームが作動している。
- イグニッションをONにした後、フロントウィンドウウォッシャーシステムが初めて作動するとき、および10回作動するごとに、ナイトビューアシストカメラが自動的に清掃されます。
- ▶ 「フロントウィンドウワイパーの操作」の章(213ページ)を参照してください。

ナビゲーション

概要説明 - ナビゲーション

この概要説明は包括的な記述に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (231ページ) を参照してください。

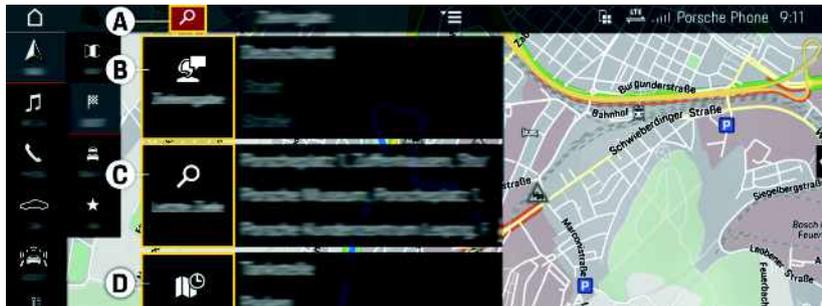


図 129 : 目的地の入力 / 検索

希望する操作	操作方法	参照先
目的地の検索	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ヘッダーでナビ ▶ を選択してください (A を参照)。 – または – ナビ ▶ 目的地 ▶ 目的地入力 (A を参照) – 統合検索 : PCM メモリーおよびオンライン コンテンツの検索 – オンライン検索 (一部の国で利用可能)¹: インターネット検索 	–
コンシェルジュ サービスを選択する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ナビ ▶ ポルシェ コンシェルジュ (B を参照) ▶ ポルシェコンシェルジュに連絡? 	▶ p. 187
目的地住所を入力する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ナビ ▶ 目的地 ▶ 目的地入力 (C を参照) 	–

1. 必要条件: データ接続が確立されている。オンライン ナビゲーションおよびポルシェ コネクト サービスが有効になっている。
2. 必要条件: データ接続が確立されていること。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

希望する操作	操作方法	参照先
目的地履歴を選択してください	▶ ナビ ▶ 目的地 / お気に入り ▶ 目的地履歴 (Dを参照) / 登録目的地	-
施設情報を入力する	▶ ナビ ▶ 目的地 ▶ 施設情報	-
保存した目的地を選択してください	▶ ナビ ▶ お気に入り ▶ 保存した目的地	-
連絡先から目的地を選択してください	▶ ナビ ▶ お気に入り ▶ 連絡先	-
ルート案内の開始 / 停止	▶ ナビ ▶ 目的地の入力 ▶ ルート案内を開始 または停止 を選択します。	-
マップビューを開く	▶ ナビ ▶ マップ	-
ルート オプションを表示する (代替ルート)	▶ ナビ ▶ マップ ▶ オプション ▶ ルートオプション	-
GPS 座標を入力	▶ ナビ ▶ 目的地 ▶ オプション ▶ GPS座標を入力	-
交通情報を表示する	▶ ナビ ▶ 交通事故 ▶ VICS / ITS スポット	▷ p. 188
オンライン ナビゲーションを有効化する	▶ ナビ ▶ オプション ▶ ナビゲーション設定 ▶ オンラインナビゲーションサービス ▶ オンラインナビゲーション ¹	-
ポルシェ コネクト サービスを使用する (オンラインマップ アップデートなど)	✓ データ接続が確立されている。Porsche Connect サービスが有効になっている。詳細については、ポルシェ コネクトをご覧ください。 ▷ www.porsche.com/connect	▷ p. 227
ETC を表示	▶ 車両 ▶ ETC 2.0	▷ p. 189

1. データ接続が確立されている。ポルシェ コネクト サービスおよびオンラインナビゲーション サービスが有効になっている。

▲ 警告

道路交通法を無視することによる事故の危険性。

案内されたルートが有効な道路交通法と反する場合は、いつでも国固有の交通規則が適用されます。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルと速度で走行してください。

▲ 警告

システム関連の不正確さおよび不具合による事故の危険性

人工衛星に基づくナビゲーション中は、不適切な指示や不具合の可能性を排除することができません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常にオフロードの状態に注意してください。

コンシェルジュ サービスの開始

コンシェルジュ サービスは、ナビゲーション データを使ってドライバーにサポートを提供するパーソナルアシスタントです。

- ✓ SIM カード経由でデータ接続が正常に確立されている。
- ✓ 携帯電話が Bluetooth® 経由で PCM に接続されている。

1. ナビ ▶ ポルシェ コンシェルジュ ▶ ポルシェ コンシェルジュに連絡を選択してください。コンシェルジュ エージェントが呼び出されます。
2. 目的地を要求します。
3. コンシェルジュ エージェントが通話を終了させた後に、ナビゲーション データが PCM に送信され

ます。そのため、先に通話を切らないでください。

4. POI または個々の目的地を選択し、開始 を選択します。

i インフォメーション

- 現在位置やナビゲーション目的地の地理的位置などのポルシェ コンシェルジュ データを使用している場合は、車両識別データおよび言語設定がコンシェルジュ コンタクト センターに転送されます。
- ポルシェ コンシェルジュへの通話ごとに最大5つの目的地のナビゲーション データを PCM に送信できます。

地図からの目的地入力

1. ナビ ▶ マップ を選択してください。
2. 地図上で目的地をタッチして長押ししてください。
3. 開始 を選択して、ルート案内を開始します。

後部座席から運転席に目的地を送信する

ナビゲーション目的地を、後部座席のタッチディスプレイからセンター コンソールのタッチディスプレイに送信することができます。

1. 後部座席のタッチディスプレイで **NAV** ▶ お気に入り ボタンを選択してください。
2. 前回の目的地または保存した目的地からナビゲーション目的地を選択します。
3. 目的地を送信を選択し、選択した目的地をセンター コンソールのタッチ ディスプレイに送信します。

ツアーの計画 (経由地の入力)

ツアーは1つの目的地、および1つ以上最大8までの経由地で構成されます。

ツアーの入力および開始

1. ナビ ▶ 目的地を入力する ▶ ルート案内を開始 .
2. オプション ▶ ルートを編集 ▶ 新しい経由地 .
3. 経由地を入力または選択します。
4. 経由地として追加 ▶ ツアー開始。

ツアーの保存

- ✓ ツアーが開始されている。

- ▶ オプション ▶ ルートを編集 ▶ オプション ▶ ツアーを保存

ツアーの呼び出し

- ✓ ツアーが保存されている。

1. ナビ ▶ お気に入り ▶ 登録目的地 ▶ 保存した目的地を選択します。

ツアーの編集

経由地は後で変更することができます。

- ✓ ツアーが開始されている。

- ▶ ナビ ▶ 目的地 ▶ オプション ▶ ルートを編集を選択し、該当する経由地を押したまま希望の位置に移動させてください (ドラッグ & ドロップ)。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

地図コンテンツの設定

1. ナビ ▶ マップ ▶ (ヘッダー部)

2. 地図コンテンツの起動 / 停止 (国別仕様による) :

- **3Dマップ:** 3D マップ ビュー (と 2D ビュー) の表示または非表示を切り替えます。
- **オートズーム:** 地図のオートズーム機能の有効または無効を切り替えます。
- **天気¹:** 地図上の天気情報を表示または非表示に切り替えます。
- **施設情報を表示:** 地図上の施設情報の表示または非表示を切り替えます。
- **コンパス:** 地図上のコンパスの表示または非表示を切り替えます。
- **E可走距離:** 地図上の電動走行可能距離を表示または非表示に切り替えます。

交通情報の表示

地図上での交通情報の表示¹

地図上に、現在地または選択したルートに関する以下の交通情報を表示することができます。

- **斜線区間:** 交通渋滞の長さを示します。
- **色付き警告シンボル:** 選択したルート上に差し迫った交通渋滞。ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がすべてカラー表示されません。
- **グレー表示の警告シンボル:** 選択したルート上にはない交通渋滞。

VICS/ITS スポット交通情報のリストの表示

1. ナビ ▶ 交通事故 ▶ VICS

VICS アイコンに表示されている数字は、選択したルート上の道路交通案内の数を示します。

2. 交通事故を選択します。

交通渋滞の回避

ルート案内で交通渋滞を自動的に回避または表示することができます。

▶ ナビ ▶ オプション ▶ ルートオプション ▶ 交通案内を表示/ダイナミックリルートを有効にします。

道路交通案内は、ラジオ放送局またはオンラインコンテンツ プロバイダーから発信されます。そのため、この情報の完全性および正確性に関してポルシェでは責任を負いかねます。

インストルメント パネルでのマップビューおよびナビゲーション情報の表示

インストルメント クラスターの操作に関するインフォメーション:

▶ 「インストルメント パネルの操作」の章 (44 ページ) を参照してください。

地図画面の表示および設定

1. インストルメント クラスターの「車両 & 情報」ディスプレイでマップ ビューを選択します。
2. マルチファンクション ステアリング ホイールで希望のビュー オプションを選択してください。
 - **ズーム手動:** 地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
 - **自動ズーム:** 地図の縮尺が自動的に調節されます。
 - **3Dマップ:** 3次元地図を表示します。
 - **ノースアップ:** 常に地図の上方が北になります。

- **マップ情報:** インストルメント クラスターの「車両および情報」ディスプレイでマップ ビューを選択していない場合、ナビゲーションのタイミングで自動的にマップが表示されます。
- **矢印情報:** インストルメント クラスターの「速度およびアシスト」ディスプレイで「ナビゲーション」メニューを選択していない場合、ナビゲーションのタイミングで自動的にマップが表示されます。

インストルメント パネルでのナビゲーション情報の表示

- ▶ インストルメント パネルの速度およびアシストディスプレイでナビゲーションナビゲーションメニューを選択します。
 - ▶ 「A - 速度 & アシスト機能ディスプレイ」の章 (39ページ) を参照してください。

ナビゲーション設定の変更

▶ ナビ ▶ オプション ▶ ナビ設定 ▶ 任意の設定を選択します。

1. 必要条件: データ接続が確立されている。ポルシェ コネクト サービスが有効になっている。

道路通行料自動収受システム (ETC) の使用

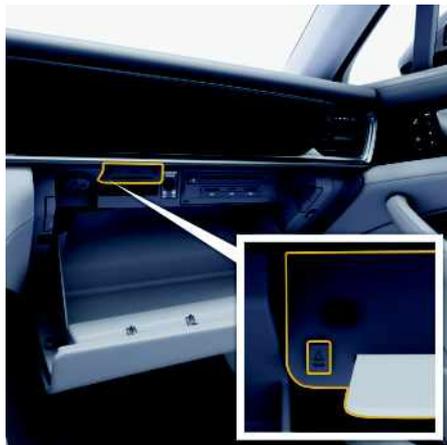


図 130 : グローブボックス内の ETC カードリーダー

ETC カードの挿入および取り出し

1. 有効な ETC カードをカードリーダーにロックされるまで差し込んでください。
2. ETC カードを取り出すには、 を押します。カードの紛失またはカードエラーを示す  がヘッドラインに表示されます。

ETC 設定

✓ ETC カードが挿入されている

▶ 車両  ▶ ETC 2.0 ▶ 支払い方法

- 通行料通知
- 料金案内音声
- カード抜き取りリマインダー

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ハイブリッド車両

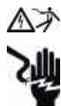
警告ラベル

ハイブリッドシステムの構成部品には、構成部品や高電圧部に触れないよう警告する警告ラベルが貼付されています。



- ▶ いかなる場合も、警告ステッカーまたは警告標識を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。
- ▶ いかなる場合も、警告ステッカーが貼付されているハイブリッドシステム構成部品のカバーを除去しないでください。

図のキー



誤った操作により感電する恐れがあります。



危険な電気的電圧の警告。



危険!



ハイブリッドシステム構成部品および取扱説明書の指示に従います。

ハイブリッド作動モード

車両はパラレル プラグイン ハイブリッド ドライブにより、以下のハイブリッド作動モードで走行することが可能になります：

- モーター ジェネレーターによる走行。
- 内燃エンジンの駆動により走行します (内燃エンジンはモーター ジェネレーターを介して並行して高電圧バッテリーを充電します)。
- モーター ジェネレーターおよび内燃エンジンによる走行。モーター ジェネレーターは車両を駆動させるために内燃エンジンも支援します (ブースト)。
- 再生による走行 (エネルギー回生)：モーター ジェネレーターは、たとえばブレーキ作動中、内燃エンジン作動時に車両がオーバーランしているとき、あるいは下り坂走行中に自動的に、高電圧バッテリーを充電します。

電力による走行の作動条件

i インフォメーション

エンジン オイル内に燃料が溜まるのを防ぐため、時には、内燃エンジンを作動させた状態でより長い距離を走行してください。

- ✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている。
 - ✓ エンジン湯音が約 0 °C 以上。
 - ✓ 高電圧バッテリーが適温 (低すぎること高すぎることもない)。
 - ✓ モーター ジェネレーターの温度が高すぎない。
 - ✓ ボンネットが閉じている。
- これらの条件が満たされていない場合、インストルメント クラスタにメッセージが表示されます。

車両の始動

- ✓ 車両プラグが車両充電ポートに挿入されていません。

1. フットブレーキを踏んでください。
2. セクター レバーの P ボタンを押すか、作動モードの **N** を選択してください。
3. アクセルペダルは踏まないでください。
4. コントロールユニットをイグニッション ロック位置 **2** に一時的に回してください。インストルメント クラスタに **レディ** が表示されます。エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

車両プラグが車両充電ポートに挿入されている状態で車両を始動すると、メッセージがインストルメント クラスタに表示されます。

- ▶ 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。

降車時の作動

エンジンの自動停止時に降車する (運転席シートベルトを着用しておらず、運転席のドアが開いており、ブレーキペダルを踏んでいない場合) と、エンジンは自動的に始動しません。さらに、作動モード **D**、**R**、または **M** になっている場合：

- エレクトリック パーキング ブレーキがかかりません。
- トランスミッション パーキング ロック **P** に入れません。
- ▶ 「ブレーキ」の章 (209 ページ) を参照してください。
- ▶ 「P ボタン」の章 (167 ページ) を参照してください。

運転席ドアが開き、運転席シートベルトが外れた状態でも、エレクトリック パーキング ブレーキを手動で解除すると車両を移動させることができます。この場合、パーキング ブレーキは解除され、トランスミッション レンジは選択された位置のままになります。

降車後 30 秒以内に以下の条件のうちの 1 つが検出された場合、自動エンジン始動が再び有効になります:

- ブレーキペダルを踏み、さらに運転席ドアを閉じるか、運転席シートベルトを着用した場合。
 - または -
- 運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用した場合。
 - または -
- パーキングブレーキが手動解除され、車両の作動モードが **D**、**R** または **M** である。
 - または -
- ブレーキペダルが踏まれており、走行プログラムが変更されている。
 - または -
- 車両が 2 km/h 以上で走行しており、ペダルが踏まれている。

上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを手動で始動する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントクラスターに表示されません。

- ▶ 「エンジンの始動および停止」の章 (70 ページ) を参照してください。

降車後の車両の反応は、運転席シートベルトが適切に使用されているかどうかに応じて異なります。

- ▶ 「シートベルト」の章 (114 ページ) を参照してください。

i インフォメーション

状況により、内燃エンジンを自動始動することができるよう、ブレーキペダルを踏み込むことを促すメッセージがインストルメントクラスターに表示される場合があります。

エネルギーフローを表示する

ハイブリッドエネルギーフローディスプレイは、内燃エンジン、高電圧バッテリー、ホイール間のエネルギーの流れを示します。

ダッシュボードのタッチディスプレイ:

▶ HYBRID  ▶ E-フロー 

インストルメントクラスター:

- ▶ 「インストルメントクラスター」の章 (39 ページ) を参照してください。

インストルメントクラスターのパワーメーター

現在の電気駆動力はパワーメーターの 6 時方向の左側に表示され、現在の再生容量は 6 時方向の右側に表示されます。

- ▶ 「インストルメントクラスター」の章 (39 ページ) を参照してください。

PCM でゼロエミッションを表示

ハイブリッドゼロエミッションディスプレイは、内燃エンジンなしで車両が何時間走行したかをパーセントで示します。

▶ HYBRID  ▶ 統計 

E ドライブアシストをインストルメントクラスターに表示する

E ドライブアシストは電気駆動力を計測する補助として使用されます。

緑色部分はアクセルペダルの可動域を表します。アクセルペダルを強く踏み込むほど、より多くの電力が利用可能になります。内燃エンジンはパワー限界値 **E max** で ON になります。利用可能なパワー限界値は選択された走行プログラムによって異なります。

スケール中央の情報は、おおその電動走行可能距離を表します。上下の矢印は、現在の走行スタイルおよび現在選択された負荷で表示された走行可能距離に達することができるかどうかを表します。

E 燃費をインストルメントクラスターに表示する

E 燃費は、車両始動以降における瞬間消費量または累計消費量として平均電気消費量を表示します。さらに、リングは車両走行およびコンフォート機能の配分率 (エアコンなど) の面で燃費値がどのように構成されているかを表示します。

ブーストアシストをインストルメントクラスターに表示する

ブーストアシストは、加速に使用された電気車両走行の割合 (%) を示します。

不十分なブーストが利用可能な場合、スケールは灰色です。最大に達するまでブーストの充電中、スケール全体が白色になります。

モードスイッチでの走行プログラムの選択



図 131 : ステアリングホイールのモードスイッチ

- ▶ モードスイッチを左または右に回して、希望する走行プログラムを選択します。選択した走行プログラムがデジタルスピードメーターに表示されます。

i インフォメーション

関連走行プログラムは、PCM 内でも下記の手順で選択できます。

▶ HYBRID  ▶ モード 

i インフォメーション

ハイブリッド車両では、通常、各走行プログラムはセンター コンソール内の **INDIVIDUAL** ボタンを使って選択します。

▷ 「コントロールパネル」の章（21ページ）を参照してください。

E-POWER 走行プログラム

E-POWER 走行プログラムは、初期設定で有効になっている機能で、電力だけでの走行を可能にします。この走行プログラムの作動に必要な条件が満たされている場合、イグニッションを OFF にすると、選択された走行プログラムが自動的に E-POWER 走行プログラムに戻ります。

電気だけで走行可能な距離は、運転の仕方、天候および大量のエネルギーを消費する負荷の使用により変化します。

電力消費量に配慮した運転を心掛け、大量のエネルギーを消費する負荷の使用を控えると、電気だけで走行可能な距離が伸びます。

i インフォメーション

E-POWER 走行プログラムでは、電動走行可能距離向上のため外気温度の低い状態 (< 約 0 °C) でのヒーター出力が減少します。そのため、車内がなかなか温まらないなど、快適性に限界が生じる可能性があります。

i インフォメーション

E-POWER 走行プログラムでは、アクセルペダルにハイブリッド特有のエンドポイントがあります。このエンドポイントを超えると、内燃エンジンが始動します。

特定の状況下においては、エンドポイントを超えていなくても内燃エンジンが ON になることがあります。そうすると、E-POWER ステータスのインジケーターが表示されていても電動モーターだけの走行が利用できません。通常通りの E-POWER 作動中は、内燃エンジンが自動的に OFF になります。

E パワー走行プログラムの前提条件が満たされない場合（高電圧バッテリーの充電不足など）、E-POWER 走行プログラムの作動後、メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

E-POWER 走行プログラムのステータス表示

電力のみの走行が可能か、インストルメントクラスター上の出力 & 駆動ゲージ内に表示されます。



E-POWER 走行プログラムを使用できません。

ハイブリッド走行プログラム

ハイブリッド走行プログラムでは、HYBRID AUTO、E-HOLD、および E-CHARGE の 3 つの作動モードを選択できます。

HYBRID AUTO モード

HYBRID 走行プログラムでは、HYBRID AUTO モードが標準で作動します。ナビゲーションシステムおよび現在の速度から得たルート固有データを考慮に入れて、最も効率的な車両の走行を予測します。HYBRID AUTO モードは、高電圧バッテリーの充電が E-POWER モードで走行するには低すぎる場合、自動的に作動します。

E-HOLD モード

E-HOLD モードは、例えば、現在使用可能な高電圧バッテリーの充電が意図的に維持されるようにして、後で車両が電動モーターのみで走行できるようにします。ブースティングおよび制限された電動モーター走行は、このモードでも可能ですが、充電状態が変動することがあります。

E-HOLD モードの作動

▶ HYBRID  ▶ モード  ▶ E-HOLD

E 充電モード

E 充電モードでは、走行しながら高電圧バッテリーを充電できます。このモードは内燃エンジンの駆動走行時に電動モーターによる走行可能距離を延ばす目的に特に役に立ちます。高電圧バッテリーは、例えば高速道路を走行しているときに充電でき、そうすることにより、市街地ではバッテリーの電力だけを使用して走行できます。

E 充電モードの作動

✓ 高電圧バッテリーが完全に充電されていない場合

▶ HYBRID  ▶ モード  ▶ E-CHARGE

▷ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

SPORT および SPORT PLUS 走行プログラム

SPORT、SPORT PLUS および INDIVIDUAL 走行プログラムの車両設定に関する追加情報

▷ 「走行プログラム」の章（285ページ）を参照してください。

SPORT 走行プログラム

SPORT 走行プログラムでは、内燃エンジンは常に作動しています。エンジンとトランスミッションがスポーティーな設定になります。高電圧バッテリーの充電

は、ブースト機能を使用するために最少レベルになります。

SPORT PLUS 走行プログラム

SPORT PLUS 走行プログラムでは、内燃エンジンは常に作動しています。エンジンとトランスミッションが最もスポーティーな設定になります。高電圧バッテリーは、より頻繁に長い時間ブーストできるように、なるべく早く完全に充電されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

バッテリー



警告

感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると感電する恐れがあります。車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ▶ ツールまたは導電性のアクセサリ（指輪、ネックレス、腕時計バンドなど）が車両の通電部品に決して触れないようにしてください。



警告

火災または爆発

燃料、エンジンオイル、トランスミッションオイルなど、自動車用油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは可燃性です。鉛酸バッテリー充電時には、爆発性の高い混合ガスが発生する可能性があります。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ▶ 静電気を避けるため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- ▶ バッテリーに触れる前に車両に触れて静電気を放電してください。
- ▶ バッテリーの近くでたばこを吸ったり、裸火を使用したりしないでください。ケーブルとの接触などによるスパークにもご注意ください。
- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。



注意

腐食性電解液

鉛蓄電池には、触れると皮膚や衣服を損傷させる原因となる腐食性の高いバッテリー液（電解液）が含まれて

います。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏れを防ぐため、バッテリーを傾けないでください。
- ▶ バッテリー液が目や皮膚に触れた場合：冷たい水で数分間洗い流してください。

知識

回路のショート、火災、またはオルタネーター、電気系統、および構成部品を損傷する危険があります。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー マイナス ケーブルの端子を外してください。

- 12V バッテリーは、ラゲッジ コンパートメント フロア下の個別のプラスチック カバー下にあります。E-ハイブリッド車両：12V バッテリーは、車両右側のラゲッジ コンパートメント トリム パネル裏にあるラゲッジ コンパートメント内にあります。
- ▶ ジャンパー ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。
 - ▶ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章（117ページ）を参照してください。
 - ▶ 「バッテリーを充電する」の章（195ページ）を参照してください。

バッテリー取り扱い上の注意



説明を読んでください



保護眼鏡を必ず着用してください。



お子様を絶対に近づけたりしないでください。



爆発の危険があります。

バッテリー充電中は爆発性の高い電解質のガスが発生します。そのため、

火気、火花、裸火を近づけたり、そばで喫煙したりすることは絶対に避けてください。

電気配線や電装品を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。ガス抜きホースが付いたバッテリーは、ホース出口から高濃度の電解質ガスが放出されます。ガス抜きホースがよじれや詰まりがないようにしてください。

酸による火傷の危険があります。

バッテリー液には極めて強い腐食性があります。保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。ガス抜き穴からバッテリー液が漏れる恐れがあるため、バッテリーを傾けないでください。

応急処置

バッテリー液が目にかかった場合、速やかに水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹼水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一バッテリー液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

廃棄

古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。



バッテリーのお手入れ

i インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足だと 0℃程度の温度でも凍結することがあります。完全に充電されている場合は -40℃まで凍結しません。

希望する操作	その操作方法
バッテリー上がりを防ぐには	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 短距離の運転時は、不要な電気装備類をOFFにしてください。 ▶ 車両から離れるときは、イグニッションをOFFにしてください。
バッテリーのお手入れ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。 ▶ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。
冬季の走行に備えて	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 冬になる前に、ポルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。

希望する操作	その操作方法
バッテリーの充電	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。 ▶ 「バッテリーを充電する」の章（195ページ）を参照してください。
車両を保管するとき	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、ドアやリッド類を確実に閉じてください。 ▶ イグニッションをOFFにしてください。
<p>▶ 「警報システム」の章（108ページ）を参照してください。</p>	
i インフォメーション	
車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約 6 週間ごとの充電または AGM (浸透ガラス マット) バッテリーに適したトリクル充電器の使用が必要です。ポルシェ社では、Porsche Tequipment の充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。 ▶ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意してください。 	

バッテリーを充電する

⚠ 警告 凍結または損傷したバッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、爆発および化学やけどの危険があります。

▶ 凍結または損傷したバッテリーを決して充電しないでください。



図 132 : バッテリーを充電する

▶ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
▶ バッテリーの充電時は、必ず十分に換気してください。

1. ボンネットを開きます。
 2. プラスチック カバーを取り外します。
 3. ジャンパー ケーブル接続用のプラス端子 + のキャップを開きます。
 4. 充電器の赤色のプラス ケーブルをジャンパー ケーブル接続用のプラス端子 + に接続します。
 5. 充電器の黒色のマイナス ケーブルをアース箇所 - に接続します。
 6. 充電器のスイッチを ON にします。
 7. バッテリーの充電後、充電器のスイッチを OFF にし、切り離します。
 8. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを閉じます。
 9. プラスチック カバーを元の位置に取り付けます。
- 適切な充電器に関する情報は、
- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

あ

バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格/仕様のみでは、そのバッテリーがボルシェ社の要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- ▶ バッテリーの交換は専門知識がある修理工場でのみ実施してください。
- ▶ バッテリーを交換するときは、車両の所定の要件を満たした AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリーのみを使用してください。ボルシェ純正バッテリーの使用を推奨いたします。
- ▶ 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロールユニットでの登録が必要です。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

か

さ

た

な

は

電源遮断

一時的に電源が遮断された後に、一部の装置を再初期化する必要があります。

1. パワー ウィンドウの停止位置を保存してください。
 - ▶ 「ウィンドウ」の章（50ページ）を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムにホイールとタイヤを登録してください。
 - ▶ 「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定。」の章（146ページ）を参照してください。

ま

や

ら

わ

A-Z

パンク

モデルと車両装備によっては、車両にパンク修理剤キット (Tire Mobility System - TMS) またはスベアホイールが付属しています。

パンク修理剤キットを装備した車両:

スベア ホイールを装備した車両:

タイヤ空気圧モニタリング システムの警告メッセージに対応する

タイヤ空気圧モニタリングが著しい空気圧低下を検出した場合、警告メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86ページ) を参照してください。

安全な駐車

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザード ライトを点滅させてください。
3. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
4. P ボタンを使用してトランスミッション駐車ロックを起動させてください。
5. フロント ホイールを直進位置にしてください。
6. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。周囲の交通状況に注意してください。
7. 停止表示板を適切な場所に設置してください。
8. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。

損傷したタイヤの補修



警告

密閉されたタイヤは事故の原因となります

タイヤ シーラントで密閉された損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかったりすると、圧力を失ったりバーストしたりする可能性があります。

- ▶ タイヤ シーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤ シーラントは 4 mm 以下の切り傷またはパンクにしか使用しません。
- ▶ リムが損傷している場合や、空気圧が低いタイヤや収縮したタイヤで走行した場合、絶対にタイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 外気温度が -20 °C 未満の場合は、タイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar (22 psi) 未満の場合は走行を中止してください。
- ▶ 密閉されたタイヤはできるだけ早く修理場で交換してください。タイヤシーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを修理しないでください。損傷したタイヤは交換してください。
- ▶ タイヤシーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全と操作の指示を読み、それに従ってください。

パンクしたとき、車両に備えられているパンク修理剤を使用してタイヤの傷を一時的にふさぐことができます。

パンク修理剤キット (Tire Mobility System - TMS) はラゲッジ コンパートメント内に収納されており、以下を含みます。

- 充填ホース
- バルブ回し
- スベアバルブ インサート
- 最高許容速度を示すステッカー
- 取扱説明書

コンプレッサーはラゲッジ コンパートメントにあります。

- ▶ 「ラゲッジ コンパートメント」の章 (252ページ) を参照してください。

パンク修理剤 (Tire Mobility System - TMS) の充填



警告

人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。長時間または繰り返し露出は、刺激、アレルギー反応、または臓器の損傷の原因となります。

- ▶ タイヤシーラントを取り扱う際、火災、裸火、喫煙は禁止されています。
- ▶ お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

タイヤの空気圧低下が検出されない

パンク修理剤が付着したタイヤ空気圧センサーは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

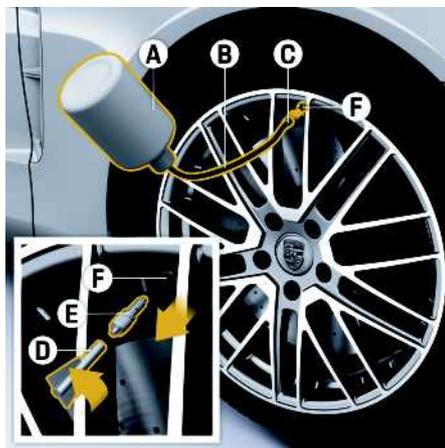


図 133：パンク修理剤の充填

- A 充填ボトル
- B 充填ホース
- C 充填ホース プラグ
- D バルブ回し
- E バルブインサート
- F タイヤバルブ

充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. ラゲッジコンパートメントからパンク修理剤および付属のステッカーを取り除いてください。

- ▶ 「ラゲッジコンパートメント」の章（252ページ）を参照してください。
- 3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

パンク修理剤 (Tire Mobility System - TMS) の充填

- ▶ パンク修理剤に添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ボトル A を振ってください。
2. 充填ホース B を充填ボトルに取り付けてください。充填ボトルが開きます。
3. タイヤバルブ F からバルブキャップを取り外してください。
4. バルブ回し D を使用して、バルブインサート E をタイヤバルブから取り外してください。交換用バルブインサートが入手できない場合は、バルブインサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。
5. 充填ホース B のプラグ C を取り外してください。
6. 充填ホースをタイヤバルブに押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤバルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. 充填ホースをタイヤバルブから引き抜いてください。
9. 入手可能な場合は、バルブ回し D を使用して、スペアバルブインサートまたはバルブインサート E をタイヤバルブに確実にねじ込みます。

タイヤ空気の充填

- ▶ コンプレッサーに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。
- ▶ 「タイヤおよびホイール」の章（145ページ）を参照してください。

1. コンプレッサーを車両のプラグソケットに接続し、圧力が 2.5 bar 以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤの損傷が大きすぎます。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
2. バルブキャップをタイヤバルブ F に取り付けてください。

空気圧の点検

- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar (22 psi) 以下の場合は、運転を中止してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar (22 psi) 以上の場合は、指定のタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ 「テクニカルデータ」の章（289ページ）を参照してください。

タイヤ交換

- ▶ 「タイヤおよびホイール」の章（145ページ）を参照してください。

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングのタイヤ設定を更新する

- ▶ 「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定。」の章（146ページ）を参照してください。

スペアホイールの使用**⚠ 警告**

車両操縦性の変化

スペアホイールを装着すると車両の操縦性が損なわれる場合があります。

- ▶ スペアホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。安全のため、トレッドの溝にスリップサイン（深さ 1.6 mm）が現れる前

- にタイヤを交換してください。
- ▶ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) システムを絶対に解除しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。スベアホイールを装着すると車両の走行特性が大きく変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも 80 km/h の最高速度を厳守してください。
- ▶ 車種の異なるスベアホイールを使用しないでください。
- ▶ この車両用のスベアホイールを他車で使用しないでください。
- ▶ 同時に複数のスベアホイールを使用しないでください。

スベアホイールはラゲッジコンパートメントのスペシャルバッグ内にあります。

1. カラビナーとベルトストラップをゆるめます。バッグを取り外します。
2. スベアホイールをバッグから取り外します。
3. スベアホイールを取り付けるには：
 - ▶ 「タイヤおよびホイール」の章（145ページ）を参照してください。
4. 空気を充填する前に、スベアホイールを車両に取り付けてください。車両をジャッキアップしたままにしてください。
5. タイヤに空気を入れてください。

スベアホイールを使用した後は：

1. スベアホイールを収縮させます。そのために、クラブシブルスベアホイールのバルブキャップをゆるめてください。
タイヤは元の形状に戻るのに数時間かかります。これを怠ると、スベアホイールをバッグ内に収納できません。
2. スベアホイールをバッグに入れます。
3. バッグをラゲッジコンパートメントに位置決めし、バッグがシートのバックレストに対して取り

- 付けられ、ハンドルが車両後方に向くようにします。
4. カラビナーをタイダウンリングに締結し、ベルトストラップを締め付けます。

スベアホイールが故障している場合：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

パークアシスト

ドライバーが駐車操作をしているとき、パーキングアシスタントが車両と障害物の間の距離を表示と音で知らせます。

パーキングアシスタントのパーキングエイドがダッシュボードのタッチディスプレイに表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離がわかります。



警告

操舵時や駐車時の集中力の低下

パークアシストのおかげで運転は非常に快適になりますが、無謀な運転は避けてください。パークアシストはあっても、駐車の際に注意したり、障害物の有無を確認したりする責任は、依然としてドライバーにあります。このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にいないことを確認してください。
- ▶ 操作中、および人、動物、障害物、または他の車両がある場合は、赤色のエリアに進入しないでください。

パーキングアシスタントは以下のものを検出できません。

- 音波を吸収する物体 (例: 粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)
- 音波を反射する物体 (例: ガラス面や平らな塗装面など)
- 非常に細い物体 (細い支柱など)
- その他の超音波発生源 (他の車のエアブレーキ、清掃機、削岩機など) も、障害物の検出を妨げることがあります。
- センサーやカメラの汚れが激しい場合、障害物は検出されません。

距離の測定



図 134 : 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤバンパーの超音波センサー A が障害物からの距離を測定します。障害物を検出すると警告音が断続的に鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。障害物との距離が約 30 cm 以下になると、警告音が連続して鳴ります。

センサーの上および下にある障害物は検出できません。

警告音量は、ダッシュボード内のタッチディスプレイで調節できます。

- ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

パークアシストの作動

自動作動 (約 15 km/h の速度まで)

- ✓ イグニッションが ON になっている。

- ✓ リバース (後退) ギヤに入っている。
- または -
- ✓ 前方の距離が約 80 cm 以下。
- または -
- ✓ 車両が後退していることを検出している。

手動での作動

- ▶ アシスト ▶パークアシスト

ダッシュボードのタッチディスプレイの表示



図 135 : パークアシストのカラーコーディング

色	フロント側の距離	リヤ側の距離
白色	車両の経路に障害物がない、または障害物との距離が 30 cm 以上。	
オレンジ	< 120 cm	< 180 cm

色	フロント側の距離	リヤ側の距離
赤色	< 40 cm	< 40 cm
赤色と連続音	< 30 cm	< 30 cm

シンボル	意味
	現在の駐車操作では、パークアシストを無効にします。15 km/h の速度を超えるか、リバースギヤを再度選択した場合、無効化はキャンセルされます。
	オーディオ再生を OFF にします。

インフォメーション

パークアシストがトレーラーを検出した場合、後方の距離情報は表示されません。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (231ページ) を参照してください。

パークアシストの停止

自動停止

- ✓ セレクターレバーの P ボタンが作動している。

手動での停止



図 136 : パークアシストの停止

- ▶ オーバーヘッドコンソールのボタン A を押してください。ボタンのインジケータライトが点灯します。ダッシュボードのタッチディスプレイには何も表示されません。ダッシュボードのタッチディスプレイの表示を手動で再起動することはできません。
 - または -
- ▶ ダッシュボードのタッチディスプレイで  をタップします。

パークアシストの音量調整

- ▶ アシスト  ▶  ▶ アシスタンス システム設定 ▶ パークアシスト

リバースカメラ

リバースカメラは、駐車操作時に車両後方の確認を補助するシステムです。

ダッシュボードのタッチディスプレイにリバースカメラの映像が表示されます。

警告

ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが映す物体はゆがんで見えます。赤色のマークは車両後部を示します。リバースカメラ画像は車両の後方全体を映してはいません。

- ▶ 常に車両周囲全体の状況に十分注意を払ってください。
- ▶ 人や動物または障害物がリバースカメラ画像の赤色のエリア内がないことを確認してください。

リバースカメラの作動

自動

- ✓ イグニッションが ON になっていて、リバースギヤに入っている。
 - または -
- ✓ 車両が後退していることを検出している。

手動

- ▶ アシスト  ▶ パークアシスト

リバースカメラの自動停止

- ✓ 速度が 15 km/h を超過した場合。
 - または -
- ✓ セレクターレバーの P ボタンが作動している。

リバースカメラの清掃

✓ Panamera Sport Turismo

リヤウィンドウの清掃時、リバースカメラは自動的に清掃されます。

- ▶ 「リバースカメラの清掃」の章 (201ページ) を参照してください。

✓ Panamera

PCM で、清掃は手動で開始します。

- 1. アシスト  ▶ パークアシスト

- 2.  清掃を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リバース カメラの清掃プロセスが始まります。

例外

次のような状況では、清掃機能は利用できません。

- リヤリッドが開いている。
- 外気温度 -10℃未満。
- ウォッシャー液タンクが空。
- 60秒以内に4回以上清掃機能を作動させた。

サラウンド ビュー (RTV)



警告

ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが検出した物体はゆがんで見えます。スクリーンウィンドウの多くは、車両周囲全体を映してはいません。

- ▶ 常に車両周囲全体の状況に十分注意を払ってください。
- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にいないことを確認してください。

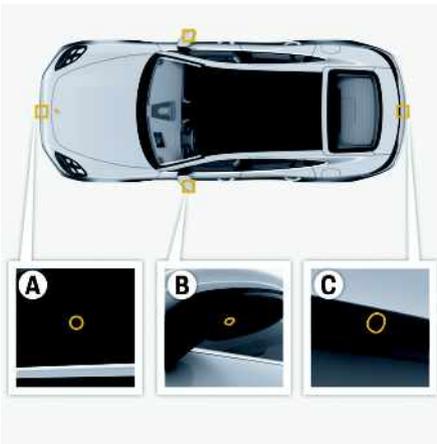


図 137 : サラウンド ビュー カメラの位置

- A フロント エプロン センターのカメラ
- B 両方のドア ミラーのカメラ
- C リヤリッドのライセンス プレート ライトの間にあるカメラ

サラウンド ビューは車両を上方から見た映像で、車両周辺のエリアを映し出したものです。複数のカメラで障害物や路面標識を、車両の正確な位置とともに検出します。サラウンド ビューが作動しているときは、明るさを確保するためカーテシー ライトのスイッチが ON になります。

Surround View (サラウンド ビュー) を有効にする

自動

- ✓ パークアシストが作動している。

手動

- ▶ オーバーヘッド コンソールのボタン を押します。
- または -

- ▶ アシスト ▶ パークアシスト

該当するシンボル (リヤなど) またはオーバーヘッド コンソールのサラウンド ビュー ボタン を使用して、希望のビューを選択します。有効になっているビューのシンボルは赤色で強調されます。

シンボル	表示
	フロント
	後部
	ページ
	パノラマ フロント
	パノラマ リヤ
	トレーラー

インフォメーション

カメラ画像に加え、フロントおよびリヤ カメラのビューにはガイドラインが重ねて表示されます。これらのガイドラインは、現在の位置のステアリング ホイールで車両が進むことのできる方向を示しています。前輪の位置が変わると、ガイドラインも変わりません。

サラウンド ビューを無効にする

自動

- ✓ 速度が 15 km/h を超過した場合。

手動

- ▶ オーバーヘッド コンソールのボタン を押します。
- または -
- セレクトター レバーの P ボタンを押します。

パーソナル設定

概要 – パーソナル設定

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

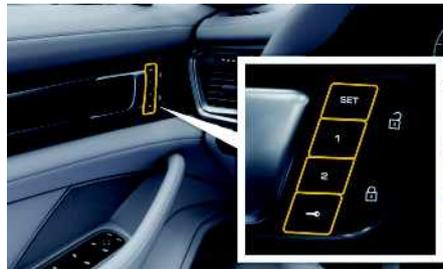


図 138 : 運転席ドアのメモリー ボタン (運転席およびコンフォートメモリーパッケージ)



図 139 : 助手席ドアのメモリー ボタン (運転席およびコンフォートメモリーパッケージ)

どのように設定を保存 / 呼び出せますか?	どちらの設定を、メモリーパッケージで保存 / 呼び出せますか?	どの機能ですか?	操作場所
運転席ドアのメモリー ボタン 1 および / または 2 あるいは 3 (装備により異なる : 助手席ドア、リヤドア) を使用します。	人間工学に基づいた設定		
	運転席メモリー パッケージ	- 運転席シート、 - ドア ミラー	▷ p. 109 ▷ p. 243
	コンフォートメモリー パッケージ	- 運転席シート、フロント助手席シート、リヤシート (装備により異なる) - ステアリング ホイール	▷ p. 109 ▷ p. 118
	人間工学に基づいた設定		
運転席ドアのキー ボタン  を介してキーで。	運転席メモリー パッケージ	- 運転席シート、 - ドア ミラー	▷ p. 109 ▷ p. 243
	コンフォートメモリー パッケージ	- 運転席シート、	▷ p. 109

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

どのように設定を保存 / 呼び出せますか?	どちらの設定を、メモリー パッケージで保存 / 呼び出せますか?	どの機能ですか?	操作場所
		- ドア ミラー	▷ p. 243
		- ステアリング ホイール	▷ p. 118
	コンフォート設定 (コンフォートメモリー パッケージ)	- ライト	▷ p. 247
		- フロントウィンドウワイパー	▷ p. 212
		- セントラルロック	▷ p. 123

パーソナル設定の保存と呼び出し

人間工学に基づいた設定の機能：

シート、ドア ミラー、およびステアリング ホイールの設定 (装備による)。

人間工学に基づいた設定を運転席と助手席のドアのメモリー ボタンで 3 件まで手動で保存でき、呼び出すことができます (装備による) (図 138) / (図 139)。

コンフォート設定の機能：

ライト設定 (オートマチック カミング ホーム ライトの遅延消灯の設定など)、視界の設定 (リバース ギヤ選択時のリヤワイパー機能など)、およびセントラルロック設定 (自動ロックなど)。

ドアのロックを解除し、ドアを開くと、キーに保存された設定が自動的に呼び出されます。複数の人が車両を使用する際、各自が 1 本ずつ鍵を使用し、専用設定をキーに保存すると便利です。

運転席メモリー パッケージ装備車では、最後に選択されたコンフォート設定が自動的に呼び出されます。コンフォートメモリー パッケージ装備車では、キーに保存されたコンフォート設定が呼び出されます。

インフォメーション

各メモリーの情報は最大で 4 本のキーに保存できません。さらにキーがある場合、それらのキーには最後に車両に接続されたキーのメモリー情報が保存されます。

注意

シート、ドア ミラー、およびステアリング ホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫されたりする恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ メモリー ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押しすと、必要に応じて人間工学に基づいた設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。
- ▶ メモリー ボタンかシート調節ボタンのいずれかを押すか、または PCM により、必要に応じてコンフォート設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。

キーへの設定の保存

運転席ドアのキー ボタンを押す

1. 設定ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
2. 10 秒以内にキー ボタン  を押してください。
人間工学に基づく設定およびコンフォート設定 (キーに特有の設定) が保存されます。保存されると確認音が鳴り、設定ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

キーから設定を呼び出す

車両ロック解除による自動呼び出し

- ▶ 車両をロック解除し、運転席ドアを開けてください。
既存のキーの設定が呼び出されます。運転席とステアリング ホイールが格納位置に移動します。

運転席ドアのキー ボタン を押す

- ▶ すべての設定が呼び出されるまでキー ボタン  を長押ししてください。
- または -
- ✓ イグニッションが OFF になっている。
- ✓ 運転席ドアが開いている。
- ▶ キー ボタン  を短く押してください。

既存のキーの設定が呼び出されます。運転席とステアリングホイールが格納位置に移動します。

メモリー ボタン 1、2 または 3 への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー ボタン 1 と 2 に割り当てることができます。

助手席シートとリヤシートの設定は、助手席ドアまたはリヤドアのボタン 1、2、および 3 に個別に割り当てることができます。

1. 設定ボタンを押してください。

ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

2. 該当するメモリー ボタン 1、2 または 3 を 10 秒以内に押してください。

設定が保存されます。

保存されると確認音が鳴り (運転席ドアのみ)、設定ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

メモリー ボタン 1、2 または 3 による設定の呼び出し

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー ボタン 1 と 2 を使って呼び出すことができます。助手席シートとリヤシートの設定は、助手席ドアまたはリヤドアのメモリー ボタン 1、2、および 3 を使って呼び出すことができます。

- ▶ すべての設定が呼び出されるまで該当するメモリー ボタン 1、2 または 3 を押し続けてください。

– または –

- ✓ イグニッションが OFF になっている。
- ✓ 運転席ドア、助手席ドア、または該当するリヤドアが開いている。
- ▶ 該当するメモリー ボタン 1、2 または 3 を短く押してください。

設定が自動的に呼び出されます。助手席シートまたはリヤシートが収納位置に移動します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ヒューズ



警告

短絡

車両の電気リカルシステムの作業により、短絡が発生する場合があります。回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。



警告

不適切な介入および不適切なアクセサリ

ヒューズボックスへの不適切な介入および不適切なアクセサリの使用は、電気リカルシステムおよび電子回路の損傷や故障の原因になります。

- ▶ ここに記載されているヒューズ以外のすべての電気部品（リレーなど）については、交換しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェによって認証されたアクセサリのみを使用してください。認証されたアクセサリについての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

点検およびヒューズの交換

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。

ラゲッジコンパートメントの進行方向右側にヒューズボックスが1個あります。さらに2個のヒューズボックスが運転席側、助手席側両方のダッシュボード端部にあります。

装備によって、更なるヒューズボックスが、専門修理工場のみがアクセス可能な車両の様々な位置にあります。

ヒューズ定格

色		電流定格
	薄茶色	5 A
	茶色	7.5 A
	赤色	10 A
	青色	15 A
	黄色	20 A
	白色 / 透明	25 A
	緑	30 A
	青緑色	35 A

点検およびヒューズの交換

ヒューズスロットの番号付けは、印刷されているかまたはヒューズキャリアの、または、それ上のカバーの中で、内側にエンボス加工されています。割り当てられていないヒューズスロットは、以下の概要にリストされません。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
2. ヒューズボックスカバーを開いてください。
3. プラスチック製のヒューズリムーバーを使用して、慎重にヒューズを抜き取ってください。必要に応じてヒューズを交換してください。
4. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズリムーバーを使用して、スロットから対応する

ヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できません。

5. 新しいヒューズを差し込んでください。交替ヒューズは、それが置き換えているものと同じ定格電流を有しなければなりません。
6. 紫のプラスチック片を元の位置にはめてください。

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ダッシュボードのヒューズボックスを開く



図 140 : 左ヒューズボックス

- ▶ 適切なもの（ドライバーなど）を使用して、カバーを慎重にこじって取り外してください。

左ヒューズボックス

No.	負荷
2	インストルメント パネル
3	ステアリング コラム ロック
4	オンボード診断 (OBD)
5	アナログ時計
6	マルチメディア システム用オペレーター コントロールユニット 2
7	ステアリング コラム スイッチ ステアリング ホイール ヒーター
8	リヤのタッチ ディスプレイ
9	ステアリング ホイールの電動調節
10	故障診断用ソケット (緊急電話用)
11	フロント センター コンソールの操作
12	エレクトリック パーキング ブレーキ ス イッチ ライト スイッチ

右ヒューズボックス

No.	負荷
2	PCM
4	補助オーディオ / ビデオ接続ユニット

No.	負荷
6	緊急電話モジュールコントロールユニッ ト
8	エアコン コントロールユニット
9	ダッシュボードのタッチ ディスプレイ
10	カードリーダー

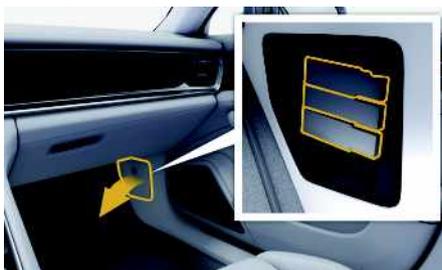
フットウェルのヒューズボックスを
開く

図 141 : 右フットウェルのヒューズボックス

▶ 穴に指を入れて、カバーを引き外します。

B 列

No.	負荷
1	シート調整用コントロールユニット、左フ ロント
2	シート調整用コントロールユニット、右フ ロント
3	E-Hybrid : パワー エレクトロニクス

No.	負荷
4	E-Hybrid : バッテリー マネージメント
5	E-Hybrid : モーター / ジェネレーター
6	ダッシュボード
7	酸素センサー
8	ホーン
9	BCM コントロールユニット
10	電気ソケット
11	スマートフォントレイ、フロント
12	スマートフォントレイ、リヤ

C 列

No.	負荷
1	シートベンチレーター、左フロント、シー トベンチレーター、左リヤ
2	シートベンチレーター、右フロント、シー トベンチレーター、右リヤ
3	イオナイザー、日射センサー
4	PSM コントロールユニット
5	ロシア : ERA-Glonass
6	E-Hybrid : エレクトリック ブレーキブ スター

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

No.	負荷
7	画像処理コントロールユニット
8	ヘッドライト エレクトロニクス
9	サウンド アクチュエーター コントロール ユニット
10	エアコンシステム
11	ナイト ビュー アシスト コントロール ユニット
12	PVTS コントロール ユニット

エンジン コンパートメント内のヒューズ ボックスを開ける



図 142 : エンジン コンパートメント内のヒューズ ボックス

1. 進行方向右側のエンジン コンパートメント内のプラスチック カバーを取り外します。
2. 必要に応じて適切な道具 (ドライバーなど) を使って、ヒューズ ボックス カバーを慎重に開けて取り外します。

A 列

No.	負荷
1	ガソリン エンジン : イグニッション コイル
2	エンジン エレクトロニクス
3	クーラント ポンプのシャット オフバルブ
5	E-Hybrid : タンク漏れ診断
6	エンジン エレクトロニクス
9	ラジエーター ファン、冷却ルーバー
10	エキゾースト システム フラップ
11	ガソリン エンジン : シリンダー カット オフ

B 列

No.	負荷
1	ガソリン エンジン : エンジン制御システム
2	ブレーキ ライト スイッチ
6	クーラント循環ポンプ
7	エンジン制御システム

No.	負荷
8	クーラント ランオン ポンプ
9	エンジン マウント、サーモスタット、タンク ベンチレーション、エンジン制御
10	燃料システムの診断ポンプ
11	燃料ポンプ コントロール ユニット

ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキは後輪に作用し、停車中に車両が動き出さないように固定します。



図 143 : エレクトリック パーキング ブレーキを動作させる

パーキング ブレーキを動作させる

- ▶ スイッチ (P) を引いてください。
スイッチのインジケータ ライト (P) とブレーキ警告灯 (B) が点灯します。
- 警告灯およびインジケータ ライトに関するインフォメーション:
- ▶ 「インストルメント クラスタ」の章 (39 ページ) を参照してください。

パーキング ブレーキを手動で解除する

- ✓ イグニッションが ON になっている。
- 1. ブレーキ ペダルを踏んでください。
- 2. スイッチ (P) を押してください。
ブレーキ警告灯 (B) が消灯します。

パーキング ブレーキを自動で解除する

- ✓ エンジン始動状態 / 車両走行可能状態 (E-Hybrid 車両)。
- ✓ 運転席ドアが閉まっている。

- ✓ 運転席シートベルトを着用している、または作動モード D、R または M が選択されている。

パーキング ブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。エレクトリック パーキング ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング ブレーキを自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック パーキング ブレーキが自動解除されません。

インストルメント パネルにメッセージが表示されます。ブレーキ警告灯 (B) およびスイッチのインジケータ ライト (P) が点滅します。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86 ページ) を参照してください。

パーキング ブレーキの自動ロック

- ✓ 停車している。
 - ✓ 作動モード D、R、または M が選択されている。
 - ✓ 運転席ドアが開いている。
 - ✓ 運転席シートベルトが外れている。
- エレクトリック パーキング ブレーキが自動的に入ります。
- スイッチのインジケータ ライト (P) とインストルメント パネルのブレーキ警告灯 (B) が点灯します。警告灯およびインジケータ ライトに関するインフォメーション:
- ▶ 「インストルメント クラスタ」の章 (39 ページ) を参照してください。

i インフォメーション

エレクトリック パーキング ブレーキの自動ロックが手動解除によって中断された場合、この機能はドアを再度開いた後、または運転席シートベルトが再び外された後にものみ利用できます。

緊急ブレーキ機能を動作させる



警告

急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失ったりする恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にものみ使用してください。
- ▶ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリック パーキング ブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

- ▶ スイッチ (P) を引き続けてください。
ブレーキ警告灯 (B) およびスイッチのインジケータ ライト (P) が点滅します。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を解除するには、スイッチ (P) を放してください。

警告メッセージへの対応

停車中にエレクトリック パーキング ブレーキを完全に動作させることができない場合、スイッチのインジケータ ライト (P) およびブレーキ警告灯 (B) が点滅します。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86 ページ) を参照してください。

フット ブレーキ



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マットや正しく固定されていないフロア マットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキペダル操作の妨げとなったりする場合があります。これにより、予期しない加速が起こったり、ブレーキ操作が難しくなった

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

りすることがあります。

- ▶ 車両に適切なフロア マットのみを使用してください。
- ▶ フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ いくつものフロア マットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロア マットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

▲ 警告

ブレーキ ブースターの停止

ブレーキ ブースターは、エンジンが作動している間のみ作動準備状態になります。このため、エンジンがOFFの場合、またはブレーキ ブースターが故障している場合には、制動の際にペダルをより強く踏み込む必要があります。

- ▶ ブレーキが故障した車両は、決してけん引しないでください。
- ▶ 「けん引」の章（80ページ）を参照してください。

▲ 警告

ブレーキ ディスクの水膜

大雨の中で水たまりや浅瀬を走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- ▶ そのため、前走車との車間距離を十分に確保しながら、断続的にブレーキをかけてブレーキを「乾燥」させます。いつでも後続の車両に影響を与えないように注意してください。

▲ 警告

ブレーキ性能の低下

凍結防止剤（塩分）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長時間にわたって走行すると、ブレーキ ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。車両を長期にわたりに駐車した場合、ブレーキ ディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキに「ジャダー」が発生しやすくなります。

- ▶ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 急斜面でのブレーキ システムを使いすぎないために、適切な時に低いギアにシフトします（エンジンブレーキ効果）。斜面上のエンジン ブレーキの効果が十分でない場合には、適当な間隔でフット ブレーキを使用します。連続的制動は、ブレーキのオーバーヒートを引き起こすおそれがあり、ブレーキの有効性が損なわれます。

ブレーキフルードとブレーキ液レベルをチェックに関する情報

- ▶ 「ブレーキ液」の章（211ページ）を参照してください。

ブレーキパッドおよびブレーキディスク

ブレーキパッドやブレーキディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

高性能ブレーキシステムは、すべての速度および温度で可能な限り最高の制動効果を保証するよう設計されています。

制動ノイズが、速度、制動力、周囲条件（例えば、温度、湿度）に応じて、発生することがあります。

警告メッセージへの対応

ブレーキパッドが摩耗限度に達すると、警告シンボルが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。
- ▶ ブレーキパッドはすぐに交換しましたか。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

PCCB

高性能ブレーキシステムは、すべての速度および温度で可能な限り最高の制動効果を保証するよう設計されています。

ブレーキパッドやブレーキディスクなどのブレーキシステムの様々な構成要素の摩耗は、主に、個々の運転スタイルと使用条件に依存し、したがって、走行距離で表すことはできません。

ポルシェによって引用された値は、一般的な交通条件に沿った通常の使用に基づいています。車両がレーストラックで使用されたり、ドライビングスタイルが激しい場合、摩耗は大幅に増加します。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてのポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ブレーキ液

- ▶ 「エンジン コンパートメント フィラー開口」の章（25ページ）を参照してください。



図 144 : ブレーキ液タンク

警告メッセージへの対応

ブレーキフルードレベルが低すぎる場合、インストールパネルに警告灯 (C) および警告メッセージが表示されます。警告灯が点灯した場合、ペダルの可動域が大きくなり、ブレーキシステムの故障を示す可能性があります。

- ▶ 直ちに安全な場所に停車し、運転を中止してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

ブレーキ液量の点検

- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキ液量を読み取ってください。フルード液量は常に MIN マークと MAX の間に維持されなければなりません。
- ▶ ブレーキフルードレベルが MIN マーキングを下回る場合、補充ブレーキフルードを足します。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキフルードの交換

ブレーキフルードの定期的な点検および交換は、メンテナンスの一部です。

- ▶ 「ドライビング プレジャーはそのままに、安全性を向上」の章（5ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

フロント ワイパー

概要 - フロント ウィンドウ ワイパー

この概要説明は「フロント ウィンドウ ワイパー」の項の詳しい情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

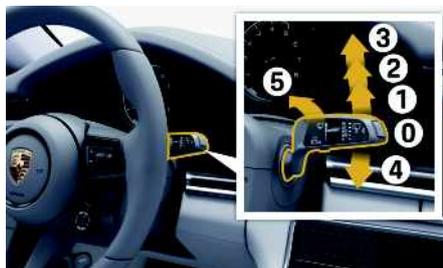


図 145：フロント ウィンドウ ワイパー レバー

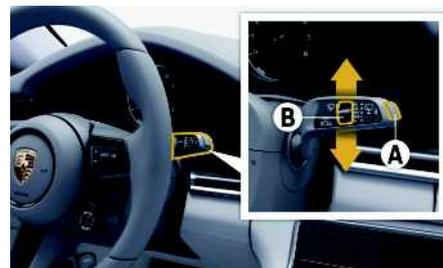


図 146：リヤ ワイパー用のボタン (A) およびレイン センサー 感度用のスイッチ (B)

希望する操作	操作方法	操作場所
フロント部のワイパーの自動作動 (レイン センサー 作動)	▶ 操作レバーを 1 の位置に押します。	▷ p. 213
レイン センサーの感度の設定	▶ 操作レバー B を上方向 (作動回数が増える) または 下方向 (作動回数が減る) に押してください。	▷ p. 213
フロント部のワイパーを作動させる	▶ 低速：操作レバーを 2 の位置に押します。 ▶ 高速：操作レバーを 3 の位置に押します。 ▶ ワンタッチ：操作レバーを 4 の位置に押します (4 の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。	▷ p. 213
フロント部のワイパー & ウォッシャー作動	▶ 操作レバーを 5 の位置でステアリング ホイールの 方向に引き続けます。	▷ p. 214
リヤ部のワイパーを作動させる (間欠作動)	▶ ボタン A を押してください。	▷ p. 214

希望する操作	操作方法	操作場所
リヤ部のワイパーを作動させる (1 回のみ作動)	▶ ボタン A を短く 2 回続けて押してください。	▶ p. 214
フロント ウィンドウ ワイパーを格納位置から出す アイスまたはサンシールドの装着とワイパー ブレードの交換	▶ イグニッションを OFF にして、ワイパー操作レバーを下方向 4 に 1 回押してください。フロント ウィンドウ ワイパーが上方に約 45 度移動します。	▶ p. 215



警告

ワイパーの不意な作動

レイン センサー モードでは、フロント ウィンドウで水分が検出されるとフロント ウィンドウ ワイパーが自動的に作動します。

- ▶ 必ずフロント ウィンドウ ワイパーを OFF にしてからフロント ウィンドウを清掃してください。

知識

ボンネット、フロント ウィンドウ、およびワイパー システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ フロント ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ 走行前に、フロント ウィンドウから凍り付いたワイパー ブレードを慎重に取り外してください。
- ▶ 凍結時はヘッドライト ウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ (レイン センサー機能により) 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント ワイパーを OFF にしてください。
- ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライト ウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。
- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。
- ▶ ボンネットを開く前に、必ずフロント ワイパーを OFF (ワイパー操作レバーを 0 の位置) にしてください。イグニッション スイッチが OFF で、ワイパー アームが停止位置にない場合、ボンネットを開くとワイパーアームが停止します。エンジン コンパートメント リッドを閉じ、ワイパーシステムを OFF にしてから再度 ON にするまで、この位置が保持されます。

フロント ウィンドウ ワイパーの操作

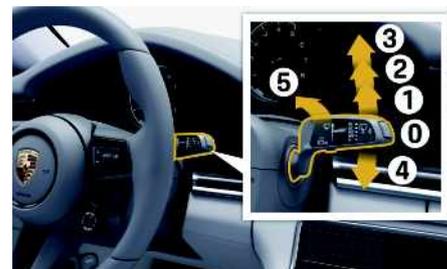


図 147: フロント ウィンドウ ワイパー レバー

0 - フロント ウィンドウ ワイパー OFF

フロント ウィンドウ ワイパーおよびイグニッションが OFF の場合、ワイパーの端が正しい位置に調整されるように、ワイパーがレスト ポジションから少し持ち上がります。

1 - レイン センサー作動、フロント ウィンドウ ワイパー

- ▶ ワイパー レバーを最初の位置まで上方に動かします。

2 - ゆっくりワイプする

- ▶ ワイパー レバーを 2 番目の位置まで上方に動かします。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

3-速くワイブする

- ▶ ワイパー レバーを3番目の位置まで上方向に動かします。

4-フロントウィンドウワイパーのワンタッチ機能

- ▶ ワイパー レバーを下方向に短く押します。フロントウィンドウワイパーがワイブサイクルを1回実施します。
- ▶ ワイパー レバーを下方向に長押しします。フロントウィンドウワイパーが高速でワイブします。

5-フロントウィンドウワイパーおよびウォッシャーシステム

- ▶ ワイパー レバーをステアリング ホイールに向かって引きます。レバーを手前に引いている間、ウォッシャーシステムとワイパーが作動します。レバーを放すとウォッシャーシステムが停止し、その後ワイパーが数回作動します。

i インフォメーション

噴出する水の量は走行速度およびワイパー レバーの作動時間に応じて異なります。

i インフォメーション

- ▶ フロントウィンドウが非常に汚れている場合、洗浄を繰り返します。
- ▶ 昆虫の死骸など頑固な汚れは定期的に除去する必要があります。

フロントワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

レインセンサー作動の調節

レインセンサーが作動すると、フロントウィンドウに付着する水滴の量を感じます。ワイパーの作動間隔を自動調節します。

フロントウィンドウワイパーをONにしている[ワイパーレバーが2の位置]ときに速度が約4 km/h以下になると、レインセンサーは自動的に作動します。速度が約12 km/hを超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

i インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパーレバーがすでに1の位置にあった場合、速度が4 km/hを超えるまでレインセンサーは作動しません。
- イグニッションをONにしたときに、すでにワイパーレバーが2または3の位置にある場合、フロントワイパーはワイパーレバーを操作しなければ作動しません。

レインセンサー感度の手動調節

感度を高くします。

- ▶ スイッチBを上方向に押します。フロントウィンドウワイパーが1回ワイブ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

感度を低くします。

- ▶ スイッチBを下方向に押します。

リヤワイパーの操作

図 148 : リヤワイパー用のボタン A

リヤワイパーの間欠作動をONにする

- ▶ ボタンAを押してください。

リヤワイパーの間欠作動をOFFにする

- ▶ ボタンAを押してください。

リバース機能をONにする

PCMでは、雨天時やフロントワイパー作動中にギヤをリバースにいれると一連のワイブ作動が自動的に実行されるようにリヤワイパーを設定できます。

PCMでこの機能の有効/無効を切り替えることができます。

- ▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ リバース

リヤウィンドウの清掃

- ✓ Panamera Sport Turismo

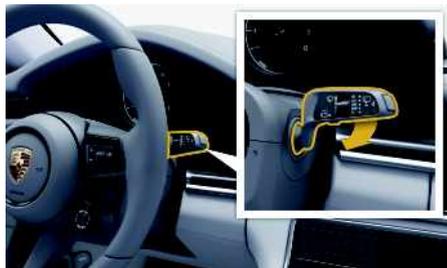


図 149：リヤウィンドウの清掃

- ▶ ワイパー レバーを前方に押します (図 149)。ワイパー レバーを前方に押し続けている間、ウォッシャー システムとワイパーが作動します。レバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。

ワイパー ブレード

知識

ワイパー アームが誤ってフロント ウィンドウに勢いをつけて戻ると、フロント ウィンドウが損傷することがあります。

- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。

知識

気温が低いとワイパー ブレードが凍結することがあります。

- ▶ 走行前に凍結したワイパー ブレードを溶かしてください。

知識

適切に洗浄されない場合、ワイパー ブレードのグラファイト コーティングが損傷することがあります。

- ▶ 洗浄機のノズルをワイパー ブレードに向けしないでください。
- ▶ 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードの洗浄は清潔な水でのみ行ってください。

ワイパー ブレードの交換

ワイパーブレードは年に 2 回 (寒季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

▲ 注意

正しく取り付けられていないワイパー ブレード

適切に交換しない場合、正しく取り付けられていないワイパー ブレードが走行時にゆるむ可能性があります。

- ▶ ワイパー ブレードはワイパー アームに適切に装着する必要があります。
- ▶ ワイパー ブレードが確実に取り付けられていることを確認します。

フロントワイパー ブレードの交換

ワイパーの展開

✓ イグニッションが OFF になっている。

1. ワイパー レバーを下方向に 1 回押します (位置 4、(図 147))。フロント ワイパーが上方に約 45 度移動します。
2. メーカーの取扱説明書 (別冊) に従い、ワイパー ブレードを交換してください。ワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。

ワイパーの格納

✓ イグニッションが ON になっている。

- ▶ ワイパー レバーを下方向に約 1 秒間押します (位置 4、(図 147))。フロント ワイパーが通常位置に戻ります。

i インフォメーション

この作業は、必要であればボルシェ正規販売店にご依頼ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

リヤワイパー ブレードの交換

✓ Panamera Sport Turismo

知識

ワイパー アームを損傷する恐れがあります。リヤウィンドウのワイパー アームにはジョイントがないのでウィンドウから完全に折り曲げることができません。

- ▶ ワイパー アームを最大 15° ウィンドウから持ち上げます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ワイパー ブレードの取り外し

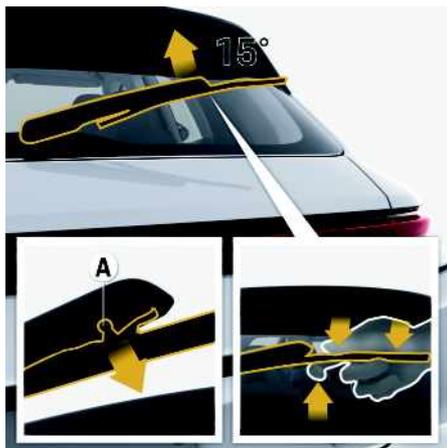


図 150 : リヤワイパー ブレードの交換

1. ワイパー アームを約 15° ウィンドウから持ち上げます。
2. ワイパー ブレードを手で支えます。
3. マウント A の後ろに人差し指を置き、ワイパー ブレードを少し押し上げます。
4. 両手の親指と親指の腹を使ってマウント A からワイパー ブレードを持ち上げます。

ワイパー ブレードの取り付け

1. マウント A にワイパー ブレードを位置決めします。
2. ワイパー ブレードがマウント A にしっかりはまるまで押し込んでください。

ヘッドアップディスプレイ

ヘッドアップディスプレイ (HUD) は、重要なメッセージや選別された情報をフロント ウィンドウのドライバーが見える場所に投影します。これにより、ドライバーは道路から目を離すことなく、車両速度、エンジン回転数、ナビゲーションなどの情報を読み取ることができます。これらはカスタマイズできます。ヘッドアップディスプレイ (HUD) は、インストルメントパネルの補助ディスプレイです。

知識

ガラス カバーの傷により損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドアップディスプレイのガラス カバーの上に物を置かないでください。

i インフォメーション

ヘッドアップディスプレイに表示された情報のドライバー ビューは、以下の要因に影響されます。

- 特定の偏光フィルター付きサングラス。
- 濡れた路面。
- 望ましくない照明条件。
- ガラス カバー上の荷物。
- ▶ ヘッドアップディスプレイが適切な位置にセットされ、高さが正しく調節されていることを確認してください。

ヘッドアップディスプレイの調節

ヘッドアップディスプレイの投影の表示位置は、ドライバーの身長とシート位置に適合させることができます。

- ▶ 車両  ▶ 制御  ▶ ディスプレイ ▶ ヘッドアップディスプレイ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボイス コントロール



警告

正常に機能しない音声認識

声はストレスの多い状況で変化することがあります。そのため特定の状況下では、電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要したりする場合があります。

- ▶ 緊急時はボイス コントロールを使用しないでください。
- ▶ タッチ ディスプレイを使用して緊急電話番号をダイヤルしてください。

数多くのナビゲーション、メディアおよび電話機能を、ボイス コマンドで起動することができます。車両機能およびエアコンの設定は、ボイス コマンドでは操作できません。ボイス コントロールは話者に適応し、最初の会話から学習を開始します。ボイスコントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

操作に関する情報 Porsche Communication Management (PCM):

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (231ページ) を参照してください。

ボイス コントロールを開く



図 151 : ステアリング ホイールの ボイス コントロール ボタン

ボイス コントロールの起動

- ✓ イグニッションが ON になっている。
- ✓ 通話中ではない。
- ✓ パーキング エイドが作動していない。

1. ステアリング ホイール (図 151) の ボタンを短く押します。

起動音が鳴り、ボイス コントロールのアイコン が PCM に表示されます。

2. ボイス コマンドを発話してください。

ボイス コントロールの終了

- ✓ ボイスコントロールが作動している。
- ▶ ステアリング ホイール (図 151) の ボタンを押します。
終了音が鳴ります。

インフォメーション

会話は「マイク」アイコン をタップすると一時停止し、再度タップすると再び開始します。

ボイス コントロール ボタンのその他の機能

ステアリング ホイール (図 151) の ボタンを押すと、アプリに応じた下記さまざまな機能を使用できます。

- 短く押すと、実行中の案内の次のパートにスキップします。
- 短く押すと、現在の会話を中断します。
- 長押しすると、Siri ボイス コントロール システムが起動されます。
- ▶ 「Siri 音声認識機能で Apple CarPlay を操作する」の章 (278ページ) を参照してください。

インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報通知が中断されます。
- ボイスコントロールが起動していると、ボイスコントロール、ロータリー プッシュ ボタン、またはタッチ ディスプレイからリスト項目を選択することができます。
- 発話されたボイス コマンドを理解できない場合や意味を解釈できなかった場合、ボイスコントロールはもう一度お願いしますと応答しますので、再度ボイス コマンドを言ってください。

ボイス コントロール システムでポルシェ コネクト サービスを利用する

- ✓ データ接続が正常に確立されている。
- ▶ 「ポルシェ コネクト」の章 (227ページ) を参照してください。
- My Porsche からナビゲーション目的地を入力して、ポータル POI またはその他の施設情報カテゴリーを読み込む場合には、オンライン検索を使用します。
- テキスト メッセージ / E メールと同じようにオンライン言語検索を音声入力で行います。

ボイス コントロールを使用するコミュニケーション時の注意

ボイス コントロールを使用する際は、以下の点を遵守してください。

- 普通の声量で、はっきりと発話してください。
- 発話中に長い間を置かず、むらなくボイス コマンドを強調してください。
- ドア、ウィンドウ、スライディング ルーフなどを閉じることによる、混乱の原因となる雑音を少なくしてください。
- ハンズフリー マイクはドライバー側に向いているため、ボイス コマンドを発話するのはドライバーだけにしてください。

ボイスコントロールの調節

1. 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ ボイスコントロール

2. 以下から希望の設定を選択してください。

- ショートダイアログ：音声応答には短いアナウンスが伴います。
- ヘルプテキスト：発話可能なコマンドが表示されます。
- ボイスコントロールを中断する：ボイスコントロールを中断して別のボイスコマンドを発話することができます。

ボイスコマンドの発話

3種類のボイスコマンドがあります：

- グローバルボイスコマンドは、いつでも使用できます。たとえば、ナビ  メインメニューが表示

示されていて、ボイスコマンドのラジオ放送局XYと発話すると、その放送局が呼び出されます。

- 一般の有効なボイスコマンドは、会話中にも発話することが可能です。
 - 新規入力
 - 修正：例えば、電話番号をいくつかのブロックに分けて発話した場合 (0711 911 など)、このボイスコマンドは最後に発話したブロックを取り消します。
 - 一時停止：ボイスコントロールを一時停止します (メッセージを口述するときなど)。ボイスコントロールは、最大5分間一時停止できません。この時間が経過すると、会話は自動的に終了します。
 - ヘルプ：使用可能なボイスコマンドの入力支援が表示されます。
 - キャンセル
- 対話関連ボイスコマンドは、PCMとの会話が始されるとすぐに必要になります。例えば、行

1、次のページ、前のページ、はい、いいえです。

音声でリストを使用する

リストをブラウズする

- ▶ PCMでリストを前/後にスクロールするには、次のページ/前のページと発話してください。
 - または -
- タッチディスプレイまたはロータリー プッシュ ボタンでリスト内を移動します。

リスト項目の発話

ダッシュボードのタッチディスプレイで青色の印が付いているリスト項目および行番号を発話できます。

- ▶ ボイスコマンドで行1と発話してください。
 - または -
- 青色の印が付いているリスト項目を発話します。

ラジオのグローバルボイスコマンド

希望する操作	どのように発話するのか？	注
受信範囲を切り替える	(設定 / ON にする) チューナー (例) FM/AM	
放送局を選択する	放送局を選択	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
現在受信が可能な放送局を選局する	放送局 (例) 放送局 XY (選局)	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
周波数を入力する	周波数 (例) 91.1 FM (選択)	必要な場合、周波数を直接選択すると、受信範囲が変更されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

メディアのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	どのように発話するのか?	注
メディア ソースを変更	再生例: SD カード / USB / AUX / Bluetooth / DVD オートチェンジャー	
アーティスト / アルバム / トラック / ジャンルを選択する	再生 (アーティスト) 例: Allan Taylor 再生 (アルバム) 例: Songs for the road 再生 (トラック) 例: Let the music flow 再生 (ジャンル) 例: ロック 再生例: Let The Music Flow from Songs for the Road 再生例: Let The Music Flow by Allan Taylor 再生例: Songs For The Road by Allan Taylor	有効なメディア ソース内にあるアーティスト/アルバム/トラック/ジャンルのみを発話することができます。
現在再生している曲と類似の音楽を選択する	類似の音楽を再生	

電話のグローバル ボイス コマンド

- ✓ 電話が PCM に接続されている。
- ▷ 「電話」の章 (177ページ) を参照してください。

希望する操作	その操作方法は?	注
リダイヤル機能を開く	リダイヤル	
電話番号を入力する	番号をダイヤル	次のステップでは、システムが電話番号を尋ねます。/ 入力した番号が呼び出されます。
電話 ボイスメール	電話 ボイスメール	
連絡先に発信する	連絡先にダイヤル / 電話帳を表示	次のステップでシステムが連絡先の名前を尋ねます。
保存されている連絡先に電話する	電話例: 山田 (プライベート / 仕事 / 一般)	連絡先が 1 つ以上の場合、このコマンドにより会話が開始します。名、姓、またはその両方を発話することができます。特定の電話番号を選択することも可能です。

希望する操作	その操作方法は?	注
通話履歴の呼び出し	通話履歴 / 不在着信 / 着信 / 発信番号	ボイス コマンドは、項目を選択または項目に電話をかけることができるグローバル通話履歴を表示します。
メッセージを読み上げる	(新しい) E メールを読む / (新しい) SMS を読む	✓ 接続されている携帯電話は機能に対応しています。

ナビゲーションのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	その操作方法は?	注
新しい目的地を入力する	ルート案内 (例) 東京都千代田区霞が関 1-3-2/住所を入力 / 新しい目的地を入力	「ルート案内」と一文で言うか一言ずつ言うことで、ナビゲーションを使用することができます。
ポルシェ コンシェルジュを開始する	ポルシェ コンシェルジュ	
目的地履歴を選択してください	前回の目的地 / 保存した目的地	
目的地として自宅 / 職場を選択する	自宅へ帰る / 職場へ行く	保存されている住所へのナビゲーションを開始します。
目的地または施設情報を検索する	(POI) の検索 例: Porsche Service	ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話することができます (例: 検索 施設情報 空港)。
目的地をオンライン検索する	オンライン検索 / インターネット検索	✓ データ接続が確立されている。 このサービスは、言語およびマーケットによっては利用できない場合があります。 227ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。
都道府県 / 市区町村を選択する	都道府県 / 市区町村を入力	
レストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリンスタンドを検索する	次のレストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリン スタンド	付近のそれぞれの検索基準を表示します。
ルート案内を開始 / 終了する	ルート案内を開始 / 終了する	

希望する操作	その操作方法は?	注
燃料残量の決定	走行可能距離 / 残りの距離 / タンク情報	
到着時間を要求する	予定到着時刻 / 到着時刻	✓ ルート案内を開始している。

エアコンのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	操作方法	情報
エアコンを ON にする	エアコンを ON にする	
温度の設定	エアコンを (例: 19 度) に設定	
温度を上げる / 下げる	温度を (例: 2 度) 上げる	
シートヒーター	シートヒーターを ON にする シートヒーターを (例: レベル 1) に設定	
シートベンチレーター	シートベンチレーターを ON/OFF にする シートベンチレーターを (例: レベル 1) に設定する	
デフロスト モードを ON にする	デフロスト モードを ON/OFF にする	
エコモードを ON にする	エコモードを ON/OFF にする	
内気循環を ON にする	内気循環を ON/OFF にする	
イオナイザーを ON にする	イオナイザーを ON/OFF にする	
エアコン同期を ON にする	エアコン同期を ON/OFF にする	

ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

PASM システムはショック アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブルダンパーシステムは、走行状態や走行条件に応じて各ホイールに適切なダンピングフォースを制御します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で3種類のシャーシモードから選択できます。

- 「ノーマル」
- 「スポーツ」
- 「スポーツ プラス」

ノーマルモードでは、車両はスポーティーで快適な設定となります。「スポーツ」シャーシ設定ではスポーティーなダンパーコントロールになります。「スポーツ プラス」モードでは、ダンパーコントロールは妥協のないスポーティーな走行(例: レースサーキットでの走行)に最適化されます。マニュアルモードを選択することに加えてPASMも、スポーツ性能の大幅な向上や快適な走行を実現するためにダンピングフォースの要件を走行状況に合わせて調整します。

PASM モードの選択



図 152: センターコンソールの PASM ボタンを使ったシャーシ設定の選択

1. イグニッションを ON にします。
2. ボタン  を繰り返し押します。
ボタンのインジケーター:
- 「ノーマル」(デフォルト設定)を選択した場合、インジケーター ライトは点灯しません。
- 「PASM スポーツ」を選択すると、インジケーター ライトが 1 つ点灯します。
- 「PASM スポーツ プラス」を選択すると、インジケーター ライトが 2 つ点灯します。

さらに、選択したシャーシ設定はインストルメントパネルに短時間表示されます。

インフォメーション

シャーシモードは PCM でも設定できます:

▶ 車両  ▶ ドライブ  ▶ シャシー

インフォメーション

イグニッションを OFF にした後でも、最後に選択したシャーシモードは保存された状態のままになります。

警告メッセージへの対応

PASM 故障はインストルメントパネルに表示されません。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章(86ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボルシェ アクティブセーフ (PAS)

アクティブセーフティ - ボルシェ アクティブセーフ (PAS)

ボルシェ アクティブセーフ (PAS) には、次の機能が搭載されています。

- 警告およびブレーキ機能
- 予防的乗員保護機能
- 歩行者警告

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダーセンサーおよびフロントウィンドウ背面のカメラは、車両正面エリアを監視します。

都市部や郊外の速度範囲で他の車両と衝突が起こりそうになる場合、システムの限界内でそれを検出します。システムはドライバーに、視覚、音響、そして必要な場合にブレーキ振動により警告します。状況によっては、衝突速度を低減するか衝突を回避するため、必要に応じてシステムはドライバーのブレーキ操作をサポートしたり、部分的または完全な減速を開始したりします。

乗員の予防的保護機能との併用により、フロントのシートベルトを座席側に引き込む力が加わり、(装備によっては) 車内でプレコンディショニング措置が開始されます。

歩行者と衝突が起こりそうになる場合、システムの限界内でカメラを使用してそれを検出します。この場合、システムはドライバーに、視覚と音により警告します。

PAS の ON/OFF

- ▶ アシスト  ▶ Porsche Active Safe

PAS を OFF に切り替えると、 がインストルメントパネルに表示されます。



警告

PAS 制限または使用不可

PAS は以下のような状況下では制限されるか利用できず、 がインストルメントパネルに表示されます。

- PSM、ACC またはフロントカメラが故障している場合、PAS 機能を利用できないことがあります。
- PSM の機能が制限されているか OFF になっている場合、PAS は OFF になります。
- ▶ PAS の不必要な介入を防ぐため、牽引する場合、公道外で走行する場合、車両運搬車、鉄道、船舶などに積載する場合は PAS を OFF にしてください。



警告

集中力の低下および / または PAS により障害物が検出されない

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。事故を起こす恐れがあります！

- ▶ 以下の点を遵守してください。
- PAS には、物理的な限界を超えることはできません。PAS はサポートシステムであり、すべての状況下で衝突を防げるものではありません。ドライバーには、常にブレーキを適時かける責任があります。
- センサーやカメラは、すべての障害物または車線区分線を常に検知できるわけではありません。事故を起こす恐れがあります！
- ドライバーには常に車速や車両および障害物との距離を安全に操作する責任があり、視界、天候、交通状況に合わせて操作する必要があります。
- 複雑な走行状況では、PAS が不適切な警告を発したり、不必要なブレーキをかけたたりする可能性があります。
- PAS は動物、横断する見えにくい物体には反応しません。
- ガードレールやトンネルの入り口などの反射物、豪雨、降雪、対向車の明るいヘッドライト、氷に

よって衝突リスクの検出が低下する場合があります。



注意

PAS 制限または使用不可

フロントウィンドウ、バンパー、ホイールハウジングへの損傷、または駐車時の衝突などのアンダーボディへの損傷により、センサーの位置が移動することがあります。それにより、PAS に悪影響が及ぶ場合があります。

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告およびブレーキ機能

システムの限界内で、PAS は衝突しそうな場合に警告を発し、適切なブレーキ操作を開始することが可能です。

検出のタイミングが合えば、システムは危険な状況を察知し適切に対応します。例えば、前方車両が急ブレーキを踏んだり、進行方向にあるかなり低速で走行している車両や停車車両に、運転している車両が高速で近づいたりしている場合などには、危険な状況になる恐れがあります。検出できない場合、PAS は反応しません。

距離警告

ボルシェ アクティブセーフが、前方車両との車間距離が近すぎるために危険を検知した場合、車両の速度が約 65~250 km/h の範囲であればインストルメントパネルに  シンボルが表示され、ドライバーに警告します。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86 ページ) を参照してください。

距離警告の設定

- ▶ アシスト  ▶  ▶ アシスタンス システム設定 ▶ ボルシェ アクティブ セーフ

衝突警告



図 153 : 衝突警告

PAS が車両との衝突の可能性を検知した場合、車両の速度が約 30～250 km/h の範囲であれば警告音およびインストルメント パネルの  シンボルによりドライバーに警告します。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

この警告が作動した段階でも、ドライバーが歩行者を回避するか、急ブレーキをかけることで衝突を防げる可能性があります。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが違ってきます。同時に、車両は起こりうる緊急ブレーキに備えます。

衝突の警告のタイミングの設定

- ▶ アシスト  ▶  ▶ アシスタンス システム設定 ▶ ボルシェ アクティブ セーフ

緊急警告

ドライバーが衝突警告に対応しない場合、速度が約 30～250 km/h の範囲であれば、一瞬ブレーキをかけるという形のブレーキ介入を作動させることで、高まっている衝突の危険にドライバーの注意を喚起します。

さらに警告音が鳴り、インストルメント パネルに  シンボルが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。
- システムが検知した危険な状況にドライバーが対応しないか対応が適切でない場合、PAS がブレーキ介入を行い、アシストする場合があります。

自動ブレーキ

PAS は、ドライバーが緊急警告に反応しない場合、速度が約 5～210 km/h の範囲内であれば、制動力を徐々に強めながら車両に自動的にブレーキをかけます。衝突しそうな状況で減速することにより、事故の被害を軽減することができます。

衝突しそうな状況でドライバーのブレーキ操作が十分でないとして PAS が判断した場合、ブレーキ圧を増加させることがあります。さらに警告音が鳴り、インストルメント パネルに  シンボルが表示されます。

警告

PAS を介した自動ブレーキ

必要に応じて、自動ブレーキにより車両が減速し停止する場合があります。車両が停止しても、それ以降、ブレーキがそのままずっとかけられるわけではありません。

- ▶ ブレーキを踏み、車両のコントロールを再開してください。

警告

荷物が固定されていない、または設置位置が正しくない場合

予期しないタイミングで PAS システムがブレーキを作動させる可能性があることに注意してください。固定されていない、または設置位置が正しくない荷物がずれて乗員が怪我をする恐れがあります。

- ▶ 車内に固定していない荷物や物を載せて走行しないでください。

インフォメーション

PAS による自動ブレーキは、ドライバーがブレーキをかけたり、アクセルを強く踏み込んだり、回避操作をしたりすると中止されます。

予防的乗員保護機能

シート ベルト システム最適化

発進すると、フロント シート ベルトが徐々に締まり、乗員にとって最適な位置になるように調整されます。走行速度が約 30 km/h に達するか、シート ベルトを再度締めるとこの機能が作動します。

シート ベルトおよび車内のプレコンディショニング事故につながりそうな状況が検知されると、PAS は衝突が起きる前に、予防的乗員保護システムの効果を上げるためにさまざまな措置を開始できます。そのため、状況に合わせてフロント シート ベルトの可逆的な張力調整が行われたり、ウィンドウを開いて (装置によっては) サンルーフが閉じられたり、フロント シートの両側のボルスターが膨らまされたりします。

予防的乗員保護措置は、システムの制限内で、走行速度約 30 km/h 以上でドライバーが緊急ブレーキをかけた場合、または車両の自動ブレーキ介入機能が作動したときに発動します。衝突の危険がなくなり、運転の状況が安定すると、プレコンディショニング措置は終了し、シート ベルト張力は再び解除されます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ	▲ 警告	乗員の予防的保護機能の限界
か		PAS が開始した事前調整措置は、自動安全システムの機能をサポートしますが、物理的な限界を超えることはできません。
さ		▶ 以下の点を遵守してください。
た		– 繰り返し作動により (安全運転トレーニングなどにおいて)、ベルト張力は徐々に強くなっていき、ベルト張力を正しく解除できなくなることがあります。この場合、シートベルトを外して再度着用するか PAS を無効にします。
な		– PAS 介入後に事故が発生した場合、リバーシブルシートベルト プリテンショナーが破損することがあります。 ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
は		– PSM の機能が制限されたり、OFF になったりすると、PAS の予防的乗員保護機能も解除されます。
ま		– 助手席エアバッグが無効な場合 (チャイルドシートなど)、助手席のリバーシブルベルト テンショナー機能も無効になります。
や		▶ 該当する状況でウィンドウ / サンルーフの PAS が展開するエリアに確実に障害物がない状態にするため、および事故につながりかねない危険を減らすため、乗員は開いたウィンドウ / サンルーフから頭、腕、物を出さないようにします。

歩行者警告

システムが歩行者との衝突の可能性を検知した場合、車両の速度が約 12~85 km/h の範囲であれば警告音およびインストルメント パネルの  シンボルによりドライバーに警告します。歩行者警告は、歩行者が走行車線内で立ち止まっているか、走行車線内に入ってきた場合に行われます。この警告が作動した段階で

も、ドライバーが歩行者を回避するか、急ブレーキをかけることで衝突を防げる可能性があります。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが違ってきます。

▲ 警告	PAS 検出性能が正常に機能しない場合
-------------	---------------------

以下の点を遵守してください。

- 霧、豪雨、降雪などで視界が悪い場合、歩行者を検知できないことがあります。
 - PAS 歩行者警告は動物、横断物、見えにくい障害物には反応しません。
 - PAS 歩行者警告は、システムの内部制限による複雑な走行状況では、不測の警告を作動することがあります。
 - PSM の機能が制限されたり、OFF になったりすると、歩行者警告は停止します。
- ▶ 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
▶ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

ポルシェ コネクト

いろいろなオプションが利用できるため、ここに説明されている機能はすべてのモデル、国別仕様、および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。国によって、内蔵 SIM カード、外部 SIM カード、または外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立することができます。現在有効なデータ接続は PCM のステータス ラインおよびデバイス マネージャーに表示されます。

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (231ページ) を参照してください。
- ▶ 「デバイス マネージャー」の章 (163ページ) を参照してください。

内蔵 SIM カードによるデータ接続の確立¹

- ✓ SIM カードリーダーが空になっている。
- ✓ PCM 電話が ON になっている (設定  ▶ ポルシェ コネクト ▶ 内蔵電話モジュールの音声およびデータ接続の有効にする)。

データ接続は、イグニッションを ON にするとすぐに確立されます。

インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください：

- PCM 電話が ON です。
- 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所にある (遮蔽された場所でない)。
- ▶ 必要であれば、PCM を再起動します。

1. 一部の国で利用可能

データ パッケージを表示する

- ▶ **アプリ ▶ データ パッケージ**
マーケットによっては、契約済みのデータ パッケージに関する情報が表示されます。

SIM カードを使用してデータ接続を確立する

知識

SIM カード アダプターを使用すると、振動により SIM カードがアダプターから外れて、カードの構成部品がドライブに詰まる恐れがあります。

- ▶ SIM カード アダプターは使用しないでください。



図 154 : 外部 SIM カードの挿入および取り出し

- ✓ PCM 電話が ON になっている (設定  ▶ ポルシェ コネクト ▶ 内蔵電話モジュールの音声およびデータ接続の有効にする)。

1. SIM カード A (ミニ SIM、寸法: 25 x 15 mm) を挿入します。切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください。

データ接続が確立されます。

2. SIM カードを取り出すには、挿入されているカードを押し込んで抜き出します。

インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください：

- PCM 電話が ON です。
- SIM カードのデータ容量が十分ある、および正しく挿入されている
- SIM カードが損傷していない、および適切に動作している
- APN 設定 (インターネット アクセス) が正常である APN 設定はネットワーク オペレーターに連絡して点検してください。
- 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所にある (遮蔽された場所でない)。
- ▶ 必要に応じて PCM を再起動してください。

外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続の確立¹

- ✓ SIM カードリーダーが空になっている。
- ✓ 内蔵 SIM カード装備車 (国によってはご利用いただけない場合があります) : PCM 電話が OFF になっている (設定  ▶ ポルシェ コネクト ▶ 電話機能を OFF にする)。

1. ヘッダーの  または  (接続状態により異なる) ▶ オプション  ▶ WiFi ▶ WiFi ホットスポットの検出を選択します
2. WiFi ホットスポット (公衆ホットスポットまたは携帯電話の個人ホットスポットなど) を選択し、PCM に WiFi アクセス データを入力します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

データ入力時は、大文字 / 小文字に注意してください。
外部 WiFi ホットスポットへの接続が確立します。

PCM WiFi ホットスポット (ワイヤレス インターネット アクセス) の起動

PCM ホットスポットに接続可能な WiFi 機器は最大 8 個です。

- ✓ 内蔵 SIM カードまたは外付け SIM カードにより、データ接続が正常に確立されている。
- ✓ 内蔵 SIM カード経由のデータ接続 (国別仕様による) : 関連するデータ プランが契約されている。

1. ヘッダーで  または  (接続状況により異なる) ▶ オプション  ▶ 車両ホットスポットを選択します。
WiFi アクセス データ PCM (機器名および WiFi パスワード) が表示されます。

2. デバイスの WiFi 設定に PCM の WiFi アクセス データを入力してください。
PCM のワイヤレス インターネット アクセスへの接続が確立されます。

ボルシェ コネクトの利用

ボルシェ コネクト サービスを利用するためにはデータ接続が必要です。

- ▶ 「ボルシェ コネクト」の章 (227ページ) を参照してください。

インフォメーション

ボルシェ コネクトに関する詳細 (ヘルプ ビデオ、ボルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connectをご覧ください。

ボルシェ コネクト サービスの起動

ボルシェ コネクト サービスを初めてご利用になる場合、まず有効にする必要があります。

- ▶ ボルシェ コネクト サービスを www.porsche.com/connect から有効にします。

ナビゲーション システムおよびボイス コントロール システムのサービスを使用する

- My Porsche からナビゲーション目的地を入力したり、ポータルリスト施設またはその他カテゴリの施設情報をロードしたりした場合に使用できるオンライン検索。
- 追加の地図画面。
- インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報。
- 音声入力でメッセージとオンライン言語検索を行います。

「アプリ」メニューのサービスを利用する

- ▶ アプリ  を選択します。
利用可能なサービスが表示されます。

PCM における ボルシェ コネクト ユーザー (Porsche ID 保有) のログイン

ボルシェ ID はペアリング コードを使用して PCM とリンクされています。これは、いくつかの接続サービスを使用して My Porsche からパーソナル設定を取得するのに必要です。

1. アプリ  ▶ オプション  ▶ Porsche ID 設定 ▶ 新しいボルシェ ID をリンクさせる

2. My Porsche からサービスを正常起動した後に表示されるペアリング コードを入力します。
ユーザーがログインすると、 シンボルがヘッダーに表示されます。

PCM における ボルシェ コネクト ユーザー (- Porsche ID 保有) のログアウト

- ✓ ボルシェ コネクト ユーザーが作成され登録されます。

- ▶ アプリ  ▶  [ヘッダー部]
ユーザーはログアウトしました。

PCM における ボルシェ コネクト ユーザー (- Porsche ID 保有) の管理

- ✓ ボルシェ コネクト ユーザーが作成され登録されます。

- ▶ アプリ  ▶ オプション  ▶ Porsche ID 設定 ▶ ご希望のアクションを選択します。

- 新しいボルシェ ID をリンクさせる
- 削除
- 設定
- Porsche ID のログアウト : 現在ログイン中のユーザーがログアウトします。

サービス情報の表示

- ▶ アプリ  ▶ オプション  ▶ サービス情報
購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

i インフォメーション

- ポルシェ コネクト サービス (カー コネクト サービスを含む、セーフティおよびセキュリティ サービスを除く) はサービス パッケージおよび国により期間は異なりますが、3 カ月以上の無料利用期間を提供しております。無料利用期間についての詳細なインフォメーション、およびそれ以降の費用とお住まいの国で利用可能な各サービスについてのインフォメーションは www.porsche.com/connect またはポルシェ正規販売店から入手できます。
- 国により、ポルシェ コネクト サービスは内蔵 SIM、またはデータ対応の外部 SIM カードによりご利用になれます。外部 SIM カードは、携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては (また海外で使用する場合は)、インターネットからデータパッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。
- サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

ポルシェ コネクトの設定変更

- ▶ **設定**  ▶ ポルシェ コネクト ▶ 希望の設定を選択します。

アプリ

国によって、さまざまなアプリが車両で利用可能です (Apple App Store または GOOGLE® Play Store からダウンロード)。

1. 名前と機能の変更は保護されています

⚠ 警告

運転中のアプリの設定変更および操作

運転中にアプリの設定や操作を行うと、交通状況から注意がそらされる危険があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ アプリの操作および設定は、必ず車両を完全に停止してから行ってください。

i インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connect をご覧ください。

ポルシェ コネクト アプリ1

このアプリは、車両と携帯電話のネットワークを提供します。

個人的に設定した POI (施設情報)、アドレス帳から選んだ目的地、カレンダー入力を携帯電話から PCM に転送することができます。国によっては、必要なアプリをインストールしてアカウントを作成すれば、音楽ストリーミング機能を使用して曲にアクセスできます。

WiFi 経由でアプリを PCM に接続し、PCM でアプリを起動する

- ✓ アプリが携帯電話にインストールされている (- Apple App Store または GOOGLE® Play Store からダウンロード)。
- ✓ アプリが起動している。
- ✓ 携帯電話で WiFi が有効になっている。
- ✓ PCM で WiFi 機能を有効にしている。

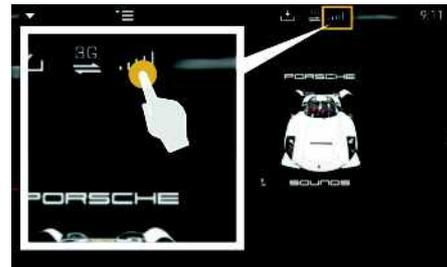


図 155 : デバイス マネージャーを開く

1. PCM の WiFi アクセス データを表示し、携帯電話と PCM との WiFi 接続を確認します。
 - a. ヘッドラインの  または  を選択します (接続状況により異なる) ▶ オプション  ▶ PCM ホットスポット
PCM のホットスポット名およびパスワードが表示されます。
 - b. PCM の WiFi アクセス データを携帯電話の WiFi 設定に入力します。
2. アプリ  を選択します。
アプリの利用可能なコンテンツが表示されます。

i インフォメーション

- このアプリは車両固有データおよびその他の機能にアクセスするために使用できるので、第三者による不正なアクセスを防いでこのデータを保護することが推奨されています。
- このアプリを使用すると、携帯電話通信ネットワークでデータが送信されるため、ご利用のサービス プロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

あ

ボルシェ「Good to know」アプリ¹

一部の国では、2013年モデル以降の車両において、マルチメディア取扱説明書をデジタルデバイスでこのアプリにより利用できます。インストール後、該当車両用に適切なコンテンツパッケージをダウンロードできます。

▷ 「取扱説明書 – デジタル」の章（3ページ）を参照してください。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

1. 名前と機能の変更は保護されています

ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

概要 - PCM

この概要説明は、本項に記載された完全な説明に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 156 : PCM ロータリー プッシュ ボタンおよびボリューム スイッチ



図 157 : タッチ ディスプレイ エリア

希望する操作	操作方法	操作場所
PCM を ON にする	▶ イグニッションを ON にするか、ボリューム スイッチ B を押します。	-
PCM を OFF にする	▶ イグニッションを OFF にするか、ボリューム スイッチ B を長押しします。	-
音量を調節する	▶ ボリューム スイッチ B を回します。ミュート : ボリューム スイッチ B を短く押します。	-
PCM を操作する	▶ ロータリー プッシュ ボタン A で PCM を操作します。	▶ p. 236
メイン メニューおよびサブメニューの内容を使用する	▶ メニュー エリア C およびインタラクション エリア E を使用します。	▶ p. 235
コンテキスト依存検索機能およびオプション、ディスプレイ接続、ステータス シンボル、戻る機能を使用する	▶ ステータス エリア D を使用します。	▶ p. 233

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

	希望する操作	操作方法	操作場所
あ	ホーム画面を開く	▶ ステータス エリア D  を選択します。	▷ p. 233
か	Info Widget を開いて使用する	▶ すべてのメニュー中の Info Widget F を開いて使 用します。	▷ p. 234
さ	ホーム画面 / Info Widget を設定する	▶  ▶ オプション  ▶ ホームを設定/インフォ ウィジェットを設定する	▷ p. 237
た	セット アップ ウィザードを呼び出す	初めて PCM を起動する場合、セットアップ ウィ ザードが表示され、PCM 設定の重要なステップを案内 します。 ▶ 設定  ▶ セットアップ ウィザード	-
な	システムおよび車両設定を変更する	▶ 車両  ▶ 制御 	▷ p. 135

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ダッシュボードのタッチ ディスプレイ

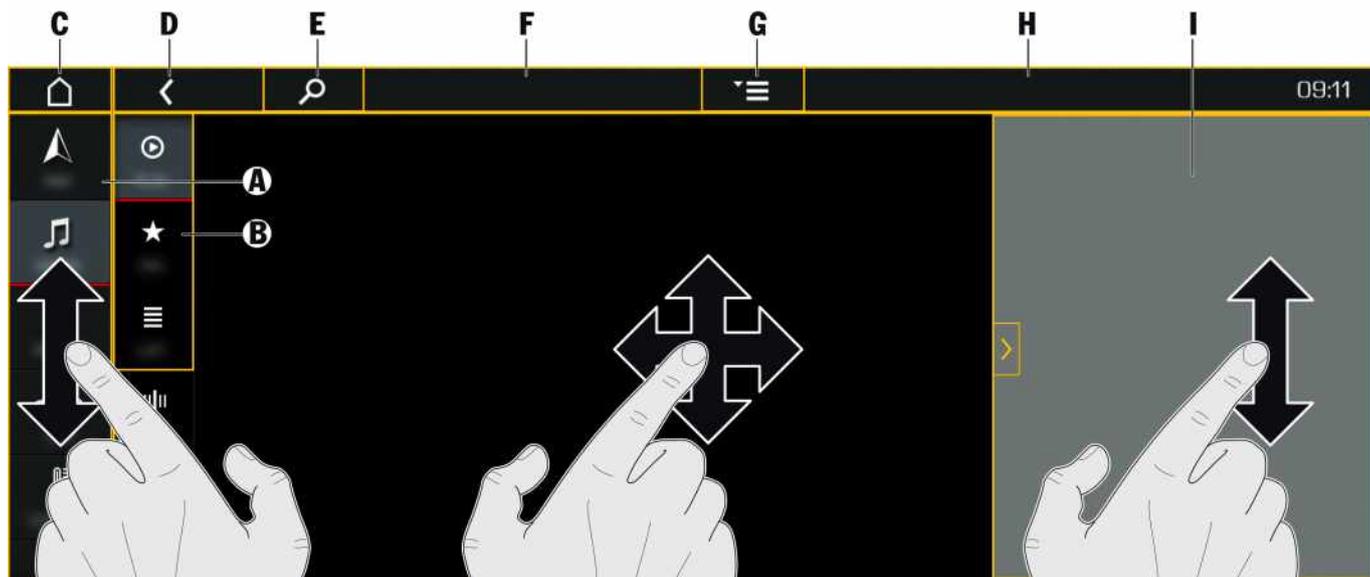


図 158 : ダッシュボードのタッチ ディスプレイ コントロール

A - メインメニュー

- ▶ 「メニューを開く」の章（236ページ）を参照してください。

B - サブメニュー

設定によっては、サブメニューは非表示になっており、操作者の手がタッチディスプレイに近づくと、メインメニューが表示されます。

- ▶ 「車両設定」の章（135ページ）を参照してください。

C - ホーム画面

新車出荷時に設定された機能および個別に設定された機能が表示されます。

さまざまなカテゴリーのコンテンツを個別にタイルにグループ分けすることができます。タイルによって、該当するメニューに直接ジャンプしたり、機能に直接アクセスしたりすることができます。

さまざまなレイアウトを設定できます。

- ▶ 「ホーム画面および Info Widget」の章（237ページ）を参照してください。

D - 戻る

E - コンテキスト依存検索

F - クイック選択付きのヘッダー

例えば、選択したメディアソースが表示されます。クイック選択をタップして開いてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

G -各メニュー項目のオプションおよびショートオプション (最も重要な設定)

H - 接続およびステータス シンボル

各種の機能および温度や時間などが表示されます。クイック選択をタップして開いてください。

I - 情報ウィジェット

 を開くと、新車出荷時に設定された機能および個別に設定された機能が表示されます。上下にスワイプすると、情報ウィジェットが変わります。さまざまなカテゴリーのコンテンツを個別にタイルにグループ分けすることができます。タイルによって、該当するメニューに直接ジャンプしたり、機能に直接アクセスしたりすることができます。さまざまなレイアウトを設定できます。

- ▷ 「ホーム画面および Info Widget」の章 (237 ページ) を参照してください。

リヤのタッチ ディスプレイ

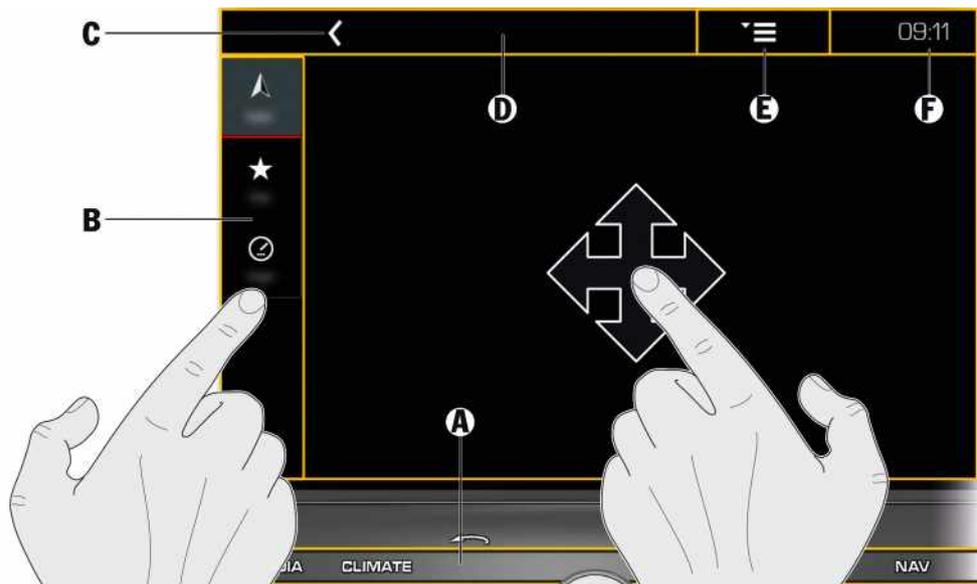


図 159: リヤのタッチ ディスプレイ コントロール

A - メイン メニュー

▶ 「メニューを開く」の章 (236ページ) を参照してください。

B - サブメニュー**C - 戻る****D - ヘッダー**

例えば、選択したメディア ソースが表示されます。クイック選択をタップして開いてください。

E - メニュー ポイントごとのオプション**F - 時刻または外気温ディスプレイ****操作に関する重要なインフォメーション**

ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) はセントラル コントロール ユニットです。バッテリーを保護するため、PCMはイグニッションをOFFにしてから数分経過すると自動的にOFFになります。

安全の理由で、車両が固定されているときしか使用できない機能も一部あります。

**警告**

運転中のアプリの設定変更および操作

マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの設定と操作は、交通状況に対する注意が逸らされる危険があります。車両

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合にのみコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全を確保できない場合は、車列を離れ車両を停車してから詳細な操作や設定を行ってください。

タッチディスプレイの操作

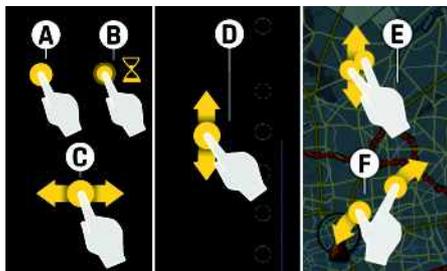


図 160: タッチディスプレイの操作

A - タッチ (選択)

タッチスクリーンを指で素早くタッチしてください。例: 機能を選択またはツールボックスを作動/停止します。

B - 長押し

タッチスクリーンを指でより長くタッチしてください。例: メディアメインメニューで放送局を保存する。

C - 左右にスワイプ

タッチスクリーンを指で左右にスワイプします。例: お気に入りを入りを左右にスクロールします。

D - 上下にスワイプ (スクロールおよび切り替え)

タッチスクリーンを指で上下にスワイプしてください。例: 手動でリストを探るかまたはインフォウィジェットを切替えます。

E - 上下にスワイプ (切り替え)

タッチスクリーンを 2 本の指を使って上下にスワイプするとナビゲーションメインメニューの地図が傾きます。

F - ズーム

2本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めてください。タッチディスプレイを 2 回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。

ロータリー プッシュ ボタンとボタンで PCM を操作する

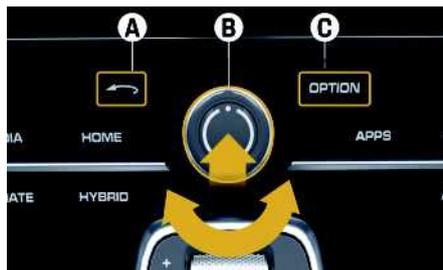


図 161: ロータリー プッシュ ボタンの使用

- ▶ 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー プッシュ ボタン **B** を回します。
- ▶ ハイライトされた機能を有効にするには、ロータリー プッシュ ボタン **B** を押します。
- ▶ ボタン **A** で 1 つ前のメニューへ移動します。
- ▶ 各メニュー項目の最も重要な設定を開くには、オプション ボタン **C** を使用します。

メニューを開く

メインメニューを開く

- ▶ センター アームレストのボタン (例: **NAV**) またはタッチディスプレイのボタン (例: **ナビ**) を押します。

サブメニューの呼び出し

- ▶ タッチディスプレイでメニュー項目 (例: **マップ**) を選択します。

各メニュー項目の設定を開く

- ✓ 希望のメニューが選択されている。

- ▶ **オプション** を選択します。該当するメニューの設定および他の機能が表示されます。

時刻または温度ディスプレイの設定

- ▶ ヘッドラインの時刻 **9:11** または温度を選択して、ディスプレイを調節します。

PCM およびディスプレイの明るさを調節するには:

- ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

テキストおよび文字の入力

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要があるときは、入力フィールドが表示されます。

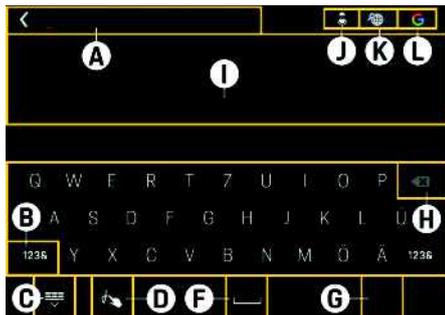


図 162 : タッチ ディスプレイ キーボード

- A 現在のカーソル位置
- B 文字、数字、および特殊文字の入力切り替え
- C キーボードの表示 / 非表示
- D 手書き入力 (タッチ ディスプレイを使用してアルファベットや文字を入力する)
- E キーボードの調整 (国別仕様による)
- F スペースの挿入
- G 入力の確定
- H 入力データの削除
- I 結果リスト
- J ボイス入力
- K 統合検索 (PCM およびオンライン コンテンツの検索)
- L オンライン検索 (国によってはご利用いただけない場合があります)

テキストおよび文字を入力するために、様々な方法があります。

キーボードによる入力

1. 入力フィールドを選択します。
タッチ ディスプレイ キーボードが表示されます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。
3. アクセントやウムラウトなどを入力するには、希望の文字をより長く押してください。
アクセントやウムラウトが表示されたウィンドウが開きます。

ロータリー プッシュ ボタンによる入力

1. 希望のアルファベットや文字がハイライト表示されるまで、ロータリー プッシュ ボタンを回します (図 161)。
2. ロータリー プッシュ ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。
3. ボタン A を使用して、文字入力フィールドから結果リストへジャンプします。
4. ボタン A を使用して、文字入力フィールドから結果リストへジャンプします。

手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。

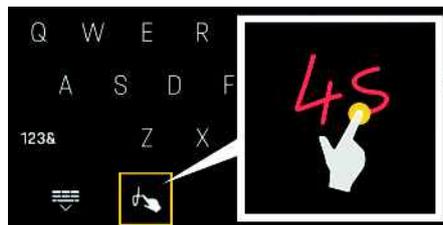


図 163 : 手書き入力

1. を選択して手書き入力に切り替えます。
2. 指で希望のテキストや文字を書いてください。
3. スペースを入れるには、左から右に指でスワイプしてください (メニュー言語の字方向が右から左の場合: 字方向にご注意ください)。
4. スペースを消去するには、左から右に指でスワイプしてください (メニュー言語の字方向が右から左の場合: 字方向にご注意ください)。

ボイス入力での入力

ボイスコントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例: 電話番号をダイヤルする

ときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。
▶ 「ボイスコントロール」の章 (218ページ) を参照してください。

ホーム画面および Info Widget

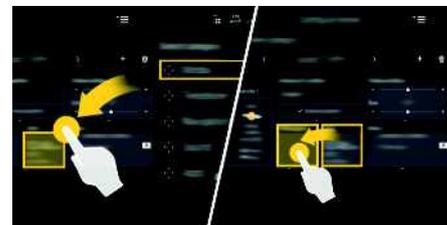


図 164 : ホーム画面の設定

ホーム画面の設定

1. ▶ オプション ▶ ホームを設定
2. 希望するカテゴリーを選択し、ドラッグアンドドロップで、左側にあるレイアウト上の任意のタイルを選択したまま、ドラッグしてください。
3. タイルをスワイプして、希望の表示内容を選択してください。
4. 左側のレイアウトからタイルを取り除くには、ドラッグアンドドロップで削除したいタイルを上方向にドラッグするか、別のタイルと入れ替えてください。

- ▶ をタップして、別のレイアウトを設定します。
- ▶ または をタップして、レイアウトを切り替えます。
確認をタップして、変更を確認します。
- ▶ をタップして、レイアウトを削除します。

i インフォメーション

タイトルは、他の任意のタイトルにドラッグアンドドロップで移動させることもできます。

ホーム画面からのタイトルの削除

▶ ▶ オプション ▶ 削除モードを有効にする

Info widget の設定

1. ▶ オプション ▶ インフォウィジェットを設定する
2. 希望するカテゴリーを選択し、ドラッグアンドドロップで必要なタイトルを左側にあるレイアウト上のいずれかのタイトルに選択したままドラッグしてください。
3. タイトルをスワイプして、希望の表示内容を選択してください。
4. 左側のレイアウトからタイトルを取り除くには、ドラッグアンドドロップで削除したいタイトルを上方向にドラッグするか、別のタイトルと入れ替えてください。

Info widget のレイアウトを設定するには、**レイアウト**を選択します。

i インフォメーション

タイトルは、他の任意のタイトルにドラッグアンドドロップで移動させることもできます。

Info widget からのタイトルの削除

▶ ▶ オプション ▶ インフォウィジェットを設定する ▶ オプション ▶ 削除モードを有効にする

PCM で取扱説明書を開く

✓ 停車している。

▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 取扱説明書

インターフェースおよび外部接続機器に関する注意事項

- 記憶媒体にファイル、フォルダーまたはプレイリストが多数格納されている場合、媒体のトラックを最初に読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオファイルの再生時は、記録された追加情報 (アーティスト、タイトル、アルバムカバーなど) が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なオンラインデータベースが利用されます。¹それでも特定の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルやアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
- USB ハブには対応していません。
- ボルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。
- 外気温が異常に高いまたは低いときは、一時的に CD/DVD が再生できなくなる場合があります。CD/DVD およびドライブを保護するために、熱保護回路が搭載されています。
- PCM は、コピー プロテクト機能付きの CD/DVD または規格に準拠していない CD/DVD を再生できない場合があります。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ:

▶ 「ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (297ページ) を参照してください。

インターフェース

グローブボックスのインターフェースの使用

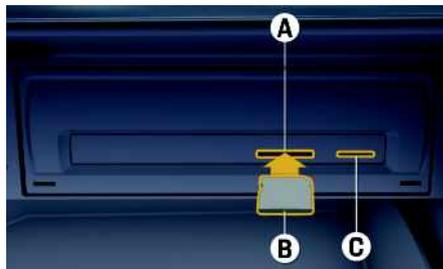


図 165 : PCM ドライブ

- A SD カードリーダー
- B SD カード
- C SIM カードリーダー

SD カードの挿入

知識

SD カードを正しく使用しない場合、ボルシェ コミュニケーション マネージメント を損傷する恐れがあります。

SD カード アダプターを使用すると、振動により SD カードがアダプターから外れて各カードが SD カード

1. 必要条件: データ接続が確立されている。

リーダーに詰まる恐れがあります。

- ▶ SD カード アダプターは使用しないでください。

1. SD カード B のラベル面を上にして、SD カードリーダー 1 または 2 A (図 165) にカチッと音がするまで差し込みます。
2. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択します。

SD カードの取り出し

- ▶ 挿入されている SD カード B (図 165) を押し取り出します。

SIM カードの挿入および取り出し

- ▶ 「電話」の章 (177 ページ) を参照してください。

USB を介した外部機器の接続



図 166 : センター コンソールの USB インターフェース

1. センター アームレストを開きます。
2. 外部機器 (iPod、USB 記憶デバイスなど) を USB インターフェース (タイプ C) に接続します。
3. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択します。
4. 必要に応じて、外部機器および PCM の音量を調節します。

リヤ センター アームレストにも別の USB インターフェース (タイプ C) があります。Apple CarPlay 機能を含む USB インターフェースに関する情報については、下記をご覧ください。

- ▶ 「Apple CarPlay」の章 (278 ページ) を参照してください。

ラゲッジ コンパートメントの DVD チェンジャーの使用

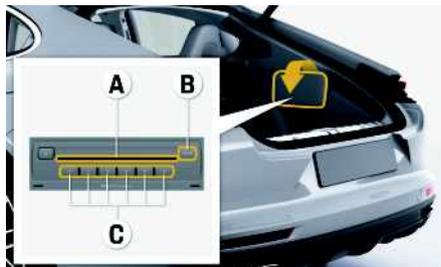


図 167 : DVD チェンジャー

- A CD/DVD スロット
- B CD/DVD ロード ボタン
- C CD/DVD ポジション ボタン

⚠ 注意

怪我をする恐れがあります

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。DVD チェンジャーは、クラス 1 レーザー製品です。

- ▶ ハウジングを分解しないでください。メンテナンス作業が必要になった場合は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。

CD/DVD の挿入およびロード

知識

CD/DVD を正しく使用しないと、DVD チェンジャーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 直径 12 cm の丸型で標準の CD/DVD のみを使用します。
- ▶ CD/DVD は、端のみ触れてください。書き込みがされていない面には触れないでください。
- ▶ CD/DVD は清潔に保ち、必要に応じて拭いてください。
- ▶ CD/DVD には何も貼り付けしないでください。
- ▶ CD/DVD を変形させないでください。
- ▶ CD/DVD をドライブに無理に押し込んだり、取り出したりしないでください。

1. CD/DVD ロード ボタン B を押します。CD/DVD のロードの準備ができたなら、CD/DVD スロット A のインジケータ ライトが緑色に点滅します。CD/DVD チェンジャーの準備ができていない場合、CD/DVD スロット A のインジケータ ライトは赤色に点灯します。
2. CD/DVD のラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまで CD/DVD スロット A に挿入してください。CD/DVD が自動的に最初のポジションにロードされます。対応するポジション ボタン C のインジケータ ライトが点滅します。
— または —
CD/DVD を特定のポジションにロードするには、該当するポジション ボタン C を押し、CD/DVD を CD/DVD スロット A に押し込んでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

CD/DVD の取り出し

1. ボタン  を押します。
2. 取り出したい CD/DVD のボタンを押します。
3. CD/DVD を取り出します。
4. すべての CD/DVD を取り出すには、ボタン  を約 3 秒間長押しします。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボンネット

ボンネットを開く

知識

ボンネットまたはフロント ウィンドウ ワイパーを損傷する恐れがあります。

- ▶ ボンネットを開くときは、ワイパーが起きていないことを確認してください。
- ▶ エンジンコンパートメントリッドを開く前に、必ずフロントウィンドウワイパーをOFF（ワイパーレバーを0の位置）にしてください。ワイパーアームが停止位置にない場合、イグニッションがOFFのときでもボンネットが開いている状態では、ワイパーがその位置に自動的に移動します。
- ▶ ワイパーアームはボンネットを閉じて、フロントワイパーをOFFにしてから再度ONにするまでの位置になります。

- ▶ 「フロントワイパー」の章（212ページ）を参照してください。



図168：ボンネットの解除

1. 運転席ドアを開いてください。
2. リリースレバーを引いてください。



図169：ボンネットを開く

3. ボンネットを少し持ち上げ、リリースレバーを押します。
4. ボンネットを完全に開きます。

ボンネットを閉じる

注意

重いボンネット

半分開いた状態のボンネットを閉じるとき、ボンネット自体の重さを利用してロックすることができます。

- ▶ 可動部品（ヒンジ）やボンネット下に物を置いたり、指を挟んだりしないように注意してください。

1. 半分開いたボンネットは、半分開いた状態からロック部に落としてロックしてください。必要に応じて、ロック部分を手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください。
2. ボンネットが確実にロックされ、リリースレバー（図168）が初期位置に戻っていることを確認してください。
- ▶ ボンネットが正しく閉じられていない場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。ボンネットを再び開き、そこで手を放してリッドを落とし、ロックしてください。必要に応じて、ロック周囲を手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください。

歩行者保護

フロントバンパーのセンサーは、乗客または同様の物体との衝突を検出します。その後、ボンネットの後部部分が、衝突の力を減少させるために飛び出します。

注意

歩行者保護が起動しない

衝突後に歩行者保護が起動しない場合は、システムが故障している可能性があります。

- ▶ 起動しなかった場合、歩行者保護システムを点検する必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

歩行者保護が起動してからボンネットを閉じる

歩行者保護が起動した場合は、メッセージがインストルメントパネルに表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。



図170：歩行者保護

1. ボンネットの後部の各側面を下へ連続して強く押し、ヒンジ (図 170) が作用するようにします。
2. ボンネットの後部を持ち上げて、正確に作用していることを確認します。
3. 契機となった歩行者保護装置システムを交換してください。
 - ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

歩行者保護システム エラー

故障の場合には、警告メッセージがインストルメントパネルに表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86ページ) を参照してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ミラー

警告

ドア ミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面のミラーには車両や物体が実際より小さく、また実際より遠くにあるように映ります。走行状況および事故を正しく評価できない場合があります。

- ▶ 後方の車両との距離を推測する際や駐車する際、ミラーにはゆがんで映るということを考慮に入れてください。
- ▶ 距離を判断する際にはルーム ミラーも使用してください。

注意

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

知識

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

知識

洗車機で洗車を行う場合にドア ミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドア ミラーを格納してください。
- ▶ 電動ドア ミラーの格納 / 復帰を手動で動かさないでください。

ドア ミラーの使用

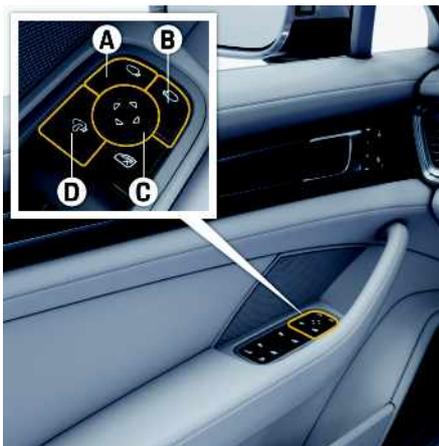


図 171 : ドア ミラー コントロール パネル

- A 運転席側のドア ミラーの選択
- B 助手席側のドア ミラーの選択
- C ドア ミラーの調節
- D ドア ミラーの格納および復帰

ドア ミラーの調節



図 172 : ドア ミラーの調節

- ✓ イグニッションを ON または OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態 (最大 10 分以内)。
- 1. ボタン A または B を押して、操作するドア ミラーを選択します。
選択したボタンのインジケーター ライトが点灯します。
- 2. 調節ボタン C を押して、ドア ミラーの角度を正しい位置に調節します。

電動機能が故障した場合

- ▶ ミラーの表面を押してミラーを調節します。

外部 ミラーの格納/復帰

車内からのドア ミラーの格納および復帰

- ✓ 約 50 km/h (30 mph) の最高速度。
- ▶ ボタン D (図 171) を押します。
ドア ミラーが格納または復帰します。

- ▶ 手でドア ミラーの格納や復帰をしないでください。

ドア ミラーの自動格納および復帰

ロック時のドア ミラーの格納

- ▶ キーのボタンを少なくとも 2 秒間押し続けるか、運転席ドア ハンドルの近接センサー (装備による) に少なくとも 2 秒間触れ続けてください。ドア ミラーが格納します。

ドア ミラーの自動格納

- ✓ 機能が作動している。
 - ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。
 - ▶ 車両をロックします。ドア ミラーが格納します。

ドア ミラーの自動復帰

- ▶ ドアをロック解除します。ドア ミラーが復帰します。

i インフォメーション

手動でドア ミラーを格納した場合はドア ロックを解除した後、自動的に元の位置には復帰しません。

駐車時の助手席ドア ミラー下向き自動切り替え

リバース ギヤを選択すると、助手席側のドア ミラーが自動的に少し下向きになり、助手席側の車両後下部にある障害物を視認しやすくなります。

ドア ミラーを自動で下向きにする

- ✓ イグニッションを ON にしてください。
- ✓ 機能が作動しています。
 - ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

ドア ミラーを手動で下向きにする

1. ギヤをリバース (後退) に入れてください。運転席ドア ミラーを調節するためのボタン A のインジケーター ライトが点灯します。
2. 助手席側ドア ミラーを調節するにはボタン B を押してください。助手席のドア ミラーが下向きになります。

ドア ミラーの下向き角度の個別調整

- ▶ ボタン C を押して、ドア ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

ドア ミラーを通常位置に戻す

車両速度が 15 km/h 以上に達すると、ドア ミラーが通常的位置に戻ります。

手動で助手席のドア ミラーを通常位置に戻す:

- ▶ 運転席ドア ミラーのボタン A を押してください。

ドア ミラー設定の保存

ドア ミラー設定の保存と呼び出しに関するインフォメーション:

- ▶ 「パーソナル設定」の章 (203ページ) を参照してください。

自動防眩機能の使用

明るい光がルーム ミラーに当たるとすぐに、ルーム ミラーおよびドア ミラーはそれぞれ自動的に暗い位置に変わります。

リバース ギヤに入れた場合、またはルーム ライトが点灯している場合は、ミラーの自動防眩機能は作動しません。

同様に、ルーム ミラーに、またはフロント ウィンドウを通過してフロント ライト センサーに照射される光をステッカー等で妨げないようにしてください。

- ▶ ルーム ミラーの前のフロント ガラス、またはリア

ウィンドウにはいかなるステッカーも添付しないでください。

- ▶ ラゲッジ コンパートメント カバーの上に物を置いたまま運搬しないでください。
- ▶ ラゲッジ コンパートメントに荷物を安全に格納して、ラゲッジ コンパートメントのふたを閉じてください。

メディア

概要 - メディア

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (231ページ) を参照してください。

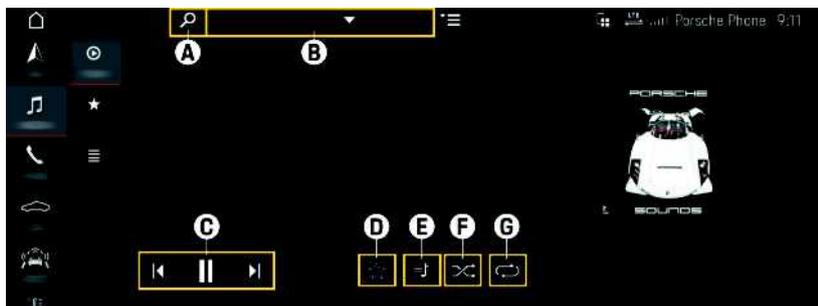


図 173：メディアを再生する

希望する操作	操作方法	操作場所
メディア ソースを読み込む	<ul style="list-style-type: none"> - CD/DVD を挿入してください。 - SD カードを挿入してください。 - USB を介して外部機器を接続します。 	▶ p. 231
	<ul style="list-style-type: none"> - Bluetooth® を介して外部機器を接続します。 	▶ p. 163
放送局 / トラック / アルバムを検索する (検索結果は現在選択されているメディア ソースに関連したものです)	▶ メディア ▶ メディアの検索を行う (A を参照) ▶ 希望の放送局 / トラックを入力します。	-
メディア ソース / 受信範囲を選択する	▶ メディア ▶ 再生 ▶ メディア ソースを呼び出します (B を参照) ▶ メディア ソースを選択します (例：FM)。	-
音楽を再生 / 一時停止する	▶ メディア ▶ 再生 ▶ または を選択します (C を参照)。	-

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

希望する操作	操作方法	操作場所
次 / 前の放送局 / トラックを再生する	▶ メディア ▶ 再生 ▶ または を選択します。	-
放送局 / トラック / アルバムをお気に入りとして保存する	▶ メディア ▶ (D を参照)	▶ p. 246
放送局 / トラックのリストを表示する	▶ メディア ▶ リスト 選択したメディア ソースに応じて、プレイリストやアーティストなどのサブフォルダーを利用できます。	-
周波数帯または番号を入力して選局する	▶ メディア ▶ チューン ▶ または を選択します。	-

メディアの再生

利用できるラジオおよびメディア ソース

ラジオは FM および AM (国による) 周波数帯をサポートしています。

装備によっては、次のメディア ソースが利用できます。CD/DVD チェンジャー、SD カード、USB または Bluetooth® 経由の外部機器、オンライン メディア サービス。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカル データ：

- ▶ 「ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (297 ページ) を参照してください。

メディア再生中の他の機能

- ✓ メディア ▶ 再生 が選択されています。概要説明の機能に加え、以下の機能が利用可能です：
 - 現在の再生リストを表示する： (E (図 173) を参照)

- ランダム再生を有効にする： (F (図 173) を参照)
- トラックをリピートする： (G (図 173) を参照)

お気に入りの保存および編集

お気に入りの保存

1. メディア ▶ お気に入り
2. 希望する放送局 / 曲を新しいトラックエリアから選択して、お気に入りエリアにドラッグ & ドロップで移動させます。

お気に入りの整理

1. メディア ▶ お気に入り
2. 希望する放送局 / 曲を押して、希望する場所へ移動させます (ドラッグ & ドロップ)。

お気に入りの削除

1. メディア ▶ お気に入り
2. 希望する放送局 / 曲を選択して、ドラッグ & ドロップでお気に入り表示エリアから上に移動させます。
- または -
利用可能な場合、アイコン をメディア ▶ 再生 リスト で選択してお気に入りエリアから以前保存したお気に入りを削除します。

メディア設定の変更

- ▶ メディア ▶ オプション ▶ 希望の設定を選択します。

ライト

ライトの概要説明

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 174 : ライトコントロールパネル

希望する操作	操作方法	操作場所
オートマチックヘッドライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ボタン  AUTO を押します。オートマチックヘッドライトとポルシェダイナミックライトシステム (PDLS/PDLS Plus) が ON になります。 	▷ p. 248
パーキングライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ボタン  を押します。ライセンスプレートライト、インストルメント照明、および車幅灯が ON になります。 	-
ロービームを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> ✓ イグニッションが ON になっている。 ▶ ボタン  を押します。ロービームが ON になります。オートマチックヘッドライト、デイトタイムドライビングライト、およびポルシェダイナミックライトシステム (PDLS/PDLS Plus) が OFF になります。 	-

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

希望する操作	操作方法	操作場所
リヤ フォグ ライトを ON にする	▶ ボタン  を押します。	—
エクステリア ライトを完全に OFF にする	▶ ボタン  を約 2 秒間押します。 ボタン  のインジケーター ライトが消灯します。すべてのエクステリア ライトは、10 km/h 以下または 100 m 以下の走行のときには消灯したままで	▶ p. 248

オートマチック ヘッドライト/エクステリア ライトのONとOFFを切り替える

警告 ライトが点灯していない状態での走行

ライトが点灯していない状態で走行すると、視界が大幅に悪くなり、他の通行者からも車両が見えていない恐れがあります。

- ▶ オートマチック ヘッドライトを慎重に監視し、必要に応じてロー ビーム ヘッドライトを手動で ON にします。
- ▶ 特定の国では、ロー ビーム ヘッドライトを使用した走行に関する法律を遵守してください。

自動ヘッドライトのスイッチをONにする

- ▶ ボタン  を押してください。オートマチック ヘッドライトが ON になります。以下のいずれかの状況で前照灯のスイッチは自動的に ON になります：
 - 夕暮れ時
 - 夜間
 - トンネル内走行時
 - 雨天時

前照灯のスイッチがONの場合、インストルメント クラスタ上の表示灯  が点きます。

i インフォメーション

オートマチック ヘッドライトは、霧を感知しません。

- ▶ 霧の場合には、前照灯と後部フォグライトのスイッチを手動で入れてください。

エクステリア ライトを完全にOFFにします

- ▶ ボタン  を約2秒押してください。ボタン  のインジケーター ライトが消灯します。

自動ライトのスイッチは、以下の状況(国による)で再び入れられます：

- 10km/hの速度から
- エクステリア ライトのスイッチを切った後に、100m以上の距離を走行した場合

雨天時の機能

継続的なワイパー操作が検出される場合、前照灯のスイッチは自動的に入れられます。ワイパーが休止した場合、前照灯はOFFに切り替えられます。

i インフォメーション

気温と湿度により、車両のエクステリア ライトが曇ることがあります。十分な距離を走行することで、この曇りは取れます。

オートマチック カミング ホーム ライトの調整

✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっている。

暗闇での視界が改善され、車両からの乗り降りができるように、以下のライトのスイッチは一定期間ONのままです。

- デイタイム ドライビング ライト*
- 折り畳まれた外部ミラーのドア車内灯
- 前部と後部のサイド マーカー ライト
- ライセンス ライト

ウェルカム ホーム機能 (遅延消灯)

車両がロックされている場合、遅延消灯の間、ライトのスイッチをONのままにします。

- ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

エントリー/イグジット機能

車両がロックされていない場合、設定された遅延消灯の間、車両周辺の領域が照らされます。以下の場合は、ライトが消灯します：

- イグニッションがONになっている。
- オートマチック ヘッドライトのスイッチOFF

- ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。

ポルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)

- ✓ PDLS を含む LED ヘッドライト。
- ✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっています。

スタティック コーナーリング ライト

最大130km/hの速度で、ハンドルを回転させると、静的コーナーリングライトのスイッチをONにします。

ダイナミック コーナーリング ライト

約5km/hの速度以上で、前照灯またはハイビームヘッドライトは、車両の速度とハンドルが向けられる範囲に応じて、道路をより明確に照らすために曲がる方向に回転します。

状況ライト配光

国によって、状況ライトコントロールは、都市、田舎道、または高速道路ドライブに対する前照灯またはハイビームヘッドライトのライト配光に適應されます。

悪天候ライト

後部フォグライトのスイッチがONになった場合、前照灯の配光が、約60km/h未満の速度で変わります。ライトビームは広がり、眩しさが低減します。

ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)

- ✓ PDLS Plus が組み込まれた LED マトリックス ヘッドライト。
- ✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっている。

PDLS Plus は PDLS の機能も備えています。

- ▶ 「ポルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)」の章 (249ページ) を参照してください。

交差点ライト

曲がり角や交差点を検出するためにナビゲーションデータを使用し、これらをよりよく照らすために配光分布を変更します。

ダイナミック ハイ ビーム

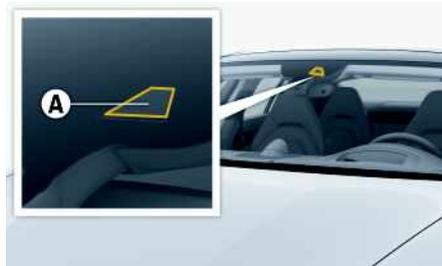


図 175：フロント ウィンドウカメラ

ルーム ミラー付近に取り付けられたカメラ A により光源や他の通行者を検出することができます

(図 175)。他の車両の位置、スピードおよび他の環境や交通状況に応じて、ハイビームヘッドライトの各 LED セグメントを有効または無効にすることができます。車両の前方周囲のビームは低く、残りは高いままです。これにより他の通行者が眩惑することなく、確実に最も効果的な方法で環境を照らすことができます。

ダイナミック ハイビームは、ナビゲーションデータに応じて車速 30 km/h~60 km/h で ON または OFF になります。カメラが街路灯を検出すると、フルハイビームライトからロービームに切り替わります。

警告

ダイナミック ハイビームを動作させて運転している際の集中力低下

ダイナミック ハイビームを使用している場合でも、運転中にライトの状態、視界および交通状況などに応じて手動でハイビームを調整することはドライバーの責務です。このシステムはあくまでも補助的な機能のため、

運転時には細心の注意を払ってください。以下の状況では、手動の操作が必要となります。

- 雨、霧、雪、氷、多量の水しぶきなどの悪天候時。
 - 自動車専用道路など、対向車が一部確認しづらい道路。
 - 自転車など、暗い照明の通行者がいる場合。
 - 狭いカーブ、急な傾斜路の頂上や山道。
 - 照明の暗い市街地。
 - 標識などの強い反射が発生する場合。
 - カメラ部分のフロント ウィンドウが曇っている、汚れている、氷で覆われている、あるいはステッカーで塞がれている場合。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、ハイビームを照明、視界、交通状況に手動で合わせてください。

i インフォメーション

検出挙動を妨害しないようにすること：

- ▶ ルーム ミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

パッシングライト

- ✓ 対向車なし。
- ✓ 前走車。
- ▶ 運転中に追い越す場合、方向指示灯を動作させてください。

前方走行車両の隣の領域が明るく照らされます。

これにより、前方の道路が見やすくなります。

ターンシグナルが OFF になった場合または対向車が検出された場合、パッシングライトは自動的に再び OFF になります。

検知ライト

- ✓ 前走車なし。
 - ✓ ヘッドライトを点灯した対向車の検出。
- 走行中のレーンが明るく照らされるように、配光特性が素早く変わります。こうすることで、視線が走行中のレーンに向くようになります。対向車によるドライバーの眩惑を軽減します。

標識の眩しさの軽減

- ✓ ダイナミック ハイ ビームが ON になっている。
- 反射式の交通標識や他の標識の眩しさによって (特にハイビームを使用して運転する際) ドライバーが眩惑する場合があります。
- 標識の眩しさ軽減機能は、素早く車両のローまたはハイビームヘッドライトの各 LED セグメントを適切に調整します。反射式の交通標識や他の標識による、ドライバーの眩惑を軽減します。

方向指示器 / ハイビームレバーの操作

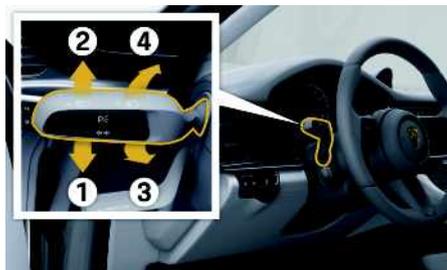


図 176 : 方向指示器、ハイビーム、およびヘッドライトパッシングの操作

- 1 方向指示器 / 左パーキングライト
- 2 方向指示器 / 右パーキングライト
- 3 ハイビーム / ダイナミックハイビーム
- 4 ヘッドライトパッシング

方向指示器の操作

- ▶ 抵抗を感じる位置 1 または 2 まで操作レバーを押ししてください。方向指示器は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリングホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。

コンフォート方向指示

- ▶ 抵抗を感じる位置 1 または 2 まで操作レバーを 1 度押ししてください。方向指示器が 3 回点滅します。
- ▶ コンフォート方向指示を中断するには、反対方向に操作レバーを押します。

ハイビームの ON および OFF の切り替え

- ✓ PDLs Plus 非装備車
 - または -
 - LEDマトリックスハイビームアシストの設定が無効になっている。

ON にする

- ▶ 抵抗を感じる位置 3 まで操作レバーを 1 度押ししてください。
- インジケータライト  が点灯します。

OFF にする

- ▶ 抵抗を感じる位置 4 まで操作レバーを 1 度押ししてください。
- インジケータライト  が消灯します。

ダイナミックハイビームの作動 / 停止

- ✓ PDLs Plus 装備車。
- ✓ オートマチックヘッドライトが ON になっている。
- ✓ LEDマトリックスハイビームアシストの設定が無効になっている。
- ▶ 「車両設定」の章 (135 ページ) を参照してください。

作動

- ▶ 抵抗を感じる位置 3 まで操作レバーを 1 度押ししてください。
- インジケータライト  が点灯します。他の車両の位置や速度などのさまざまな要因に応じて、ハイビームヘッドライトの各 LED セグメントが点灯したり消灯したりします。ハイビームの部分的な点灯時または完全な点灯時には、インジケータライト  が点灯します。

停止

- ▶ 抵抗を感じる位置 4 まで操作レバーを 1 度押ししてください。
- インジケータライト  が ON になっているときのみ、ダイナミックハイビームを停止することができます。
- ダイナミックハイビームを停止した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイビームの点灯 / 消灯を切り替えることができます。

手動で ON にする

- ▶ 抵抗を感じる位置 3 まで操作レバーを 2 度押ししてください。
- インジケータライト  が点灯します。

手動で OFF にする

- ▶ 抵抗を感じる位置 4 まで操作レバーを 1 度押ししてください。
- インジケータライト  が消灯します。

ヘッドライトパッシングの操作

- ▶ 抵抗を感じる位置 4 まで操作レバーを短く 1 度押ししてください。
- インジケータライト  が短時間点灯します。

パーキングライトの ON/OFF の切り替え

- ✓ イグニッションが OFF になっている。

- ▶ 抵抗を感じる位置 2 または 1 まで操作レバーを押すと、右または左のパーキングライトが点灯します。パーキングライトが点灯している場合は、イグニッションを OFF にしてドアを開くとインストールメントパネルにメッセージが表示されます。

ハザードライトの ON/OFF



図 177: ハザードライトの ON/OFF

ハザードライトの ON/OFF

- ▶ センターコンソールのボタンを押してください。すべての方向指示器とボタンが点滅します。

緊急ブレーキ後のハザードライトの解除

- 約 70 km/h 以上の速度で走行中、停車するために急ブレーキをかけるとハザードライトが自動的に作動します。ブレーキ中にブレーキライトが点滅します。
- ▶ センターコンソールのハザードライトボタンを押して、ハザードライトを消灯してください。車両が動き出すと、ハザードライトは自動的に消灯します。

事故後のハザードライト

エアバッグが作動する事故が起きた場合、ハザードライトが自動的に作動します。

海外モードの起動

車両通行帯 (右側通行または左側通行) が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトの配光特性を調節する必要があります。これによりロービームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

ライト配光の適応は、通常はナビゲーションデータに基づいて自動的に行われます。

変換後は、点火スイッチが入るたびに、メッセージがインストールメントクラスタに表示されます。

変換が自動的に起こらない場合:

- ▶ 「車両設定」の章 (135 ページ) を参照してください。
- ▶ 帰国した時は、ヘッドライトを元に戻すことを忘れないでください。

バルブの交換

室内灯と共に車両照明にも、発光ダイオードと長命 LED が装備されています。LED は個別に交換できません。

ランプの取り外しと取り付けは少々労力を必要とします。

- ▶ 常に、資格のある専門工場、欠陥のある電球とランプを交換または修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

摩耗と過剰な温度により、ヘッドライトが損傷する可能性があります。

- ▶ ヘッドライト エリアにカバー (ストーンガードやフィルムなど) を装着しないでください。

i インフォメーション

マトリックスビームを備えた LED ヘッドライトを特色とする車両で、前照灯の設定をチェックするためには、ボンネットを開けなければなりません。

- ▶ ヘッドライトの調整は、専用の調整装置を使用しているポルシェ正規販売店のみで実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ラゲッジ コンパートメント

荷物の積載


危険

有毒な排気ガスの吸い込み

リヤリッドが開いているか正しく閉じられておらず、エンジンが作動している場合、有毒な排気ガスが車内に入ることがあります。

- ▶ エンジン作動時には、必ずリヤリッドを完全に閉じたままにしてください。
- ▶ リヤリッドを開いた状態で走行しないでください。


警告

車両に荷物が載っている時の車両操縦性の変化

車両に載せた荷物に応じて、車両操縦性は変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。


警告

固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない荷物

固定されていない、または不適切な位置に載せられた荷物は、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、滑り出して乗員がケガをする恐れが

あります。

- ▶ 固定していない荷物を輸送しないでください(事故、ブレーキ、コーナリング)。
- ▶ 荷物は常にラゲッジ コンパートメントで輸送して、車内(座席の上または前など)には絶対に入れないでください。
- ▶ 可能であれば、シート バックレストで荷物を支えます。バックレストを常に固定します。
- ▶ バックレストが直立して固定されている場合にのみ重量物を輸送します。
- ▶ 可能な限り、空いている座席の後ろに荷物を置きます。
- ▶ 重量物はフロアからできるだけ遠くに置き、その後ろに軽量物を置きます。
- ▶ バックレストの上端より上には荷物を載せないでください。
- ▶ ラゲッジ コンパートメント カバー上に荷物を置いて走行しないでください。
- ▶ リヤシートが空いている場合、シートベルトでバックレストをさらに固定することができます。このために外側のシートベルトを横切らせて、反対側のそれぞれのベルトバックルにはめます。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中は小物入れカバーを必ず閉じます。


警告

不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を変更した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定を更新してください。

知識

リヤ ウィンドウおよびサイド ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物によるリヤウィンドウおよびサイドウィンドウの損傷に注意してください。

ラゲッジ コンパートメントの最大許容積載量は 200 kg です。床面全体に荷重がかかるように荷物を積載してください。

タイダウン ベルトで荷物を固定する

- ▶ 荷物を固定するために、伸縮性のあるベルトやストラップを使用しないでください。
- ▶ ベルトやストラップを鋭利な部分にかけないでください。
- ▶ 荷物の上でベルトを交差させてください。
- ▶ ベルトを手動でのみ締め付けてください。追加のテンション工具(ラatchet)を使用しないでください。
- ▶ タイダウン装置を使用する方向、および注意事項を遵守してください。

三角の警告灯および応急処置セットの取り外し¹



図 178 : ツイスト ロックとカバーを開く

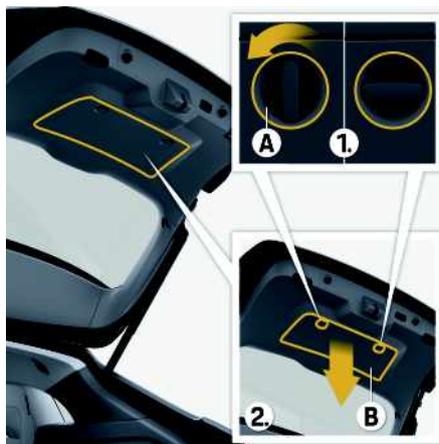


図 179 : ツイスト ロックとカバーを開く

✓ リヤリッドが開いている。

1. ツイスト ロック A (図 178) を時計回りに 90° 回します。
2. カバー B (図 180) を開きます。
- または -
1. ツイスト ロック A (図 179) を反時計回りに 90° 回します。
2. カバー B (図 181) を慎重に開きます。

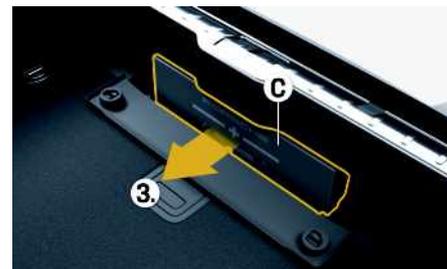


図 180 : 応急処置セットおよび三角の警告灯の取り外し

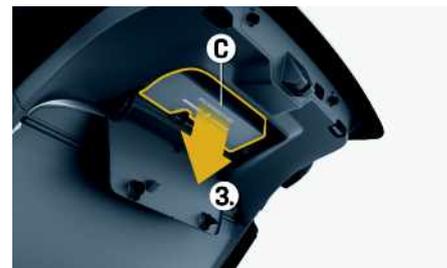


図 181 : 応急処置セットと三角停止表示板の取り外し

3. 三角の警告灯および応急処置セット C を取り外します。

1. 国によって異なります

ラゲッジコンパートメントフロアの開閉

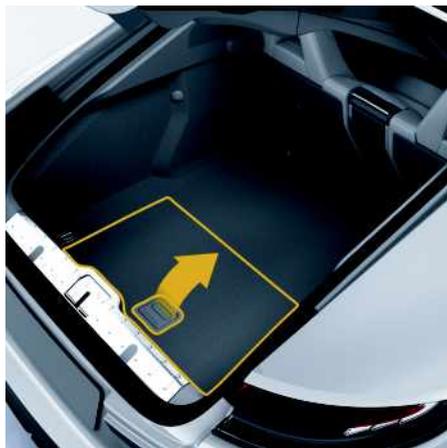


図 182：ラゲッジコンパートメントフロアを開く

ラゲッジコンパートメントフロアを開く

- ▶ ハンドルのフロントを下方向に押してから引き上げ、ラゲッジコンパートメントフロアを持ち上げます。

ラゲッジコンパートメントフロアを閉じる

- ▶ ラゲッジコンパートメントフロアを持ち上げ、閉じます。

車載工具の取り外し

車載工具は、ラゲッジコンパートメントフロアの下に収納されています。

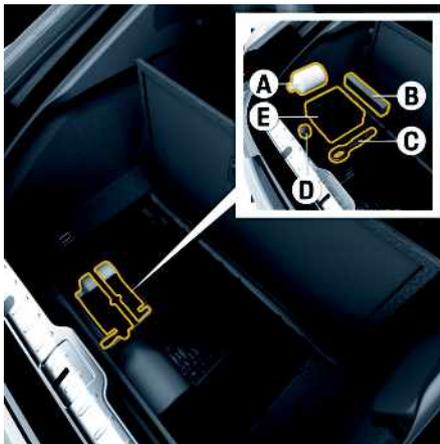


図 183：車載工具の取り外し

- A パンク修理剤 (Tire Mobility System - TMS)
- B 車載工具
- C けん引フック
- D 盗難防止ホイール ボルト用ソケット レンチ
- E コンプレッサー

✓ E-Hybrid 車両

車載工具は、ラゲッジコンパートメントフロアの下、および進行方向左側のサイドウォール内に保管されています。

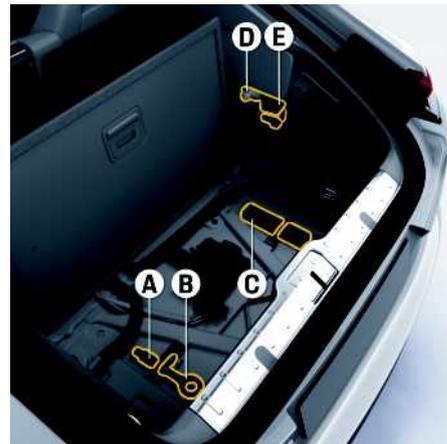


図 184：車載工具の取り外し

- A けん引フック
- B 盗難防止ホイール ボルト用ソケット レンチ
- C 車載工具
- D パンク修理剤 (Tire Mobility System - TMS)
- E コンプレッサー

i インフォメーション

タイヤ交換に必要な工具は車両に標準装備されておりません。

コンプレッサーおよびパンク修理剤の取り外し (- Tire Mobility System - TMS)

コンプレッサーとパンク修理剤は、ラゲッジコンパートメントフロアの下にあります。

タイヤ空気充填に関するインフォメーション:

- ▶ 「タイヤおよびホイール」の章 (145ページ) を参照してください。

タイヤの補修に関するインフォメーション:

- ▶ 「パンク」の章 (197ページ) を参照してください。

ラゲッジコンパートメントカバーの使用



警告

ラゲッジコンパートメント
カバー上の荷物

ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、荷物が車内に滑り出て乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ ラゲッジコンパートメントカバーの上に荷物を置かないでください。

ラゲッジコンパートメントカバーは、左右リヤシートの後方に取り付けられている可動装備品です。必要な場合、開いているリヤリッドから外し、取り外すことができます(清掃時など)。

ラゲッジコンパートメントカバーの取り外しおよび取り付け

ラゲッジコンパートメントカバーの取り外し



図 185：ラゲッジコンパートメントカバーの取り外し

1. 両側の掛け金を外します。
2. ラゲッジコンパートメントカバーをホルダーから矢印の方向に引き出します。

ラゲッジコンパートメントカバーの取り付け

1. ラゲッジコンパートメントカバーをホルダー内(進行方向)に押し入れます。
2. 両側に掛け金を掛けます。

格納式ラゲッジコンパートメントカバーの引き出し / 格納

格納式ラゲッジコンパートメントカバーは、リヤシェードに内蔵されています。



図 186：格納式ラゲッジコンパートメントカバーの引き出し

格納式ラゲッジコンパートメントカバーの引き出し

- ▶ 格納式ラゲッジコンパートメントカバー 1 を引き出し、テールゲート 2 の左右にあるガイドに挿入します。

格納式ラゲッジコンパートメントカバーの格納

- ▶ 格納式ラゲッジコンパートメントカバーをテールゲートのガイドから外し、慎重にカバーをリトラクターローラーに巻き取らせます。

リヤロールアップブラインドホルダーの取り外し / 取り付け

リヤロールアップブラインドホルダーは、右リヤドアから取り外しおよび取り付けできます。

リヤロールアップブラインドホルダーの取り外し



図 187：リヤロールアップブラインドの取り外し

- ✓ リヤロールアップブラインドが格納されている。
 - ✓ リヤシートバックレストが前に倒れている。
 - ✓ ラゲッジコンパートメントカバーが取り外されている。
 - または –
 - ✓ 格納式ラゲッジコンパートメントカバーが格納されている。
1. 一方の手を使ってリリースハンドルをロックするまで矢印の方向に引きます。リリースの妨げとな

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

るため、リヤロールアップブラインドホルダーに寄りかかったり、手で握ったりしないでください。

2. リヤロールアップブラインドホルダーを車両右側の取り付け位置から上方向に取り外します。
3. リヤロールアップブラインドホルダーを車両左側の取り付け位置から上方向に取り外し、ラゲッジコンパートメント内に固定します。
4. リヤロールアップブラインドホルダーを開いた車両のドアから取り外してください。

リヤロールアップブラインドホルダーの取り付け

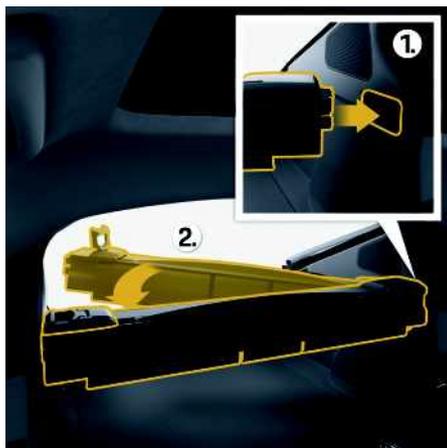


図 188：リヤロールアップブラインドホルダーの取り付け

- ✓ リヤシートバックレストが前に倒れている。
1. リヤロールアップブラインドホルダーをハンドルが固定されるまでゆるめます。同時に、カバーをセンターで保持します。リリースの妨げとなるた

め、リヤロールアップブラインドホルダーを手で握らないでください。

2. リヤロールアップブラインドホルダーをリヤシートから、車両左側の取り付け位置に差し込んでください。
3. 一方の手を使ってリヤロールアップブラインドホルダーをリリースハンドルの位置で握り、車両右側の取り付け位置に上から押し込みます。リヤロールアップブラインドホルダーがかみ合うまでリリースハンドルを折り曲げます。
4. バックレストを垂直位置に戻してください。

スキーバッグの使用

車内を損傷することなくスキーまたはスノーボードを安全に運ぶことができます。

知識

荷物の鋭い端（スノーボードなど）によってスキーバッグが損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物の鋭い端部を保護してください。

スキーバッグにスノーボードやスキーを収納する



図 189：スキーバッグの使用

スキーバッグはラゲッジコンパートメント内の関連するギヤバッグに収納されます。

1. エッジプロテクターをスノーボードまたはスキーに装着します。
2. スノーボードまたはスキーをスキーバッグに入れて、スキーバッグを閉じます。スキーの先端をスキーバッグのフロント部に必ず置くようにします。スキーバッグのファスナーは、車両の後方を向いている必要があります。
3. 締め付けストラップを使用してスキーを締め付けます。スキーピンディングはこのバンドより後方になければなりません。
4. リヤシート間のパススルーカバーを折り曲げます。
5. タイダウンリングにテンションストラップのスプリングフックを掛けます。
6. テンションストラップを締め付けます。

タイダウンリングの使用



図 190：タイダウンリングの使用

タイダウンストラップをリングに留めて、ラゲッジコンパートメントの荷物が移動しないように固定することができます。

- ▶ 荷物固定時に、すべてのリングに均等に負荷がかかっていることを確認します。

装備仕様により、2～6個のタイダウンリングが車両に装備されています。

i インフォメーション

タイダウンリングは事故の際の大きな負荷に耐えるようには設計されていません。重量物を支えることはできません。

カーゴマネージメントの使用

カーゴマネージメントシステムはラゲッジコンパートメントに荷物を固定するために使用するシステムです。

テレスコピックバーの差し込みと調整

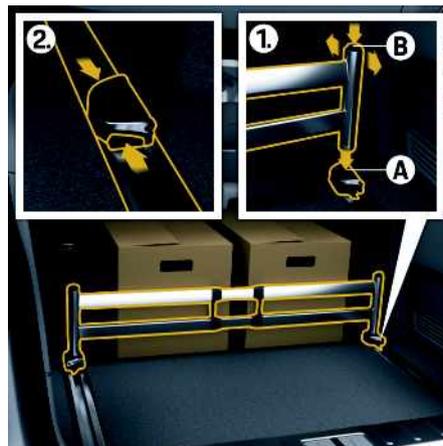


図 191：テレスコピックバーの挿入

1. エンドエレメントのボタン B を押し、マウントレールの開口部 A に差し込んでください。
2. 固定位置でボタンを押して、荷物側に押し、動かないようにしてください。
3. ボタンを放してください。
4. エレメントが適切にはめ込められているか、押しを確認します。

ストラップリールの差し込みと調整

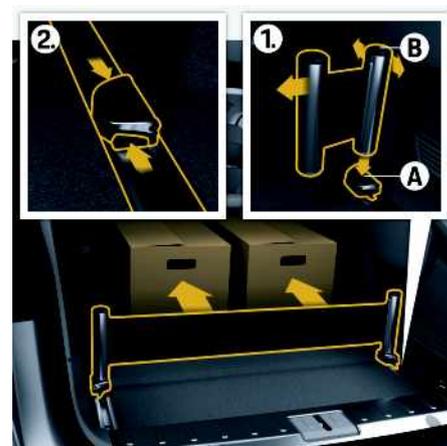


図 192：ストラップリールの使用

1. エンドエレメントのボタン B を押し、マウントレールの開口部 A に差し込んでください。同時に、ストラップリールを希望の長さまで引いてください。
2. 固定位置でボタンを押して、荷物側に押し、動かないようにしてください。
3. ボタンを放してください。
4. エレメントが適切にはめ込められているか、押しを確認します。

リバーシブルマット

濡れた荷物または重い荷物を輸送するときにリバーシブルマットの上面に埃や傷が付くのを防ぐため、ラゲッジコンパートメントのリバーシブルマットの底面は滑り止め加工が施されています。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットの使用

ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットは車内に軽い荷物が飛び込んでくるのを防ぎます。

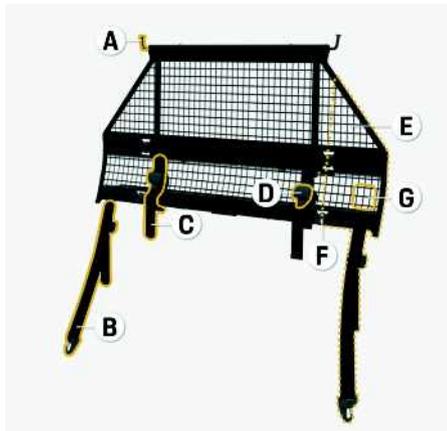


図 193：ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネット

- A ルーフ アンカー
- B フロント タイダウン ベルト着用
- C リヤ タイダウン ベルト着用
- D センター ベルトのタイダウン リング
- E ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネット エクステンション
- F ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネット エクステンションのリリース
- G ステッカー

i インフォメーション

車内のラゲッジコンパートメント パーテーション ネットの取り外し/取り付け

- ▶ ステッカー G がリヤ側を示していることを確認してください。

リヤのラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットの取り付け



図 194：リヤのラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットの取り付け

- ✓ リヤシート バックレストが前に倒れている。
- 1. ルーフ左右のリヤ固定リングにラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットを掛けます。

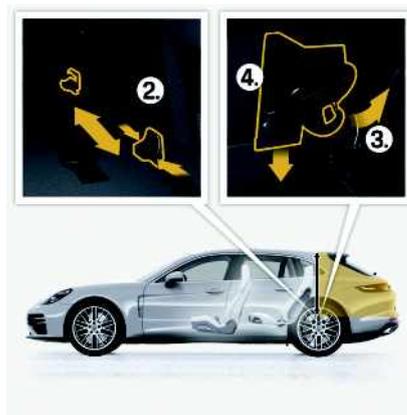


図 195：リヤのラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットの取り付け

- 2. 下部フック C を使用してラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットを荷室フロア左右のタイダウン リングにはめ込んでください。
- 3. ベルト ストラップを使用してラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットを張ります。ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットが垂直に張られていることを確認してください。
- 4. リヤシート バックレストを起こしてください。

フロントのラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットの取り付け



図 196 : フロントのラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットの取り付け

- ✓ リヤ シート バックレストが前に倒れている。
 - ✓ 左右のラゲッジ コンパートメント パーテーション ネット エクステンション E が開いている。
1. ルーフ左右のフロント固定リングにラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットを掛けます。
 2. 下部フック B を使用してラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットを左右のリヤサイドトリム パネルのタイダウン リングにはめ込んでください。
 3. ベルト ストラップを使用してラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットを張ります。
ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットが垂直に張られていることを確認してください。

ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットの取り外し

1. ベルト ストラップ B または C をゆるめます。
2. ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットを上部固定リングと下部フックから外します。
3. 必要に応じて、ボタン F を押してラゲッジ コンパートメント パーテーション ネット エクステンションを格納します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リヤリッド

リヤリッドの開閉



危険

有毒な排気ガスの吸い込み

リヤリッドが開いているか正しく閉じられておらず、エンジンが作動している場合、有毒な排気ガスが車内に入ることがあります。

- ▶ エンジン作動時には、必ずリヤリッドを完全に閉じたままにしてください。
- ▶ リヤリッドを開いた状態で走行しないでください。



警告

オートマチックリヤリッドの不用意な開閉

オートマチックリヤリッドが不用意に開閉することにより、怪我をする危険があります。

- ▶ リヤリッドの開閉は停車中のみに行ってください。
- ▶ リヤリッドの開閉は、作動範囲内に人や動物がいないことを確認してから行ってください。
- ▶ 危険があるときはいつでも作動を中断できるように、リヤリッドの開閉作動から目を離さないでください。

知識

オートマチックリヤリッドが不用意に開閉することにより、車両が損傷する恐れがあります。

開閉時、リヤリッドがガレージの天井や突き出た荷物に衝突することがあります。

- ▶ 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください(ルーフトランスポートシステムやガレージの天井など)。
- ▶ 積み荷がラゲッジコンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。

ボタンでリヤリッドを車外から開く



図 197：リヤリッドのロック解除ボタン

- ✓ ロック解除された車両 (ポルシェ コンフォート アクセス非装備車)。
- または -
- ✓ キーを携帯している (ポルシェ コンフォート アクセス装備車)
- ▶ ボタンを押してください。
設定によっては、車両のロックが解除されます。
リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

キーでリヤリッドを開く

- ✓ イグニッションを OFF にする。

- ▶ キーの  ボタンを押してください。
設定によっては、車両のロックが解除されます。
リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

足動作でリヤリッドを開く



注意

リヤリッドの不用意な作動

後方のセンサーが人、動き、または物を検出し、有効なキーが車両後方にある場合、リヤリッドは自動的に開くため、負傷または車両への損傷を引き起こす恐れがあります。

リヤリッドの不用意な作動を防ぐには：

- ▶ PCM で機能を解除します。
- または -
- ▶ ボルシェ コンフォート アクセスを解除します。
- ▶ 「セントラルロック」の章 (123ページ) を参照してください。



図 198：足動作コントロール

- ✓ コンフォート アクセス装備車。
 - ✓ 機能が作動している。
 - ✓ イグニッションが OFF です。
 - ✓ キーを携帯します。
1. 車両の後方中央に立ってください。
 2. 足を車両後方に向けて前後に一回の動作で動かします。

リヤリッドは、設定した高さまで開きます。セントラルディスプレイでこの機能の有効/無効を切り替えることができます。

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ロック

i インフォメーション

次のような状況では、足動作機能は利用できないかもしれません：

- 悪天候 (雨、雪または凍結)。
- パンパーが汚れている場合。
- 車両キーの信号が電波干渉の影響を受けている場合。

運転席ドアのボタンを操作してリヤリッドを開きます。



図 199：運転席ドアのリヤリッド ボタン

- A My Porsche を開く
開閉操作とロック (E-Hybrid 車両)
- B ロック

- ▶ 運転席ドアのボタン A を押してください。
リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

リヤリッドを開く高さの設定

リヤリッドを開く高さは個別に設定できます。

レベルコントロール装備車は、必ず車両が最も高い状態にある時にリヤリッドの高さを調整してください。

1. 車両の後方立ってリヤリッドを開いてください。
2. 開作動を中断するには、リヤリッドのトリムパネル内またはキーのボタン  を押します。
3. リヤリッドを設定したい高さまで動かします。
4. リヤリッドのトリムパネルのボタン A を約 3 秒間押してください。
設定された高さの確認が完了すると、確認音が鳴ります。

リヤリッドが不意に作動した場合の自動停止

リヤリッドが降り積もった雪の重みなどで開いた後すぐに不意に下がると、パワーメカニズムのブレーキ機能が作動してリッドの動きを制止するとともに、リッドの動きが止まるまで警告音が鳴ります。

- ▶ リヤリッドの動きが止まってから約 1 秒が経過すると、自動停止が無効になります。

リヤリッドの閉操作

運転席ドアのボタンを操作してリヤリッドを閉じる

- ✓ イグニッションを ON にします。
- ▶ リヤリッドが完全に閉じるまで運転席ドアのボタン B を押してください。
- ▶ E-ハイブリッド車両: リヤリッドが完全に閉じるまで運転席ドアのボタン A を押してください。
警告音が鳴り、リヤリッドが閉じます。

リヤリッドのトリムパネルのボタンを操作してリヤリッドを閉じる



図 200：リヤリッドのトリムパネルのボタン

- ✓ ロック解除された車両 (ポルシェ コンフォート アクセス非装備車)。
- または -
- ✓ キーを携帯している (ポルシェ コンフォート アクセス装備車)。
- ▶ リヤリッドのトリムパネルのボタン A を押してください。
リヤリッドが閉じます。

i インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、車両は4回点滅します。ドアまたはリヤリッドを約45秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされます。スペアキーを使用しないとロック解除できなくなります。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内がないことを確認してください。

リヤリッド閉作動中の障害物の検出

リヤリッドを閉じることが障害物により妨げられると、作動は中断されます。

警告音が鳴り、リヤリッドが作動を停止します。

1. 障害物を取り除いてください。
2. リヤリッドを自動で閉じるか、手でゆっくり閉じてください。

緊急時の開閉作動の中断

次のいずれかのボタン操作で、すぐに開閉作動を中断します:

- ▶ キーの  ボタン。
- または -
運転席ドアの  ボタン。
- または -
リヤリッドのトリムパネルのボタン A を押してください。
- または -
足で動作をします。
- ▶ ワンタッチ操作を再作動するには該当するボタンを押します。

ルーフシステム



警告

ルーフシステムの開閉

ルーフシステムを開閉するときは、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれないように十分に注意してください。特にワンタッチモードの場合に十分に注意してください。

- ▶ 車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれないように十分に注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションをOFFにしてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずキーを携帯してください。危険を十分理解していない人(お子様など)がルーフシステムを操作すると、怪我をする恐れがあります。
- ▶ 危険が生じたときは、ルーフシステムのスイッチを逆方向に押すか、開いているまたは車両のロックを行っている場合は、直ちにキーのボタンを放してください。

知識

ルーフエレメントが正しく装着されていない場合の、ルーフシステムの操作における損傷の危険性。

- ▶ 走行前にルーフアタッチメントが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ▶ ルーフシステムと装着したルーフエレメントとの間に十分な隙間があることを確認します

知識

雨の中ルーフシステムの操作をしたときに損傷する恐れがあります。

- ▶ 雨の際は、ルーフシステムを直ちに閉じてください。



インフォメーション

- ルーフシステムには、フォースリミッターが装備されています。これらの閉操作中に障害物があると、すぐにもう1回開きます。
- ルーフシステムは、極めて速い車両速度、または極端に低い気温では機能しません。

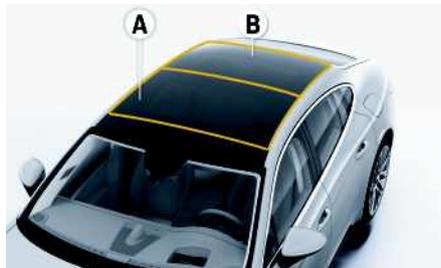


図 201：パノラミックルーフ

- A スライディング / チルティングルーフエレメント
B 固定ガラスエレメント

ルーフエレメント A は、車両の縦方向に動かすことができます。また、持ち上げることもできます。ルーフエレメント B は、固定ガラスエレメントです。

ルーフシステムの開閉



警告

ルーフシステムを緊急に閉じる

ルーフシステムを緊急に閉じる場合、閉じる力が必要に応じて徐々に増加します。

- ▶ 誰もけがをしたり、挟まれたり、押しつぶされたりしないように注意してください。



インフォメーション

ルーフトランスポーターションシステムが装着されているとき、屋根は開きません。

- ✓ イグニッションがONになっている。
 - または -
- ✓ イグニッションをOFFにしてから10分以内。
- ✓ 運転席 / 助手席ドアをまだ開いていない。



図 202：ルーフシステムの開閉

スイッチには2段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

走行速度によっては、風の音がすることがあります。

1 段階目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、スイッチを1段階目の位置まで該当する方向へ押すか、または引いてください。スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2 段階目 - ワンタッチ操作

- ▶ 2段階目まで該当する方向へスイッチを完全に押し引き引いたりしてください。ルーフシステムが停止位置まで自動的に開閉します。
- ▶ ルーフシステムを希望の位置で停止させるため、スイッチを再度作動させます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

挟み込み防止機能が繰り返し介入した後に閉じる
閉操作が障害によって阻害された場合、ルーフシステムは手で強く押して手動で閉じることができます。

1. 障害物を取り除いてください。
2. ルーフシステムが閉位置で止まるまで、スイッチを閉じる方向に押し続けてください。

傾斜位置でのルーフシステムとサンブラインドの開放。

ルーフシステムが傾斜位置で開放されると、サンブラインドは自動的に約 10 cm 開き、手動であっても完全に閉じることにはできません。

キーによるルーフシステムの開閉

ルーフシステムの開放

- ▶ 希望の位置になるまでキーの  ボタンを押します。

ルーフシステムの閉鎖

- ▶ 希望の位置になるまでキーの  ボタンを押します。
すべてのウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトが点滅します。

ドアハンドルのタッチセンサーでルーフシステムを閉じる

- ✓ ポルシェ コンフォート アクセス
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携帯している。
- ▶ 希望の位置に達するまでドアハンドルの近接センサーを押します。
すべてのウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトが 1 回点滅します。

サンブラインドの開閉

リヤサンブラインドは、リヤコントロールパネルを使用して操作することもできます。

チャイルドプロテクションが有効な場合、リヤサンブラインドはオーバーヘッドコンソールスイッチを使用してのみ操作できます。

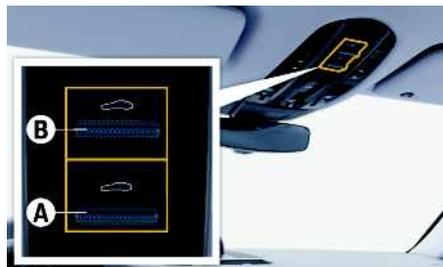


図 203 : サンブラインドの開閉

- A フロントサンブラインド
- B リヤサンブラインド

スイッチには **2 段階の作動位置**があります。この 2 段階の作動位置は、スイッチを操作する際にははっきりと感じ取れます。

1 段階目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで該当するスイッチを押したり引いたりします。
スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2 段階目 - ワンタッチ操作

- ▶ 2 段階目まで該当するスイッチをいっぱい押し引いたりします。
サンブラインドが自動的に停止位置まで開閉します。
- ▶ サンブラインドを希望の位置で停止させるため、スイッチを再度操作します。

ルーフシステムおよびサンブラインドを閉じる

- ルーフシステムを閉じているときにサンブラインドを閉じると (ワンタッチ操作)、ルーフシステムがルーフシステム停止位置に達した後、サンブラインドがサンブラインド停止位置まで閉じます。

- サンブラインドを閉じているときにルーフシステムを閉じると (自動操作)、サンブラインドの開閉操作は中断されます。ルーフシステムがルーフシステム停止位置に達した後、サンブラインドがサンブラインド停止位置まで閉じます。

ルーフ駆動機構が故障している場合のルーフシステムの閉操作

ルーフシステムを修理するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ルーフシステムおよびサンブラインドの終端位置の保存



警告

挟み込み防止保護無効

ルーフシステムおよびサンブラインドは、システムの最大力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

ルーフシステムの停止位置の保存

- ✓ 停車している。
- ✓ イグニッションが ON になっている。
- ▶ オーバーヘッドコンソールの (図 202) を下向きに長押しします。
約 10 秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。
- ▶ ルーフシステムの動作が完全に停止するまでスイッチを引きます。

この開作動と保存のプロセスは最大 45 秒で完了します。

サンシェード停止位置の保存

- ✓ 停車している。
- ✓ イグニッションが ON になっている。
- ✓ サンブラインドが閉じている。
- ▶ 閉じるには、該当するスイッチ（図 203）を押した状態または引いた状態で保持してください。約 10 秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。

サンブラインドの清掃



警告

挟み込み防止保護無効

ルーフシステムおよびサンブラインドは、システムの最大力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定部品の間には身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定部品の間には身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

- ✓ 停車している。
- ✓ イグニッションが ON になっている。
- 1. ルーフシステムを完全に開放する。
- 2. ロールアップサンシェードを可能な限り閉じてください。
- 3. サンブラインド（図 203）のスイッチ A を押します。
サンブラインドが 10 秒後に閉じ始めます。
- 4. サンブラインドが完全に閉じるまで、そのままスイッチを押し続けてください。
- 5. 汚れを取り除きます。

清掃機能を終了します。

- ▶ 走行しはじめると、
- または -

ルーフシステムを操作します。
- または -
サンブロードを操作します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ルーフトランスポート システム

ルーフに物を載せて運ぶ場合



警告

固定されていない、または不適切に固定したルーフトランスポートシステムまたは積載器具

固定されていない、または不適切に固定したルーフトランスポートシステムは、走行中に車両から外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ スキー / スノーボードホルダーやルーフボックスなどの積載機器は、サポートに対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- ▶ 毎回走行を開始する前に、ルーフトランスポートシステムや積載機器が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- ▶ すべてのファスニングスクリューを再度締め付けます。



警告

車両操縦性の変化

ルーフトランスポートシステムを装着して荷物を載せると、車両操縦性が変化します。

- ▶ 走行スタイルを積荷に合わせてください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムに荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 荷物を積載せずにルーフトランスポートシステムを装着するときは、180 km/h 以上の速度で走行しないでください。



警告

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくないと、走行中に荷物がルーフトランスポートシステムから外れ、重大な事故につながる恐れがあります。

- ▶ 荷物は走行中に動かないように適切な方法で固定してください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムに荷物を積む際には、荷物がシステムから横にはみ出さないようにしてください。荷物の幅が絶対に車両の幅を超えないようにしてください。
- ▶ ゴムのテンショナーは使用しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステム上では、荷物の重心ができる限り低い位置になるようにし、荷重が積載エリア全体に均等に分散されるようにしてください。

知識

ルーフトランスポートシステムを装着したまま自動洗車機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフトランスポートシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、ルーフトランスポートシステムを完全に取り外してください。
- ▶ 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフトランスポートシステムを含めた車両の全高を確認してください。
- ▶ 最大ルーフ積載荷重、最大総車両重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。



インフォメーション

- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着すると、燃料消費や騒音が増えるため、未使用時には車両から取り外してください。

荷物を安全に確実に運ぶにはルーフトランスポートシステムや他の補助アタッチメント(スキー / スノーボードホルダー、ルーフボックス、バイクラックなど)を使用してください。

- ▶ ボルシェが試験および認定したルーフトランスポートシステムのみ使用してください。市販のルーフラックシステムは装着できません。

ルーフトランスポートシステムについて詳しくは:

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ルーフトランスポートシステムの取り付け



図 204：ルーフトランスポートシステムの構成部品

- A フロントキャリアバー（ロング）
側面ごとにロックピン 1 個（Sport Turismo 車両には 2 個）
- B リヤキャリアバー（ショート）
側面ごとにロックピン 1 個
- C カバートリム
- D トルクレンチ
- E キー
- F ルーフキャッチ用の取り外しツール

- ✓ キャリアバーのサポート部分のルーフとドアおよびキャリアバーのサポートの塗装面を清掃します。



図 205：ルーフキャッチの取り外し

1. 取り外し用ツールを使用してすべてのルーフキャッチを引き出します。

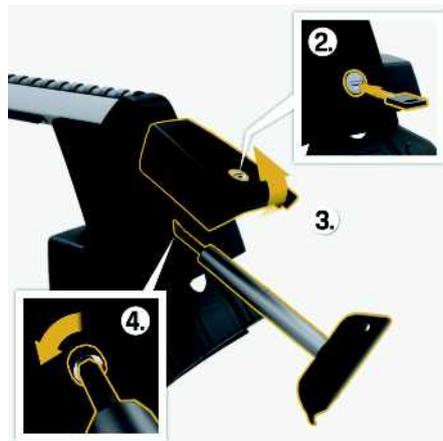


図 206：カバーフラップのロックおよび折り上げ

2. カバーフラップをキーでロック解除します。
3. カバーフラップが完全にかみ合うまで折り上げます。
4. トルクレンチを使用してファスニングスクリューを反時計方向にゆるめますが、完全には取り外しません。

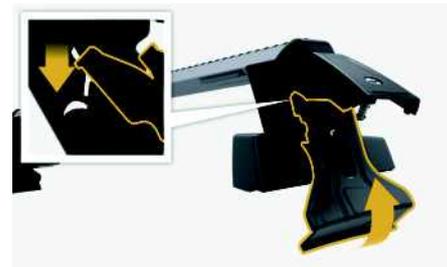


図 207：キャリアサポートでファスニングブラケットを固定します。

5. ファスニングブラケットを上方向に回転させ、キャリアサポートに固定します。
6. 車両のドアを開けます。

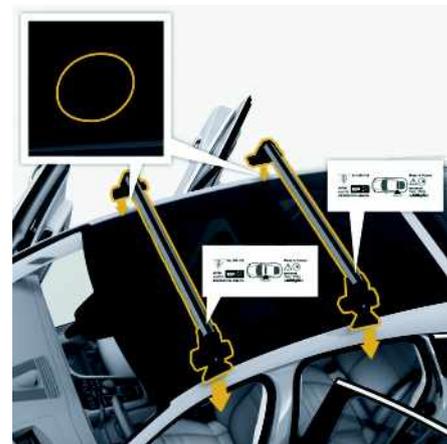


図 208：キャリアをルーフに取り付ける

7. ステッカー（図 208）が車両の左側になるようにキャリアをルーフに慎重に取り付けてください。同時に、ステッカーを使用してフロントおよびリヤキャリアを識別します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



図 209 : ロック ピンの挿入

8. アングル ブラケットを外して、ロック ピンをルーフ フレームの内側の該当する穴に挿入してください。
9. ファスニング ブラケットを上方向に押ししてください。力をかけずにファスニング ブラケットを上方向に押すことができない場合、キャリアを再調整してください。
10. 両方のキャリアのサポート底部のファスニング スクリューを軽く締め付けます。まだ完全には締め付けしないでください。ロック ピンおよびキャリアが固定され、動かないことを確認します。
11. トルク レンチを使用して、ファスニング スクリューを対角線上に 6 Nm のトルクで時計回りに締め付けます。
12. カバーを閉じ、キーを時計回りに回します。最後に、必要に応じてカバー トリムを挿入します。

i インフォメーション

- ▶ 短時間走行した後に固定金具を締め直し、定期的に再点検してください。
- ▶ 悪路ではスクリューの接続を頻繁に確認する必要があります。取り付け部品のゆるみや紛失は、重大な事故につながる可能性があります。

マウント部品の取り付け



図 210 : カバー トリムをサイズに合わせて切り、押し込む

1. キャリア キャップを取り外します。
2. 所定の T 溝にマウント部品を挿入します。
3. サポート カバーを閉じます。
4. マウント部品の取り付けと固定については、必ず該当する取扱説明書をお読みください。

プロファイルトリムの閉鎖

水分や汚れから保護し、風切り音を防止するため、マウント部品が使用されていないときはプロファイルトリムの T 溝を閉鎖します。



図 211 : マウント部品の取り付け

1. 基本的なキャリアの長さにプロファイルトリムを切断します。
2. プロファイルトリムを T 溝に押し入れます。

レーンキープアシスト

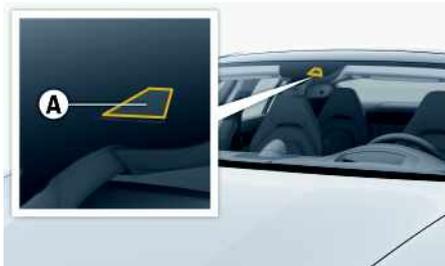


図 212：フロント ウィンドウ カメラ

レーンキープアシストは正面のカメラ A を用いて、システムの性能範囲内で車線区分線に基づき前方のコースを検出します。車両が検出された車線区分線に接近して、走行車線を逸脱する危険があるときには、システムはステアリング介入による補正を行って警告を発し、車両が走行車線に留まるようにします。ドライバーはいつでもステアリング介入を無効にすることができます。

システムは、ドライバーが走行車線を守って走行するようにアシストしますが、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。レーンキープアシストは、快適さを提供するシステムであるとともに警告機能も持っています。車両が方向指示を出さずに車線区分線を越えると、システムはドライバーに対して音響的および視覚的に注意を喚起します。インストルメントクラスターの「速度&アシスト」ディスプレイおよびステータスディスプレイで警告対象の車線区分線が強調表示され、さらに警告音が鳴ります。そのため、アシストメニューで PCM の警告音設定が有効になっていなければなりません。

このシステムは、高速道路やよく整備された郊外道路での運転向けに設計されています。システムは、速度が約 65 km/h (40 mph) を超えると作動します。システムが有効な場合でも、車線変更前に方向指示灯が作動していれば、ドライバーへの警告や補正ステアリン

グはなされません。この状況では、システムは車線変更が意図的なものであると解釈します。

レーンチェンジアシスト装備車：

▶ 「レーンチェンジアシスト (LCA)」の章 (273 ページ) を参照してください。

レーンチェンジアシスト装備車でこの機能が有効である場合、危険な状況の可能性がある車線変更を行おうとすると、ステアリング介入による補正を通してドライバーに警告が行われます (インフォメーションステージ、警告ステージ)。これは、該当する方向への方向指示器が作動している場合でも同様です。ステアリング介入がドライバーにより無効にされた場合は、さらに警告音による警告が行われます (有効である場合)。



警告

集中力の低下

ドライバーは走行中、レーンキープアシストが有効な場合であっても、走行車線内に留まるようにするなど、常に安全運転に努めてください。このシステムはあくまでも補助的な機能のため、運転時には細心の注意を払ってください。

- システムは車両が走行車線に留めるよう、一定の条件範囲内でドライバーをサポートしますが、代わりに運転するわけではありません。常にステアリングホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ドライバーは常に走行車線を守って走行する責任があります。
- 例えば急ブレーキの時などは、ステアリング介入による補正が発動しないことがあります。
- ドライバーが積極的にハンドル操作を行っている場合は、ステアリング介入による補正が発動しない、または発動が制限されることがあります。
- 車線区分線が一部検出されない場合もあります。ステアリング介入は、車線区分線が検出された側

に対してのみ発動します。

- 道路構造物や路上の物体などが、車線区分線と誤って認識される場合があります。これにより、ステアリング介入や警告音が予期せぬ形で発動、または発動しない場合があります。
- 視界を確保できなかったり、車線区分線が片側のみまたは不適切であったり極端に幅が狭い車線を走行中である場合は、早期車線中央維持機能 (作動中の場合) の車線区分線に対する反応が幾分遅くなる場合があります。
- トラックのわだちや路面の傾斜または横風が生じた場合、ステアリング介入による補正だけでは走行車線を維持できなくなる場合があります。このような状況では、ドライバーが積極的にステアリングを行わなければなりません。

▶ 注意 - 事故を起こす恐れがあります! 以下の状況では、レーンキープアシストを決して使用しないでください。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合。
- 激しいスポーツ走行スタイルを伴う場合。
- 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)。
- 道路状況 (路面状態など) が悪い場合。
- 道路工事区間。
- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。
- ▶ ステアリングホイールには物を取り付けないでください。



警告

車線検出用カメラの故障

カメラの視界は、雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、損傷などさまざまな要因によっ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

て低下します。一定の条件下では、カメラが車線区分線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。この場合、ステアリング介入が行われなかったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 常に進行方向に気を配り、車線から目を離さないでください。
- ▶ カメラレンズは定期的に洗浄し、雪や氷が付着したときは取り除いてください。
- ▶ カメラレンズを覆わないでください。
- ▶ カメラレンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

i インフォメーション

- ▶ システムの故障またはレーンキープアシストの機能不全がこの章の記載どおりに発生する場合、レーンキープアシストを使用しないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



警告

急カーブではステアリング介入による補正は行われません

急カーブでは、ステアリング介入機能による補正では車線を維持するために十分ではありません。レーンキープアシストは無効になり、ステアリング介入による補正は行われません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリングホイールは必ず両手で保持してください。

i インフォメーション

レーンキープアシストが有効になっている間、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリングが操作されない場合、短時間でインストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。システムは、警告音とインストルメントクラスターのテキストメッセージによって、積極的にステアリング操作を行うようにドライバーに促します。

ドライバーがこれに反応しない場合、レーンキープアシストは自動的に停止します（ステータスディスプレイを参照）。レーンキープアシストは、ドライバーが再度 ON にすると再起動します。

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

各操作部



図 213 : レーンキープアシストの操作

- R システムの ON/OFF を切り替えて、オプションメニューを開く
- S オプションメニューを開く（システムが ON の場合）

レーンキープアシストの ON/OFF

レーンキープアシストの ON/OFF は PCM 内で、またはレバーを使用して切り替えることができます。

- ▶ アシスト ▶ レーンキープアシスト

- または -

1. レバーの **R** ボタンを押します。
ドライバーアシスタンスシステムが ON になります。
2. レバーの **S** ボタンを押します。
ドライバーアシスタンスシステムの状況がインストルメントパネルに表示されます。
3. ステアリングホイールのロータリープッシュボタンを使用してレーンキープアシストを選択し、ボタンを押して確定します。

レーンキープアシストが作動中であれば、不注意で車両が車線から逸れた場合は、レーンキープアシストがステアリング介入による補正を発動し、車両は元の車線に戻されます。さらに、車両が車線区分線を越えると警告音が鳴り、警告対象の区分線がインストルメントパネルに赤色で表示されます。

- ▶ 「レーンキープアシストの呼び出しと読み上げ」の章（271ページ）を参照してください。

ステアリングポイントと警告音の設定

- ▶ アシスト ▶ ▶ アシストシステム設定 ▶ レーンキープアシスト

ステアリングポイント

Early(早い) : この設定では、ステアリングの補正が継続的に行われ、車線内の真ん中を運転するようにドライバーをサポートします。

Late(遅い) : この設定では、ステアリング介入による補正が行われるのは、検出された車線区分線を車両が横切る直前になります。

警告音

警告音は別個に ON/OFF を切り替えることができます。警告シグナル音量も 3 段階で選択できます。

レーンキープアシストの呼び出しと読み上げ



図 214 : 速度およびアシスト表示

- A レーンキープアシストの表示
- B 車線区分線の表示
- C ステータス表示

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 装備車

アシストメインメニューの「速度 & アシスト機能」ディスプレイには、車線区分線 B とステータスディスプレイ C が表示されます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 非装備車

車線区分線はステータスディスプレイ C にのみ表示されます。

システム状態の読み取り

レーンキープアシストのシステム状態がインストルメントクラスターでどのように表示されるかを、表に示します。

レーンキープアシストの表示	ステータスディスプレイ	意味
表示なし	表示なし	レーンキープアシストが OFF になっている。
		レーンキープアシストは ON になっていますが、無効です。車線と車両は画面にグレーで表示されます。
		レーンキープアシストが ON で、有効になっています。検出された車線区分線と車両が画面に緑色で表示されます。

レーンキープアシストの表示	ステータスディスプレイ	意味
		車両区分線は片側だけが検出されていることもあります。
		レーンキープアシストシステムが ON でアクティブである場合、車線を外れると、右側に警告が表示されます。該当する車線区分線が赤色で表示されます。



車両区分線は片側だけが検出されていることもあります。



レーンキープアシストシステムが ON でアクティブである場合、車線を外れると、右側に警告が表示されます。該当する車線区分線が赤色で表示されます。

i インフォメーション

交通渋滞アシストも同時に作動している場合は、レーンキープアシストのシンボル ではなく、交通渋滞アシストのシンボル が表示される場合があります。これは、PCM で最後に作動したシステムがインストルメントパネルに表示されるためです。

- ▶ 「トラフィックジャムアシスト (TJA)」の章 (165ページ) を参照してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

i インフォメーション

システムが ON でも無効である場合、以下の原因が考えられます。

- 車両がシステム動作速度である約 65 km/h 未満の速度で走行している。
- 現在走行中の車線に車線区分線が検出されません。(雪、泥、路面の濡れ、対向車のヘッドライトなどのため)。
- 車線区分線の状態が良好ではないために、レーンキープアシストが起動できません。
- カーブの半径が小さすぎます。
- 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎます。
- 車線区分線が車両に近すぎます。
- 稼働中、一時的に極めて激しい運転が行われています。
- 方向指示灯が作動中です。
- システムにより、ドライバーがステアリングホイールを握っていないことが検出されました。

警告メッセージへの対応

故障発生時の作動停止:

システム エラーが発生した場合、レーンキープアシストは自動的にスイッチ OFF になります。インジケータライトが消灯し、メッセージが表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章 (86ページ) を参照してください。

レーンチェンジアシスト (LCA)

レーンチェンジアシスト (LCA) は、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドアミラーの警告インジケーターが直ちに点灯します。

運転速度がレーンチェンジアシストが作動する範囲未満の場合は、分岐点で補助リヤターンアシストも車両後方をモニターしてドライバーをサポートします。リヤターンアシストは常に自動で作動して、レーンチェンジアシストと連携します。

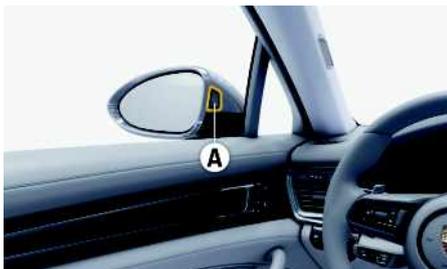


図 215：ドアミラーの警告インジケーター A

レーンチェンジアシストの ON/OFF の切り替え

レーンチェンジアシストの ON/OFF は PCM 内で切り替えることができます。

▶ アシスト  ▶ レーンチェンジアシスト

レーンチェンジアシストが作動中は、 シンボルがインストルメントクラスターに表示されます。

警告

集中力の低下

レーンチェンジアシストおよびリヤターンアシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

警告

レーダーセンサーの視界の妨げ

レーダーセンサーの視界は、急カーブ、頂上手前、および悪天候時 (雨、雪、氷、多量の水しぶき) では低下する場合があります。車両を正しく検出できなかったり、全く検出できなかったりすることがあります。

▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

警告

車両が検出されない

次のような状況では、システムはタイミングよく車両を検知できない場合があります。

- レーダーセンサーの視界は、悪天候時 (雨、雪、氷、多量の水しぶき)、急カーブ、頂上手前では低下する場合があります。
- レーンチェンジアシストは、速度が約 15 km/h 以上の場合のみ、接近する車両または死角エリアの車両について警告します。
- 後方から高速で接近する車両や後方に遠ざかっていく車両。
- 曲がるときなど、車両が車線の方向を向いておらず、車線に対して斜めまたは直角になっている場合は、接近する車両をレーダーセンサーで検出することはできません。
- リヤターンアシストでは、車両と動いている物体、または静止している物体との間の速度差が小

さい場合には、固定物 (金属柱など) により警告が作動したり、速度の遅い車両が検出されなかったりすることがあります。

- リヤターンアシストは発進時に作動します。そのため、既に動いている車両や発進している車両が検出されなかったり、遅れて検出されたりする可能性があります。すぐ真横の車両も、センサーの検出範囲外であるために検出されないことがあります。
- リヤ衝突警告は、交差車両、投影面積が小さな車両、幅の狭い車両、および車両として認識されない物体には反応しません。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

一般情報

- システムは車速が約 15 km/h を超えるとアシスタンスを提供します。
- 15 km/h 以下の速度で、リヤターンアシストがドライバーをサポートします。ただし、方向指示器が作動している車両の方向に対して発進時のみ作動します。
- レーダーセンサーが覆われていることをシステムが検出した場合、レーンチェンジアシストおよびリヤターンアシストは利用できません。
- レーダーセンサーは、車両以外の他の障害物 (高いまたは隆起した中央分離帯など) を検出する場合があります。
- このディスプレイはドライバーがドアミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

インフォメーション

例えば、レーダーセンサーの位置が事故後変わった場合などは、レーンチェンジアシストの機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

レーンチェンジアシストが適切に作動するために:

- ▶ リヤバンパーのレーダーセンサーをステッカーなどで覆わないでください (図 216)。この周囲から汚れや雪、氷も取り除いてください。
- ▶ ドアミラーの警告インジケーターを覆わないでください (ステッカーなど)。
- ▶ バンパーを塗装すると、塗料の厚い層でセンサーレンジが低減する場合があります。承認された塗料とは電気特性も異なる場合があります。



図 216: リヤバンパーのレーダーセンサー

作動原理

レーンチェンジアシストは、リヤバンパー内に組み込まれたレーダーセンサーを使用してご自身の車両と検出した車両との距離および速度差を測定します。レーダーセンサーは後方 70 m までの範囲および死角を監視します。

レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドアミラーに表示されます。車両の右側および左側はここで個別に表示されています。例えば、左ドアミラーの警告インジケーターはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。

危険と判断された車両が方向指示器を操作した場合、該当するドアミラーの警告インジケーターが数回短く、また明るく点滅します。

他車をゆっくり (速度差約 15 km/h 未満) と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーンチェンジアシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドアミラーには表示されません。

発進直後は、レーンチェンジアシストの速度範囲には達しません。速度範囲に達するまで、ドライバーはリヤターンアシストによりサポートされます。

方向指示器の作動時にリヤターンアシストは車両の横および後ろの物体を検出しますが、方向指示器が作動している側に対してのみ作動します。レーンチェンジアシストと同様に、危険の可能性を検知すると該当するドアミラーのインジケーターに警告が出ます。

アシストと同様に、危険の可能性を検知すると該当するドアミラーのインジケーターに警告が出ます。

インフォメーション

レーダーセンサーは左右隣の車線を監視します。他の車線は、レーダーセンサーにより監視されません。

情報および警告ステージ

方向指示器が設定されたかに応じて、レーンチェンジアシストには適切に作動する 2 つのインジケーターレベルがあります。

インフォメーション ステージ

方向指示器が設定されていない場合、レーンチェンジアシストは車線変更によって危険となる検出車両についての情報を提供します。レーンチェンジアシストが検出された車両の速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するミラーに **弱い** ライトが表示されます。

警告ステージ

方向指示器が ON で、その方向にレーンチェンジアシストが危険とみなされる車両を検出した場合、検出した側のドアミラーの警告インジケーターが **明るく** 点滅を開始します。警告ステージが数回明るく短く点滅する場合、ドアミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

レーンチェンジアシストの画面の明るさの設定

警告インジケーター (インフォメーションおよび警告) の明るさは、周囲の明るさによって自動的に調整されます。さらに、ドアミラーの警告インジケーターの基本的な明るさも調節可能です。

- ▶ アシスト ▶ ▶ アシスト システム設定 ▶ レーンチェンジアシスト

i インフォメーション

- 車両の接近が高速であるほど、ドアミラーの警告インジケーターは早いタイミングで点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。
- ドアミラーの警告インジケーターがまだ表示されていなくても、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。

運転状況:

起こりうるケースとそれに関連するレーンチェンジアシストおよびリヤターンアシストの警告インジケーターを、運転状況に応じて以下に説明します。

高速で接近する車両

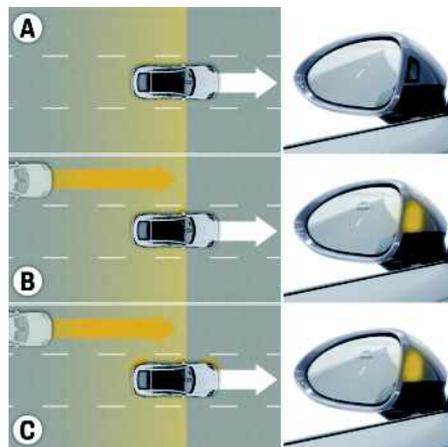


図 217: 急速に接近する車両

A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない

センサーは車両を検出していません。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - 警告インジケーターがインフォメーションステージで点灯する

センサーが高速で接近する車両を検出しました (図の例は左側車線を示しています)。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両はすでに車速変更を行うには危険と判断されます。ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回短く点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

ゆっくりと接近する車両

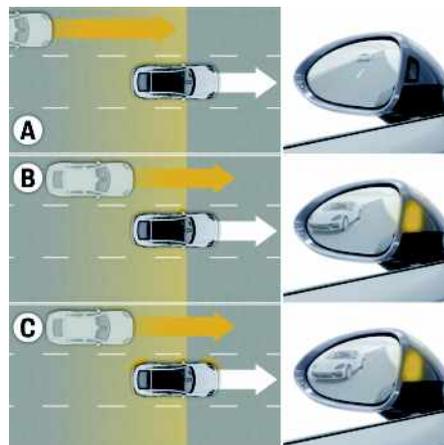


図 218: ゆっくりと接近する車両

A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない
センサーがゆっくりと接近する車両を検出しました (図の例は左側車線を示す)。速度差が小さくて車間距離が長い場合は、ドアミラーに表示されません。

B - 警告インジケーターがインフォメーションステージで点灯する

車両がゆっくりと接近してきています。ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドアミラーに表示されます。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回短く点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

ゆっくりと遠ざかる車両

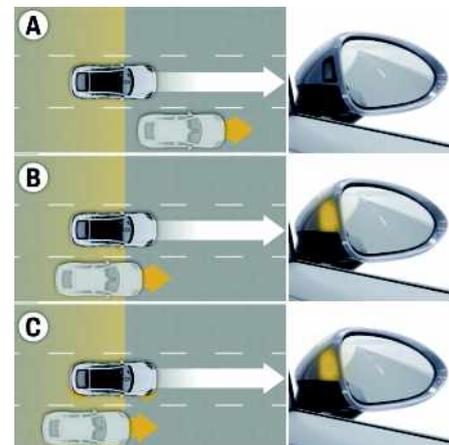


図 219: ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない
レーンチェンジアシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

B - 警告インジケーターがインフォメーションステージで点灯する

レーンチェンジアシストはゆっくりと遠ざかる車両(速度差約 15 km/h 未満)を右側車線で検出しました。ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する
 運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回短く点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

速く遠ざかる車両

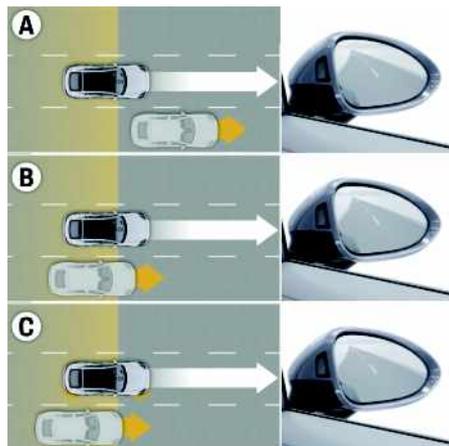


図 220 : 急速に後ろに遠ざかる車両

A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない
 レーンチェンジアシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない
 この例では、レーンチェンジアシストは高速で遠ざかる車両(速度差約 15 km/h 以上)を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際

の危険とはみなされません。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

C - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない
 運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドアミラーの警告インジケーターは作動しません。

車線変更をするために加速する

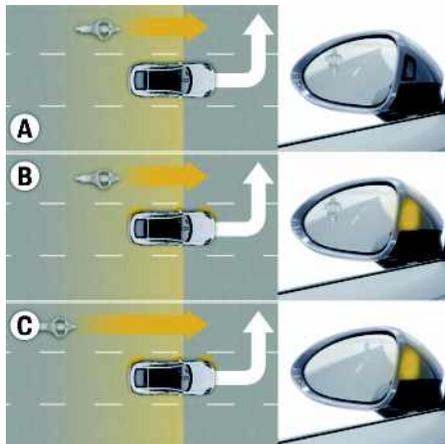


図 221 : 車両が脇道へ走行する

A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない
 方向指示器は作動していません。車両発進後、リヤターンアシストは無効であり、死角にいるバイクは検出されません。高速で接近する車両も検出できない可能性があります。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

B - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する
 運転状況 A でドライバーが該当する方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回短く点滅した後に点灯します。リヤターンアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

該当する側の方向指示器が作動している場合に、センサーは高速で接近する車両を検出します(図の例は左側車線を示しています)。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両はすでに車線変更を行うには危険と判断されます。ドアミラーの警告インジケーターが数回短く点滅した後に点灯します。

カーブを走行する

カーブを走行する場合、レーンチェンジアシストは2つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドアミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。車線変更補助は急カーブでは車両を検出できません(約 50 m未満の半径のカーブ)。

- ▶ カーブを走行するとき、および標準的な幅でない車線を走行するときは特に注意してください。

車線の幅

標準的な幅の車線の場合、ドライバーが車線の中央部または車線の端を走行しているに関わらず、レーンチェンジアシストの検出エリアには隣接した車線(左/右)が含まれます。

狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれることがあります(特に車線の端を走行している場合)。このような状況では2つ離れたレーンを走行する車両が検出されることがあり、レーンチェンジアシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。

同様に、非常に幅の広い車線の場合、隣の車線の車両であっても、検出エリアの範囲外であれば検出されないことがあります。

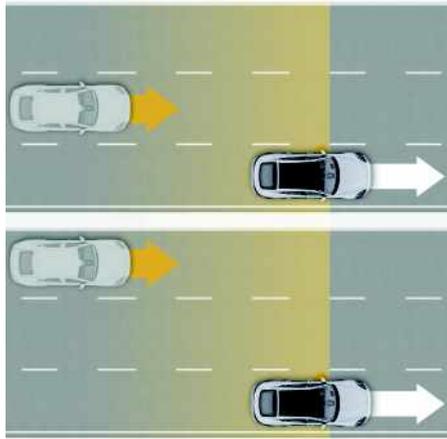


図 222 : 車線幅および検出エリア

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

Apple CarPlay

PCM で Apple CarPlay を開く

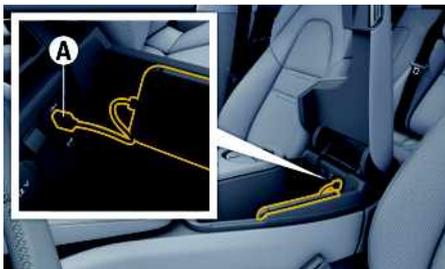


図 223 : センター アームレスト内の USB インターフェース (タイプ C)



図 224 : リヤセンターアームレストの USB インターフェース (タイプ C)

- ✓ iPhone 7 以降、iOS 12.2 以上。
- ✓ 使用する iPhone の設定で Siri および Apple CarPlay が有効になっている。
- ✓ USB アダプターなしの、損傷のない Apple 純正ケーブルを使用している。トラブルなく使用するためです。

1. iPhone をセンターアームレスト / リヤセンター

アームレストの USB インターフェース (タイプ C) A に接続します。

2. Apple CarPlay を使用していることを確認します。利用可能なアプリが表示されます。Apple CarPlay が開きます。

- ▶ 他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには、Apple CarPlay  を選択します。

i インフォメーション

- 最新バージョンの iOS® をインストールすることをお勧めします。
- Apple CarPlay に対応している iPhone のアプリのみを表示することができます。対応アプリに関するインフォメーション：www.apple.com/ios/carplay を参照してください。
- Apple CarPlay 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している iPhone からのみ提供されます。
- Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー、メディア再生またはニュースのためのものなど) はすべて自動的に解除されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。ご契約になっている携帯電話の料金体系によっては、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (231 ページ) を参照してください。

Apple CarPlay を PCM

使用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチディスプレイ、ロータリープッシュボタンおよび [戻る] ボタンを使用して操作できます。

- ▶ Apple CarPlay  でメインメニューを開くには、PCM のタッチディスプレイでホーム ボタン  を押します。

- ▶ PCM のメイン機能に PCM、Apple CarPlay 
 - ▶ ポルシェを選択します。

- または -

- ▶ いずれかの機能 (例：メディア ) を選択します。

Siri 音声認識機能で Apple CarPlay を操作する

Siri の起動

- ✓ 使用している iPhone の設定で Siri が有効になっている。
- ✓ イグニッションおよび PCM が ON になっている。
- ✓ 通話中ではない。
- ✓ パークアシストが作動していない。
- ✓ PCM ボイスコントロールが作動していない。



図 225 : マルチファンクションステアリングホイールのボイスコントロールボタン

1. マルチファンクションステアリングホイールの  ボタンを長押しします。
2. 希望のボイスコマンドを発話します。

Siri の終了

- ✓ ボイスコントロールが作動していて、ボイスコマンドを待機している。
- ▶ マルチファンクションステアリングホイールの  ボタンを押します。
終了音が鳴ります。

ボイスコントロールに関する情報：

- ▶ 「ボイスコントロール」の章（218ページ）を参照してください。

Apple CarPlay と、iPod として使用する iPhone を切り替える

接続している iPhone を iPod として接続すると、Apple CarPlay を利用できません。デバイスマネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、Apple CarPlay を使用するか切り替えることができます。

1. デバイスマネージャーを呼び出すには、ヘッダーの  または  (接続ステータスに応じて異なります) を選択します。
2. 使用している iPhone のリンク  を選択します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

HOLD 機能

HOLD 機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。

この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。HOLD 機能が作動すると、インストルメントパネル上でインジケーター ライト **HOLD** が点灯します。車両が停止状態にある時に HOLD 機能が作動します。この機能により、ブレーキ ペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

アダプティブクルーズコントロールが正常に機能している場合、HOLD 機能は自動ブレーキ後に車両を停車状態に維持します。

車両が HOLD 機能により保持されている場合は、通常の運転操作で発進できます。

HOLD 機能の作動中にドライバーのシートベルトが外され、運転席ドアが開いた場合、車両は動き出さないように自動的に固定されます。

インフォメーション

PKD 装備車の HOLD 機能は以下の条件では作動しません。

- 作動モードが **P** および **N** の場合。
- 車両が停止していない場合。
- エンジンが手動で OFF にされた場合。
- 坂道の勾配率が 5% 未満の場合。
- 運転席ドアが開いており、運転席シートベルトが着用されていない場合。

インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキペダルを踏み込むと、勾配に関係なく HOLD 機能が作動します。この機能により、ブレーキペダルを踏んでいないときでも、車両が動き出すことを防ぎます。この場合、セレクターレバーを操作しても、HOLD 機能は解除されません。



警告

上り坂での僅かな後退

ドライバーがブレーキペダルを作動させずに急な勾配で車両が停止すると、HOLD 機能が止めるまで車両が後退することがあります。この場合、ブレーキペダルを踏むことで後退を少なくすることができます。

- ▶ ブレーキペダルの操作でブレーキ力を大きくすることにより、車両の保持をアシストします。

インフォメーション

HOLD機能が作動したときは、ブレーキペダルの感触が変化したり、ブレーキシステムの油圧作動音が聞こえることがあります。

これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。



警告

車両コントロールの喪失

HOLD 機能に関わらず、勾配での停止および始動の責任はドライバーにあります。滑りやすい路面 (凍結している、またはぬかるんだ路面など) での停止および始動時には、HOLD 機能によるアシストは保証されません。車両が不意に動き出す恐れがあります。

- ▶ 常に走行スタイルを路面状態および車両荷重に合わせて調整してください。必要な場合はフットブレーキを使用します。HOLD 機能が作動しないと、ドライバーは坂道発進アシストを受けられません。
- ▶ フットブレーキで車両の停車状態を維持します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

OFFにする

PSMIは、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブコントロールシステムです。エンジンが始動すると自動的に有効になります。PSMIは、アンチロックブレーキシステム(ABS)とエンジンドラッグトルクコントロールシステム(MSR)の機能と同様にオートマチックブレーキディファレンシャル(ABD)とアンチスリップコントロール(ASR)システムの両方を利用します。



警告

車両コントロールの喪失

PSMは、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSMが装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ PSMの利点にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

以下の条件でPSMコントロールの作動を知ることができます。

- インストルメントクラスターのPSM警告灯が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- PSMがブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。最大の制動力を得るため、ブレーキペダルに振動を感じたら更に強く踏み込んでください。

オートマチックブレーキディファレンシャル(ABD)

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

アンチスリップコントロール(ASR)

アンチスリップコントロールがエンジン出力を制御することで、ホイールのスリップを防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

エンジンドラッグトルクコントロール(MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジンドラッグトルクコントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

ステアリングトルクパルス

ステアリングトルクパルスは摩擦係値が異なる路面でブレーキをかける場合に運転者のステアリングアシストを行います。カウンターステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

PSMスポーツの作動

✓ スポーツクロノパッケージ装備車。

PSMスポーツモードでは、システムが特定のスポーツモードに切り替わります。



警告

PSMサポート制限

PSMスポーツモードの場合、ABS制御範囲外の過酷な走行状況ではPSMサポートが制限されます。

- ▶ 「通常」走行では常にPSMスポーツを必ずOFFにしておいてください。
- ▶ スペアホイールを装着して走行している場合は、絶対にPSMスポーツを有効にしないでください。
- ▶ ❶ ボタンを短く押してください。ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルのPSM OFF警告灯が点灯します。インストルメントクラスターにPSMスポーツが作動していることを示すメッセージが表示されます。

PSMをOFFにする



図 226 : センターコンソールのPSM OFF ボタン



警告

PSMサポートなし

PSMをOFFにすると、ABS制御範囲外の過酷な走行状況でPSMサポートが行われません。

- ▶ 「通常」走行では、常にPSMスポーツを必ずOFFにしておいてください。
- ▶ スペアホイールを装着して走行している場合は、絶対にPSMをOFFにしないでください。

- ▶ ❶ ボタンを2秒以上押し続けます。ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルのPSM OFF警告灯が点灯します。PSMが停止したことを示すメッセージがインストルメントパネルに表示されます。

i インフォメーション

ABSコントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSMがOFFの状態でも車体は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしているもブレーキをかけて空転を抑制します。

ただし、次の例外的な状況では、一時的にPSMをOFFにすることが有効です。

- 柔らかい路面や深い雪道を走行する場合。

- 「ぬかるみなどからの脱出」時。

i インフォメーション

PSMスポーツモードが作動しているとき、PSMを事前にONにしていた場合のみPSM OFFモードへの切り替えが可能です。

PSMを再度ONにする

- ▶ ボタンを押してください。直ちにPSMが復帰します。ボタンのインジケーターライトとインストールメントパネルのPSM OFF 警告灯が消灯します。インストールメントパネルにPSMが作動していることを示すメッセージが表示されます。

警告メッセージへの対応

ABS警告灯に関する情報：

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

ABSブレーキ システム（アンチロック ブレーキ システム）



警告

車両コントロールの喪失

アンチロック ブレーキ システムは、不適切な速度による事故のリスクを軽減することはできません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アンチロック ブレーキ システムが装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

きません。

- ▶ アンチロック ブレーキ システムの有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

ABSの特徴：

- ステアリングの操作性の確保：安定したステアリングコントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性：ホイールロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮：ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
- ホイールロックの回避：ホイールがロックしたときに生じるタイヤのフラット スポットを回避できます。

機能

ABSが最も効果を発揮するのは、緊急回避が必要な状況でブレーキをかけたときです。このような状況下でABSは走行安定性を確保し、安定したステアリングコントロール性を維持します。

ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までホイールロックを回避します。ホイールがロックする傾向見せた時ABSは作動し始めます。

このブレーキコントロールは、大変小刻みなポンピングブレーキをかけるのと同じような状態です。この振動するブレーキペダルや振動音は、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

最大制動力が必要な場合：

- ▶ 急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキペダルが振動してもしっかりとブレーキペダルを踏み続けてください。ペダルを踏む力をゆるめないでください。

警告メッセージへの対応

ABS 警告灯に関するインフォメーション：

- ▶ 「警告およびインフォメーションを知らせるメッセージ」の章（86ページ）を参照してください。

マルチコリジョン ブレーキング

マルチコリジョン ブレーキングは、事故が起こった際に自動的にブレーキをかけ、衝突後の車両の横滑りや多重事故のリスクを軽減し、ドライバーを補助します。

前提条件

マルチコリジョン ブレーキングが作動するのは、以下の場合のみです。

- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時
- エアバッグコントロールユニットが事故の際に該当する作動しきい値を検出したとき
- 約 10 km/h を超える車速で走行しているときに事故が発生した場合。

i インフォメーション

事故の時にPSMや電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSMが自動的に油圧ブレーキを作動させ減速させます。

例外条件

以下の状況では、事故があっても自動的にブレーキは作動しません：

- ドライバーが強くアクセルペダルを踏んだとき。
- ドライバーがブレーキペダルを踏み込んだときのブレーキ圧がシステムのブレーキ圧より高いとき。

トレーラー スタビリティ マネージメント¹

トレーラー スタビリティ マネージメントは、トレーラー 連結運転を支援する PSM 内の支援機能です。

トレーラー スタビリティ マネージメントは、トレーラー 連結車両の蛇行を検出します。

このような危険な走行状態である蛇行が少しでも検出されると、フロント アクスルの各車輪に対して個別にブレーキ介入が行われ、トレーラー 連結車両の走行を安定化させます。その場合でも、ドライバーはトレーラー 連結車両を加速させることができます。より激しい蛇行が生じている場合、トレーラー スタビリティ マネージメント機能は、トレーラー 連結車両の走行が安定するまで車両にブレーキをかけます。

どのような運転状況でもトレーラー 連結車両の走行を安定化できるというわけではありません。具体例を挙げると、路面が滑りやすいまたはぬかるんでいる状況では、トレーラーが V 字形に折れ曲がる場合があります。またトレーラーの重心が高いと転倒する恐れがあります。

- ▶ 車両制御中には慎重にステアリング操作してください。
 - ▷ 「トレーラーを連結した運転」の章（174 ページ）を参照してください。



警告

車両コントロールの喪失

トレーラー スタビリティ マネージメントは、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。トレーラー スタビリティ マネージメントが装備されていても、物理的原則を回避することはできません。

せん。

- ▶ トレーラー スタビリティ マネージメントがもたらすメリットがあるとしても、ドライバーには、路面、天候および周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。



警告

トレーラーの V 字屈曲

(路面が滑りやすいまたはぬかるんでいる状況などにおいて) トレーラーが V 字形に折れ曲がると、トレーラー 連結車両の走行を安定化できません。

- ▶ 路面状況に応じた運転を心がけてください。



警告

トレーラーの転倒

またトレーラーの重心が高いと転倒する恐れがあります。

- ▶ 走行スタイルを積荷に合わせてください。



警告

速度超過

トレーラー 連結車両は、路面、交通状況および車両 / トレーラーの積載物に適した速度で運転する必要があります。走行場所の周辺状況に対して速度が速すぎると、ドライバーは車両 / トレーラーを制御できなくなる恐れがあります。

- ▶ トレーラーを連結した運転用の法定速度を遵守します。
- ▶ 車両とトレーラーを組み合わせた走行安定性は、速度が上昇するにつれて悪化します。下り坂コース、悪い路面状態および悪天候（強風など）では特

にスピードを落として走行します。

- ▶ エンジン ブレーキ効果を利用するために、下り坂コースでは適切な低いギヤで走行します。
- ▶ けん引車両は空で、トレーラーに荷物をたくさん積んだ状態にして、運転しないでください。この好ましくない状況がどうしても避けられない場合は、特にスピードを落として運転してください。
- ▶ トレーラーが揺れ始めた場合はすぐに減速します。カウンター ステアリングしないでください。必要に応じてブレーキをかけます。加速することによって車両とトレーラーの組み合わせをまっすぐにしようとししないでください。
- ▷ 「重量 [メーカー発表値]」の章（290 ページ）を参照してください。

作動準備が整っています

- ✓ トレーラー コネクターが差し込まれ、トレーラーが検出されている。
- ✓ トレーラー上の各ライト (各灯、ブレーキライト、方向指示器) が正しく作動しており、トレーラー自体も正常に機能している。
- ✓ インジケーターを ON にすると、トレーラーの方向指示器インジケーター ライトが点灯する。
 - ▷ 「警告灯およびインジケーター ライト」の章（40 ページ）を参照してください。
- ✓ トレーラー スタビリティ マネージメントは、PSM が ON の状態で速度が約 65 km/h に達すると作動する。
- ▶ トレーラーを連結した運転用の法定速度を遵守します。

1. (一部の国で利用可能)

あ

i インフォメーション

- PSM を OFF にするとトレーラー スタビリティ マネージメントも OFF になります。
 - PSM が OFF の状態でも、制動力が高まるとトレーラー スタビリティ マネージメントが作動します。
 - 電動格納式トレーラーは、完全に伸長され、最大伸長位置になければなりません。
-

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

走行プログラム

装備により、全体的によりスポーティーで多様な走行プログラムがあります。

NORMAL、SPORT、SPORT PLUS および INDIVIDUAL 走行プログラムの車両設定に関する情報

▶ 「選択した走行プログラムの車両設定の概要」の章（286ページ）を参照してください。

E-Hybrid 車両の E-POWER、HYBRID AUTO、E-CHARGE、E-HOLD 走行プログラムの走行モードの選択および車両設定に関するインフォメーション：

▶ 「モードスイッチでの走行プログラムの選択」の章（191ページ）を参照してください。

走行プログラムの選択

i インフォメーション

作動準備が整うと、ノーマル走行モードが自動的に有効になります。

ダッシュボードのタッチディスプレイで走行プログラムを選択する

1. 車両  ▶ ドライブ  を選択します。
2. タッチディスプレイで希望の走行プログラムを選択してください。

センターコンソールでの走行プログラムの選択

✓ スポーツクロノパッケージ非装備車

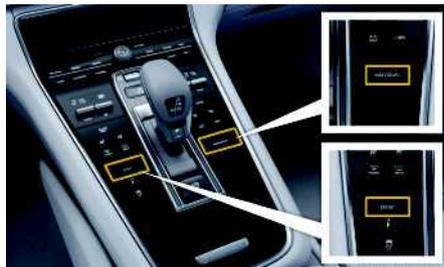


図 227：センターコンソールの走行プログラムボタン

- ▶ **SPORT** ボタンまたは **INDIVIDUAL** ボタンを押します。
走行プログラムが作動している場合、ボタンのインジケータライトが点灯し、デジタルスピードメーターに走行プログラムが表示されます。

モードスイッチでの走行プログラムの選択

✓ スポーツクロノパッケージ装備車



図 228：ステアリングホイールのモードスイッチ

- ▶ モードスイッチを左または右に回して、希望する走行プログラムを選択します。
デジタルスピードメーターに選択した走行プログラムが表示されます。

INDIVIDUAL 走行モードの設定

個別走行プログラムでは、シャーシ、車両レベル、スポーツエキゾーストシステム、オートスタート/ストップ機能 (E-Hybrid 車両ではない)、およびリヤスポイラーを、ノーマル、スポーツ、スポーツプラスの各走行プログラムに基づいて個別に組み合わせることができます。保存した組み合わせは、モードスイッチを個別モードに切り替えるか、**INDIVIDUAL** ボタンを使用して再び呼び出すことが可能です。

個別モードで設定を保存する

1. 車両  ▶ ドライブ  を選択します。
2. タッチディスプレイで希望の設定を選択してください。
3. 設定を保存するには、ヘッダーの  を選択してください。

SPORT Response モードの使用

✓ スポーツクロノパッケージ装備車

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



図 229 : SPORT Response ディスプレイ タイマー

SPORT Response モードでは、エンジンおよびトランスミッションがタイマー コントロールで最大レスポンスに設定されます。

車両は以前に選択していた走行プログラムに戻ります。

SPORT Response モードの作動

- ▶ モードスイッチのSPORT Response ボタンを再度押してください。
「車両&情報」ディスプレイ内のタイマーは、この機能が有効な残り時間を示します。その後、約20秒後、車両は以前に選択していた走行プログラムに戻ります。

SPORT Response モードの作動停止

- ✓ SPORT Response モードが作動している
- ▶ モードスイッチのSPORT Response ボタンを再度押してください。

選択した走行プログラムの車両設定の概要

- ▶ 個々の車両機能に関して詳しくは、該当するセクションを参照してください。

走行モード	NORMAL/HYBRID	SPORT	SPORT PLUS
アイドル回転数上昇	無効	作動	作動
シフトダウン時の中間スロットルの適用	無効	作動	作動
車内のエンジン サウンド最適化	無効	作動	作動
バックファイア	無効	作動	作動
ローンチ コントロール	作動できない	作動できない	作動できる
オート スタート / ストップ	作動	作動できない	作動できない
スポーツ エキゾースト システム	無効	作動	作動

ノーマル

日常での走行中、コントロールシステムは快適さと燃費のバランスを取りながら機能します。

スポーツ

日常での走行中、コントロールシステムは情動性およびダイナミズムを重視して調整されます。

スポーツ プラス

レース サーキットのような運転で最高のパフォーマンスを発揮します。

スポーツエキゾースト システムの ON/OFF

スポーツ エキゾースト システムはPCMで排気音最適化モードに切り替えることができます。

▶ 車両  ▶ ドライブ  ▶ スポーツ エキゾースト システム

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

テクニカル・データ

以下のページでは、お使いの車両の技術データ (メーカー参考値) を表示します。

テクニカル データ

この取扱説明書に含まれる情報は、装備品または国別で車両固有データと異なる場合があります。指定されている場合を除き、すべてのボディの種類に適用されます。車両固有データに関しては、車両の公式登録書類およびインフォメーションプレート(例: ピークルプレート)を参照してください。

車両の公式登録書類の情報は、常にこの取扱説明書の内容よりも優先されます。

車両識別番号



図 230 : 車両識別番号の記載箇所

車両識別番号はフロント ガラス枠の内側、左下と助手席足元のカーペットのカバー下にあります。

- ▶ スペア パーツの注文をする場合は、必ず車両識別番号を明示してください。

タイヤ空気圧プレート



図 231 : タイヤ空気圧プレート固定ポイント

データ バンク

車両の大切な情報が記載されている車両データ バンクは、「整備手帳」の中に添付されています。このデータバンクは、紛失したり破損したりしても再注文することはできません。

充填容量

	Panamera Turbo S E-Hybrid	Panamera Turbo S	Panamera GTS	Panamera 4 E-Hybrid	Panamera 4S E-Hybrid	Panamera、Panamera 4
燃料タンク	約 80 リットル (予備用の約 12 リットルを含む)。	約 90 リットル (予備用の約 12 リットルを含む)。	約 90 リットル (予備用の約 12 リットルを含む)。	約 80 リットル (予備用の約 10 リットルを含む)。	約 80 リットル (予備用の約 10 リットルを含む)。	約 75 リットル (オプション: 約 90 リットル) (予備用の約 10 リットルを含む)。
フロント ウィンドウ / ヘッドライト ウォッシャー液	約 2.5 リットル (ヘッドライト ウォッシャー システム付きは約 6 リットル)					

燃料消費量および CO₂ 排出量

CO₂ 排出量は燃費に直接影響されます。安全運転や定期点検によって、CO₂ 排出量を最小限に抑制できます。

i インフォメーション

国により、車両の燃費と排出値が納車時に提供された書類に記載されている場合があります (例: 「適合証明」)。そこに記載されている値は、規定の測定方法 (現行バージョンの Euro 6: 基準 (EU) 715/2007; 現行バージョンの Euro 5: ECE-R 101 と ECE-R 83) に基づいて測定したものです。

重量 (メーカー発表値)

規格 (EC) 1230/2012 に基づく空車重量には運転者 75 kg と荷物が含まれます。

- ▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加アクセサリなどが装備されている場合は、それに応じて最大積載重量が減少します。
- ▶ Porsche Tequipmentの製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認したルーフトランスポート システムのみを使用してください。
- ▶ ルーフトランスポート システムの積載時は、130 km/h (80 mph) を超える速度で走行しないでください。

	Panamera Turbo S E-Hybrid (リヤシート 2 席)	Panamera Turbo S E-Hybrid (リヤシート 3 席)	Panamera Turbo S (リヤシート 2 席)	Panamera Turbo S (リヤシート 3 席)
最大軸荷重、フロント	1,355 kg	1,355 kg	1,295 kg	1,310 kg
最大軸荷重、リヤ	1,540 kg	1,575 kg	1,365 kg	1,430 kg
最大総重量	2,810 kg	2,880 kg	2,585 kg	2,665 kg

	Panamera Turbo S E-Hybrid (リヤシート2席)	Panamera Turbo S E-Hybrid (リヤシート3席)	Panamera Turbo S (リヤシート2席)	Panamera Turbo S (リヤシート3席)
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg
最大けん引重量 (ブレーキ装備車) ¹	-	-	2,200 kg	2,200 kg
最大けん引重量、ブレーキなし	-	-	750 kg	750 kg
車両とトレーラーを組み合わせた総重量のレーティング	-	-	4,785 kg	4,865 kg
最大ドローバー荷重	-	-	100 kg	100 kg

	Panamera GTS (リヤシート2席)	Panamera GTS (リヤシート3席)	Panamera GTS Sport Turismo (リヤシート2席)	Panamera GTS Sport Turismo (リヤシート3席)
最大軸荷重、フロント	1,295 kg	1,310 kg	1,305 kg	1,315 kg
最大軸荷重、リヤ	1,365 kg	1,430 kg	1,390 kg	1,450 kg
最大総重量	2,585 kg	2,665 kg	2,615 kg	2,700 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg
最大けん引重量 (ブレーキ装備車) ¹	2,200 kg	2,200 kg	2,200 kg	2,200 kg
最大けん引重量、ブレーキなし	750 kg	750 kg	750 kg	750 kg

1. 坂道の勾配率が 12% 以下のとき

	Panamera GTS (リヤシート 2席)	Panamera GTS (リヤシート 3席)	Panamera GTS Sport Turismo (リヤシート2席)	Panamera GTS Sport Turismo (リヤシート3席)
車両とトレーラーを組み合わせた総重量のレーティング	4,785 kg	4,865 kg	4,815 kg	4,900 kg
最大ドローバー荷重	100 kg	100 kg	100 kg	100 kg
	Panamera 4S E-Hybrid (リヤシート2席)	Panamera 4S E-Hybrid (リヤシート3席)	Panamera 4 E-Hybrid Sport Turismo (リヤシート2席)	Panamera 4 E-Hybrid Sport Turismo (リヤシート3席)
最大軸荷重、フロント	1,285 kg	1,285 kg	1,280 kg	1,300 kg
最大軸荷重、リヤ	1,530 kg	1,570 kg	1,525 kg	1,585 kg
最大総重量	2,750 kg	2,785 kg	2,735 kg	2,810 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg
	Panamera 4 (リヤシート2席)	Panamera 4 (リヤシート3席)	Panamera 4 Sport Turismo (リヤシート2席)	Panamera 4 Sport Turismo (リヤシート3席)
最大軸荷重、フロント	1,210 kg	1,230 kg	1,220 kg	1,235 kg
最大軸荷重、リヤ	1,320 kg	1,385 kg	1,355 kg	1,420 kg

	Panamera 4 (リヤシート2席)	Panamera 4 (リヤシート3席)	Panamera 4 Sport Turismo (リヤシート2席)	Panamera 4 Sport Turismo (リヤシート3席)
最大総重量	2,460 kg	2,550 kg	2,510 kg	2,585 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg
最大けん引重量 (ブレーキ装備車) ¹	2,200 kg	2,200 kg	2,200 kg	2,200 kg
最大けん引重量、ブレーキなし	750 kg	750 kg	750 kg	750 kg
車両とトレーラーを組み合わせた総重量のレーティング	4,660 kg	4,750 kg	4,710 kg	4,785 kg
最大ドローバー荷重	100 kg	100 kg	100 kg	100 kg
	Panamera (リヤシート2席)		Panamera (リヤシート3席)	
最大軸荷重、フロント	1,195 kg		1,195 kg	
最大軸荷重、リヤ	1,385 kg		1,385 kg	
最大総重量	2,515 kg		2,515 kg	
最大ルーフ積載荷重	75 kg		75 kg	
最大けん引重量 (ブレーキ装備車) ¹	2,200 kg		2,200 kg	
最大けん引重量、ブレーキなし	750 kg		750 kg	
車両とトレーラーを組み合わせた総重量のレーティング	4,715 kg		4,715 kg	
最大ドローバー荷重	100 kg		100 kg	

1. 坂道の勾配率が 12% 以下のとき

車両寸法

長さ (装備により異なる)	5,049 mm ~ 5,199 mm
幅 (装備により異なる)	1,937 mm
ドア ミラーを含む全幅	2,165 mm
DIN 規定の空車重量での高さ	1,399 mm ~ 1,432 mm
リヤリッド オープン時の全高	2,110 mm ~ 2,129 mm
DIN 規定の空車重量での地上高 シャーシバージョンによる	134 mm

タイヤとホイール

タイヤ / ホイール サイズ

ポルシェ社が承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。記載されている荷重指数 (例: 「105」) と速度記号 (例: 「Y」) 以上の性能のタイヤを使用してください。新しいタイヤを装着するとき、またはタイヤの交換を行う場合:

- ▶ 「タイヤおよびホイール」の章 (145ページ) を参照してください。
- ▶ スノーチェーンは、適切なマークが付いたホイールおよびタイヤ サイズにのみ装着します。スノーチェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェが承認したスノーチェーンのみ使用します。
- ▶ リヤアクスルステアリング装備車のスノーチェーンモードを起動します。
 - ▶ 「車両設定」の章 (135ページ) を参照してください。
- ▶ 交換するタイヤ / ホイールが EU 規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール / タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。詳しい情報はポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

タイヤ種類	タイヤ サイズ	ホイール サイズ	スノーチェーンの装着
全モデル			
スペア ホイール	155 / 70 R 20	4.5B x 20	不可
Panamera、Panamera 4、Panamera 4 E-Hybrid、Panamera GTS、Panamera 4S E-Hybrid			

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
サマータイヤ	FA : 265/45 ZR 19 (105Y) XL RA : 295/40 ZR 19 (108Y) XL	FA : 9.0J x 19、RO 64 ¹ RA : 10.5J x 19、RO 62 ¹	不可
	FA : 275/40 ZR 20 (106Y) XL RA : 315/35 ZR 20 (110Y) XL	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA : 275/35 ZR 21 (103Y) XL RA : 315/30 ZR 21 (105Y) XL	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 11.5J x 21、RO 69	不可
オールシーズンタイヤ	FA : 275/40 R 20 106V M+S RA : 315/35 R 20 110V M+S	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA : 275/35 R 21 103V XL M+S RA : 315/30 R 21 105V XL M+S	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 11.5J x 21、RO 69	不可
ウインタータイヤ	FA : 265/45 R 19 105V XL M+S RA : 295/40 R 19 108V XL M+S	FA : 9.0J x 19、RO 64 RA : 10.5J x 19、RO 62	リヤ アクスルのみ
	FA : 275/40 R 20 106V XL M+S RA : 315/35 R 20 110V XL M+S	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 10.5J x 20、RO 71	リヤ アクスルのみ
	FA : 275/35 R 21 103V XL M+S RA : 315/30 R 21 105V XL M+S	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 10.5J x 21、RO 71	リヤ アクスルのみ
Panamera Turbo S			
サマータイヤ	FA : 275/40 ZR 20 (106Y) XL RA : 315/35 ZR 20 (110Y) XL	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA : 275/35 ZR 21 (103Y) XL RA : 315/30 ZR 21 (105Y) XL	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 11.5J x 21、RO 69	不可
オールシーズンタイヤ	FA : 275/40 R 20 106V M+S	FA : 9.5J x 20、RO 71	不可

1. ボルシェ セラミック コンボジット ブレーキ (PCCB) との併用はできません

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着	
ウインター タイヤ	RA: 315/35 R 20 110V M+S	RA: 11.5J x 20, RO 68	不可	
	FA: 275/35 R 21 103V M+S RA: 315/30 R 21 105V M+S	FA: 9.5J x 21, RO 71 RA: 11.5J x 21, RO 69		
	FA: 275/40 R 20 106V M+S RA: 315/35 R 20 110V M+S	FA: 9.5J x 20, RO 71 RA: 10.5J x 20, RO 71	リヤ アクスルのみ	
	FA: 275/35 R 21 103V M+S RA: 315/30 R 21 105V M+S	FA: 9.5J x 21, RO 71 RA: 10.5J x 21, RO 71	リヤ アクスルのみ	
	Panamera Turbo S E-Hybrid			
	サマー タイヤ	FA: 275/35 ZR 21 (103Y) XL RA: 325/30 ZR 21 (108Y) XL	FA: 9.5J x 21, RO 71 RA: 11.5J x 21, RO 69	不可
オール シーズン タイヤ	FA: 275/40 R 20 106V M+S RA: 315/35 R 20 110V M+S	FA: 9.5J x 20, RO 71 RA: 11.5J x 20, RO 68	不可	
	FA: 275/35 R 21 103V M+S RA: 315/30 R 21 105V M+S	FA: 9.5J x 21, RO 71 RA: 11.5J x 21, RO 69	不可	
ウインター タイヤ	FA: 275/40 R 20 106V M+S RA: 315/35 R 20 110V M+S	FA: 9.5J x 20, RO 71 RA: 10.5J x 20, RO 71	リヤ アクスルのみ	
	FA: 275/35 R 21 103V M+S RA: 315/30 R 21 105V M+S	FA: 9.5J x 21, RO 71 RA: 10.5J x 21, RO 71	リヤ アクスルのみ	

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、RO = リム オフセット

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧はいずれも、ボルシェが認定したメーカーおよび仕様のタイヤの冷間時 (20 °C) にのみ適用されるものです。

工場取り付けタイヤの正しいタイヤ空気圧は、タイヤ空気圧プレートで確認できます。選択できるその他すべてのタイヤの指定タイヤ空気圧は、PCMのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) ディスプレイで確認できます。

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) でタイヤの種類、タイヤのサイズおよび車両の積載状況を設定し、「標準タイヤ空気圧」または「コンフォート タイヤ空気圧」のいずれか (国または装備に応じて) を選択します。

- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」の章 (145ページ) を参照してください。
- ▶ タイヤ空気圧プレートと、PCM のタイヤ空気圧モニタリング (TPM) ディスプレイを参照してください。
 - 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ タイヤ空気圧
- ▶ タイヤ空気圧を仕様に合わせます。



警告

タイヤ空気圧が低い

「コンフォート プレッシャー」オプションは国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。高速走行時にタイヤ空気圧が低いと、タイヤが破損します。

▶ コンフォート プレッシャーは「コンフォート プレッシャー」機能を備えた車両のタイヤのみに設定してください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

テクニカル データ：オーディオおよびビデオ ファイル

対応するメディア	SD カード 128 GB まで
ア	ポータブル プレーヤー MTP プレーヤー、「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB 2.0 デバイス (USB スティック、専用ドライバー ソフトウェア不要の USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュ メモリーおよびハード ドライブなど) DVD チェンジャー オーディオ CD (最大 80 分)、標準ビデオ DVD、DVD オーディオ互換ビデオ DVD
ファイル システム	SD/SDHC/SDXC/MMC メモリー カード USB 大容量記憶装置 exFAT、FAT、または FAT32、NTFS ファイル システム (最大 4 パーティション)
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3 : Windows Media Audio 9 および 10 ; MPEG 2/4 ; FLAC、MPEG 1/2 ; ISO-MPEG4 ; DivX 3、4 および 5 ; Xvid ; ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC) M ; Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3、.wma、.asf、.m4a、.m4b、.aac、.flac、.mpg、.mpeg、.avi、.mp4、.m4v、.mov、.wmv
再生リスト	.M3U ; .PLS ; .WPL ; .M3U8 ; .ASX
特徴	最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプリング周波数; 最大 25 fps 時、最大 2,000 kbit/s および 720x576 px.
ファイル数	Jukebox (最大 10 GB ストレージ容量) 最大 3,000 ファイルをコピー可 USB 大容量記憶装置およびメモリー カード 媒体ごとに最大 10,000 ファイル、ディレクトリー / 再生リストごとに最大 1,000 ファイル
メタデータ	アルバム カバー最大 800 x 800 ピクセル; GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote データベース経由

テクニカルデータ：接続

携帯ネットワーク	GSM/GPRS/EDGE：デュアルバンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプルバンド、900 MHz (Band VIII) /1800 MHz (Band III) /2100 MHz (Band I) LTE：クワッドバンド、800 MHz (Band 20) /900 MHz (Band 8) /1800 MHz (Band 3) /2600 MHz (Band 7)
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
Bluetooth®	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、通信範囲約 10 m
SIMカード	ミニ SIM、寸法: 25 x 15 mm

テクニカルデータ：ラジオ

周波数範囲 / 規格	UKW (FM)：87.5 ~ 108 MHz (100 kHz 単位の手動調節) MW (AM)：531~1602 kHz (国別仕様による、9 kHz 単位の手動調節)
自動選局付きチューニンググリッド	UKW (FM)：100 kHz MW (AM)：9 kHz (国別仕様による)

ライセンス告知

Bluetooth®	Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アイシン エィ ダブリュ (株) はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。	
Dolby Digital	ドルビー ラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビー ラボラトリーズの商標です。	
DTS Digital Surround		DTS 特許については、 http://patents.dts.com を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround は DTS, Inc. の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.
Gracenote		Gracenote および Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

エンド ユーザー使用許諾契約書

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー-或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみを使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。+B19 無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© 2000 to present Gracenote, Inc.

Gracenote®

Bluetooth® 認証 (抜粋)

Albania – Andorra – Angola – Aruba – Australia – Austria – Bahamas – Bahrain – Barbados – Belarus – Belgium – Belize – Bolivia – Bonaire – Bosnia and Herzegovina – Brazil – Brunei – Bulgaria – Burkina Faso – Canada – Chile – China – Colombia – Costa Rica – Croatia – Curacao – Cyprus – Czech Republic – Denmark – Dominican Republic – Ecuador – Egypt – El Salvador – Estonia – Ethiopia – Finland – France – French Guyana – French Polynesia – Gabon – Germany –

Ghana – Gibraltar – Guadeloupe – Guatemala – Greece – Greenland – Hong Kong – Hungary – Iceland – India – Indonesia – Ireland – Iraq – Israel – Italy – Ivory Coast – Jamaica – Japan – Jordan – Kenya – Kosovo – Kuwait – Latvia – Lebanon – Lesotho – Liberia – Libya – Liechtenstein – Lithuania – Luxembourg – Macau – Macedonia – Madagascar – Malaysia – Malta – Martinique – Mauritius – Mexico – Monaco – Mongolia – Morocco – Mozambique – Netherlands – New Caledonia – New Zealand – Nigeria – Norway – Oman – Pakistan – Panama – Peru – Poland – Portugal – Puerto Rico – Qatar – Réunion – Romania – Russia – San Marino – Saudi Arabia – Senegal – Serbia – Singapore – Slovakia – South Africa – Spain – St. Lucia – Sweden – Switzerland – Tahiti – Taiwan – Thailand – United Arab Emirates – United Kingdom – Uruguay – USA – Venezuela – Vietnam – Yemen – Zimbabwe

リサイクル

耐用年数経過後の車両の返却

欧州連合加盟国の車両のみ：

耐用年数に達したボルシェ車両は、Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG が、無料で、環境負荷の小さい方法で廃棄します。使用済みの車両を返却して関連する解体証明書を取得するには、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

エアバッグおよびシート ベルト テンショナー ユニット

非点火ガス発生装置またはエアバッグおよびシートベルト テンショナー ユニット装備車両の全体もしくは一部分を、絶対に「通常の」解体品または廃棄物として処分したり、他の形態の廃棄物の中に混ぜて処分したりしないでください。

適切な廃棄処分の詳細については、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

電気 / 電子機器および古いバッテリー

ゴミ箱に x 印のマークが付いた電気 / 電子機器および古いバッテリーは、決して家庭ゴミと一緒に捨てないでください。必ず適切に廃棄処分してください。

- ▶ 廃棄処分する際は、国ごとの法規を遵守してください。
- ▶ 古いバッテリーおよび電気 / 電子機器は、回収場所を持ち込んでください。
- ▶ 高電圧バッテリーは危険物です。このバッテリーに手を加えたり、決してご自身で廃棄しないでください。

適切な廃棄処分の詳細については、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

無線装置 (EU の地域外)

検査マークおよび適合宣言

Albania, Bahrain, Bosnia and Herzegovina,
French Guyana, Georgia, Gibraltar,
Guadeloupe, Iceland, Israel, Ivory Coast,
Kuwait, Macedonia, Martinique, Monaco,
Montenegro, New Caledonia, Norway,
Reunion, Sri Lanka, St. Lucia, Switzerland,
Trinidad & Tobago, Turkey.



Argentina



CNC ID: H-21037
CNC ID: H-17181
CNC ID: H-16163

Australia



Belarus



Brazil



図 232 : 検査マーク (ブラジル向け G2)

Modelo BCMevo5: 02393-19-05364
Modelo PK3: 00971-18-02930
2294-15-3616
0716-15-3745
05031-16-06324
2230-14-3745
05531-16-02149

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

Brunei

DTA-002281

Customs Union (including Armenia, Belarus, Kazakhstan, Russia)



Модель: LTE-MBC-EU
Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH
Сделано в Германии
Электропитание: 12 V=, 400 mA
Модель: LTE-MBC-EU2
Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH
Сделано в Германии
Электропитание: 12 V=, 400 mA

Ghana

NCA APPROVED: 3R8-8M-7DF-2AA
NCA APPROVED: 1R3-1M-7E0-14B
NCA APPROVED: 2R9-1H-7E0-ODA

Hong Kong

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.

Indonesia



55538/SDPPI/2018
2208

38478/SDPPI/2015
44229/SDPPI/2016
36930/SDPPI/2014
34538/SDPPI/2014
47977/SDPPI/2016
2684



63118/SDPPI/2019
2692

Israel

Model Name: TSSRE4Dg
Manufacturer: Huf Electronics Bretten
Model Name: LRR4
Manufacturer: Bosch

Jamaica

This product has been Type Approved by Jamaica:
SMA – BCMevo.
This product has been Type Approved by Jamaica:
SMA – PK3.

This product has been Type Approved by Jamaica:
SMA - BCMevoC.

This product has been Type Approved by Jamaica:
SMA - BCMevo5.

Japan



Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

Jordan

- TRC/LPD/2017/615
- TRC/LPD/2014/129
- TRC/LPD/2016/44
- TRC/LPD/2014/212
- TRC/LPD/2014/73
- TRC/LPD/2016/583

Malaysia



CIDF19000029
CIDF15000490

Mexico

- IFETEL: RLVHEBC15-093
- IFETEL: RLVPOPK17-1947
- IFETEL: RLVBOLR14-1873
- IFETEL: RCPBOMP14-0922
- IFETEL: RLVCOBC16-1825
- IFETEL: IFT-008-2015

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Moldova



Mongolia



**APPROVED
IN MONGOLIA
ID: A18000286**



**APPROVED
IN MONGOLIA
ID: A17000167**

Morocco

AGREE PAR L'ANRT MAROC

- Numéro d'agrément :
MR 17800 ANRT 2018
Date d'agrément : 24/10/2018
- Numéro d'agrément :
MR 15019 ANRT 2017
Date d'agrément : 26/10/2017
- Numéro d'agrément :
MR 10293 ANRT 2015

Date d'agrément : 15/04/2015
 Numéro d'agrément :
 MR 9668 ANRT 2014
 Date d'agrément : 30/09/2014
 Numéro d'agrément :
 MR 9186 ANRT 2014
 Date d'agrément : 22/04/2014
 Numéro d'agrément :
 MR 12651 ANRT 2016
 Date d'agrément : 18/10/2016
 Numéro d'agrément :
 MR 15019 ANRT 2017
 Date d'agrément : 26/10/2017
 Numéro d'agrément :
 MR 13255 ANRT 2017
 Date d'agrément : 09/02/2017
 Numéro d'agrément :
 MR 19520 ANRT 2019
 Date d'agrément : 23/04/2019

Oman

オマーン - TRA
 D172249
 TA056891
 オマーン - TRA
 TA044715
 D100428
 OMAN - TRA/TA-R/2282/14
 D080134
 オマーン - TRA/RA-R/4813/17
 D100428
 OMAN - TRA/TA-R/2609/15
 D080134
 OMAN - TRA/TA-R/2160/14
 OMAN - TRA/TA-R/3673/16
 D100428
 オマーン - TRA/R/3848/17
 D080134

オマーン - TRA/R/8056/19
 D090024

Pakistan



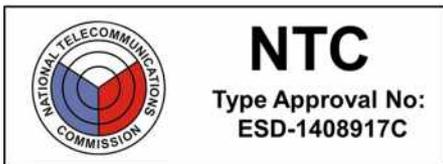
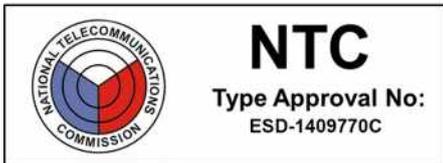
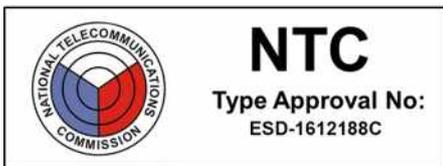
Paraguay



NR: 2017-12-I-0000410



Philippines



Qatar

Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714

Approval Ref.: CRA/SA/2014/R-4315

Serbia



Singapore

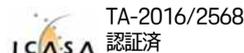
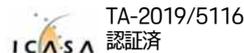
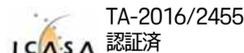
Complies with IDA Standards DA 103787.

Complies with IDA Standards DB 03227.

Complies with IDMA Standards N2853-18.

PAP DEALER No: DB 107205.

South Africa



South Korea



R-C-MQU-PK3

송신기 주파수 21.85 kHz

B급 기기 (가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

해당 무선 설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음

송신기 주파수 433.92 MHz

B급 기기 (가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

해당 무선 설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음

MSIP-REM-HEB-TSSSG4G5

MSIP-CRM-HEB-TSSRE4DG

BO-LRR4

인증 받은 자의 상호 Molex CVS Dabendorf GmbH
/

제조사/제조국가 Germany /

기자재의 명칭/ 모델명 LTE-MBC-CN /

기자재의 명칭/ 모델명 MSIP-RMM-N7V-LTE-
MBC-CN**Taiwan**

CCAK15LP0801T1

CCAE15LP0190T0

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條: 經型式認證合格之低功率射頻電機, 非經許可, 公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條: 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信; 經發現有干擾現象時, 應立即停用, 並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信, 指依電信法規定作業之無線電信。

低功率射頻電機需忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條經型式認證合格之低功率射頻電機, 非經許可, 公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信; 經發現有干擾現象時, 應改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信, 指依電信法規定作業之無線電信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

本器材須經專業工程人員安裝及設定, 始得設置使用, 且不得直接販售給一般消費者

電磁波警語標示: 「減少電磁波影響, 請妥適使用
輸入電源需使用所附的5A保險絲於產品前端做保護**Thailand**This telecommunication equipment conforms to
NTC technical requirements.**Ukraine**

Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to the Technical Regulation on Radio Equipment of Ukraine (Decree 355/2017). This information contains details of the manufacturers and the transmission characteristics of the radio equipment from April 2019. The full text of the relevant Declarations of Conformity is available at the following website:

[https://porsche.ua/accessoriesandservice/
porscheservice/](https://porsche.ua/accessoriesandservice/porscheservice/)**United Arab Emirates**TRA REGISTERED No: ER58762/17,
DEALER No: 0018994/09TRA REGISTERED No: ER66073/18,
DEALER No: 0018994/09TRA REGISTERED No: ER38298/15,
DEALER No: 0018994/09TRA REGISTERED No: ER38964/15,
DEALER: HUF ELECTRONICS GmbHTRA REGISTERED No: ER16889/09,
DEALER No: DA36785/14TRA REGISTERED No: ER39135/15,
DEALER No: DA36785/14TRA REGISTERED No: ER50430/16,
DEALER No: 0018994/09TRA REGISTERED No: ER47992/16,
DEALER No: 0043253/10

Vietnam



索引

記号

◇ ボタンの設定	135
4WD	
4 輪駆動ディスプレイ	47
トルク配分の表示	47
ガソリン	
タンク容量	290
燃料計	40
燃料残量警告	40
グローブボックス	
道路通行料自動收受システム (ETC)	189
保管	137
ジャッキ	116
エアサスペンション装備車のリフトアップに関するインフォメーション	63
車両のリフトアップ	116
ジャンパー ケーブルによる始動	117
外部電源	117
ダイナミック コーナーリング ライト	249
ダイナミック ハイ ビーム	249
ダッシュボードのタッチ ディスプレイ	233
Info widget	237
ホーム画面	237
データ接続	
PCM ホットスポットの使用	228
デバイス マネージャー	163
確立 (外部 WiFi ホットスポット)	227
確立中 (内蔵 SIM カード)	227
ディスプレイ	
お手入れの諸注意	134
デコラティブ フィルム	132
お手入れの諸注意	132
デジタル スピードメーター	39
デジタル取扱説明書	
オンボード	3
デバイス マネージャー	163
ドア	
キーによるロック	126
ボルシェ コンフォート アクセスによるロック	126
ボルシェ コンフォート アクセスによる車両のロック	126
開操作	126
緊急ロック	128
緊急ロック解除	128
車内からの開閉操作とロック	126
ドア ミラー	243

ドア ミラー ヒーターの ON/OFF を切り替える	60
ドアの緊急ロック	128
ドアの緊急ロック解除	128
ドライビング データの表示 (トリップ情報)	164
パーキング アシスタント	
リパース カメラ	201
パーキング ブレーキ	
エレクトリック パーキング ブレーキ	209
ブレーキテスト スタンドでの測定	162
パークアシスト	200
サラウンド ビュー (RTV)	202
音量調整	201
パーテーション ネット	258
パッシング ライト	249
バッテリー	
ジャンパー ケーブルによる始動	117
バッテリーの注意事項	194
交換	196
接続後の作業	196
バッテリーの交換	
キー	74
パノラミック ルーフ	
サンルーフ	263
パノラミック ルーフ	263
バルブ	251
パワー ウィンドウ	
ウィンドウの開閉	50
キーによるウィンドウの開閉 (リモート コントロール)	50
ドア ハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる (ボルシェ コンフォート アクセス装備車)	51
停止位置の保存	51
パワー ウィンドウの停止位置の保存	51
パンク修理剤の取り外し	254
ビデオ	
対応するメディア形式	297
ビデオを見る	245
ブースト ブレッシュャー ゲージ	40
プラグ ソケット (230 V)	176
プラグ ソケット (12V)	176
ブレーキ	
PCCB	210
エレクトリック パーキング ブレーキ	209
テスト スタンド	162
フットブレーキ	209
ブレイリストを開く	245
プロファイルトリムの開閉	268
ベビー キャリア	158

ベビー シート	158
規定の取り付け方向	154
助手席エアバッグの ON / OFF	159
推奨するチャイルド シート システム	156
ベルト	
お手入れの諸注意	134
シートベルト プリテンショナー	114
警告灯 / 警告シンボル	114
高さ調節	115
着用	115
注意	114
ボイス コントロール	
Siri	278
エアコンのボイス コマンド	222
ナビゲーションのボイス コマンド	221
メディアのボイス コントロール	220
ラジオのボイス コマンド	219
呼び出し	218
設定	136
電話のボイス コマンド	220
ボイスコントロール	
調整	219
ボイスメールを聞く	177
ボトルホルダー	73
ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	
シャシー設定の選択	223
機能説明	223
ボルシェ アクティブ セーフ (PAS)	224
ON/OFF の切り替え	224
距離警告の設定	225
衝突の警告のタイミングの設定	225
歩行者警告	226
予防的乗員保護機能	225
ボルシェ カー コネクト	
設定	135
ボルシェ コネクト	229
サービスの利用	228
データ接続の確立	227
ユーザー (ボルシェ ID) の管理	228
ユーザー (ボルシェ ID) をログアウトする	228
ユーザー (ボルシェ ID) をログイン中	228
ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)	
ダッシュボードのタッチ ディスプレイ	233
リヤのタッチ ディスプレイ	235
車内でマニュアルを開く	238
操作	231
ボルシェ コンフォート アクセス	
ドアをロックする	126
作動原理	124

車両のロック解除	125	サン ブラインド	264	故障	
ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)		パーソナル設定の保存と呼び出し	203	ウィンドウ停止位置の保存	51
トレーラー スタビリティ マネージメント	283	ルーフ システム	263	キーの電池	75
ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)		車両	123	パワー ウィンドウ	51
PSMスポーツの作動	281	革製品		ルーフ システム	264
機能説明	281	お手入れの諸注意	133	故障診断用ソケット	7
ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB)	209	気流の設定	57	交差点ライト	249
ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)	249	曲の再生	245	交通渋滞アシスト	
ボルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)	249	緊急操作		各操作部	165
ボルシェ デュアルクラッチ トランスミッション (PDK)		車両プラグ	144	交通渋滞情報	
E ローチ	170	充電ポート ドア	143	ナビゲーション	188
シフトアップ プロンプト	169	空気圧		工場設定	
マニュアル シフト モード	169	速度警告	145	車両設定のリセット	136
ローンチ コントロール	170	携帯電話		高圧洗浄機	
洗車	168	Bluetooth® 経由で接続する (Windows® および iOS® オペレーティング システム)	179	取扱説明書	130
惰性走行モード	170	Bluetooth® 経由で接続する (既知の携帯電話)	179	高速道路走行時のライト	249
ボーンネット	241	Bluetooth® 経由で接続する (新しい携帯電話)	178	高電圧バッテリーのお手入れ	134
運転席		Bluetooth® 経由で接続する (別の携帯電話)	179	三角の警告灯	253
オドメーター (積算距離計)	46	ワイヤレス充電	181	時刻と日付	
クーラント温度計	39	携帯電話を接続する	178	設定	136
タコメーター	39	収納	181	自動内気循環モードの設定	
トリップメーター	46	携帯電話のワイヤレス充電	181	エアコン システム	59
ライト調節	49	経由地を入力する (ナビゲーション)	187	自動防眩機能	
警告灯およびインジケーター ライト	40	警告およびインフォメーションメッセージ		ミラー	244
車両 & 情報ディスプレイ	39	E-Hybrid 車両	105	識別番号	289
出力 & 駆動ディスプレイ	39	エンジン	91	車載工具	254
速度およびアシスト表示	39	セキュリティ	86	車内で取扱説明書を開く	238
燃料計	40	ドライビング システム	97	車内ブレーキング / ヒーティング	61
運転席メモリー パッケージ	203	車両	94	車幅灯	247
応急処置セット	253	警告ラベル		車両	
横方向の加速度		ハイブリッド車両	190	キーによるロック	126
表示	48	警告灯	40	キーによるロック解除	125
温度の設定		警報システム		ボルシェ コンフォート アクセスによるロック	126
エアコン システム	57	ON/OFF	108	ボルシェ コンフォート アクセスによるロック解除	125
音楽		機能説明	108	緊急ロック	128
USB を介した外部機器の接続	239	機能表示	108	緊急ロック解除	128
お気に入りの保存 / 編集	246	室内モニタリング システムおよび傾斜センサーをOFFにする	108	車内からのロック	126
ラゲッジ コンパートメントの DVD チェンジャー	239	軽合金製ホイール		車両ジャッキ モード	135
再生	245	お手入れの諸注意	132	車両データ バンク	289
荷物		軽修理		車両データ用データ バンク	289
ルーフに載せて運ぶ場合	266	スベア ホイールの使用	198	車両ドア	
海外モード		バンクしたとき	197	ボルシェ コンフォート アクセスによるロック	126
ライト	251	車両が動き出さないように車両を固定する	197	開操作	126
灰皿		車両のけん引	80	車内からのロック解除	125
開く	122	検知ライト	250	車内からの開閉操作とロック	126
空にする	122	言語		車両のお手入れ	130
開閉操作とロック	123	設定	136	Alcantara®	133
ウィンドウ	50				

アンダーコーティング	131	収納オプション	137	送風口	
エアバッグ	133	グロブボックス	137	調整	58
シートベルト	134	フロントアームレストの小物入れ	137	足下の空間温度	
シール	132	充填容量		調整	59
デコラティブフィルム	132	ウォッシュャー液	290	地図(ナビゲーション)	
ファブリックライニング	133	充電		呼び出し	185
プラスチック部品	132	充電ポートリッド位置の表示	40	設定	188
ヘッドライト	132	充電(高電圧バッテリー)		遅延消灯	
ホイールボルト	151	安全に関する指示	140	調整	248
革製品	133	車両プラグの緊急操作	144	着信に応答する/拒否する	177
洗車	130	車両プラグの挿入および充電プロセスの開始	141	駐車	
塗装	131	車両充電ポートの高電圧バッテリー充電表示およびロックステータス表示	142	パークアシスト	200
車両の長期保管	134	充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し	141	リバースカメラ	201
車両プラグ(緊急操作)	144	充電アダプター	176	駐車場	
車両プラグの挿入および充電プロセスの開始	141	充電タイマー機能	142	サラウンドビュー(RTV)	202
車両を使用しない場合	134	充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し	141	通行料デバイス	189
車両充電ポートの高電圧バッテリー充電およびロックステータス	142	充電ポートドア		締め付けトルク	
車両充電ポートの高電圧バッテリー充電表示およびロックステータス表示	142	緊急操作	143	ホイールボルト	151
車両情報		充電ポートリッド		点検	
インストルメントクラスターでの情報取得	48	位置の表示	40	タイヤ空気圧	145
車両寸法	294	縦方向の加速度		電池の切れたキー	
車両設定		表示	48	車両の始動	75
PCM表示を調整する	135	重量(メーカー発表値)		電話	177
アプリ	135	テクニカルデータ	290	Bluetooth®経由で接続する(Windows®およびiOS®オペレーティングシステム)	179
インストルメントクラスターディスプレイの調整	136	助手席エアバッグオフ/オンインジケータ	65	Bluetooth®経由で接続する(既知の携帯電話)	179
キーへの保存	203	小物入れ		Bluetooth®経由で接続する(新しい携帯電話)	178
シートヒーター、シートベンチレーターおよびシート位置の調節	135	フロントアームレストを開く	137	Bluetooth®経由で接続する(別の携帯電話)	179
ジャッキおよびスノーチェーンモードの設定	135	収納オプション	137	インストルメントクラスターでの電話設定	180
タイヤの種類とサイズの設定	147	積載重量		お気に入りの保存/編集	180
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	146	積載	252	デバイスマネージャー	163
ドアロックオプションの設定	135	接続		ポルシェコンシェルジュ	177
パーソナルボタンへの保存	203	データ接続の確立	227	ワイヤレス充電	181
ボイスコントロールシステムの設定	136	接続ステータス	180	携帯電話を接続する	178
マルチファンクションステアリングホイールのボタンの割り当て変更	135	接続ステータス	180	収納	181
圧力差を表示する	147	接続マネージャー	163	接続ステータス	180
警告シグナルおよびパークアシストの音量の調整	136	設定		設定方法	181
言語の設定	136	キーへの保存	203	通話中の各種機能	180
工場設定にリセット	136	パーソナル設定の保存と呼び出し	203	番号をダイヤルする	177
設定	135	車両	135	電話機能をONにする	227
単位の設定	136	洗車	130	電話設定の変更	181
日付と時刻の設定	136	トランスミッションのニュートラル位置	168	塗装	131
手入れ		全積載時		お手入れ	131
ウィンドウ	131	調整	147	つや出し(ポリッシュ)	131
手入れに関する諸注意		走行プログラム	285	マークを取り除く	131
ウィンドウ	131	走行時間	164	傷の補修	131
				保護する	131
				盗難防止	
				イモビライザー、ステアリングコラムロック	108

道路交通案内	188	目的地的入力 / 検索	185
道路通行料自動収受システム (ETC)		輸送 (鉄道、船舶など)	
道路通行料自動収受システム (ETC) の使用	189	車両の固定	81
読書灯	49	連絡先 (電話)	177
内気循環ボタン	59	A	
内気循環モード		A/C MAX ボタン	
ON/OFF の切り替え	59	エアコンシステム	56
内蔵 SIM カード		ABS ブレーキ システム (アンチロック ブレーキ システム)	282
データ接続の確立	227	Alcantara®	
日付と時刻		お手入れの諸注意	133
設定	136	AM	
燃料		周波数帯の設定	245
オクタン価	83	Apple CarPlay	
タンク容量	290	Siri	278
燃料残量警告	40	AUTO (ライト スイッチ)	
品質	83	オートマチック ヘッドライト	247
補給	83	B	
燃料インジケーター	40	Bluetooth®	
燃料のオクタン価	83	デバイス マネージャー	163
燃料計	40	携帯電話を接続する	178
燃料消費量		C	
消費量	290	CO ₂ 排出量	290
排出量		E	
CO ₂	290	E メール メッセージの表示および編集	180
標識の眩しさを軽減	250	E ローンチ	170
標準空気圧		E 充電モード	192
選択	147	E-HOLD モード	192
表示		E-Hybrid 車両	190
車両 & 情報	39	E-POWER 走行プログラム	192
出力 & 駆動	39	F	
速度およびアシスト	39	FM	
不凍剤		周波数帯の設定	245
ウォッシャー液の割合	53	G	
クーラント内	76	G-Force ディスプレイ	48
部分積載時		H	
調整	147	HOLD 機能	280
平均速度、燃費	164	HUD	
保存中		ヘッドアップ ディスプレイ	217
パーソナル設定	203	I	
歩行者警告	226	INDIVIDUAL	285
歩行者保護	241	Info widget	237
補給	83	ISOFIX システム	
フィルター フラップ位置の表示	40	チャイルド シートの規定の取り付け方向	154
燃料	83	トップ テザー	160
放送局を選局 / 保存	245	助手席エアバッグの ON / OFF	159
方向指示器	250	P	
レバー	250	PCM	
		Info widget	237
		Info Widget の設定	238
		PCM WiFi ホットスポットの使用	228
		お手入れの諸注意	134
		ダッシュボードのタッチ ディスプレイ	233
		テキストおよび文字の入力	236
		ドライブリング データの表示 (トリップ情報)	164
		ホーム画面	237
		ホーム画面の設定	237
		メニューを開く	236
		リヤのタッチ ディスプレイ	235
		時刻または温度ディスプレイの設定	236
		電話機能を ON にする	227
		表示の調整	135
		PCM で取扱説明書を開く	238
		PCM の操作	
		ボタンとロータリー プッシュ ボタンでの操作	236
		ロータリー プッシュ ボタンでの操作	236
		PDLS	249
		PDLS Plus	249
		Porsche Doppelkupplung (PDK)	167
		PSM	
		機能説明	281
		S	
		SIM カード	
		データ接続の確立	227
		Siri	278
		SPORT	285
		SPORT PLUS	285
		T	
		TPM (タイヤ空気圧モニタリング)	145
		U	
		USB を介した外部機器の接続	239

W			
WiFi			
PCM WiFi ホットスポットの使用	228		
デバイス マネージャー	163		
外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続の確立	227		
あ			
アームレスト			
フロント小物入れ	137		
アダプティブクルーズコントロール (ACC)	33		
ON/OFF の切り替え	34		
レーダー センサー	32		
各操作部	33		
作動モード	34		
操作方法	33		
目標車間距離の設定	35		
アダプティブクルーズコントロール (ACC)			
警告メッセージ	36		
例外	36		
アダプティブクルーズコントロール(ACC)			
アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の中断と再開	36		
アッパーベンチレーションパネル	58		
アプリ	229		
WiFi 経由で PCM に接続する	229		
アルミニウム リム			
お手入れの諸注意	132		
アンダーコーティング	131		
お手入れの諸注意	131		
アンビエント ライト	49		
い			
イージー エントリー			
イージー エントリー機能の使用	112		
イージー エントリー機能	112		
イオン化			
点灯/消灯	59		
イグニッション			
エンジンの始動および停止	70		
イグニッション ロック	70		
イモビライザー	108		
インジケーター ライト	40		
インストールメント クラスタ			
オプションの選択および機能の有効化	44		
サービス インターバルの表示	48		
スポーツ クロノ ストップウォッチ	119		
ドライビングデータの表示 (トリップ情報)	164		
車両情報の呼び出し	48		
制限速度の設定	48		
速度警告の設定	48		
表示の調整	136		
インストールメント クラスタでの制限速度の設定	48		
インストールメント クラスタでの速度警告の設定	48		
インストールメント パネル	39		
オドメーター (積算距離計)	46		
クーラント温度計	39		
タイヤ空気圧モニタリング	145		
タコメーター	39		
トリップメーター	46		
パーソナル設定の保存と呼び出し	203		
メニュー概要	46		
ライト調節	49		
概要	39		
警告灯およびインジケーター ライト	40		
車両 & 情報ディスプレイ	39		
出力 & 駆動ディスプレイ	39		
操作	44		
速度およびアシスト表示	39		
燃料計	40		
表示の調整	136		
インストールメント パネルのオイル レベル ゲージ	66		
インストールメント照明			
明るさの調節	49		
インターネット			
データ接続の確立	227		
インテリア ライト			
ON/OFF の切り替え	49		
アンビエント ライト	49		
防眩	49		
う			
ウインター タイヤ			
一般情報	149		
ウインター ホイール			
交換	150		
ウィンドウ			
キーによる開閉 (リモートコントロール)	50		
フロントウィンドウ デフロスター	60		
リヤウィンドウヒーターの ON/OFF を切り替える	60		
開閉	50		
手入れに関する諸注意	131		
停止位置の保存	51		
ウォッシュャー液	53		
充填容量	290		
追加	53		
不凍剤	53		
え			
エアサスペンションおよびレベルコントロール システム付きボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)			
エアスプリングの高さの設定	62		
レベルコントロールを OFF にする (車両ジャッキモード)	63		
エアサスペンションおよびレベルコントロール付きボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	62		
エア イベント			
センター エア イベントの開 / 閉	58		
センター エア イベントの調整	58		
開閉	57		
調整	57		
エアコン システム	54		
A/C MAX モードを ON/OFF にする	56		
アッパーベンチレーションパネル	58		
イオン化の ON/OFF の切り替え	59		
オート エアコンを使用する	56		
クライメートコントロールタイブの設定	58		
ブ레이크 / ヒート タイマー	61		
フロントウィンドウ デフロスター	60		
温度の設定	57		
気流の設定	57		
最大冷房出力を ON/OFF にする	56		
自動内気循環モードの設定	59		
車内ブ레이크リング / ヒーティング	61		
送風口の調節	58		
足下の空間温度の設定	59		
点灯/消灯	56		
内気循環モードを ON/OFF にする	59		
風量調節	58		
エアバッグ			
お手入れの諸注意	133		
安全に関する指示	64		
機能	64		
警告灯	64		
取り付け位置	64		
エマージェンシーキー	74		
エミッションコントロール (チェック エンジン)	43		
エミッションコントロール警告灯	43		
エレクトリックパーキングブレーキ			
ブレーキ テスト スタンドでの測定	162		
緊急ブレーキ機能	209		
警告灯	209		
作動 / 解除	209		
発進時に自動解除	209		
エンジン			
オイルの補充	67		
クーリング システム	39		

始動および停止	70
エンジンオイル	
インストールメント パネルのオイル レベルゲージ	66
補充	67
エンジン カバー	241
エンジン コンパートメント リッド	241
お	
オイル	66
インストールメント パネルのオイル レベルゲージ	66
補充	67
オート スタート / ストップ機能	
作動原理	71
前提条件	71
例外	72
オートマチック カミング ホーム ライト	248
オドメーター (積算距離計) の表示とリセット	46
オンボード コンピューター	
タイヤ空気圧モニタリング	145
ドライビング データの表示 (トリップ情報)	164
メニュー概要	46
オンライン サービス	
データ接続の確立	227
お気に入りの保存 / 編集	
メディア	246
電話	180
お手入れ	
軽合金製ホイール	132
高圧洗浄機の使用	130
車両の長期保管	134
塗装	131
お手入れの諸注意	130
Alcantara®	133
PCM	134
アンダーコーティング	131
エアバッグ	133
カーベット	133
シート ベルト	134
シール	132
スクリーン	134
タッチディスプレイ	134
ディスプレイ	134
デコラティブフィルム	132
ファブリック ライニング	133
フロア マット	133
ホイール ボルト	151
革製品	133
軽合金製ホイール	132
高電圧バッテリー	134

車両の長期保管	134
車両を長期保管する場合の注意点	134
洗車	130

か

カーゴ マネージメント	257
カーベット	133
お手入れの諸注意	133
カップホルダー	73
カメラ	
概要	26
カメラの清掃	
カメラ清掃システムの作動	184

き

キー	74
エマージェンシー キーの取り外し	74
スペア キーの交換	75
パーソナル設定の保存と呼び出し	203
バッテリーの交換	74
車両のロック	126
車両のロック解除	125
キー (リモート コントロール)	
ウィンドウの開閉 (ボルシェ コンフォート アクセス非装備車)	50
キャリアの取り付け	266

く

クーラント (冷却水)	
レベルの点検	76
不凍剤	76
クライメートコントロールタイプ	
調整	58
クルーズ コントロール	
OFFにする	79
PSMスポーツ	78
クルーズ コントロール	78
機能説明	78
速度の設定	78
中断操作	79

け

けん引	80
けん引フック	81
一般情報	80

こ

コーナーリング ライト	
スタティック コーナーリング ライト	249
ダイナミック コーナーリング ライト	249
コンシェルジュ サービス	
コンシェルジュ サービスの開始	187
コンフォート アクセス	
ドアをロックする	126
作動原理	124
車両のロック解除	125
コンフォート ブレッシュャー	
選択	147
速度警告	145
コンフォート メモリー パッケージ	203
コンプレッサー	254

さ

サイド ロール アップ式サンブラインド	51
サービス インターバルをインストールメント クラスタに表示する	48
サービス履歴	
表示	135
サマー タイヤ	
保管	150
サマー ホイール	
交換	150
サン ブラインド	
開閉	264
清掃	265
停止位置の保存	264
サンシェード停止位置の保存	264

し

シート	
イージー エントリー機能の使用	112
シート位置の調節	109
シート位置の保存と呼び出し	203
チャイルドシート	153
フロント シートの調節	109
ベビー キャリア	158
マッサージ機能の使用	112
リヤ シートの調節	109
リヤ マッサージ機能の使用	112
推奨するチャイルドシート システム	156
シート ヒーターを ON/OFF にする	111
シート ベルト	
お手入れの諸注意	134
シート ベルト プリテンショナー	114

ベルトの高さ調節	115	セレクター レバー	167	タイヤ空気圧	
警告灯 / 警告シンボル	114	センサー		インストールメント パネルの表示	145
着用	115	概要	26	システムの登録	147
注意	114	センター アームレスト		タイヤ空気圧プレート	289
シート ベンチレーターを ON/OFF にする	111	フロント小物入れ	137	速度警告	145
シート メモリー	203	センター アームレストのインターフェース	239	点検	145
シートベルト		センター ベント		タイヤ空気圧プレート	289
取り外す	115	開閉	58	タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	145
シール		調整	58	タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	
お手入れの諸注意	132	セントラル ロック	123	呼び出し	146
シフト	167	キーによる車両のロック	126	登録	147
シャーシ設定の選択	223	キーによる車両のロック解除	125	タイヤ充填コンプレッサー	254
シャーシ番号	289	パーソナル設定の保存と呼び出し	203	タコメーター	39
す		ボルシェ コンフォート アクセスによる車両のロック	126	タッチ ディスプレイ	
スキー バッグ		ボルシェ コンフォート アクセスによる車両のロック解除	125	表示の調整	135
スキー / スノー ボードの収納	256	車内からの開閉操作とロック	126	タッチディスプレイ	
スクリーン		そ		お手入れの諸注意	134
お手入れの諸注意	134	ソース (メディア) の選択	245	操作	236
スタティック コーナリング ライト	249	た		ち	
ステアリング コラム ロック	108	ターン ライト	249	チェック エンジン (エミッション コントロール)	43
ステアリング ホイール		タイダウン リング		チャイルド シート	
◇ ボタンの設定	135	利用	257	ISOFIX チャイルド シートの取り付け	159
調整	118	タイヤ		トップテザー	160
ステアリングホイール		ウインター タイヤ (一般的なインフォメーション)	149	規定の取り付け方向	154
ヒーターのON/OFF	118	コンフォートまたは標準プレッシャーの選択	147	助手席エアバッグの ON / OFF	159
ステアリングホイールヒーターのON/OFF	118	スノーチェーン (一般的なインフォメーション)	149	推奨するチャイルド シート システム	156
ストップウォッチ	119	スペア ホイールの使用	198	チャイルド ロック	127
スノーチェーン		タイヤ / ホイール サイズ	294	リヤ シート	51
一般情報	149	タイヤバルブ	149	つ	
スノーチェーン		タイヤの種類とサイズの設定	147	ツアーを計画する (ナビゲーション)	187
スノーチェーン モード	135	タイヤ空気充填	147	て	
スペア キーの交換	75	タイヤ空気圧プレート	289	テキスト メッセージの表示および編集	180
スポイラー	82	タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) に新しいタイヤを登録する	147	テクニカル データ	289
スポーツ クロノ ストップウォッチ	119	タイヤ交換 (一般的なインフォメーション)	148	充填容量	290
スポーツ クロノ モード スイッチ	285	タイヤ表記	148	燃料消費量	290
スポーツエグゾースト システム	287	トレッドの深さ	150	テザー	
スマートフォン		バンク修理	197	ISOFIX テザー付きチャイルド シートの取り付け	160
ワイヤレス充電	181	ホイール ボルトの締め付けトルク	151	テスト スタンド	
携帯電話を接続する	178	圧力差を表示する	147	ブレーキ テスト	162
収納	181	交換	150	と	
スモーカーパッケージ	122	全積載または部分積載の設定	147	トップテザー	
せ		保管	150	トップテザー付きチャイルド シートの取り付け	160
セーフロック	126	タイヤバルブ			
キーによる解除	126	タイヤ	149		
ドア ハンドルの近接センサーによる解除	126	タイヤの速度記号	148		

トラフィックジャム アシスト (TJA)			
点灯/消灯	165		
トランスミッション			
Porsche Doppelkupplung (PDK)	167		
洗車	168		
トリップ メーターの表示とリセット	46		
トルク			
ホイール ボルトの締め付けトルク	151		
トレーラー ヒッチ			
操作	172		
トレイ (電話)	181		
トレッドの深さ			
タイヤ	150		
な			
ナイト アシスト			
点灯/消灯	184		
ナイト ビュー アシスト	183		
清掃	184		
ナビ			
インストールメント クラスターのマップビューとナビゲーション情報	188		
ツアーを計画する	187		
ナビゲーション	185		
GPS 座標の入力	185		
設定	188		
地図コンテンツの設定	188		
道路交通案内	188		
道路通行料自動収受システム (ETC)	189		
目的地の入力 / 検索	185		
は			
ハイ ビーム			
ダイナミック ハイ ビーム	249		
ハイ ビーム レバー	250		
ハイブリッド車両	190		
E ローンチ	170		
走行プログラム	191		
ハイブリッド走行プログラム	192		
ハザード ライト	251		
ひ			
ヒューズ			
ヒューズの割り当て	207		
ヒューズの交換	206		
ふ			
ファブリック ライニング (お手入れ)	133		
ファンの設定			
エアコン システム	57		
フィルター フラップ			
位置の表示	40		
フット ブレーキ			
安全に関する指示	209		
フルードおよび燃料			
ウォッシュ液	290		
燃料	290		
フロア マット			
お手入れの諸注意	133		
フロント ウィンドウ			
デフロスター	60		
フロント ウィンドウ ワイパー			
リヤ ウィンドウの清掃	214		
リヤ ワイパー	214		
レイン センサー作動の調節	214		
ワイパー ブレード	215		
フロント シート			
マッサージ機能の使用	112		
調整	109		
フロント ワイパー	212		
手入れに関する諸注意	131		
フロントガラス ウォッシュャー システム			
ウォッシュャー液を追加	53		
充填容量	290		
不凍剤	53		
へ			
ヘッドアップ ディスプレイ			
HUD	217		
ヘッドライト			
お手入れ	132		
バルブの交換	251		
マトリックス ビーム	249		
海外モード	251		
調整	251		
ヘッドライト調整	251		
ほ			
ホイール			
スノー チェーン (一般的なインフォメーション)	149		
スペア ホイールの使用	198		
タイヤ / ホイール サイズ	294		
タイヤ空気圧プレート	289		
タイヤ交換 (一般的なインフォメーション)	148		
タイヤ表記	148		
パンク修理	197		
ホイール ボルト (お手入れの諸注意)	151		
交換	150		
締め付けトルク	151		
盗難防止ホイール ボルト (ソケット レンチ)	151		
保管	150		
ホイール バランス			
ウィンダー タイヤ (一般的なインフォメーション)	149		
タイヤバルブ	149		
ホイール ボルト	151		
ホイールのお手入れ	132		
ホーム画面	237		
ホットスポット			
PCM WiFi ホットスポットの使用	228		
外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続の確立	227		
ま			
マウント部品の取り付け	268		
マッサージ機能			
フロント	112		
後部座席	112		
マトリックス ビーム	249		
マニュアル シフト モード	169		
マルチコリジョン ブレーキング	282		
マルチファンクション ステアリング ホイール			
◇ ボタンの設定	135		
ボタン	44		
マルチファンクション ステアリング ホイールのファンクション ボタン	44		
マルチファンクション ステアリング ホイールのボタンの割り当て	44		
マルチファンクション ステアリング ホイールのボタンの割り当て	135		
変更	135		
み			
ミュージック			
対応するメディア形式	297		
ミラー			
ドア ミラー ヒーター	60		
ドア ミラーの格納/復帰	243		
ドア ミラーの使用	243		
ドア ミラーの調節	243		
パーキング エイドとしてのドア ミラーの使用	244		
自動防眩機能	244		
め			
メッセージ (テキスト / E メール) の表示および編集	180		
メディア			
USB を介した外部機器の接続	239		
お気に入りの保存 / 編集	246		

わ

ワイパー ブレード	
交換.....	215
ワイヤレス インターネット アクセス.....	228

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ・カスタマーケアセンター

フリーダイヤル：0120-846-911

車両受領証
(販売店で保管)

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時

お客様の署名

